



LG-P800

カラーラベルプリンター

ユーザーズガイド

本製品には「安全にお使いいただくために」が同梱されています。ご使用前に必ずお読みください。
本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。

4Y1-8652-020

© CANON FINETECH NISCA INC. 2025

目次

はじめに

本書の見かた	1
お客様へのお願い	1
商標・ライセンスについて	1

1. 本製品について

各部の説明..... 23

前面	23
背面・側面	24
トップカバー内部	25
ロール紙カバー内部	27
インクタンクカバー内部	28
操作パネル	29

製品の操作方法 30

電源を入れる / 切る	30
印刷を中止する	32
印刷を一時停止状態にする	33

2. 用紙の取り扱い

ロール紙を使う 35

ロール紙をプリンターにセットする	35
ロール紙をプリンターから取り外す	44
ロール紙をロールホルダーから取り外す	46

カット紙を使う 47

カット紙をプリンターにセットする	47
カット紙をプリンターから取り外す	49

プリンター外部から用紙をセットして使う 50

プリンター外部から用紙をセットする	50
プリンター外部からセットした用紙を取り外す	55

用紙に関する設定 56

用紙の種類を変更する	56
用紙のサイズを設定する	57
ロール紙の残量を管理する	60
先頭のラベルを印刷する	61
用紙のカット方法を設定する	63
用紙を手動で送る	64
用紙をカットする	65
ロール紙の先端を自動でカットする	66
用紙の先端余白を設定する	68
用紙のカット屑を軽減する	69
インク乾燥時間を設定する	70
電源を切っている間のロール紙交換を検知する	71

用紙について 72

使用可能な用紙の種類・形状・サイズ	72
ユーザー定義用紙の設定可能範囲	73
用紙の取り扱いについての注意事項	80
プリンターの用紙情報を管理する	81

3. 印刷

印刷する 83

パソコンから印刷する	83
USB メモリー内のデータを印刷する	85

プリンタードライバーの設定 90

プリンタードライバーの設定画面の開きかた	90
設定画面の構成	91
プリンタードライバーの用紙情報を更新する	97
オフライン環境でヘルプを表示する	98
用紙サイズを自由に設定する	99
複数のページを 1 ページにまとめて印刷する	101
よく使う印刷設定を登録する	102
用紙のカット間隔を設定する	105
カラーバランスを調整する	106
印刷品質を設定する（ユーザー設定）	108
カラーの原稿をモノクロで印刷する	109

色補正の方法を指定する	110
明るさを調整する	119
コントラストを調整する	121
インクの使用量を抑えて印刷する	123
片方向印刷に設定する	124

ステータスマニターの使いかた 125

ステータスマニターを起動する	125
ステータスマニターの起動と表示方法	126
ステータスマニターの画面説明	128

パソコンから印刷するための準備 130

プリンタードライバーをインストールする	130
プリンタードライバーを更新する	130
プリンタードライバーを削除する	132
プリンタードライバーの設定情報を移行する	133

4. プリンターの設定

操作パネルから設定を変更する 145

ホーム画面の構成	145
用紙メニュー	149
セットアップメニュー	150
LAN 設定メニュー	162
プリンター情報メニュー	165
ジョブ管理メニュー	166
管理者パスワードを設定する	167
プリンターの情報を印刷する	169

ウェブブラウザーから設定を変更する (リモート UI) 171

リモート UI を使用するための準備	171
リモート UI を起動する	172
リモート UI で設定できる項目	174
リモート UI でパスワードを設定する	180
SSL 通信のためにプリンターのルート証明書を ウェブブラウザーに登録する	182
SSL 通信のためにプリンターのルート証明書を	

ローカルコンピューターに登録する	187
サーバー証明書を生成する	189
メールサーバーを設定する	191
プリンターの状態をメールで受信する	193

プリンターの設定を移行する 194

プリンターの設定を初期化する 196

5. パソコンとの接続

接続方法を選ぶ 198

Wi-Fi 接続	199
無線ダイレクト接続	210
有線 LAN 接続	217
USB 接続	221

ネットワーク設定を変更する 222

IP アドレスを設定する	222
使用するネットワーク環境に合わせる	224
ネットワーク設定情報を確認する	226

不正アクセス防止対策について 232

ネットワークの状態と対処方法 234

ネットワーク環境でプリンターを共有 する 236

プリントサーバー機での設定	236
クライアント機での設定	237

6. 印刷ジョブの管理

印刷ジョブを操作する 239

印刷ジョブを削除する	239
優先印刷する	241
保留ジョブを印刷する	243

ハードディスクを活用して印刷ジョブ を操作する..... 245

ハードディスクの使い方	245
プリンターのハードディスク関連の機能一覧	246
印刷ジョブを個人ボックスに保存する	247
保存したジョブを印刷する	249
保存したジョブを削除する	251
保存したジョブを移動する	253
印刷ジョブを共通ボックスに保存しない	254
個人ボックスにパスワードを設定する	255
個人ボックスに名前を付ける	256
保存したジョブの一覧を印刷する	257
保存したジョブの名前を変更する	258
ハードディスクの空き容量を確認する	259
ハードディスク内のデータを消去する	260

7. メンテナンス / 調整

消耗品の交換 262

インクタンクを交換する	262
インク残量を確認する	268
プリントヘッドを交換する	269
メンテナンスカートリッジを交換する	275
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する	278
カッターブレードを交換する	279

プリンターの清掃 282

プリンターの外装を清掃する	282
トップカバー内部を清掃する	283

プリンターの移動 / 輸送 286

ファームウェアをアップデートする 289

ファームウェアアップデートツールをインストールする	289
ファームウェアを更新する	290

画質調整と改善 293

ノズルのつまりを確認する	293
プリントヘッドをクリーニングする	294
罫線のずれを調整する	296
縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する	299
縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する	301
用紙の送り量を調整する	303
ラベル位置を調整する	304
用紙のこすれや画像のぼやけを改善する	306
斜行補正を行う	309
カラーキャリブレーションを行う	311

8. 困ったときは

用紙がつまった 313

用紙のつまりを取り除く	313
給紙口内部に残った用紙を取り除く	317

よくあるご質問 320

印刷品質のトラブル	320
印刷に関するトラブル	342
ネットワークに関するトラブル	353
本体 / インクに関するトラブル	370

ステータスマニターにメッセージが表示された 377

仕様

本体	410
ネットワーク仕様	411
消耗品 / オプション	412

はじめに

本書の見かた

■ マークについて



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、かならずこの注意事項をお守りください。



重要

守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、かならずお読みください。



メモ

操作の参考になることや補足説明が書かれています。



動画

操作方法や使い方を動画でご覧いただけます。

スマートフォンやパソコンで QR コードを読み取るか、指定の URL にアクセスしてご確認ください。

■ 記載について

- ・ 本書では、Windows 11 を使用する環境を例に記載しています。

お客様へのお願い

- ・ 本書の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・ 本製品および付属ソフトウェアの仕様や本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更される場合があります。
- ・ 本書は内容について万全を期していますが、万一不審な点や誤り、記載もれなどでお気づきの点がございましたら、お客様相談センターまでご連絡ください。
- ・ 本製品および付属ソフトウェアを運用した結果につきましては、上記に関わらず責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

商標・ライセンスについて

■ 商標

- ・ Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- ・ Microsoft、Microsoft Edge、Windows および Windows Server は、マイクロソフト グループの企業の商標です。
- ・ Bonjour、iPadOS および Safari は、Apple Inc. の商標です。
- ・ IOS は、米国およびその他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。
- ・ Adobe および Photoshop は、Adobe Inc. の商標です。
- ・ QR コードは、株式会社デンソーウェーブの商標です。
- ・ Wi-Fi、WPA、WPA2 および WPA3 は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- ・ Google Chrome および Android は、Google LLC の商標です。
- ・ その他、本書に記載されている会社名、商品名および名称（サービス名称、ブランド名称などすべて含む）は各社の登録商標または商標です。

■ ライセンス

本製品には Monotype Imaging Inc. からライセンスを受けているデジタルフォントを搭載しています。

Copyright (c) 2003-2015 Apple Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Apache License

Version 2.0, January 2004

<http://www.apache.org/licenses/>

TERMS AND CONDITIONS FOR USE, REPRODUCTION, AND DISTRIBUTION

1. Definitions.

"License" shall mean the terms and conditions for use, reproduction, and distribution as defined by Sections 1 through 9 of this document.

"Licensor" shall mean the copyright owner or entity authorized by the copyright owner that is granting the License.

"Legal Entity" shall mean the union of the acting entity and all other entities that control, are controlled by, or are under common control with that entity. For the purposes of this definition, "control" means (i) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (ii) ownership of fifty percent (50%) or more of the outstanding shares, or (iii) beneficial ownership of such entity.

"You" (or "Your") shall mean an individual or Legal Entity exercising permissions granted by this License.

"Source" form shall mean the preferred form for making modifications, including but not limited to software source code, documentation source, and configuration files.

"Object" form shall mean any form resulting from mechanical transformation or translation of a Source form, including but not limited to compiled object code, generated documentation, and conversions to other media types.

"Work" shall mean the work of authorship, whether in Source or Object form, made available under the License, as indicated by a copyright notice that is included in or attached to the work (an example is provided in the Appendix below).

"Derivative Works" shall mean any work, whether in Source or Object form, that is based on (or derived from) the Work and for which the editorial revisions, annotations, elaborations, or other modifications represent, as a whole, an original work of authorship. For the purposes of this License, Derivative Works shall not include works that remain separable from, or merely link (or bind by name) to the interfaces of, the Work and Derivative Works thereof.

“Contribution” shall mean any work of authorship, including the original version of the Work and any modifications or additions to that Work or Derivative Works thereof, that is intentionally submitted to Licensor for inclusion in the Work by the copyright owner or by an individual or Legal Entity authorized to submit on behalf of the copyright owner. For the purposes of this definition, “submitted” means any form of electronic, verbal, or written communication sent to the Licensor or its representatives, including but not limited to communication on electronic mailing lists, source code control systems, and issue tracking systems that are managed by, or on behalf of, the Licensor for the purpose of discussing and improving the Work, but excluding communication that is conspicuously marked or otherwise designated in writing by the copyright owner as “Not a Contribution.”

“Contributor” shall mean Licensor and any individual or Legal Entity on behalf of whom a Contribution has been received by Licensor and subsequently incorporated within the Work.

2. **Grant of Copyright License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable copyright license to reproduce, prepare Derivative Works of, publicly display, publicly perform, sublicense, and distribute the Work and such Derivative Works in Source or Object form.
3. **Grant of Patent License.** Subject to the terms and conditions of this License, each Contributor hereby grants to You a perpetual, worldwide, non-exclusive, no-charge, royalty-free, irrevocable (except as stated in this section) patent license to make, have made, use, offer to sell, sell, import, and otherwise transfer the Work, where such license applies only to those patent claims licensable by such Contributor that are necessarily infringed by their Contribution(s) alone or by combination of their Contribution(s) with the Work to which such Contribution(s) was submitted. If You institute patent litigation against any entity (including a cross-claim or counterclaim in a lawsuit) alleging that the Work or a Contribution incorporated within the Work constitutes direct or contributory patent infringement, then any patent licenses granted to You under this License for that Work shall terminate as of the date such litigation is filed.
4. **Redistribution.** You may reproduce and distribute copies of the Work or Derivative Works thereof in any medium, with or without modifications, and in Source or Object form, provided that You meet the following conditions:
 1. You must give any other recipients of the Work or Derivative Works a copy of this License; and
 2. You must cause any modified files to carry prominent notices stating that You changed the files; and
 3. You must retain, in the Source form of any Derivative Works that You distribute, all copyright, patent, trademark, and attribution notices from the Source form of the Work, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works; and
 4. If the Work includes a “NOTICE” text file as part of its distribution, then any Derivative Works that You distribute must include a readable copy of the attribution notices contained within such NOTICE file, excluding those notices that do not pertain to any part of the Derivative Works, in at least one of the following places: within a NOTICE text file distributed as part of the Derivative Works; within the Source form or documentation, if provided along with the Derivative Works; or, within a display generated by the Derivative Works, if and wherever such third-party notices normally appear. The contents of the NOTICE file are for informational purposes only and do not modify the License. You may add Your own attribution notices within Derivative Works that You distribute, alongside or as an addendum to the NOTICE text from the Work, provided that such additional attribution notices cannot be construed as modifying the License.

You may add Your own copyright statement to Your modifications and may provide additional or different license terms and conditions for use, reproduction, or distribution of Your modifications, or for any such Derivative Works as a whole, provided Your use, reproduction, and distribution of the Work otherwise complies with the conditions stated in this License.
5. **Submission of Contributions.** Unless You explicitly state otherwise, any Contribution intentionally submitted for inclusion in the Work by You to the Licensor shall be under the terms and conditions of this License, without any additional terms

or conditions. Notwithstanding the above, nothing herein shall supersede or modify the terms of any separate license agreement you may have executed with Licensor regarding such Contributions.

6. Trademarks. This License does not grant permission to use the trade names, trademarks, service marks, or product names of the Licensor, except as required for reasonable and customary use in describing the origin of the Work and reproducing the content of the NOTICE file.
7. Disclaimer of Warranty. Unless required by applicable law or agreed to in writing, Licensor provides the Work (and each Contributor provides its Contributions) on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied, including, without limitation, any warranties or conditions of TITLE, NON-INFRINGEMENT, MERCHANTABILITY, or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. You are solely responsible for determining the appropriateness of using or redistributing the Work and assume any risks associated with Your exercise of permissions under this License.
8. Limitation of Liability. In no event and under no legal theory, whether in tort (including negligence), contract, or otherwise, unless required by applicable law (such as deliberate and grossly negligent acts) or agreed to in writing, shall any Contributor be liable to You for damages, including any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character arising as a result of this License or out of the use or inability to use the Work (including but not limited to damages for loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses), even if such Contributor has been advised of the possibility of such damages.
9. Accepting Warranty or Additional Liability. While redistributing the Work or Derivative Works thereof, You may choose to offer, and charge a fee for, acceptance of support, warranty, indemnity, or other liability obligations and/or rights consistent with this License. However, in accepting such obligations, You may act only on Your own behalf and on Your sole responsibility, not on behalf of any other Contributor, and only if You agree to indemnify, defend, and hold each Contributor harmless for any liability incurred by, or claims asserted against, such Contributor by reason of your accepting any such warranty or additional liability.

END OF TERMS AND CONDITIONS

---- Part 1: CMU/UCD copyright notice: (BSD like) ----

Copyright 1989, 1991, 1992 by Carnegie Mellon University

Derivative Work - 1996, 1998-2000

Copyright 1996, 1998-2000 The Regents of the University of California

All Rights Reserved

Permission to use, copy, modify and distribute this software and its documentation for any purpose and without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice appears in all copies and that both that copyright notice and this permission notice appear in supporting documentation, and that the name of CMU and The Regents of the University of California not be used in advertising or publicity pertaining to distribution of the software without specific written permission.

CMU AND THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA DISCLAIM ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE, INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL CMU OR THE REGENTS OF THE UNIVERSITY OF CALIFORNIA BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, INDIRECT OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM THE LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

---- Part 2: Networks Associates Technology, Inc copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2001-2003, Networks Associates Technology, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the Networks Associates Technology, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 3: Cambridge Broadband Ltd. copyright notice (BSD) ----

Portions of this code are copyright (c) 2001-2003, Cambridge Broadband Ltd.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * The name of Cambridge Broadband Ltd. may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 4: Sun Microsystems, Inc. copyright notice (BSD) ----

Copyright c 2003 Sun Microsystems, Inc., 4150 Network Circle, Santa Clara, California 95054, U.S.A. All rights reserved.

Use is subject to license terms below.

This distribution may include materials developed by third parties.

Sun, Sun Microsystems, the Sun logo and Solaris are trademarks or registered trademarks of Sun Microsystems, Inc. in the U.S. and other countries.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the Sun Microsystems, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 5: Sparta, Inc copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2003-2012, Sparta, Inc

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Sparta, Inc nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 6: Cisco/BUPTNIC copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2004, Cisco, Inc and Information Network Center of Beijing University of Posts and Telecommunications.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Cisco, Inc, Beijing University of Posts and Telecommunications, nor the names of their contributors may be

used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 7: Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG, 2003 oss@fabasoft.com

Author: Bernhard Penz <bernhard.penz@fabasoft.com>

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* The name of Fabasoft R&D Software GmbH & Co KG or any of its subsidiaries, brand or product names may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 8: Apple Inc. copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2007 Apple Inc. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of Apple Inc. ("Apple") nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY APPLE AND ITS CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL APPLE OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY

OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 9: ScienceLogic, LLC copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2009, ScienceLogic, LLC

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of ScienceLogic, LLC nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 10: Lennart Poettering copyright notice (BSD-like) ----

Copyright 2010 Lennart Poettering

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

---- Part 11: IETF copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2013 IETF Trust and the persons identified as authors of the code. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer

in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Internet Society, IETF or IETF Trust, nor the names of specific contributors, may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 12: Arista Networks copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2013, Arista Networks, Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of Arista Networks, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 13: VMware, Inc. copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2016, VMware, Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

* Neither the name of VMware, Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from

this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

---- Part 14: USC/Information Sciences Institute copyright notice (BSD) ----

Copyright (c) 2017-2018, Information Sciences Institute

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Information Sciences Institute nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

MIT License

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright 2000 Computing Research Labs, New Mexico State University

Copyright 2001-2015 Francesco Zappa Nardelli

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COMPUTING RESEARCH LAB OR NEW MEXICO STATE UNIVERSITY BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Written by Joel Sherrill <joel@OARcorp.com>.

COPYRIGHT (c) 1989-2000.

On-Line Applications Research Corporation (OAR).

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose without fee is hereby granted, provided that this entire notice is included in all copies of any software which is or includes a copy or modification of this software.

THIS SOFTWARE IS BEING PROVIDED "AS IS", WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTY. IN PARTICULAR, THE AUTHOR MAKES NO REPRESENTATION OR WARRANTY OF ANY KIND CONCERNING THE MERCHANTABILITY OF THIS SOFTWARE OR ITS FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE.

(1) Red Hat Incorporated

Copyright (c) 1994-2009 Red Hat, Inc. All rights reserved.

This copyrighted material is made available to anyone wishing to use, modify, copy, or redistribute it subject to the terms and conditions of the BSD License. This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY expressed or implied, including the implied warranties of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. A copy of this license is available at <http://www.opensource.org/licenses>. Any Red Hat trademarks that are incorporated in the source code or documentation are not subject to the BSD License and may only be used or replicated with the express permission of Red Hat, Inc.

(2) University of California, Berkeley

Copyright (c) 1981-2000 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The FreeType Project LICENSE

2006-Jan-27

Copyright 1996-2002, 2006 by

David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg

Introduction

=====

The FreeType Project is distributed in several archive packages; some of them may contain, in addition to the FreeType font engine, various tools and contributions which rely on, or relate to, the FreeType Project.

This license applies to all files found in such packages, and which do not fall under their own explicit license. The license affects thus the FreeType font engine, the test programs, documentation and makefiles, at the very least.

This license was inspired by the BSD, Artistic, and IJG (Independent JPEG Group) licenses, which all encourage inclusion and use of free software in commercial and freeware products alike. As a consequence, its main points are that:

- We don't promise that this software works. However, we will be interested in any kind of bug reports. ('as is' distribution)
- You can use this software for whatever you want, in parts or full form, without having to pay us. ('royalty-free' usage)
- You may not pretend that you wrote this software. If you use it, or only parts of it, in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you have used the FreeType code. ('credits')

We specifically permit and encourage the inclusion of this software, with or without modifications, in commercial products.

We disclaim all warranties covering The FreeType Project and assume no liability related to The FreeType Project.

Finally, many people asked us for a preferred form for a credit/disclaimer to use in compliance with this license. We thus encourage you to use the following text:

""

Portions of this software are copyright © <year> The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

""

Please replace <year> with the value from the FreeType version you actually use.

Legal Terms

0. Definitions

Throughout this license, the terms 'package', 'FreeType Project', and 'FreeType archive' refer to the set of files originally distributed by the authors (David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg) as the 'FreeType Project', be they named as alpha, beta or final release.

'You' refers to the licensee, or person using the project, where 'using' is a generic term including compiling the project's source code as well as linking it to form a 'program' or 'executable'.

This program is referred to as 'a program using the FreeType engine'.

This license applies to all files distributed in the original FreeType Project, including all source code, binaries and documentation, unless otherwise stated in the file in its original, unmodified form as distributed in the original archive.

If you are unsure whether or not a particular file is covered by this license, you must contact us to verify this.

The FreeType Project is copyright (C) 1996-2000 by David Turner, Robert Wilhelm, and Werner Lemberg. All rights reserved except as specified below.

1. No Warranty

THE FREETYPE PROJECT IS PROVIDED 'AS IS' WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. IN NO EVENT WILL ANY OF THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY DAMAGES CAUSED BY THE USE OR THE INABILITY TO USE, OF THE FREETYPE PROJECT.

2. Redistribution

This license grants a worldwide, royalty-free, perpetual and irrevocable right and license to use, execute, perform, compile, display, copy, create derivative works of, distribute and sublicense the FreeType Project (in both source and object code forms) and derivative works thereof for any purpose; and to authorize others to exercise some or all of the rights granted herein, subject to the following conditions:

- Redistribution of source code must retain this license file ('FTL.TXT') unaltered; any additions, deletions or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation. The copyright notices of the unaltered, original files must be preserved in all copies of source files.

- Redistribution in binary form must provide a disclaimer that states that the software is based in part of the work of the FreeType Team, in the distribution documentation. We also encourage you to put an URL to the FreeType web page in your documentation, though this isn't mandatory.

These conditions apply to any software derived from or based on the FreeType Project, not just the unmodified files. If you use our work, you must acknowledge us. However, no fee need be paid to us.

3. Advertising

Neither the FreeType authors and contributors nor you shall use the name of the other for commercial, advertising, or promotional purposes without specific prior written permission.

We suggest, but do not require, that you use one or more of the following phrases to refer to this software in your documentation or advertising materials: 'FreeType Project', 'FreeType Engine', 'FreeType library', or 'FreeType Distribution'.

As you have not signed this license, you are not required to accept it. However, as the FreeType Project is copyrighted material, only this license, or another one contracted with the authors, grants you the right to use, distribute, and modify it.

Therefore, by using, distributing, or modifying the FreeType Project, you indicate that you understand and accept all the terms of this license.

4. Contacts

There are two mailing lists related to FreeType:

- freetype@nongnu.org

Discusses general use and applications of FreeType, as well as future and wanted additions to the library and distribution.

If you are looking for support, start in this list if you haven't found anything to help you in the documentation.

- freetype-devel@nongnu.org

Discusses bugs, as well as engine internals, design issues, specific licenses, porting, etc.

Our home page can be found at

<http://www.freetype.org>

--- end of FTL.TXT ---

The TWAIN Toolkit is distributed as is. The developer and distributors of the TWAIN Toolkit expressly disclaim all implied, express or statutory warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, noninfringement of third party rights and fitness for a particular purpose. Neither the developers nor the distributors will be liable for damages, whether direct, indirect, special, incidental, or consequential, as a result of the reproduction, modification, distribution or other use of the TWAIN Toolkit.

JSON for Modern C++

Copyright (c) 2013-2017 Niels Lohmann

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (c) 2011 - 2015 ARM LIMITED

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2014, Kenneth MacKay

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2006, CRYPTOGRAMS by <appro@openssl.org> All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain copyright notices, this list of conditions and the following disclaimer.

- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

- * Neither the name of the CRYPTOGRAMS nor the names of its copyright holder and contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

ALTERNATIVELY, provided that this notice is retained in full, this product may be distributed under the terms of the GNU General Public License (GPL), in which case the provisions of the GPL apply INSTEAD OF those given above.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDER AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH

DAMAGE.

ISC License

Copyright (c) 2013-2017

Frank Denis <j at pureftpd dot org>

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

Copyright (c) 2008 The NetBSD Foundation, Inc.

All rights reserved.

This code is derived from software contributed to The NetBSD Foundation by Lennart Augustsson (lennart@augustsson.net) at Carlstedt Research & Technology.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE NETBSD FOUNDATION, INC. AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 2000 Intel Corporation

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither name of Intel Corporation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A

PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL INTEL OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Lua

Copyright © 1994–2014 Lua.org, PUC-Rio.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

LuaSocket

LuaSocket 2.0.2 license

Copyright © 2004–2007 Diego Nehab

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

LuneScript

Copyright (c) 2018 ifritJP

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the “Software”), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED “AS IS”, WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION

OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Copyright (c) 2002-2019, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors

All Rights Reserved.

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (C) 2019, Broadcom Corporation. All Rights Reserved.

Permission to use, copy, modify, and/or distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS" AND THE AUTHOR DISCLAIMS ALL WARRANTIES WITH REGARD TO THIS SOFTWARE INCLUDING ALL IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR BE LIABLE FOR ANY SPECIAL, DIRECT, INDIRECT, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR ANY DAMAGES WHATSOEVER RESULTING FROM LOSS OF USE, DATA OR PROFITS, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, NEGLIGENCE OR OTHER TORTIOUS ACTION, ARISING OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE USE OR PERFORMANCE OF THIS SOFTWARE.

The certificate files "Amazon Root CA 1", "Amazon Root CA 2", "Amazon Root CA 4" are licensed under a Creative Commons Attribution-NoDerivatives 4.0 International License.

This software is licensed under the MIT License.

Copyright Fedor Indutny, 2018.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

(c) 2009-2013 by Jeff Mott. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions, and the following disclaimer in the documentation or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name CryptoJS nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS," AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright 2008, Google Inc.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of Google Inc. nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS AS IS AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

Copyright (c) 1998-2010, Brian Gladman, Worcester, UK. All rights reserved.

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:

source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;

binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation.

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its operation, including, but not limited to, correctness and fitness for purpose.

THE BASIC LIBRARY FUNCTIONS

Written by: Philip Hazel

Email local part: ph10

Email domain: cam.ac.uk

University of Cambridge Computing Service, Cambridge, England.

Copyright (c) 1997-2012 University of Cambridge

All rights reserved.

PCRE JUST-IN-TIME COMPILATION SUPPORT

Written by: Zoltan Herczeg

Email local part: hzmester

Email domain: freemail.hu

Copyright(c) 2010-2012 Zoltan Herczeg

All rights reserved.

STACK-LESS JUST-IN-TIME COMPILER

Written by: Zoltan Herczeg

Email local part: hzmester

Email domain: freemail.hu

Copyright(c) 2009-2012 Zoltan Herczeg

All rights reserved.

THE C++ WRAPPER FUNCTIONS

Contributed by: Google Inc.

Copyright (c) 2007-2012, Google Inc.

All rights reserved.

THE "BSD" LICENCE

-----Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the University of Cambridge nor the name of Google Inc. nor the names of their contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.

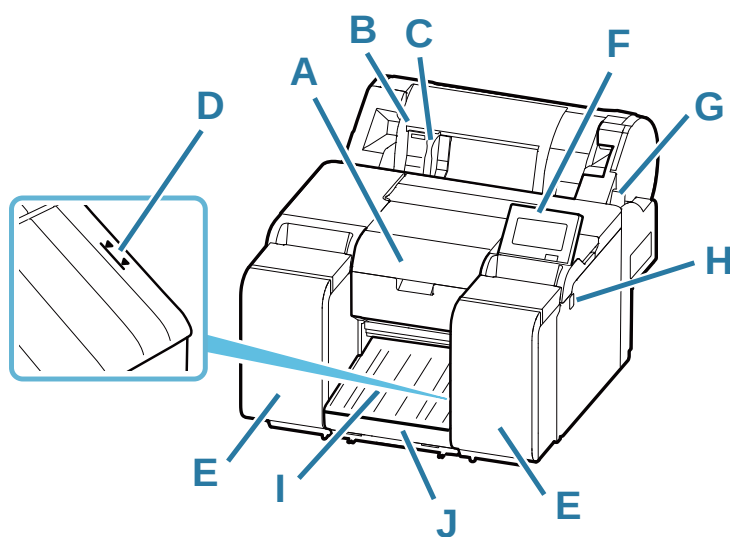
Chapter 1

本製品について

各部の説明	23
前面	23
背面・側面	24
トップカバー内部	25
ロール紙カバー内部	27
インクタンクカバー内部	28
操作パネル	29
製品の操作方法	30
電源を入れる / 切る	30
印刷を中止する	32
印刷を一時停止状態にする	33

各部の説明

前面



A：トップカバー（→ P.25）

このカバーを開き、プリントヘッドを取り付けたり、プリンター内部につまった用紙を取り除きます。

B：ロール紙カバー（→ P.27）

このカバーを開き、ロール紙をセットします。

C：幅ガイド

カット紙をセットするときに、用紙のサイズに合わせてこのガイドを移動します。

D：紙合わせライン

用紙を合わせるための、白いラインです。

E：インクタンクカバー（→ P.28）

このカバーを開き、インクタンクを交換します。

F：操作パネル（→ P.29）

プリンターを操作したり、プリンターの状態を確認します。自由に角度を調整できます。

G：リリースレバー

印刷済みの用紙や、つまった用紙を取り除く際に使用します。このレバーを後方に押すことで、用紙押さえが解除され、用紙の取り外しが可能になります。

H：USB メモリー接続部

USB メモリーをセットします。

I：排紙ガイド

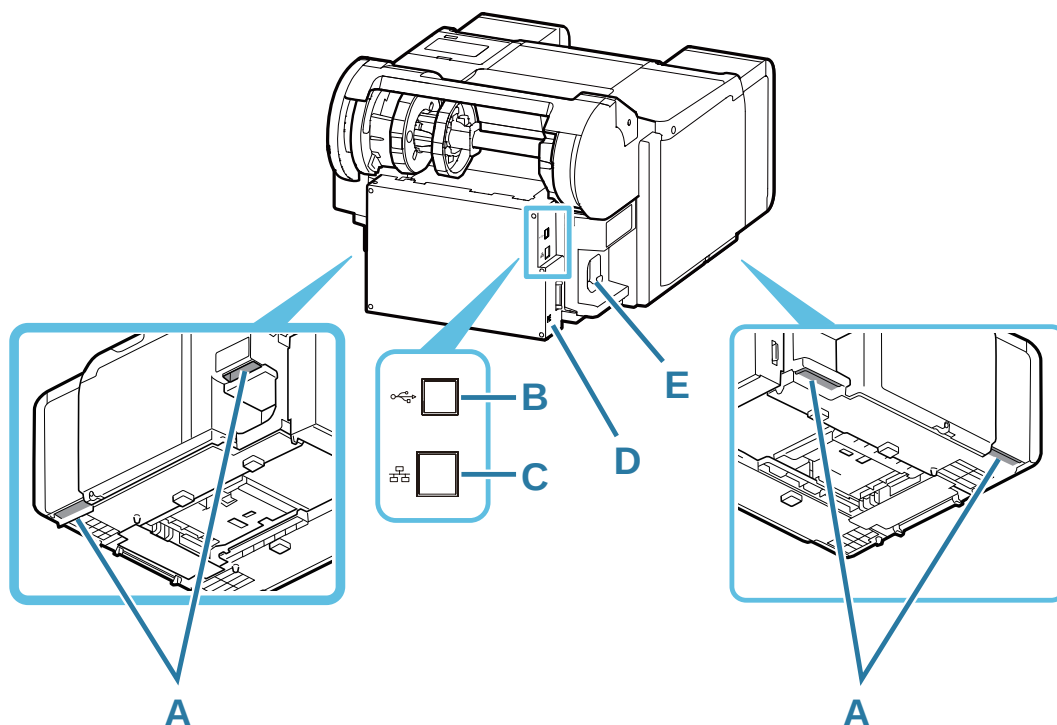
排紙された用紙を支えます。

J：メンテナンスカートリッジ

クリーニングなどで使用したインクを吸収します。

🟢 重要

- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。



A：運搬用グリップ

左右底面のこの部分を持って、2人でプリンターを運びます。

B：USB ケーブル接続部

USB ケーブルをこのポートに接続します。Hi-Speed USB に対応しています。

C：LAN ケーブル接続部

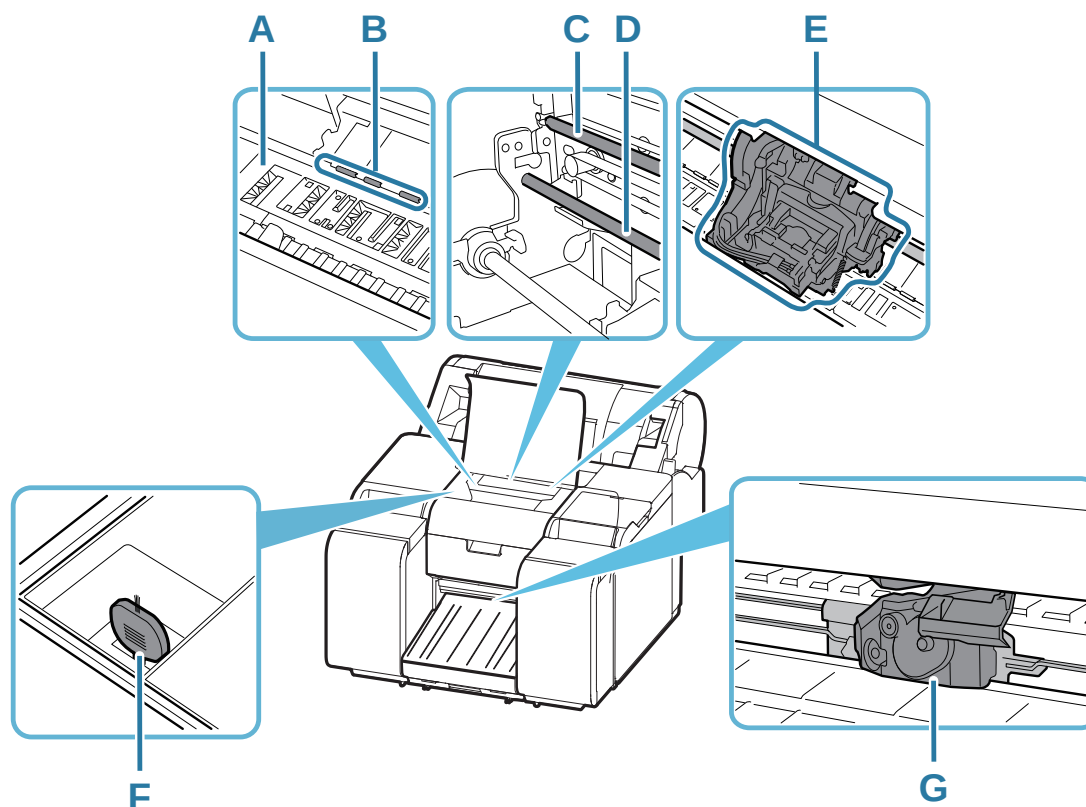
Ethernet ケーブルをこのコネクタに接続します。Ethernet ケーブルが正しく接続され、通信可能な状態になっている場合は、ランプが点灯します。

D：アース端子

アース線をこの端子に接続します。

E：電源コード接続部

電源コードをこのコネクタに接続します。



A：プラテン

この部分をプリントヘッドが移動し、印刷が行われます。

B：用紙押さえ

この部分で用紙を保持しています。

C：リニアスケール

キャリッジの位置を検知するための部品です。

D：キャリッジシャフト

この部分をキャリッジが移動します。

E：キャリッジ (→ P.26)

プリントヘッドを動かします。

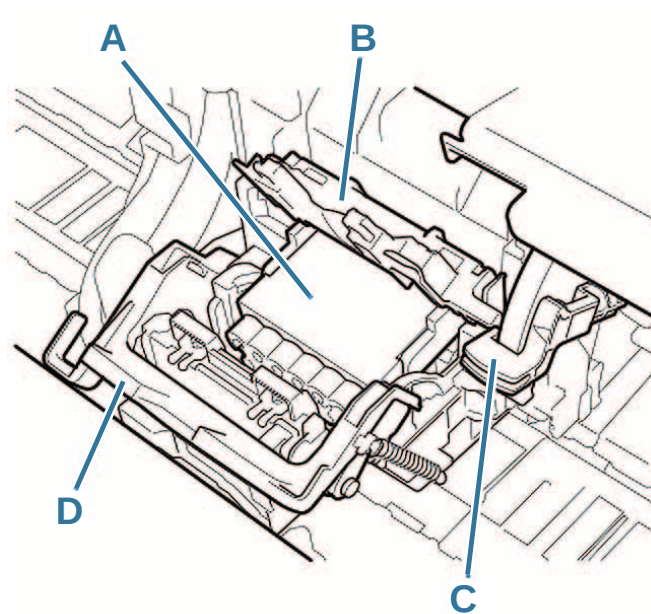
F：クリーナーブラシ

トップカバー内部を清掃するときに、このブラシでプラテン上の紙粉を掃き取ります。

G：カッターブレード (→ P.412)

用紙を自動でカットするための丸刃カッターです。

■ キャリッジ



A：プリントヘッド

ノズルが装着されています。

B：プリントヘッド固定カバー

プリントヘッドを固定します。

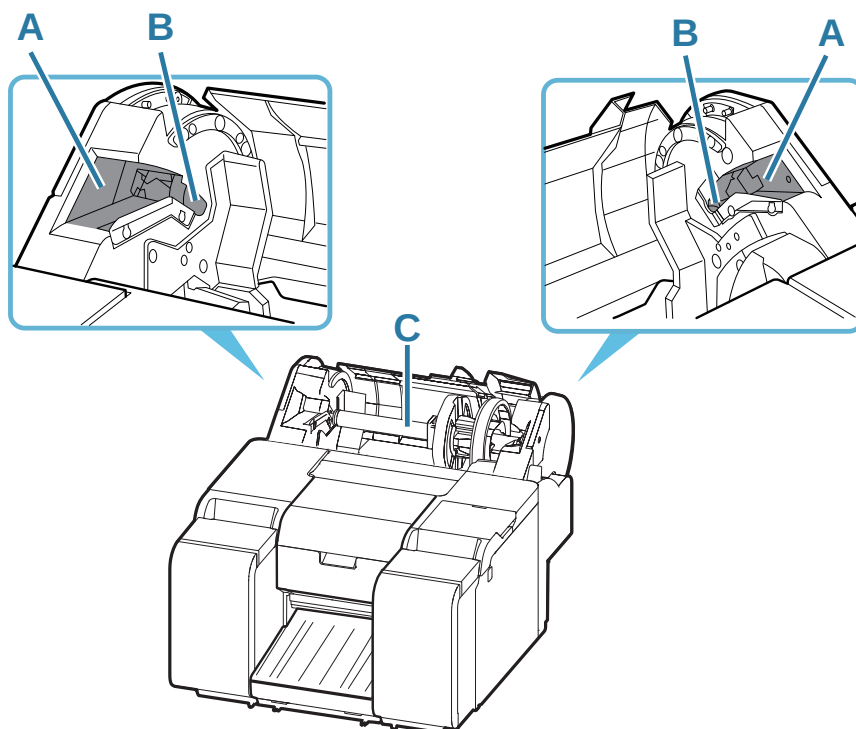
C：スラント調整レバー

印刷時の罫線のずれを微調整します。

D：プリントヘッド固定レバー

プリントヘッド固定カバーをロックします。

ロール紙カバー内部



A：スライドガイド

ロールホルダーをこのガイドに沿って移動します。

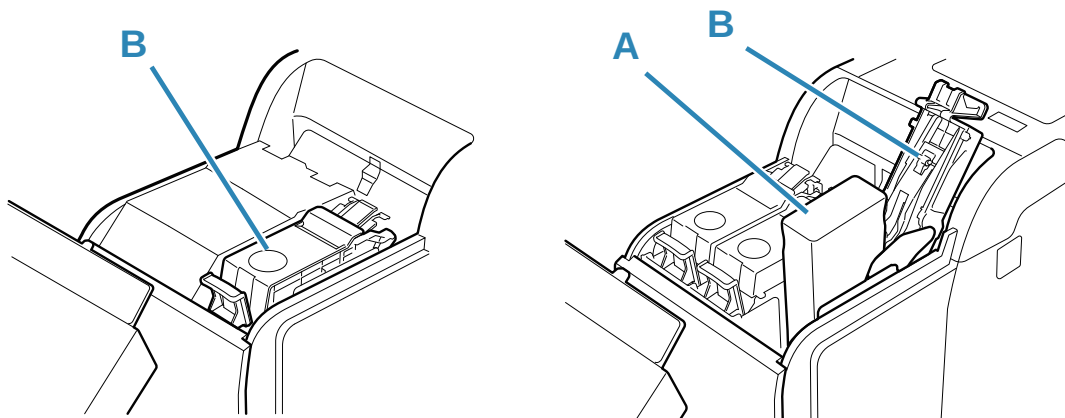
B：ロールホルダースロット

ロールホルダーをこのスロットにセットします。

C：ロールホルダー

ロール紙はロールホルダーにセットしてプリンターに取り付けます。

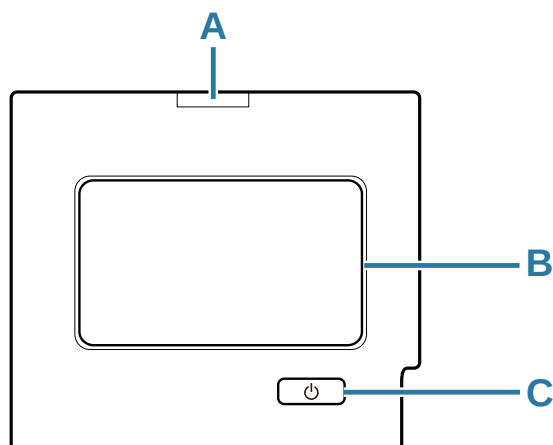
インクタンクカバー内部



A：インクタンク（→ P.262）

B：インクタンク固定レバー

インクタンクを保護し、ロックするためのレバーです。インクタンクを交換するときに、このレバーを開閉します。



A：ステータスランプ

- ・点滅（白）
印刷しているときは、印刷ジョブの受信または処理中を示します。印刷していないときは、印刷ジョブの一時停止中またはファームウェアのデータの受信中を示します。
- ・点灯（オレンジ）
警告メッセージの表示中を示します。
- ・点滅（オレンジ）
エラーメッセージの表示中を示します。
- ・消灯
印刷ジョブがない状態および警告やエラーのない状態を示します。

B：タッチスクリーン

プリンターのメニュー、状態、またはメッセージが表示されます。画面に直接指先で軽く触れてメニューや表示ボタンを選ぶことができます。

C：電源ボタン / 電源ランプ

プリンターの電源を入れる / 切るときに押します。電源が入った状態またはスリープ状態のとき、電源ランプが点灯します。

📖 メモ

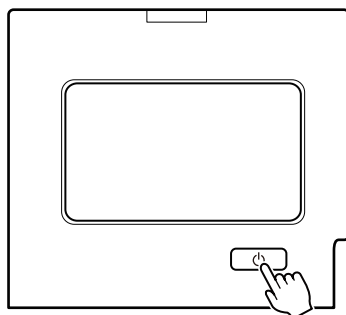
- ・スリープ中は、タッチスクリーンをタッチすると、スリープから復帰します。
 - ・操作パネルのアクセスロックが有効の場合は、操作パネルからの操作が制限されます。リモート UI の [本体設定] → [特殊設定] → [操作パネルのアクセスロック] をを選択して設定を行います。
- ➡ リモート UI で設定できる項目 (P.174)

製品の操作方法

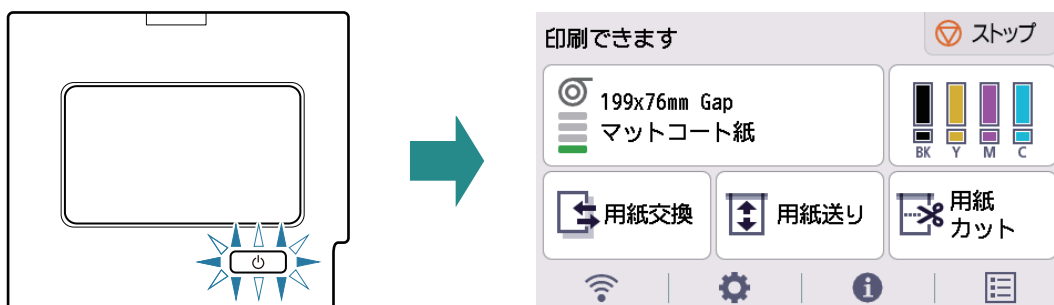
電源を入れる / 切る

■ 電源を入れる

1 電源ボタンを押して、プリンターの電源を入れる



電源ボタンが点灯し、プリンターが起動します。
起動が完了するとスタンバイ状態になります。



以下の場合、スタンバイ状態になりません。必要な処置を行ってください。

- トップカバーが開いている場合
→ トップカバーを閉じてください。
- インクタンクカバーが開いている場合
→ インクタンクカバーを閉じてください。
- プリントヘッドがセットされていない場合
➡ **プリントヘッドを交換する (P.269)**
- インクタンクがセットされていない場合
➡ **インクタンクを交換する (P.262)**
- タッチスクリーンに [エラー] が表示された場合
→ タッチスクリーンのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。
- 電源ボタンやステータスランプが一度も点灯しなかったり、タッチスクリーンに何も表示されない場合
→ 電源コードやコンセントの接続を確認してください。

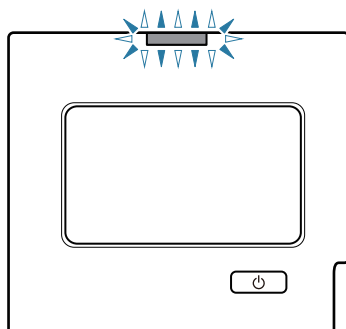
■ 電源を切る

✓ 重要

- ・ プリンターの動作中は、絶対に電源を切ったり、電源コードを抜かないでください。プリンターの故障や破損の原因になります。

1 プリンターが動作中でないことを確認する

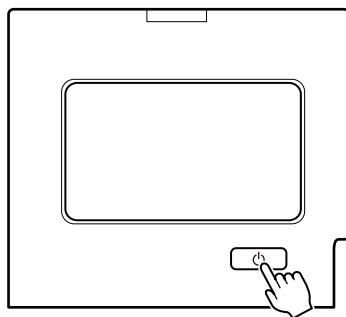
ステータスランプの点滅中はプリンター動作中です。ランプの色に応じて次の状況を意味します。



ステータスランプがオレンジ色に点滅している場合は、タッチスクリーンのメッセージを確認して必要な処置を行ってください。

ステータスランプが白色に点滅している場合は、印刷やデータの受信などを行っています。ステータスランプが消灯してから電源を切ってください。

2 電源ボタンを 1 秒以上押し続ける



タッチスクリーンに「終了しています しばらくお待ちください」と表示され、電源が切れます。

印刷を中止する

タッチスクリーンの〔ストップ〕を押すと、プリンターで受信中、または印刷中のジョブを中止できます。



印刷時に〔ストップ〕を押した場合、そのときの状況によってプリンターの動作が異なります。

- 印刷が開始される前に〔ストップ〕を押した場合
→ 印刷の開始前に〔ストップ〕を押すと、確認画面が表示されます。〔はい〕を選ぶと、印刷ジョブがキャンセルされます。
- 印刷中に〔ストップ〕を押した場合
→ 印刷中に〔ストップ〕を押すと、確認画面が表示されます。〔はい〕を選ぶと、すぐに印刷が中止されます。

メモ

- 印刷済みの用紙をカットする場合は〔用紙カット〕を押します。
➡ **用紙をカットする (P.65)**

印刷を一時停止状態にする

印刷中に、[印刷の一時停止]を[有効]に設定すると、設定した時点での印刷が終了後、プリンターは印刷停止状態になります。

印刷停止状態では、すべての印刷が実行されません。

印刷停止状態を解除するには[印刷の一時停止]を[無効]に設定します。

メモ

- 以下の場合は、[印刷の一時停止]を[無効]に設定しなくても印刷停止状態が解除されます。
 - 給紙した場合
 - 用紙設定表示部から用紙の種類を変更した場合

1 印刷中に、ホーム画面で (ジョブ管理) を押す



2 [印刷の一時停止] を押す

3 [有効] を押す

Chapter 2

用紙の取り扱い



用紙のセット方法

<https://ftn.canon/lgp800/index.html>



ロール紙を使う.....	35	用紙の先端余白を設定する.....	68
ロール紙をプリンターにセットする.....	35	用紙のカット屑を軽減する.....	69
ロール紙をプリンターから取り外す.....	44	インク乾燥時間を設定する.....	70
ロール紙をロールホルダーから取り外す.....	46	電源を切っている間のロール紙交換を検知する.....	71
カット紙を使う.....	47	用紙について.....	72
カット紙をプリンターにセットする.....	47	使用可能な用紙の種類・形状・サイズ.....	72
カット紙をプリンターから取り外す.....	49	ユーザー定義用紙の設定可能範囲.....	73
プリンター外部から用紙をセットして使う	50	用紙の取り扱いについての注意事項.....	80
プリンター外部から用紙をセットする.....	50	プリンターの用紙情報を管理する.....	81
プリンター外部からセットした用紙を取り外す.....	55		
用紙に関する設定.....	56		
用紙の種類を変更する.....	56		
用紙のサイズを設定する.....	57		
ロール紙の残量を管理する.....	60		
用紙のカット方法を設定する.....	63		
用紙を手動で送る.....	64		
用紙をカットする.....	65		
ロール紙の先端を自動でカットする.....	66		

ロール紙を使う

ロール紙をプリンターにセットする

以下の手順でロール紙をプリンターにセットします。

動画

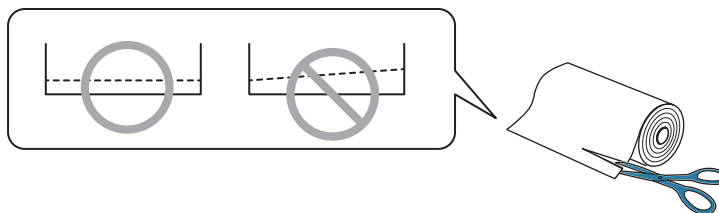
ロール紙をセットする

<https://ftn.canon/lgp800/index.html>

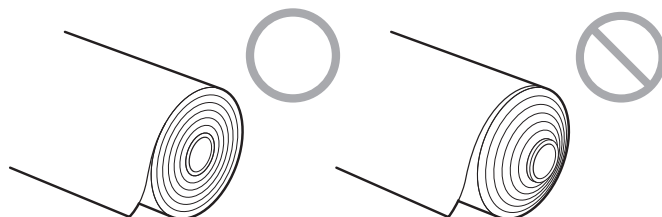


重要

- ロール紙をセットする前に、トップカバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをおすすめします。
➡ **トップカバー内部を清掃する (P. 283)**
- ロール紙を取り扱う際は、印刷面を汚さないように注意してください。印刷面が汚れると、印刷品質が低下する場合があります。ロール紙の取り扱い時には手袋の着用をおすすめします。
- ロール紙の先端が不揃いだったり、汚れやテープの跡がある場合は、あらかじめ切り揃えてください。ダイカットラベルの場合は、ラベルとラベルの間にあるセパレーター部分でカットしてください。適切な処理を行わずに使用すると、給紙不良や印刷品質の低下の原因になります。



- 用紙にしわやカールがある場合は、しわやカールを取ってからセットしてください。
- ロール紙の端面は、巻き揃えておいてください。給紙不良の原因になります。



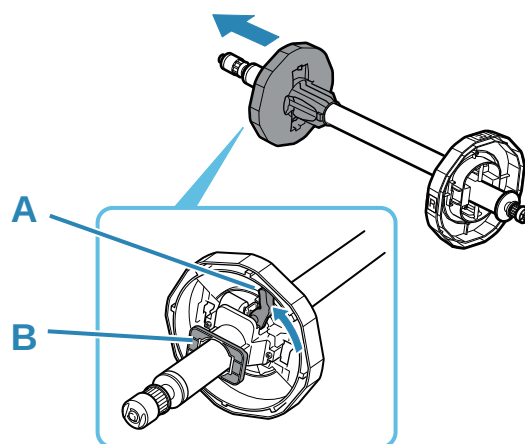
- ロール紙の取り扱い / 保管には注意が必要です。「**用紙の取り扱いについての注意事項 (P. 80)**」を参照してください。
- 印刷中は、リリースレバーには手を触れないでください。誤って操作すると、紙づまりや、罫線ずれ、色ずれの原因になります。
- 印刷中にリリースレバーを動かすと、エラーメッセージが表示されます。その場合は、プリンターの電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。
- 印刷された用紙は、排紙口付近にためずに取り除いてください。
- 印刷後に用紙が排紙口から落下するのを防ぎたい場合は、カットモードを「**イジェクトカット**」に設定してください。この設定により、印刷後に用紙が自動的に切り離されず、印刷結果を確認した後に手動でカットすることができます。
➡ **用紙のカット方法を設定する (P. 63)**

メモ

- 使用できるロール紙のサイズと種類については、「[用紙について \(P. 72\)](#)」を参照してください。
- ファンフォールド紙または他の装置にセットしたロール紙を使用する場合の手順については、「[プリンター外部から用紙をセットして使う \(P. 50\)](#)」を参照してください。

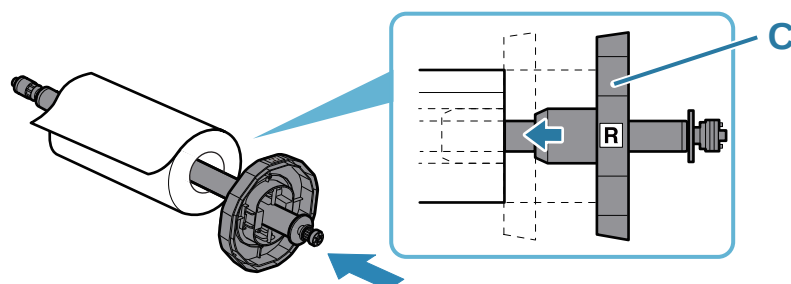
■ ロール紙をロールホルダーにセットする

- 1 ホルダーストッパーのレバー（A）を  の方向に回してロックを解除し、取っ手（B）を持ってホルダーストッパーを取り外す



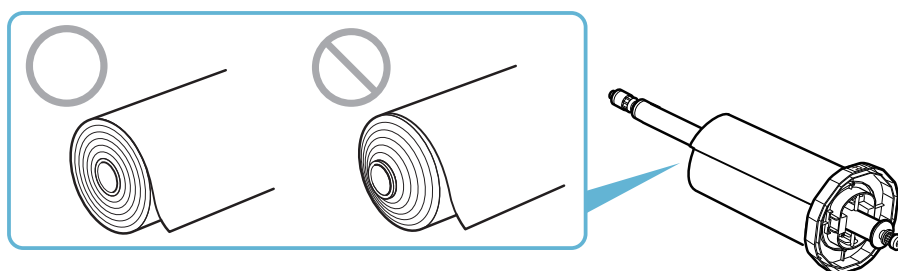
- 2 ロール紙の先端を手前側に向けて、ロール紙の右側からロールホルダーを差し込む

ロールホルダーは、フランジ（C）とロール紙がすき間なく突き当たるまで、しっかりと差し込んでください。特に幅の狭い用紙を使用する場合は、セットが不十分だと給紙不良や印刷位置のずれが発生する可能性がありますので、確実に取り付けてください。



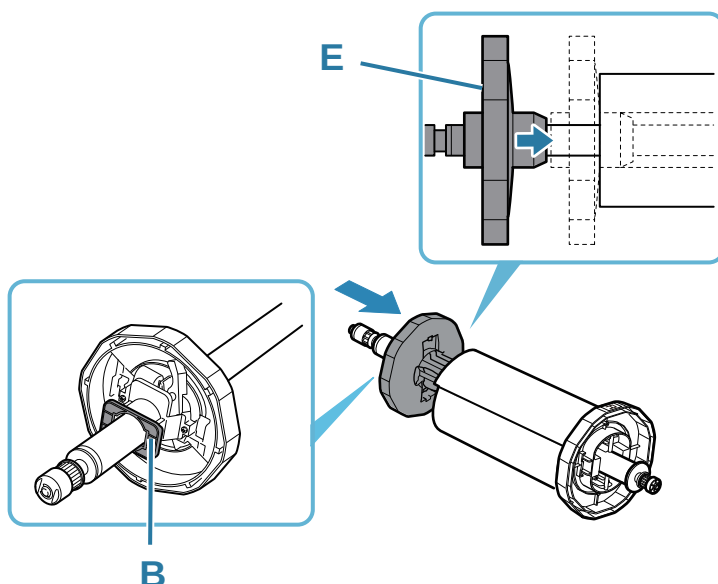
Ⓢ 重要

- ロール紙をセットするときに、強い衝撃を与えないでください。ロールホルダーが破損する原因になります。
- ロールホルダーを立てた状態で、ロール紙を上から落とすようにしてセットすると、ホルダーが破損する恐れがあります。
- ロール紙をロールホルダーに取り付けた後、端面がずれている場合は、ホルダーストッパーを取り付ける前に、紙を巻き揃えてください。端面が平らに整っていないと、ロール紙が正しくロールホルダーにセットされず、給紙不良の原因となることがあります。

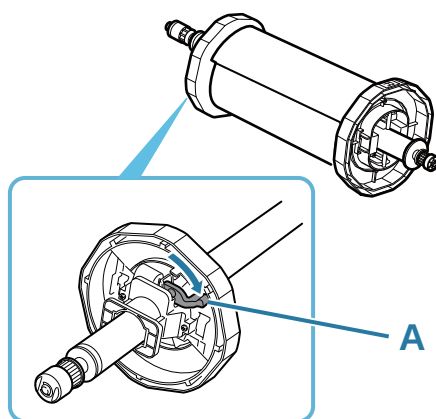


3 ホルダーストッパーを左側からロールホルダーに差し込み、取っ手（B）を持ってホルダーストッパーのフランジ（E）がロール紙に突き当たるまでしっかりと押し込む

ロールホルダーは、フランジ（E）とロール紙がすき間なく突き当たるまで、しっかりと差し込んでください。特に幅の狭い用紙を使用する場合は、セットが不十分だと給紙不良や印刷位置のずれが発生する可能性がありますので、確実に取り付けてください。

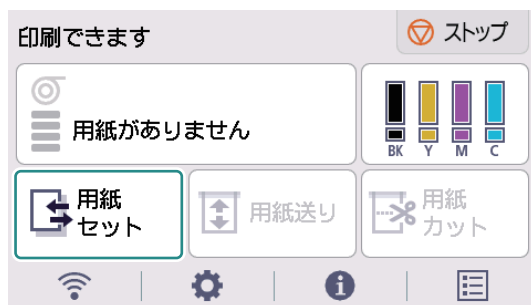


4 ホルダーストッパーのレバー（A）を の方向に回してロックする



■ ロールホルダーをプリンターにセットする

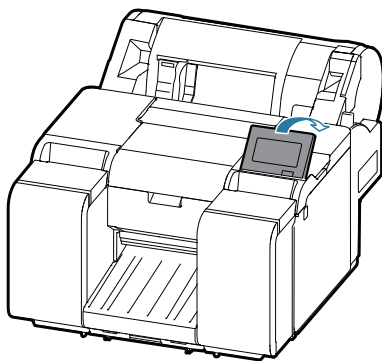
1 ホーム画面で「用紙セット」または「用紙交換」を押す



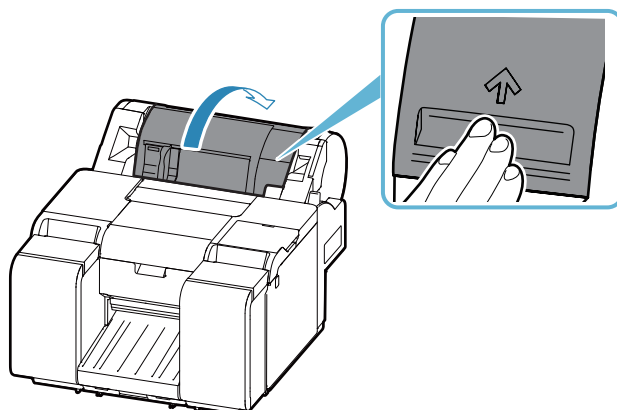
2 「ロール紙をセットする」を押す

使用しない用紙が給紙されている場合は、用紙を外すメッセージが表示されます。画面に従って用紙を取り外した後、次の手順に進んでください。

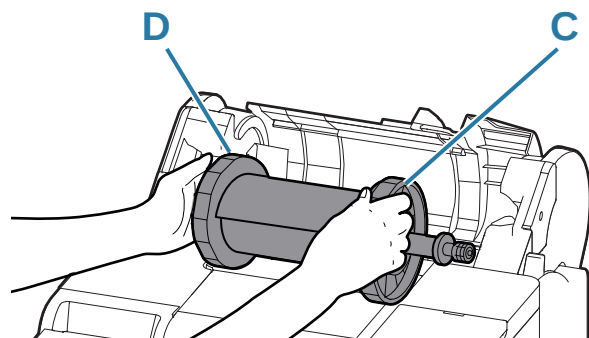
3 操作パネルを倒す



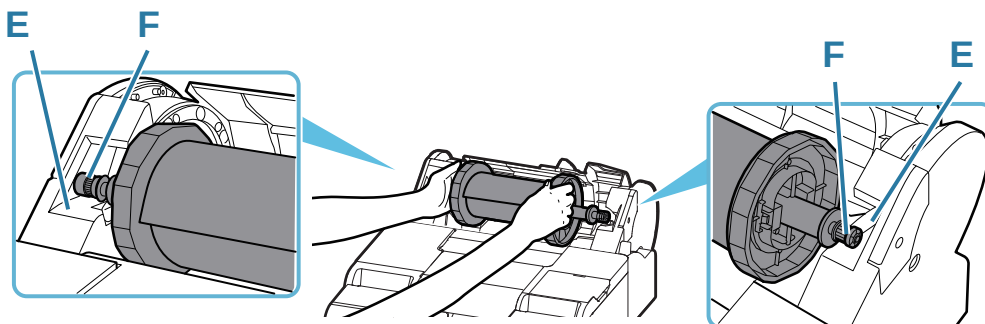
4 図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開く



5 ロールホルダーのフランジ（C,D）を持って、ロールホルダーを仮置き台（プリンター上面のくぼみ）に置く



6 左右のスライドガイド（E）に沿って水平にロールホルダーズロットにセットする



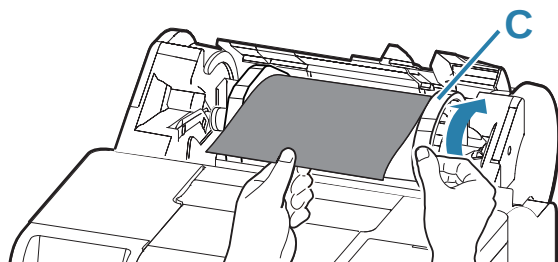
⚠ 注意

- ロールホルダーの左右を間違えた状態で無理にセットしないでください。プリンターやロールホルダーを破損する場合があります。
- ロールホルダーズロットにセットするまでフランジから手を離さないでください。
- セットするときに、スライドガイド（E）とロールホルダーの軸（F）の間に指が挟まれないように注意してください。

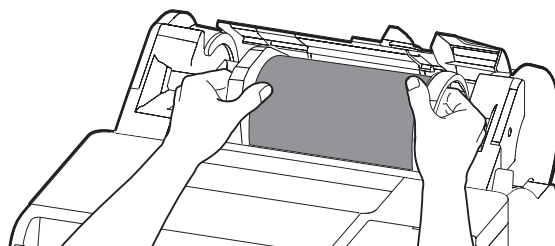
✓ 重要

- ロール紙の先端が斜めになっていたり折れていたりすると、正しく給紙されない場合があります。先端部分をはさみなどでカットしてまっすぐにしてください。また、ダイカットラベルの場合は、ラベルとラベルの間にあるセパレーター部分でカットしてください。

7 ロール紙の先端およびフランジ（C）を持ちながらロールホルダーを後方に回して、たるみをしっかり取る

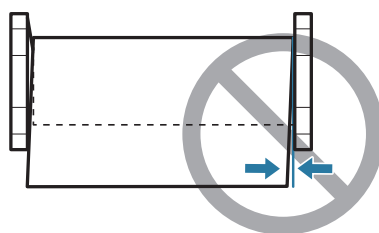


たるみを取ったあとは、再度ロール紙がたるまないようにロール紙の端を指で押さえてください。



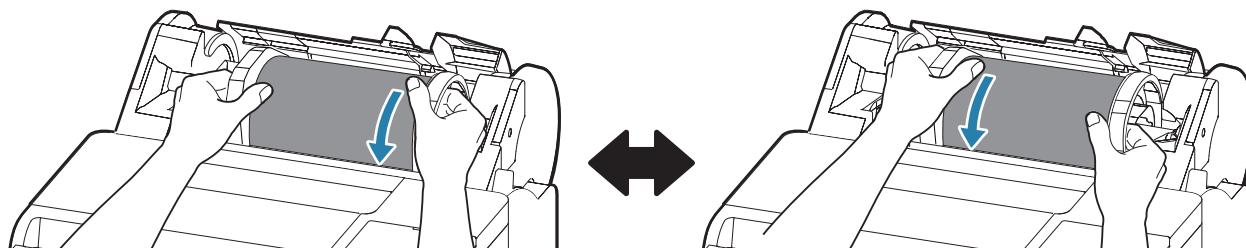
☑ 重要

- ・ たるみを取るときは、ロール紙の右端とロールホルダーの間にすき間ができないように巻き取ってください。



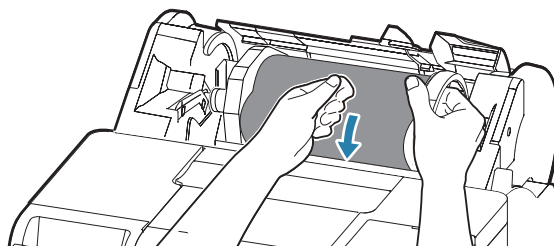
8 ロール紙がたるまないように端を指で押さえながらロールホルダーを持ち、ロールホルダーを回転させてロール紙を給紙口へ送り込む

「ピピッ」と音が鳴ると、給紙動作を開始します。



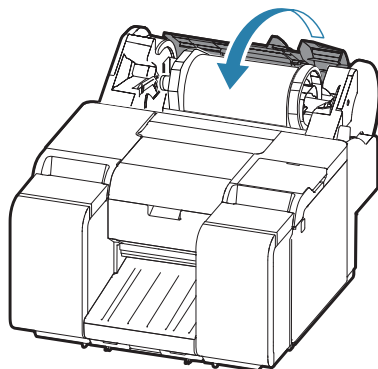
✓ 重要

- 音が鳴るまでは、ロール紙を押さええている指を離さないでください。ロール紙がたるむと斜めにセットされてエラーになります。
- ロール紙に強いカール（巻きぐせ）があると、用紙が浮き上がり、給紙口に正しく送られないことがあります。このような場合は、浮き上がった部分の中央部を軽く手で押さえながら給紙してください。



- ロール紙を押さえる際は、ロール紙の端を指で押さえてください。印刷面が汚れると、印刷品質が低下する場合があります。または、印刷面を保護するために手袋の着用をおすすめします。
- セパレーター部分が折れたり破れたりしないように注意してください。正しく給紙されない場合があります。

9 ロール紙カバーを閉じる



10 用紙のサイズを選ぶ

タッチスクリーンに用紙のサイズを選ぶメニューが表示されます。タッチスクリーンを操作して、使用する用紙のサイズを選んでください。

使用する用紙サイズが一覧にない場合は、用紙サイズを設定します。

➡ [用紙のサイズを設定する \(P. 57\)](#)

11 [設定]を押す

[参照 / 編集] を押すと、前の手順で選んだ用紙のサイズを変更することができます。

➡ [用紙のサイズを設定する \(P. 57\)](#)

12 用紙の種類を選ぶ

タッチスクリーンに用紙の種類を選ぶメニューが表示されます。タッチスクリーンを操作して、使用する用紙の種類を選んでください。



- ・ 本プリンターで利用できる用紙の種類については、「[用紙について \(P. 72\)](#)」を参照してください。
- ・ [用紙種類の選択方法] を [固定] にしている場合、用紙の種類を選ぶ必要はありません。

13 プリンターの調整を行う

1. ご使用のアプリケーションソフトから印刷する
 2. 印刷結果を確認する
- 次のような場合は、プリンターを調整してください。

周期的な濃淡差ある、色味の違う横スジが入る場合：



➡ [用紙の送り量を調整する \(P. 303\)](#)

画像がかたよって印刷されている場合：



➡ [印刷位置を調整する \(P. 304\)](#)

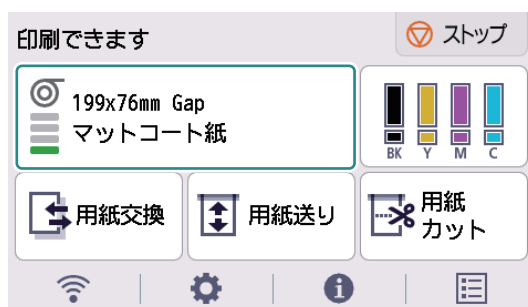
ロール紙をプリンターから取り外す

以下の手順でロール紙をプリンターから取り外します。

メモ

- 印刷済みのロール紙をカットする必要がある場合は、任意の位置で用紙をカットします。
➡ 用紙をカットする (P.65)

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す

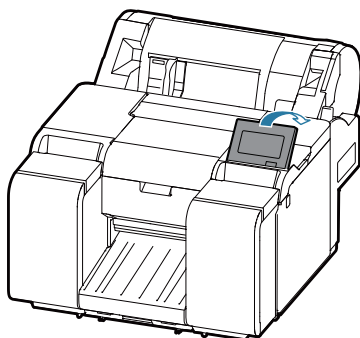


2 「用紙の取り外し」を押す

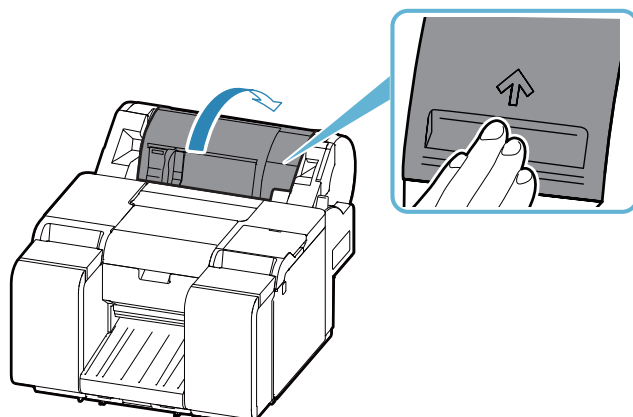
3 「はい」を押す

ロール紙が巻き戻されます。

4 操作パネルを倒す

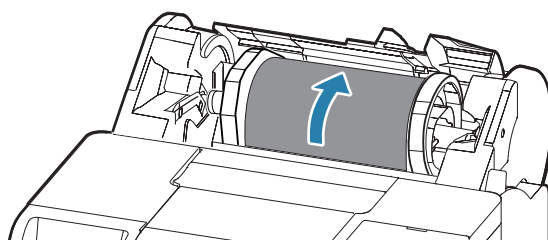


5 図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開く

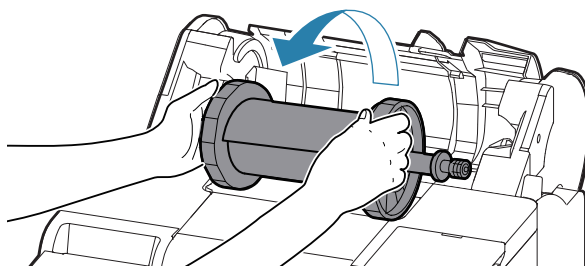


6 ロールホルダーを後方に回してロール紙を巻き取る

このとき、ロール紙の端部がきれいに揃うように巻き取ってください。

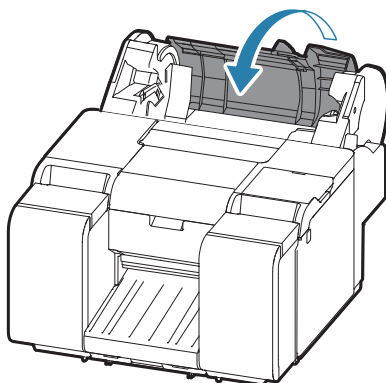


7 図のようにロールホルダーを持って、ロールホルダースロットから取り外す



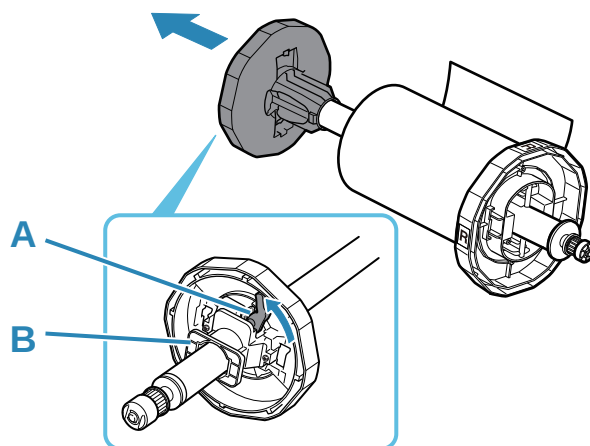
ロール紙からロールホルダーを取り外す手順は「[ロール紙をロールホルダーから取り外す \(P. 46\)](#)」を参照してください。

8 ロール紙カバーを閉じる

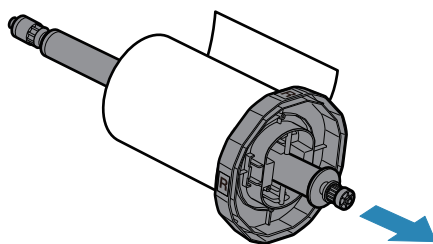


ロール紙をロールホルダーから取り外す

- 1 ホルダーストッパーのレバー（A）を  の方向に回してロックを解除し、取っ手（B）を持ってホルダーストッパーをロールホルダーから取り外す



- 2 ロール紙からロールホルダーを取り外す



✓ 重要

- ロール紙は入っていた袋または箱に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。正しく保管しておかないと、印刷時に、印刷面がこすれたり、印刷品質が低下する場合があります。

カット紙を使う

カット紙をプリンターにセットする

以下の手順でカット紙をプリンターにセットします。

動画

カット紙をセットする

<https://ftn.canon/lgp800/index.html>



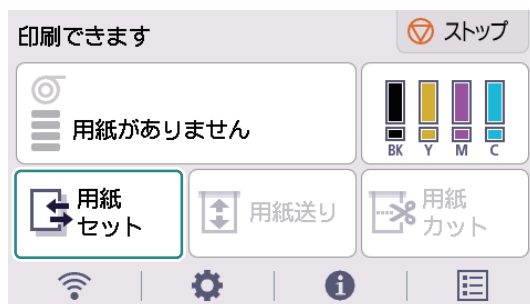
重要

- ・給紙口にセットできる用紙は 1 枚です。2 枚以上セットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ・給紙前や印刷前に、用紙がロール紙カバーに沿っていることを確認してください。用紙が手前に倒れた状態で給紙および印刷をすると、紙づまりの原因になります。
- ・用紙が波打っていたり、たわんでいる場合、紙づまりの原因になります。用紙は平らな状態になおしてからセットしてください。
- ・用紙はまっすぐにセットしてください。斜めにセットするとエラーになります。
- ・カット紙をセットする前に、トップカバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをおすすめします。
➡ **トップカバー内部を清掃する (P. 283)**
- ・印刷中は、リリースレバーには手を触れないでください。誤って操作すると、紙づまりや、罫線ずれ、色ずれの原因になります。
- ・印刷中にリリースレバーを動かすと、エラーメッセージが表示されます。その場合は、プリンターの電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。

メモ

- ・使用しない用紙は入っていた袋に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- ・印刷後は、「**カット紙をプリンターから取り外す (P. 49)**」の手順に従って用紙を取り外してください。

1 ホーム画面で「用紙セット」または「用紙交換」を押す

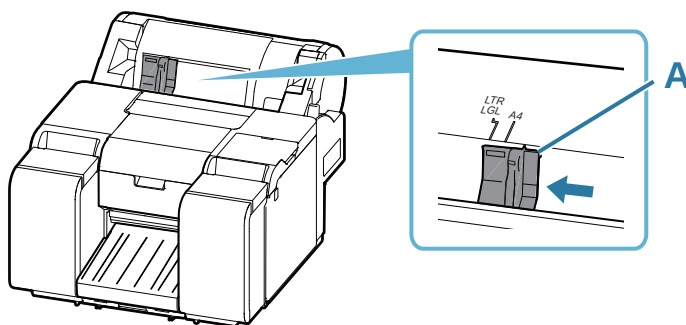


メモ

- ・事前に印刷ジョブを受信している場合、画面の指示に従って、「用紙をセットする」を選んでください。

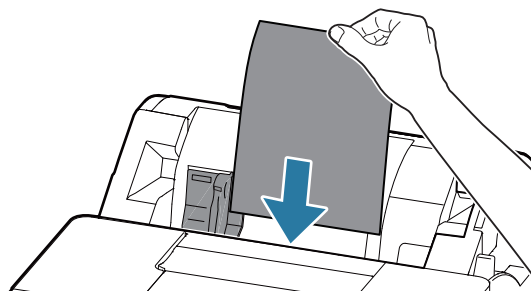
2 「カット紙をセットする」を押す

3 幅ガイド（A）をスライドし、セットする用紙のサイズの刻印に合わせる



4 印刷面を表に向け、給紙口に用紙を1枚セットする

用紙を、上から給紙口に向けて、自然に落ちるようにセットします。



5 「給紙開始」を押す

給紙方法の確認画面が表示されます。

6 「カット紙」を押す

7 用紙の種類を選ぶ

タッチスクリーンに用紙の種類を選ぶメニューが表示されます。
タッチスクリーンを操作して、使用する用紙の種類を選んでください。



- ・ 本プリンターで使用できる用紙の種類については、「[用紙について \(P.72\)](#)」を参照してください。
- ・ 「用紙種類の選択方法」を「固定」にしている場合、用紙の種類を選ぶ必要はありません。

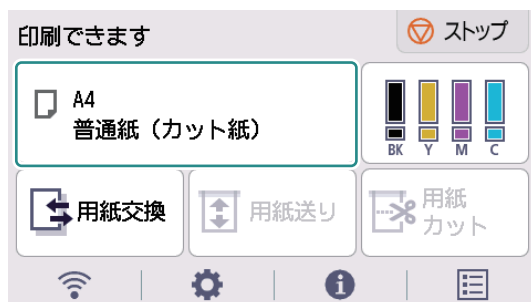
8 用紙の長さを入力する画面が表示されたら、用紙の長さを入力する

前回のカット紙印刷が「A4」だった場合は表示されません。

カット紙をプリンターから取り外す

以下の手順でカット紙をプリンターから取り外します。

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す

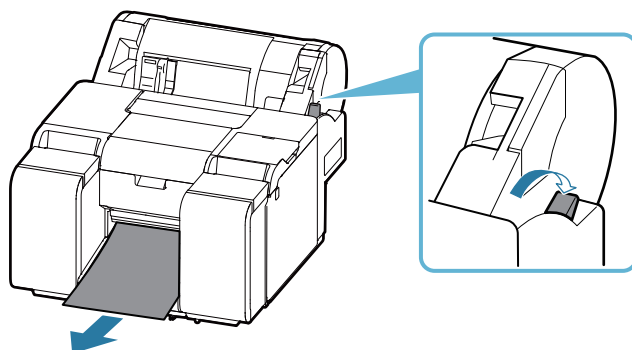


2 [用紙の取り外し]を押す

3 メッセージの内容を確認し、[はい]を押す

カット紙は前側に排紙されます。

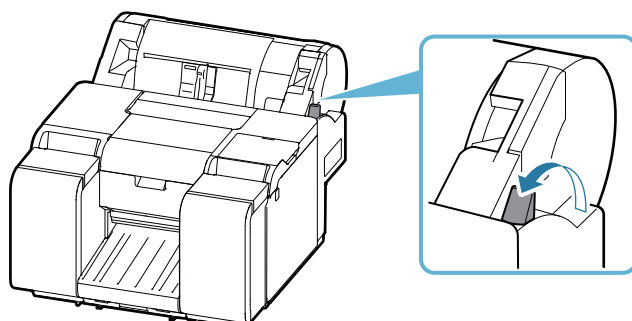
4 用紙を持ちながらリリースレバーを後ろ側に押して、カット紙を取り外す



重要

- リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。操作を誤った場合は、エラーメッセージが表示されてプリンターの再起動が必要になります。

5 リリースレバーを手前側に引く



プリンター外部から用紙をセットして使う

プリンター外部から用紙をセットする

ファンフォールド紙または他の装置にセットしたロール紙を使用する場合は、以下の手順で用紙をセットします。ここでは、ファンフォールド紙をセットする手順を例に説明します。

🎥 動画

ファンフォールド紙をセットする

<https://ftn.canon/lgp800/index.html>



✔ 重要

- 用紙をセットする前に、トップカバー内部や排紙ガイドが汚れていないか確認してください。汚れている場合はあらかじめ清掃しておくことをおすすめします。
➡ **トップカバー内部を清掃する (P. 283)**
- 印刷中は、リリースレバーには手を触れないでください。誤って操作すると、紙づまりや、罫線ずれ、色ずれの原因になります。
- 印刷中にリリースレバーを動かすと、エラーメッセージが表示されます。その場合は、プリンターの電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。
- 印刷された用紙は、排紙口付近にためずに取り除いてください。

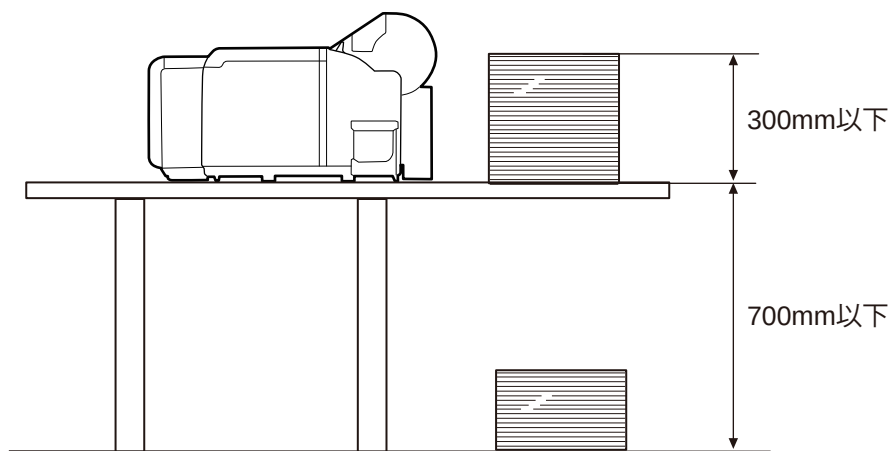
📖 メモ

- 使用しない用紙は入っていた袋に戻し、高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 本プリンターで利用できる用紙の種類については、「**用紙について (P. 72)**」を参照してください。

1 プリンターの後方へ用紙を置く

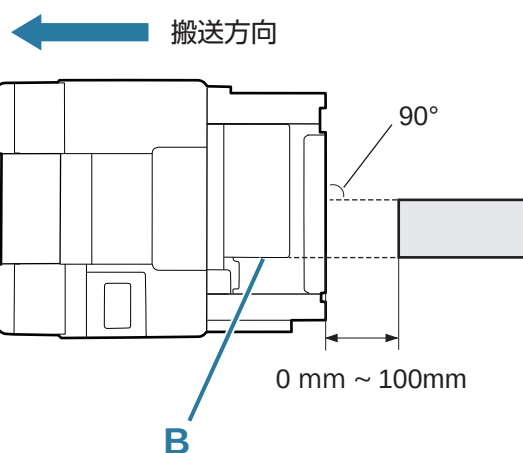
ファンフォールド紙の場合、用紙の束の高さは 300 mm以下にしてください。

また、用紙の束を床に置いて使用する場合は、高さ 700 mm以下の台にプリンターを置くことをおすすめします。



用紙の束は、プリンターから 100 mm以上離さないでください。

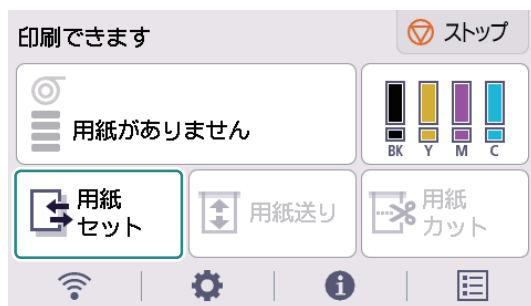
また、図のロール紙カバーのガイド (B) に対して斜めにならないように用紙の束を置いてください。



④ 重要

- 用紙束の高さを調整する場合は、必ずファンフォールド紙の折り目の位置で用紙を切り離してください。折り目以外の位置で切り離した用紙束をプリンターにセットすると、最後の用紙が折れて重なった状態で印刷され、紙づまりの原因となることがあります。

2 ホーム画面で「用紙セット」または「用紙交換」を押す

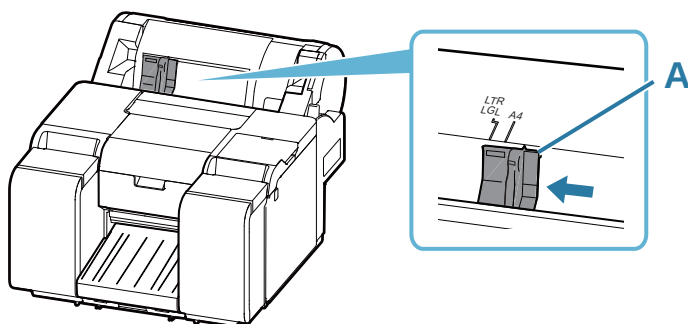


メモ

- ・ 事前に印刷ジョブを受信している場合、画面の指示に従って、「用紙をセットする」を選んでください。

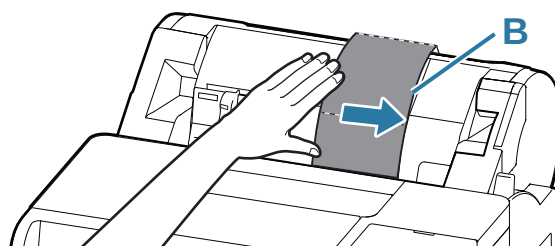
3 「外部から用紙をセットする」を押す

4 幅ガイド（A）を、用紙の幅より少し広い位置まで移動する



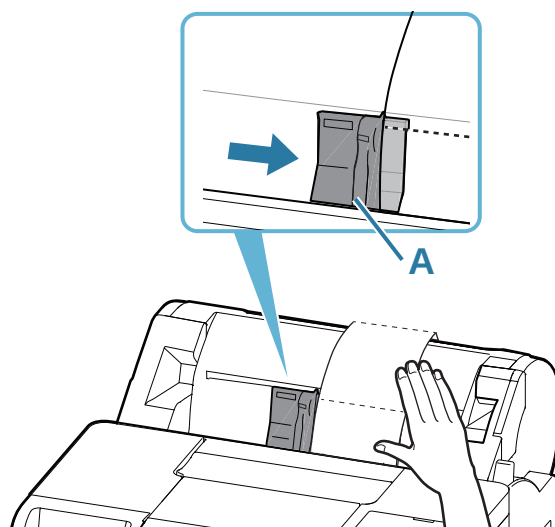
5 用紙の右端をロール紙カバーの右側のガイド（B）に沿わせる

用紙の右端がロール紙カバーの右側のガイド（B）に対してまっすぐになるように、用紙の束の位置を微調整してください。



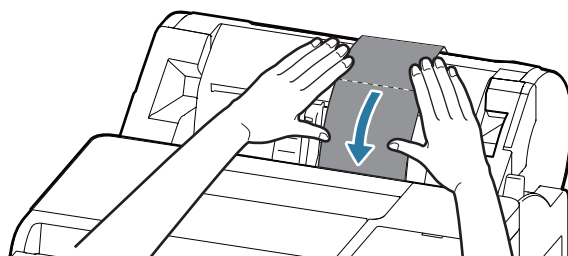
6 幅ガイド（A）をスライドし、セットする用紙幅に合わせる

セットした用紙が傾いたりしわにならないように、幅ガイドを用紙にぴったり合わせてください。



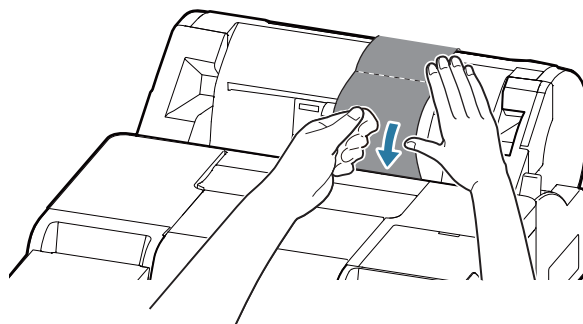
7 図のように、用紙を押さえながら給紙口へ送り込む

「ピピッ」と音が鳴ると、給紙動作を開始します。



④ 重要

- 音が鳴るまでは、用紙から指を離さないでください。用紙が斜めにセットされてエラーになります。
- ミシン目部分で用紙が折れ、浮き上がることで、給紙口に正しく送られないことがあります。このような場合は、浮き上がった部分を軽く手で押さえながら給紙してください。



- 用紙を押さえる際は、用紙の端を指で押さえてください。印刷面が汚れると、印刷品質が低下する場合があります。または、印刷面を保護するために手袋の着用をおすすめします。
- セパレーター部分が折れたり破れたりしないように注意してください。正しく給紙されない場合があります。

8 「外部給紙」を押す

9 用紙サイズを選ぶ

10 「設定」を押す

「参照 / 編集」を押すと、前の手順で選んだ用紙のサイズを変更することができます。

➡ [用紙のサイズを設定する \(P. 57\)](#)

11 用紙の種類を選ぶ

タッチスクリーンに用紙の種類を選ぶメニューが表示されます。タッチスクリーンを操作して、使用する用紙の種類を選んでください。

📖 メモ

- ・ 本プリンターで利用できる用紙の種類については、「[用紙について \(P. 72\)](#)」を参照してください。
- ・ 「用紙種類の選択方法」を「固定」にしている場合、用紙の種類を選ぶ必要はありません。

12 プリンターの調整を行う

1. ご使用のアプリケーションソフトから印刷する
 2. 印刷結果を確認する
- 次のような場合は、プリンターを調整してください。

周期的な濃淡差ある、色味の違う横スジが入る場合：



➡ [用紙の送り量を調整する \(P. 303\)](#)

画像がかたよって印刷されている場合：



➡ [印刷位置を調整する \(P. 304\)](#)

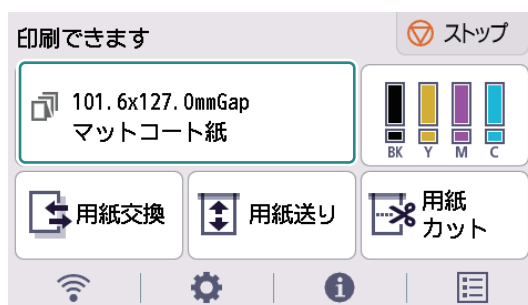
プリンター外部からセットした用紙を取り外す

以下の手順で用紙をプリンターから取り外します。

メモ

- 印刷済みのロール紙をカットする必要がある場合は、任意の位置で用紙をカットします。
➡ [用紙をカットする \(P.65\)](#)

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す

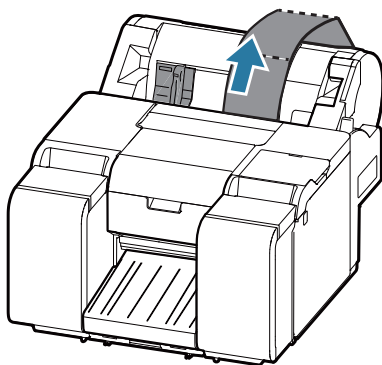


2 [用紙の取り外し] を押す

用紙が給紙方向に戻されます。

3 [はい] を押す

4 用紙を取り外す



用紙に関する設定

用紙の種類を変更する

メモ

- 本プリンターには、用紙のセット時にセンサーで読み取ったデータにより用紙の種類を推定する機能があります。この機能を使い続けると、読み取ったデータを学習し、用紙種類の推定精度がより高くなります。

➡ 本体設定（用紙関連の設定）（P.155）

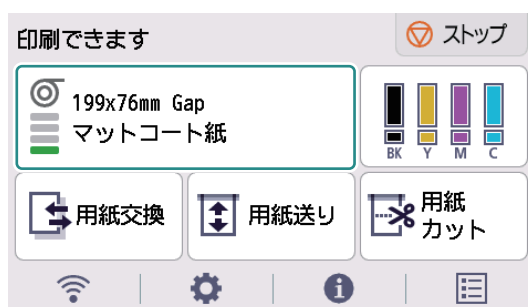
- 同じ種類の用紙を使い続ける場合は、[用紙種類の選択方法]を[固定]に設定すると、用紙をセットする際に、[固定]に設定する前に選んだ用紙の種類が自動的に選ばれ、用紙の種類を設定する手間が省けます。

➡ 本体設定（用紙関連の設定）（P.155）

重要

- 本プリンターは使用する用紙に適した印刷を行うために、給紙する用紙の種類を正しく選んでください。

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 [用紙設定]を押す

3 [用紙種類]を押す

4 プリンターにセットされている用紙の種類を選ぶ

重要

- 必ず正しい用紙の種類を選んでください。セットした用紙の種類と設定値が合っていないと、用紙送りのエラーや印刷品質の低下の原因になります。

メモ

- 用紙の種類については、「用紙について (P.72)」を参照してください。
- リリースレバーを操作すると、設定値は自動的に最後に選んだ用紙に戻ります。

5 [登録]を押す

用紙のサイズを設定する

✓ 重要

- 用紙のサイズは正しく入力してください。セットした用紙のサイズと設定値が合っていないと、用紙送りのエラーや印刷品質の低下の原因になります。

📖 メモ

- 長さの単位は、ホーム画面から  (セットアップ) → [本体設定] → [その他の本体設定] → [長さの単位設定] を選んで設定できます。

➡ 本体設定 (その他の本体設定) (P. 159)

■ ロール紙、ファンフォールド紙の場合

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 [用紙設定] を押す

3 [サイズ名] を押す

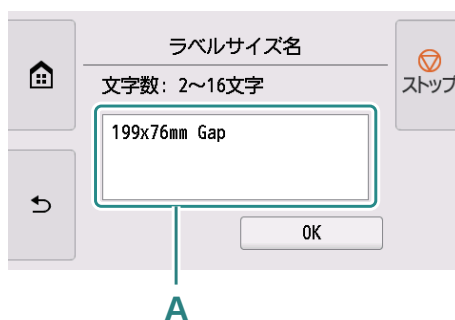
4 「ラベルサイズ一覧」から変更したい用紙サイズを選ぶ

5 [参照 / 編集] を押す

6 登録されている名称を変更する

名称を変更しない場合は、次の手順へ進み設定を続けてください。

1. [ラベルサイズ名] を選ぶ
2. A を選ぶ



3. 名称を入力し、[OK] を選ぶ



名称は半角、全角ともに 16 文字まで入力できます。

4. [OK] を選ぶ

7 用紙のサイズを変更する

[ラベル用紙の形状]、[ラベルの幅]、[ラベルの長さ]、[左ギャップの量]、[右ギャップの量]、[上下ギャップの量]、[ブラックマークの長さ] を順に選び、数値を入力します。

メモ

- ・ 用紙の形状によって、入力が必要な項目は異なります。
- ・ 設定可能な範囲については、「[ユーザー定義用紙の設定可能範囲 \(P. 73\)](#)」を参照してください。
- ・ 用紙をプリンターにセットした後に用紙設定を変更する場合、用紙の形状は変更できません。設定を変更する際は、用紙を取り外してから行ってください。

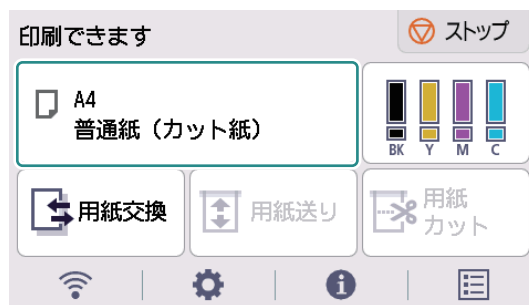
8 (戻る) を押す

9 [設定] を押す

10 [登録] を押す

■ カット紙の場合

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 [用紙設定] を押す

3 [用紙サイズ] を押す

4 [ユーザー定義用紙] を押す

5 カット紙の幅を入力して、[OK] を押す

6 カット紙の長さを入力して、[OK] を押す

7 [登録] を押す

ロール紙の残量を管理する

ロール紙の残量は、ロール紙の残量を推定して管理します。

〔ロール紙残量管理〕を〔有効〕に設定したときに、ロール紙の残量を推定してタッチスクリーンに表示します。

📌 重要

- ・ 残量推定を正確に行うには、紙管外径サイズと紙厚が正しく設定されている必要があります。あらかじめ登録されている用紙種類については、紙管外径サイズと紙厚が設定されています。
- ・ 用紙の種類を正しく選んでいない場合は、残量が正しく推定できないことがあります。
- ・ 推定された残量には誤差があり、印刷中に用紙切れになる場合もあります。

📖 メモ

- ・ あらかじめ登録されている用紙種類以外の用紙を使用するときは、〔用紙の詳細設定〕（→ P.149）または「Media Configuration Tool for Label」で紙の厚さと紙管外径サイズを設定してください。紙の厚さと紙管外径サイズについては、用紙メーカーにお問い合わせください。

1 ホーム画面で （セットアップ）を押す

2 〔本体設定〕→〔用紙関連の設定〕を押す

3 〔ロール紙残量管理〕を押す

4 〔有効〕を押す

先頭のラベルを印刷する

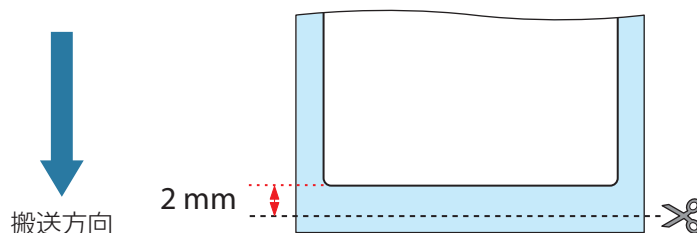
初期設定では、用紙の長さが 297mm を超える場合、印刷開始位置を正確に合わせるため、用紙をセットした直後の最初の印刷では先頭のラベルが白紙となり、2 枚目のラベルから印刷が開始されます。

先頭のラベルから印刷したい場合は、以下の手順で設定してください。

1 用紙の長さが 297mm を超える場合は、はさみなどを使用して、セパレーターを以下のようにカットする

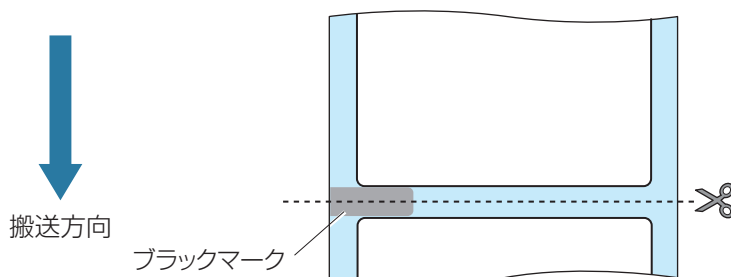
用紙形状が「ダイカットラベル / ギャップ」の場合：

ラベルの先端から 2 mm の位置でカットしてください。



用紙形状が「ダイカットラベル / ブラックマーク」、「全面ラベル / ブラックマーク」、「タグ紙 / ブラックマーク」の場合：

ブラックマークの中央の位置でカットしてください。



メモ

- 用紙の長さが 297mm 以下の場合は、セパレーターをカットする必要はありません。

2 ホーム画面で (セッティング) を押す

3 [本体設定] → [用紙関連の設定] を押す

4 [先頭部ラベルの使用] を押す

5 [ラベルの長さ 297 mm 超] を押す

6 用紙形状を選ぶ

用紙形状が「ダイカットラベル / ブラックマーク」、「全面ラベル / ブラックマーク」、「タグ紙 / ブラックマーク」の場合は、[ブラックマーク基準ラベル] を選びます。

7 画面のメッセージを確認して、[OK] を押す

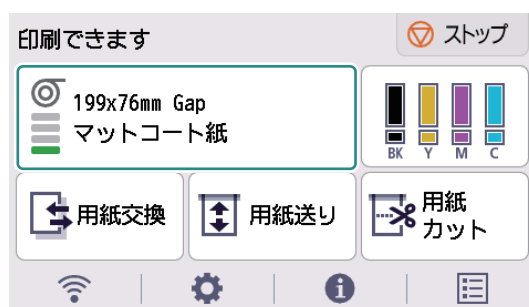
8 [する] を押す

用紙のカット方法を設定する

メモ

- ・ [自動カット]、[イジェクトカット] は、プリンタードライバーの [オートカット] にチェックマークが付いている場合のみ動作します。
 ➡ [ページ設定] シート (P.91)
- ・ [イジェクトカット] で連続印刷をする場合は、印刷後に用紙をカットしないと次の印刷が開始しません。
- ・ カットする用紙の長さが短い場合は、カット不良や排紙不良を防ぐために用紙を規定の長さまで送ってからカットします。規定の長さは以下の通りです。
 - 用紙形状が全面ラベル / 区切りなし、タグ紙 / 区切りなしの場合：15 mm
 - 上記以外の場合：用紙 1 枚分
 * ただし、自動的に最小カット長が 38.1mm (1.50 インチ) 未満にならないように調整されます。
- ・ 印刷された用紙は、排紙口付近にためずに取り除いてください。

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 [用紙設定] → [詳細設定] → [カットモード] を押す

3 設定を選ぶ

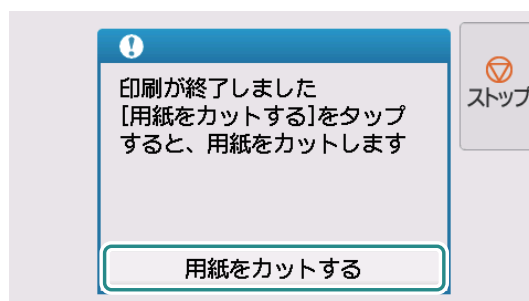
[自動カット]

カッターブレードで用紙を自動的にカットします。

[イジェクトカット]

タッチスクリーンからカッターブレードを動かして用紙をカットします。インクの乾燥を目視で確認しながらカットできるので、インクが乾いていない状態で用紙が重なることを防げます。

印刷終了時に、[用紙をカットする] を選んで用紙をカットします。



重要

- ・ カットする前に印刷物を支えるときは、用紙を持ち上げないでください。用紙が浮き上がると、印刷品質が低下したり、切断面がみだれる場合があります。

用紙を手動で送る

用紙を前後に送ることができます。

メモ

- ・カット紙の場合は、用紙を送れません。

1 ホーム画面で「用紙送り」を押す



2 「送り出す」、「巻き戻す」を押して、用紙を前後に送る

用紙形状が「全面ラベル / 区切りなし」または「タグ紙 / 区切りなし」の場合：

「送り出す」、「巻き戻す」を押すと、用紙が約 1 mm (0.1 インチ) 送られます。

「送り出す」、「巻き戻す」を押したままの状態にする（長押しする）と、キーから指を離すまで用紙が送られます。

上記以外の場合：

「送り出す」、「巻き戻す」を押すと、用紙が 1 枚分送られます。

「送り出す」、「巻き戻す」を押したままの状態にする（長押しする）と、キーから指を離すまで用紙が送られます。

メモ

- ・タッチスクリーンに「これ以上用紙を送ることはできません」が表示された場合は、指を離します。
- ・用紙形状が「全面ラベル / 区切りなし」または「タグ紙 / 区切りなし」以外の場合、以下の操作を行った後は、カッターブレードで用紙をカットできません。はさみなどでカットしてください。
 - 「送り出す」、「巻き戻す」を押したままの状態（長押し）で用紙を送ったとき
 - 「巻き戻す」を押して用紙を 1 枚分後方に送ったとき

3 用紙の位置が決まったら「OK」を押す

4 用紙をカットする場合は、「用紙カット」を押す

5 「はい」を押す

用紙がカットされます。

重要

- ・カットする前に印刷物を支えるときは、用紙を持ち上げないでください。用紙が浮き上がると、印刷品質が低下したり、切断面がみだれる場合があります。
- ・カットした用紙は、排紙口付近にためずに取り除いてください。

用紙をカットする

印刷後のカット動作を「カットしない」にしていた場合は、以下の方法で用紙をカットします。

✓ 重要

- カットする前に印刷物を支えるときは、用紙を持ち上げないでください。用紙が浮き上がると、印刷品質が低下したり、切断面がみだれる場合があります。
- カットした用紙は、排紙口付近にためずに取り除いてください。

1 ホーム画面で「用紙カット」を押す



2 「はい」を押す

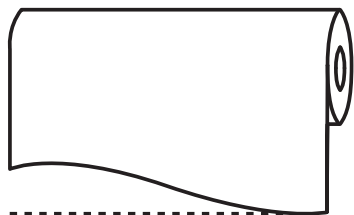
用紙がカットされます。

📖 メモ

- 用紙形状が「全面ラベル / 区切りなし」または「タグ紙 / 区切りなし」以外の場合、以下の操作を行った後は、カッターブレードで用紙をカットできません。はさみなどでカットしてください。
 - 「送り出す」、[巻き戻す] を押したままの状態（長押し）で用紙を送ったとき
 - 「巻き戻す」を押して用紙を 1 枚分後方に送ったとき

ロール紙の先端を自動でカットする

ロール紙セット時に、用紙の先端が斜めに切れていたり真っ直ぐに切れていないと正しく印刷できません。その場合は、タッチスクリーンのメニューの「先端プレカット」で、用紙セット時に先端を切り揃えることができます。



重要

- 以下の用紙形状の場合に設定が有効になります。その他の用紙形状では設定が無効となります。
 - 全面ラベル / 区切りなし
 - タグ紙 / 区切りなし

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 「用紙設定」を押す

3 「詳細設定」を押す

4 「先端プレカット」を押す

5 設定を選ぶ

次回用紙をセットするときから、設定が有効になります。

〔自動〕

用紙セット時に、用紙の先端が斜めに切れていたり真っ直ぐに切れていない場合、プラテンの上に印刷してプリンターを汚さないように、先端を切り揃えて白紙の紙片を排紙します。

〔オフ〕

先端は切り揃えられず白紙の紙片も排紙されません。

〔オン（規定長さ）〕

用紙セット時に、規定長さ（15 mm）でカットします。

メモ

- 用紙を送らずに〔用紙カット〕を押すと、規定長さ（15 mm）でカットします。規定の長さは、「Media Configuration Tool for Label」で変更することができます。詳しくは、「Media Configuration Tool for Label ユーザーズガイド」を参照してください。

〔オン（指定長さ）〕

用紙セット時に、指定長さでカットします。指定できる長さの範囲は、用紙の種類によって異なります。

〔手動〕

用紙先端のカット量を操作パネルの操作で調整できます。調整後、〔用紙カット〕を選び、〔はい〕を選択すると用紙をカットできます。用紙をカットした後は、〔用紙セットを完了する〕を選んでください。

メモ

- 用紙をカットした後、〔用紙セットを完了する〕を選ばないと、次の印刷ができません。

用紙の先端余白を設定する

カールの強い用紙をプラテンにしっかりと吸着させるために、用紙の先端に確保する余白の長さを指定することができます。

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 [用紙設定] → [詳細設定] を押す

3 [ロール紙先端余白]、[カット紙先端余白] または [外部給紙先端余白] を押す

4 設定を選ぶ

[3mm]

印刷余白を 3mm に設定します。

[20mm]

印刷余白を 20mm に設定します。

カールの強い用紙を使用した場合など、プリントヘッドのこすれが発生する場合に選んでください。ただし、以下の用紙の場合は設定に関わらず 3 mm になります。

- ・ 全面ラベル / ブラックマーク
- ・ タグ紙 / ブラックマーク
- ・ ダイカットラベル / ギャップ
- ・ ダイカットラベル / ブラックマーク

メモ

- ・ カット紙でテストプリントなどのプリンター内部データの印刷する場合は、設定に関わらず 3 mm になります。

用紙のカット屑を軽減する

カット屑が出やすい用紙の場合、タッチスクリーンのメニューから「カット屑軽減」を「する」に設定することで、印刷物の先端と後端にインクが塗布され、カット屑の飛散を軽減できます。これによって、プリントヘッドの故障が減る場合があります。「カット屑軽減」は、用紙の種類ごとに設定できます。



A：インクが塗布される
B：カットされる位置

② 重要

- ・波打ちが起きやすい用紙の場合は、「カット屑軽減」を「する」に設定しないでください。正常にカットされず、用紙がつまる場合があります。
- ・以下の用紙の場合は、「カット屑軽減」を「する」に設定しても無効になります。
 - 全面ラベル / ブラックマーク、全面ラベル / 区切りなし
 - ダイカットラベル / ギャップ、ダイカットラベル / ブラックマーク

以下の手順で「カット屑軽減」を「する」に設定します。

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 「用紙設定」→「詳細設定」を押す

3 「カット屑軽減」を押す

4 「する」を押す

インク乾燥時間を設定する

インクが乾きにくい用紙では、印刷後にインクが乾かないまま排紙されることで、他の部分と接触し、用紙の表面が汚れることがあります。

このような場合は、乾燥待ち時間を設定することで改善できることがあります。1 ページ印刷後、排紙まで一定時間待機し、次ページの印刷はその後に行われます。

メモ

- ・カッターがインクの乾いていない印刷面と接触したときに、用紙の表面に傷や汚れが付いたり、表面がこすれ、用紙の表面に汚れが付く場合があります。

印刷直後に印刷物をカットしないでインクの乾燥を待つ場合は、タッチスクリーンのメニューの[カットモード]を[イジェクトカット]に設定します。

➡ [用紙のカット方法を設定する \(P. 63\)](#)

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 [用紙設定] → [詳細設定] を押す

3 [ページ間で休止する] を押す

4 用紙を排紙するまでの待ち時間を選ぶ

電源を切っている間のロール紙交換を検知する

プリンターの電源を入れたときに、電源を切っている間にロール紙を交換したかを確認することができます。
〔起動時の自動給紙〕を〔有効〕にすると、電源を入れたときにロール紙の先端の位置を検知します。前回電源を切ったときから、ロール紙の先端位置が 1mm 以上異なる場合は、ロール紙を交換したと判定し、続けて用紙幅を検知する給紙動作を自動で行います。

メモ

- ・〔起動時の自動給紙〕を〔有効〕に設定すると、ロール紙の先端を検知する分、電源を入れてから操作可能になるまでの時間が長くなります。

1 ホーム画面で  (セッティング) を押す

2 〔本体設定〕→〔用紙関連の設定〕を押す

3 〔起動時の自動給紙〕を押す

4 〔有効〕を押す

用紙について

使用可能な用紙の種類・形状・サイズ

● ロール紙

用紙種類	マットコート紙 / 光沢紙 / 高光沢紙 / 合成紙 / 白 PET
用紙サイズ	幅：50.8 mm ～ 216.0 mm（2.0 インチ ～ 8.5 インチ） * セパレーター込み 長さ：38.1 mm ～ 1346.2 mm（1.50 インチ～ 53.00 インチ） * ただし、ダイカットラベルの最大長さ：297 mm（11.69 インチ）
用紙形状	ダイカットラベル / ギャップ ダイカットラベル / ブラックマーク 全面ラベル / ブラックマーク 全面ラベル / 区切りなし
ロール紙外径	外径Φ 152.4 mm（6 インチ）以下
紙管	内径Φ 76.2 mm ± 1.0 mm（3 インチ ± 0.04 インチ） 厚み 5 mm（0.2 インチ）以上
ロール紙質量	3.0 kg 以下

● カット紙

用紙種類	普通紙
用紙サイズ	A4

● ファンフォールド紙

用紙種類	マットコート紙
用紙サイズ	101.6 mm x 127.0 mm（4 インチ x 5 インチ）

✓ 重要

- 本プリンターで使用できる用紙は、上記に示す種類・形状・サイズの用紙に限られます。これら以外の用紙を使用した場合の印刷品位および紙搬送性につきましては、弊社では一切保証いたしません。あらかじめご了承ください。

📖 メモ

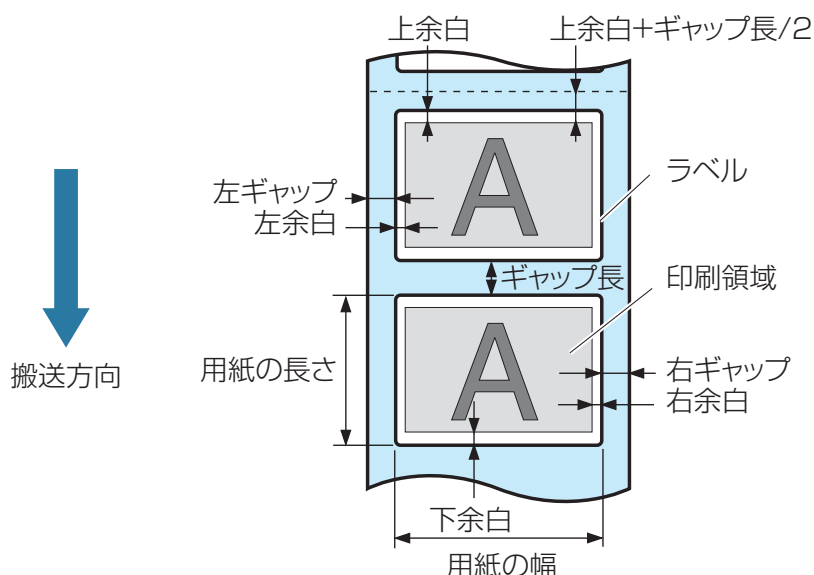
- 用紙はカラーラベルプリンター専用紙を使用することをおすすめします。専用紙以外の用紙を使用すると、にじみやかすれが生じたり、プリンター本体に悪影響を与え故障の原因となることがあります。
- 用紙についての詳細や用紙の入手方法については、ご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにお問い合わせください。
- 用紙の取り扱い / 保管には注意が必要です。
➡ [用紙の取り扱いについての注意事項（P. 80）](#)

ユーザー定義用紙の設定可能範囲

設定できる用紙のサイズは、用紙の形状によって異なります。次の表に示す範囲の中で入力してください。

■ ダイカットラベル / ギャップ

特定の形状に型抜きされたラベル用紙です。ラベル間のすき間を検知して用紙の先端を認識します。



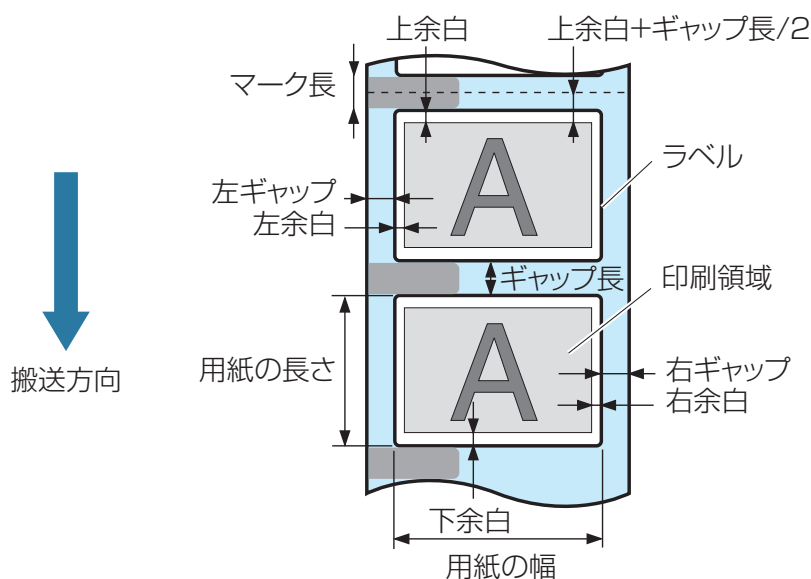
用紙の幅	39.8 mm ~ 214.9 mm (1.58 インチ ~ 8.46 インチ)
用紙の長さ	38.1 mm ~ 1346.2 mm (1.50 インチ ~ 53.00 インチ)
ギャップ長	2.5 mm ~ 9.5 mm (0.10 インチ ~ 0.37 インチ)
左ギャップ	0.5 mm ~ 7.0 mm (0.02 インチ ~ 0.27 インチ)
右ギャップ	0.5 mm ~ 4.0 mm (0.02 インチ ~ 0.15 インチ)
上余白	1.5 mm ~ (用紙長 - 3 - 下余白) mm (0.06 インチ ~ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ)
下余白	1.5 mm ~ (用紙長 - 3 - 上余白) mm (0.06 インチ ~ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ)
左余白	1.5 mm ~ (用紙長 - 3 - 右余白) mm (0.06 インチ ~ (用紙長 - 0.12 - 右余白) インチ)
右余白	1.5 mm ~ (用紙長 - 3 - 左余白) mm (0.06 インチ ~ (用紙長 - 0.12 - 左余白) インチ)

🟢 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 50.8 mm (2.00 インチ) 以上
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 215.9 mm (8.50 インチ) 以下
 - ギャップ長の半分の長さとならばラベル部分の上余白を足した長さが 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - ギャップ長の半分の長さとならばラベル部分の下余白を足した長さが 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - 左余白と左ギャップの合計が 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - 右余白と右ギャップの合計が 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - 最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)

■ ダイカットラベル / ブラックマーク

特定の形状に型抜きされたラベル用紙です。ラベル用紙の裏側のマークで用紙の先端を認識します。



用紙の幅	39.8 mm ～ 214.9 mm (1.58 インチ～ 8.46 インチ)
用紙の長さ	38.1 mm ～ 1346.2 mm (1.50 インチ～ 53.00 インチ)
ギャップ長	2.5 mm ～ 9.5 mm (0.10 インチ～ 0.37 インチ)
左ギャップ	0.5 mm ～ 7.0 mm (0.02 インチ～ 0.27 インチ)
右ギャップ	0.5 mm ～ 4.0 mm (0.02 インチ～ 0.15 インチ)
上余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm (0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ)
下余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm (0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ)
左余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白) mm (0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 右余白) インチ)
右余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm (0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 左余白) インチ)
マーク長	3.0 mm ～ 10.0 mm (0.12 インチ～ 0.39 インチ)

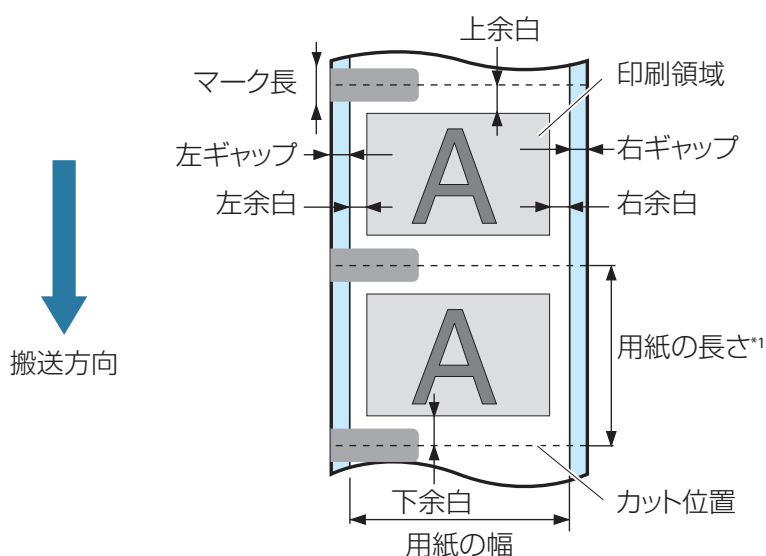
✓ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 50.8 mm (2.00 インチ) 以上
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 215.9 mm (8.50 インチ) 以下
 - ギャップ長の半分の長さでラベル部分の上余白を足した長さが 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - ギャップ長の半分の長さでラベル部分の下余白を足した長さが 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - 左余白と左ギャップの合計が 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - 右余白と右ギャップの合計が 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - 最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)
- [マーク長] は、プリンターの操作パネルで設定します。

➡ **用紙のサイズを設定する (P.57)**

■ 全面ラベル / ブラックマーク

型抜きされていないラベル用紙です。ラベル用紙の裏側のマークで用紙の先端を認識します。



*1 用紙の長さ：マーク中心から次のマークの中心の間の長さ

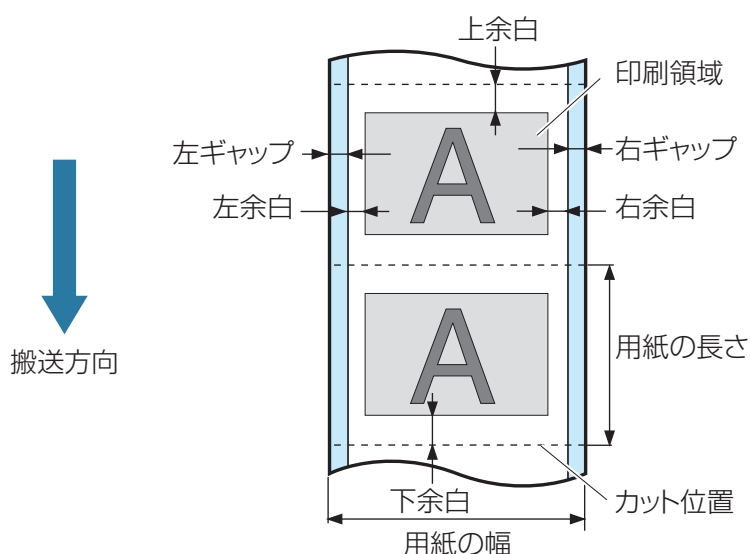
用紙の幅	39.8 mm ～ 214.9 mm (1.58 インチ～ 8.46 インチ)
用紙の長さ	41.1 mm ～ 1346.2 mm (1.62 インチ～ 53.00 インチ)
左ギャップ	0.5 mm ～ 7.0 mm (0.02 インチ～ 0.27 インチ)
右ギャップ	0.5 mm ～ 4.0 mm (0.02 インチ～ 0.15 インチ)
上余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ)
下余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ)
左余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白) mm (0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 右余白) インチ)
右余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm (0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 左余白) インチ)
マーク長	3.0 mm ～ 10.0 mm (0.12 インチ～ 0.39 インチ)

☑ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 50.8 mm (2.00 インチ) 以上
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 215.9 mm (8.50 インチ) 以下
 - 左余白と左ギャップの合計が 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - 右余白と右ギャップの合計が 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - 最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)
- [マーク長] は、プリンターの操作パネルで設定します。
 - ➡ [用紙のサイズを設定する \(P.57 \)](#)

■ 全面ラベル / 区切りなし

型抜きされていないラベル用紙です。



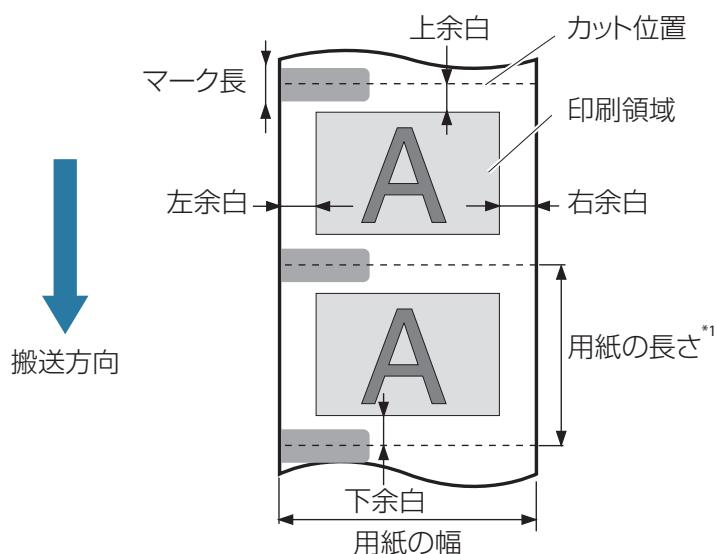
用紙の幅	39.8 mm ～ 214.9 mm (1.58 インチ～ 8.46 インチ)
用紙の長さ	41.1 mm ～ 1346.2 mm (1.62 インチ～ 53.00 インチ)
左ギャップ	0.5 mm ～ 7.0 mm (0.02 インチ～ 0.27 インチ)
右ギャップ	0.5 mm ～ 4.0 mm (0.02 インチ～ 0.15 インチ)
上余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ)
下余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ)
左余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白) mm (0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 右余白) インチ)
右余白	1.5 mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm (0.06 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 左余白) インチ)

☑ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 50.8 mm (2.00 インチ) 以上
 - 用紙の幅と左ギャップと右ギャップの合計が 215.9 mm (8.50 インチ) 以下
 - 左余白と左ギャップの合計が 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - 右余白と右ギャップの合計が 3.0 mm (0.12 インチ) 以上
 - 最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)

■ タグ紙 / ブラックマーク

シール加工していない用紙です。ラベル用紙の裏側のマークで用紙の先端を認識します。



*1 用紙の長さ：マーク中心から次のマークの中心の間の長さ

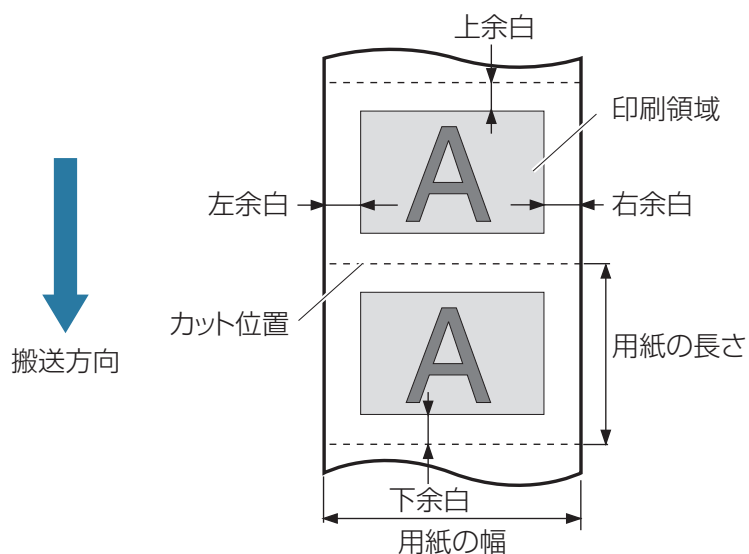
用紙の幅	50.8 mm ～ 215.9 mm (2.00 インチ～ 8.50 インチ)
用紙の長さ	41.1 mm ～ 1346.2 mm (1.62 インチ～ 53.00 インチ)
上余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ)
下余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ)
左余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 右余白) インチ)
右余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 左余白) インチ)
マーク長	3.0 mm ～ 10.0 mm (0.12 インチ～ 0.39 インチ)

☑ 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
 - 最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)
- [マーク長] は、プリンターの操作パネルで設定します。
 - ➡ **用紙のサイズを設定する (P.57)**

■ タグ紙 / 区切りなし

シール加工していない用紙です。

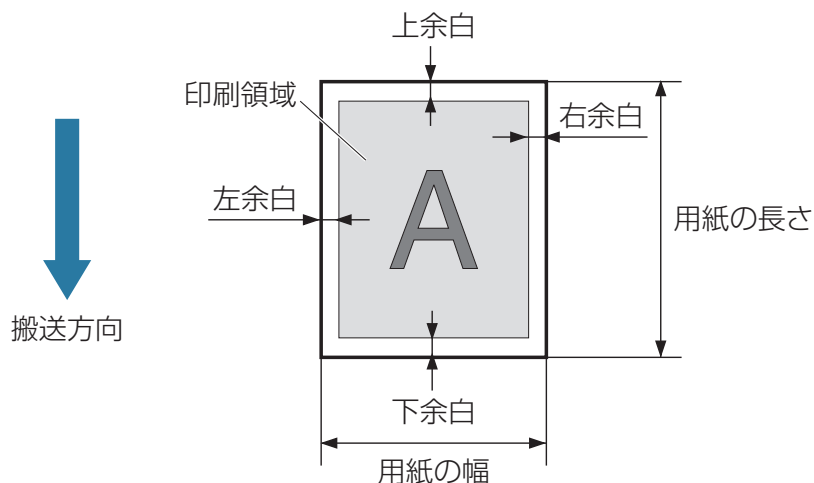


用紙の幅	50.8 mm ～ 215.9 mm (2.00 インチ～ 8.50 インチ)
用紙の長さ	41.1 mm ～ 1346.2 mm (1.62 インチ～ 53.00 インチ)
上余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ)
下余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ)
左余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 右余白) インチ)
右余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 左余白) インチ)

📌 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
 - 最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)

■ カット紙



用紙の幅	203.2 mm ～ 215.9 mm (8.00 インチ～ 8.50 インチ)
用紙の長さ	279.4 mm ～ 1346.2 mm (11.00 インチ～ 53.00 インチ)
上余白	20.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 下余白) mm (0.79 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 下余白) インチ)
下余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 上余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 上余白) インチ)
左余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 右余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 右余白) インチ)
右余白	3.0 mm ～ (用紙長 - 3 - 左余白) mm (0.12 インチ～ (用紙長 - 0.12 - 左余白) インチ)

📌 重要

- 以下の条件を満たすように設定してください。
 - 最小印刷領域：用紙の幅 3 mm (0.12 インチ) x 用紙の長さ 3 mm (0.12 インチ)

用紙の取り扱いについての注意事項

■ 使用環境について

- ・ 低湿度環境（40% 以下）では、以下のようなトラブルが発生することがあります。
 - 用紙にカールやシワが発生する。
 - 用紙とプリントヘッドが接触しやすくなり、印刷面にキズがついたり、プリントヘッドを損傷する場合がある。
 - 用紙がプリンターにはりつき、搬送不良となり正常に排紙されない。（フィルム系用紙）
 - 印刷ムラが発生する。（フィルム系用紙）
- ・ 高湿度環境（60% 以上）では、以下のようなトラブルが発生することがあります。
 - 印刷物が乾燥しない。
 - 用紙表面の波うち（凹凸）が激しくなる。
 - きれいにカットできない。

■ 用紙の取り扱い / 保管

- ・ 水に濡れる環境でのご利用を避けてください。
- ・ すべての用紙は、擦ったり、キズをつけたりしないように丁寧に扱ってください。用紙の取り扱い時には手袋の着用をおすすめします。
- ・ 用紙は湿度などの変化により伸縮する場合があります。使用する環境に十分になじませてから使用してください。
- ・ 印刷面に、手に付いた汗や油分が付かないよう取り扱いってください。印刷品質が低下する場合があります。
- ・ ロール紙を最後まで使用すると、用紙の最終端が紙管から外れず、用紙送り不良の原因となることがあります。用紙購入前に用紙メーカーに仕様を確認しておくことをおすすめします。
- ・ 先端が大きくカールしているロール紙を使用して印刷すると、印刷面が汚れる場合があります。カールを取ってからご使用ください。カールが取れない場合は、操作パネルの用紙送り機能で、用紙の先端をトップカバーの外に出るまで送ってから印刷してください。
- ・ ロール紙の先端が不揃いだったり、汚れやテープの跡がある場合は、あらかじめ切り揃えてください。ダイカットラベルの場合は、ラベルとラベルの間にあるセパレーター部分でカットしてください。
- ・ ロール紙をセットした後の最初の印刷では、用紙の波打ちが目立つ場合があります。
- ・ 高湿度環境（60% 以上）で用紙をプリンターにセットしたまま放置しないでください。また、長時間使用しない場合や使用後に環境の変化が予測される場合は、用紙をプリンターから取り外してください。
- ・ ロール紙を保管する際は、用紙購入時に付属している保護キャップを装着し、袋に入れて保管してください。また、セパレーター部分が折れたり変形したりしないよう、平らで安定した場所に置いて保管してください。
- ・ 印刷後は、インクが十分に乾いてから取り扱いってください。また、乾かす際は用紙が重ならないように離して乾燥させることをおすすめします。
- ・ 印刷後は印刷物の表面に触れないように丁寧に取り扱いってください。顔料インクはインクの特性上、擦ったり、引っかいたりした場合、インクが剥がれる場合があります。

プリンターの用紙情報を管理する

プリンターの用紙情報の管理には、「Media Configuration Tool for Label」を使用します。「Media Configuration Tool for Label」では、以下のようなことができます。

- ・ プリンターがサポートする用紙が新たに追加されたとき、プリンターに新しい用紙情報を追加できます。
- ・ 既存の用紙情報をカスタマイズしてプリンターに追加できます。
- ・ プリンターの操作パネルおよびプリンタードライバのダイアログボックスで使用する用紙種類の表示順や用紙名称などを変更できます。
- ・ 同じ機種 of プリンターに対して、同じ用紙情報を登録することができます。

詳しくは、「Media Configuration Tool for Label ユーザーズガイド」を参照してください。

📌 重要

- ・ プリンタードライバを使用しない場合でも、お使いの地域に合った用紙種類をプリンターに登録するため、「Media Configuration Tool for Label」をインストールしてください。

Chapter 3

印刷

印刷する.....	83	インクの使用量を抑えて印刷する	123
パソコンから印刷する	83	片方向印刷に設定する	124
USB メモリー内のデータを印刷する	85	ステータスマニターの使いかた.....	125
プリンタードライバーの設定.....	90	ステータスマニターを起動する	125
プリンタードライバーの設定画面の開きか た	90	ステータスマニターの起動と表示方法	126
設定画面の構成	91	ステータスマニターの画面説明	128
プリンタードライバーの用紙情報を更新す る	97	パソコンから印刷するための準備.....	130
オフライン環境でヘルプを表示する	98	プリンタードライバーをインストールする ..	130
用紙サイズを自由に設定する	99	プリンタードライバーを更新する	130
複数のページを 1 ページにまとめて印刷す る	101	プリンタードライバーを削除する	132
よく使う印刷設定を登録する	102	プリンタードライバーの設定情報を移行す る	133
用紙のカット間隔を設定する	105		
カラーバランスを調整する	106		
印刷品質を設定する（ユーザー設定）.....	108		
カラーの原稿をモノクロで印刷する	109		
色補正の方法を指定する	110		
明るさを調整する	119		
コントラストを調整する	121		

印刷する

パソコンから印刷する

1 プリンターの電源が入っていることを確認する

2 プリンターに用紙をセットする

アプリケーションソフトで作成した原稿と、同じサイズおよび形状の用紙を設定します。

3 印刷するドキュメントを開き、[印刷] ダイアログボックスを表示する

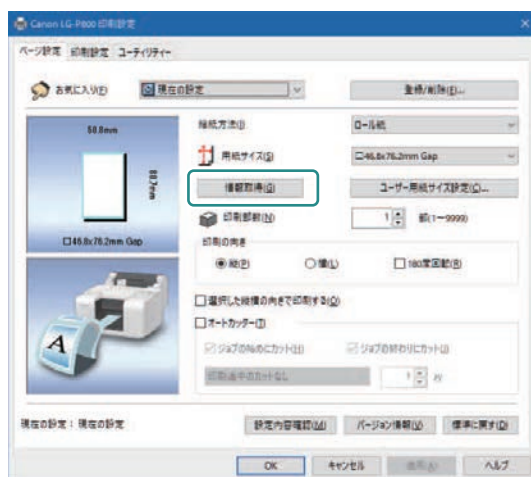
アプリケーションソフトの [ファイル] メニュー（またはツールバー）から [印刷] を選びます。

4 本プリンターを選び、[詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックする

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。

5 [情報取得] をクリックして、給紙方法、用紙サイズおよび用紙種類を設定する

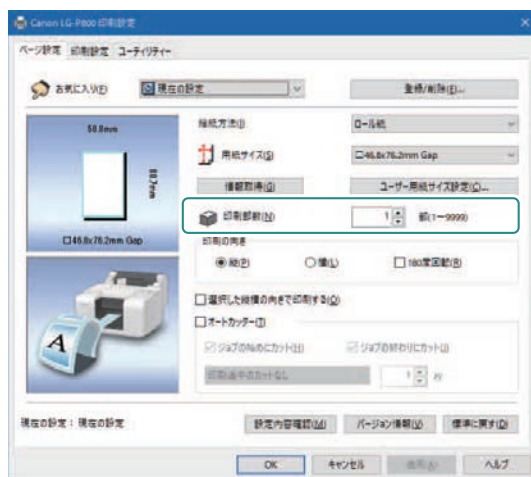
[ページ設定] シートの [情報取得] をクリックすると、プリンターの用紙情報を取得して、プリンタードライバーの [給紙方法]、[用紙サイズ] および [用紙種類] を設定することができます。



メモ

- プリンタードライバーにない用紙情報を取得した場合は、「不明」と表示されます。
 - 用紙サイズが「不明」と表示された場合は、新しい用紙サイズを登録してください。
➡ **用紙サイズを自由に設定する (P.99)**
 - 用紙種類が「不明」と表示された場合は、プリンタードライバーの用紙情報を更新してください。
➡ **プリンタードライバーの用紙情報を更新する (P.97)**
- プリンターと通信できない状態や、プリンターに用紙がセットされていない場合は、プリンターからの用紙情報を取得できません。

6 部数を設定する



重要

- 用紙サイズ、印刷の向き、印刷部数など、アプリケーションソフトウェアとプリンタードライバーで同じ設定項目がある場合、アプリケーションソフトウェアの設定の方が優先されることがあります。

7 印刷品質を選ぶ

[印刷設定] シートの [印刷品質] で、目的に合ったものを選びます。

➡ [印刷品質] (P. 93)



8 [OK] をクリックする

9 [印刷] ダイアログボックスの [印刷] をクリックする

印刷が開始されます。

メモ

- プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンターの用紙情報が異なる場合、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。
- 印刷を中止する場合は、タッチスクリーンで [キャンセル] または [ストップ] を押します。

➡ 印刷を中止する (P. 32)

USB メモリー内のデータを印刷する

USB メモリーに保存されている写真データ（JPEG ファイル）と文書データ（PDF ファイル）をかんたんな操作で印刷することができます。

メモ

• 印刷できる PDF/JPEG ファイルに関する制限事項

PDF ファイル：V1.7 準拠の PDF

- オーバープリント、透過処理の一部の機能は非サポート
- フォントは埋め込みを推奨。埋め込まれていない場合は以下の内蔵フォントで置き換えられます。
Times-Roman、Helvetica、Courier、Symbol、Times-Bold、Helvetica-Bold、Courier-Bold、ZapfDingbats、Times-Italic、Helvetica-Oblique、Courier-Oblique、Times-BoldItalic、Helvetica-BoldOblique、Courier-BoldOblique

JPEG ファイル：JFIF1.02 準拠の JPEG

以下に対応

- 処理方式：基本 DCT 方式
- カラーモード：RGB/GrayScale
- 色数：24bit/8bit
- ピクセル数：縦横それぞれ 38400 ピクセル以下

ただし、サンプリングの一部は非サポート

1 USB メモリーを USB メモリー接続部にセットする

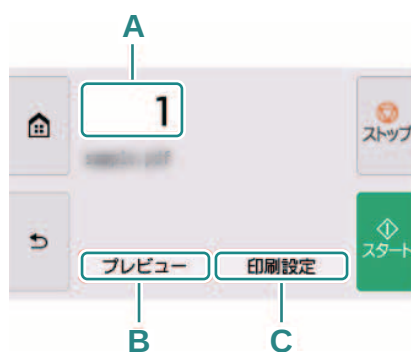
USB メモリー内のデータが表示されます。

メモ

- 動作制限のメッセージが表示された場合は、使用しているプリンターの管理者にお問い合わせください。
- USB メモリーに印刷できるデータが保存されていない場合は、タッチスクリーンに「印刷できるファイルがありません」というメッセージが表示されます。
- ホーム画面から USB メモリー内のデータを表示する場合は、（USB メモリー印刷）を選んでください。

2 フォルダーまたは印刷するデータを選ぶ

印刷待機画面が表示されます。



A. 印刷部数

選択すると、印刷部数の入力画面が表示されます。

B. プレビュー

選択すると、プレビューが表示され、印刷結果を事前に確認することができます。プレビューするページを指定して、特定のページのみ印刷することもできます。

C. [印刷設定]

選択すると、「印刷設定」画面が表示されます。

3 印刷部数を入力する

4 [印刷設定]を押す

印刷仕様に関する項目を設定します。

[カラーモード]

- ・ [カラー (知覚的)]
一般的な画像を自然な色合いで再現します。滑らかな階調性が特長です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。
- ・ [カラー (彩度)]
色の鮮やかさを重視して調整します。
- ・ [カラー (補正なし)]
カラーマッチングを行わずに印刷します。
- ・ [モノクロ]
カラーのデータをモノクロにして印刷します。連続階調をグレーの中間調を用いてモノクロで印刷します。
- ・ [モノクロ (二階調)]
白以外の色をすべて黒で印刷します。

[印刷品質]

印刷品質は、[1 (きれい)] ~ [5 (速い)] の5段階から選択できます。

印刷の仕上がりを重視する場合は、低い数値 (1 や 2) を、印刷速度を優先する場合は、高い数値 (4 や 5) を選択してください。

〔インクセーブ〕

- ・〔標準〕
イラストや写真を含むデータを印刷する場合に選びます。
- ・〔セーブ〕
通常の印刷に比べてインクの使用量を抑えて印刷します。
- ・〔自動〕
用紙種類に合わせて〔標準〕または〔セーブ〕が自動で選択されます。

〔給紙位置〕

用紙を選びます。（自動／ロール紙／カット紙／外部給紙）

〔余白〕

用紙の余白を、1.5 mm～10.0 mmの範囲で設定します。ただし、カット紙の後端余白は 20mm になります。

📖 メモ

- ・以下の用紙を使用する場合、余白の設定に関わらず、ギャップが 3mm 以下であるときは、ギャップを含めて 3mm の位置から画像の印刷が開始されます。
 - ダイカットラベル／ギャップ
 - ダイカットラベル／ブラックマーク
 - 全面ラベル／ブラックマーク
 - 全面ラベル／区切りなし

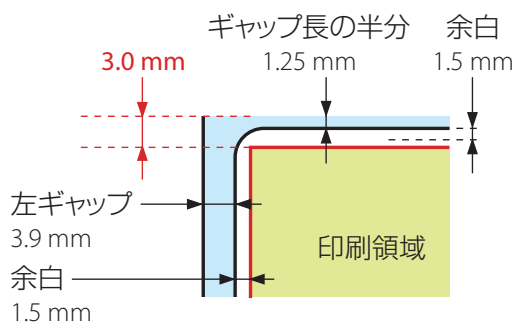
例）以下の条件で印刷を行った場合

用紙形状：ダイカットラベル／ギャップ

ギャップ長の半分：1.25mm

左ギャップ：3.9 mm

印刷設定〔余白〕：1.5mm



〔回転〕

設定に従って画像を回転します。

- ・〔0度〕
画像の回転を行いません。
- ・〔90度〕
指定した画像を 90 度回転します。画像の回転によって画像が用紙の幅を超えた場合は、その部分は印刷されません。

📖 メモ

- ・回転と自動回転の両方が設定されている場合は、自動回転を優先します。

〔自動回転〕

画像を効率的に配置することで用紙を節約したり、用紙からはみ出しを防いだりするために、画像を自動的に回転します。

・〔する〕

以下の場合に、画像を 90 度回転します。

- 画像が縦長で、長い辺が用紙幅よりも短い場合
- 画像が横長で、長い辺が用紙幅より長く、短い辺が用紙幅より短い場合

画像の長い辺と短い辺が用紙幅より長く、用紙からはみ出す場合でも、画像が横長の場合は印刷範囲を広げるために回転して印刷します。

メモ

- ・用紙形状が「全面ラベル／区切りなし」および「タグ紙／区切りなし」の場合、印刷画像の回転により用紙がカットされる長さは変化します。
- ・回転と自動回転の両方が設定されている場合は、自動回転を優先します。

・〔しない〕

画像の自動回転を行いません。

〔拡大縮小〕

・〔用紙フィット〕

プリンターにセットされている用紙に合わせて、拡大または縮小して印刷します。原点は左上です。

メモ

- ・データの線幅は拡大縮小されません。
- ・余白の幅は拡大縮小されません。このため用紙サイズの倍率と、処理後の画像の倍率は異なります。
- ・用紙に合わせて印刷する場合の拡縮率は、「(機種最大幅 ÷ 1 インチ) × 100%」を上限に設定しています。したがって、8 インチ機は 800% が上限値となります。拡縮率を計算した結果が上限を超える場合、上限値に丸めて拡大します。

・〔等倍 (100%)〕

拡大／縮小を行いません。

・〔倍率指定〕

画像を指定した倍率で拡大または縮小して印刷します。原点は左上です。

指定できる倍率の範囲は、25% ~400% です。

メモ

- ・データの線幅、余白の幅は拡大縮小されません。

〔中央印刷〕

・〔する〕

- 用紙形状が「全面ラベル／区切りなし」、「タグ紙／区切りなし」の場合
用紙の幅の中央に印刷します。
- 用紙形状が「全面ラベル／区切りなし」、「タグ紙／区切りなし」以外およびカット紙の場合
用紙の中央に印刷します。

メモ

- ・画像より用紙のサイズが小さい場合は、中央に印刷されません。

・〔しない〕

用紙の中央に印刷しません。

〔カットモード〕

・〔カットする〕

カットモードの設定にしたがって動作します。

➡ **用紙のカット方法を設定する (P.63)**

・〔カットしない〕

カットを行わずに印刷を終了します。

メモ

- 最終ページのみカットしたい場合は、〔カットしない〕を設定して印刷を行い、印刷完了後に〔用紙カット〕を押します。

➡ **用紙をカットする (P.65)**

5 〔確定〕を押す

6 〔スタート〕を選ぶ

印刷が開始されます。

メモ

- 印刷終了後に表示された画面で〔はい〕を選ぶと、手順 2 に戻ります。〔いいえ〕を選ぶと、ホーム画面に戻ります。

プリンタードライバーの設定

プリンタードライバーの設定画面の開きかた

プリンタードライバーの設定画面は、お使いのアプリケーションソフトまたはプリンターのアイコンから表示できます。

■ プリンタードライバーの設定画面をアプリケーションソフトから開く

印刷時に印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1 印刷するドキュメントを開き、[印刷] ダイアログボックスを表示する

アプリケーションソフトの [ファイル] メニュー（またはツールバー）から [印刷] を選びます。

2 本プリンターを選び、[詳細設定]（または [プロパティ]）をクリックする

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



- 使用しているアプリケーションソフトによっては、コマンド名やメニュー名が異なったり、手順が多くなったりする場合があります。詳しい操作方法については、お使いのアプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

■ プリンタードライバーの設定画面を Windows の設定から開く

すべてのアプリケーションソフトに共通する印刷設定を行う場合、この方法を使います。

1 [スタート] → [設定] → [Bluetooth とデバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 をお使いの場合：

[スタート] → [設定] → [デバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ

2 本プリンターをクリックし表示されたメニューから [印刷設定] を選ぶ

プリンタードライバーの設定画面が表示されます。



- プリンタードライバーの設定画面を [プリンターのプロパティ] から開くと、[ポート]（または [詳細設定]）シートなど、Windows の機能に関するシートが表示されます。それらのシートは、[印刷設定] やアプリケーションソフトから開いたときには表示されません。Windows の機能に関するシートについては、Windows のヘルプを参照してください。

設定画面の構成

■ [ページ設定] シート



設定ビュー

(上段) 現在設定されている用紙サイズがプレビュー表示されます。

(下段) 現在設定されている印刷の向きがプレビュー表示されます。

[お気に入り] (→ P.102)

よく使う印刷設定を登録します。

[登録 / 削除]

お気に入りの登録または削除を行います。

[給紙方法]

用紙の給紙方法が表示されます。プリンタードライバーで給紙方法を切り替えることができます。

[ロール紙]

ロールホルダースロットにセットしたロール紙を使用する場合に選びます。

[カット紙]

カット紙を使用する場合に選びます。

[外部給紙]

ファンフォールド紙または他の装置にセットしたロール紙を使用する場合に選びます。

[用紙サイズ]

印刷に使用する用紙サイズを選びます。

[情報取得] (→ P.83)

プリンター本体の用紙設定を確認したり、確認した設定をプリンタードライバーに反映することができます。

[ユーザー用紙サイズ設定] (→ P.99)

用紙サイズを自由に設定します。

[印刷部数] (→ P.84)

印刷する部数を指定します。

〔印刷の向き〕

用紙に対する印刷方向を選びます。

原稿を作成したアプリケーションソフトに同様の機能がある場合は、アプリケーションソフトと同じものを選んでください。

〔縦〕

紙送りに対して、原稿の上下が変わらないように印刷します。通常はこの設定になっています。

〔横〕

紙送りに対して、原稿を 90 度回転させて印刷します。

〔180 度回転〕

原稿を 180 度回転して印刷します。

〔選択した縦横の向きで印刷する〕

ご使用のアプリケーションソフトが原稿の向きを自動的に回転させてしまい、〔印刷の向き〕で選択した縦横の向きで正しく印刷できない場合にチェックマークを付けます。通常、設定する必要はありません。



重要

- ・〔選択した縦横の向きで印刷する〕を設定してもアプリケーションソフトによっては正しく印刷できないことがあります。
- ・〔選択した縦横の向きで印刷する〕の設定は、〔180 度回転〕の設定には影響ありません。

〔オートカッター〕（→ P.105）

印刷後にロール紙をカットする場合にチェックマークを付けます。用紙をカットするタイミングや間隔を変更することができます。

〔設定内容確認〕

〔お気に入り〕で選ばれている印刷設定の設定内容を確認できます。

〔バージョン情報〕

プリンタードライバのバージョンや著作権などの情報を確認できます。

〔標準に戻す〕

〔ページ設定〕シートの設定を標準の設定（初期値）に戻します。

■ [印刷設定] シート



設定ビュー

- (上段) 色調整したあとの印刷イメージがプレビュー表示されます。
- (下段) 割付印刷、ページ順序を設定したときの印刷イメージがプレビュー表示されます。

[用紙種類]

印刷に使用する用紙の種類を選びます。

[印刷品質]

目的に合った印刷の品質を選びます。



重要

- ・ [用紙種類] の設定によっては、選択項目が変わることがあります。

[きれい]

印刷のスピードよりも品位を優先して印刷します。

[標準]

標準的なスピードと品位で印刷します。解像度は用紙の種類に応じて設定されます。

[速い]

印刷の品位よりスピードを優先して印刷します。

[ユーザー設定]

印刷品質のレベルを細かく設定するときに選びます。

➡ **印刷品質を設定する (ユーザー設定) (P. 108)**

[カラーモード]

印刷する色を選びます。

[カラー]

原稿の色数のまま印刷します。

[モノクロ]

ブラックインクを使用して印刷します。

➡ **カラーの原稿をモノクロで印刷する (P. 109)**

[色設定]

色に関する調整や色補正の方法を設定します。

➡ **[色設定] ダイアログボックス (P. 94)**

〔コントラスト〕

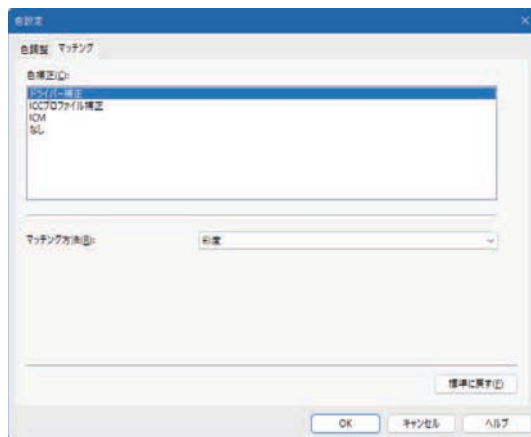
印刷する画像の明暗の差を調整します。

➡ **コントラストを調整する (P. 121)**

〔標準に戻す〕

〔色調整〕シートの設定を標準の設定（初期値）に戻します。

〔マッチング〕シート



〔色補正〕

〔ドライバー補正〕、〔ICC プロファイル補正〕、〔ICM〕、〔なし〕の中から目的に合ったものを選びます。

➡ **色補正の方法を指定する (P. 110)**

〔入力プロファイル〕

〔色補正〕で〔ICC プロファイル補正〕を選んだときに使用する入力プロファイルを指定します。

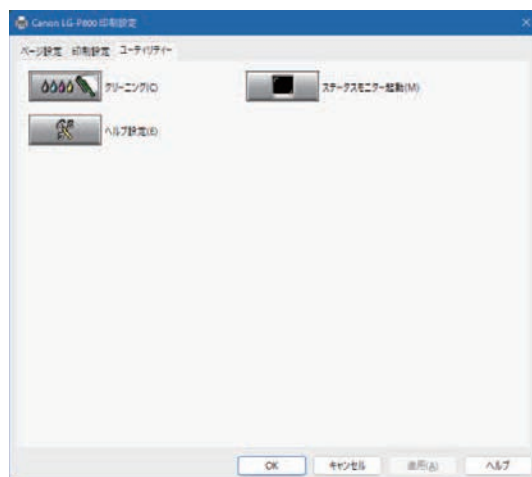
〔プリンタープロファイル〕

〔色補正〕で〔ICC プロファイル補正〕を選んだときに使用するプリンタープロファイルを指定します。通常は〔自動設定〕が選ばれていますが、手動でプリンタープロファイルを選ぶこともできます。

〔マッチング方法〕

〔色補正〕で〔ドライバー補正〕、〔ICC プロファイル補正〕、〔ICM〕を選んだときに使用するマッチング方法を指定します。

■ [ユーティリティ] シート



[クリーニング]

プリントヘッドをクリーニングします。

クリーニングを行うとプリントヘッドのノズルの目づまりを改善します。

インクは十分あるのにかすれたり、特定の色が印刷できなくなったりしたときに実行してください。

[ステータスマニター起動]

ステータスマニターを表示します。

[ヘルプ設定]

ヘルプの表示を設定します。

プリンタードライバーの用紙情報を更新する

プリンターから最新の用紙情報を取得してプリンタードライバーの用紙情報を更新します。

用紙情報の更新を行うと、[印刷設定] シートの[用紙種類] に表示される用紙が最新の内容に更新されます。用紙情報を更新する手順を説明します。

① 重要

- 管理者の権限を持つユーザーが用紙情報の更新を実行してください。
- 管理者の権限を持つユーザー以外は、用紙情報の更新が必要かの確認はできますが、更新はできません。
- 「Media Configuration Tool for Label」でメディアの追加や削除・編集を行ったにもかかわらず、用紙情報を更新していない場合は、印刷できないなどの不具合が発生する場合があります。

1 [スタート] → [設定] → [Bluetooth とデバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 をお使いの場合：

[スタート] → [設定] → [デバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ

2 本プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] を選ぶ

プリンターのプロパティ画面が表示されます。

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 をお使いの場合：

本プリンターをクリックし、[管理] → [プリンターのプロパティ] を選ぶ

3 用紙情報を更新する

- [ユーティリティー] シートの[用紙情報更新] をクリックする
- メッセージを確認し [実行] をクリックする

① 重要

- 用紙情報の更新には、時間がかかる場合があります。

4 用紙情報の更新を完了する

確認のメッセージが表示されたら、[OK] をクリックします。

用紙情報が更新されます。

① 重要

- 用紙情報の更新が完了したら、プリンタードライバーを再起動してください。
- プリンタードライバーの用紙の情報を更新しているときは、プリンターの用紙の情報を更新しないでください。

オフライン環境でヘルプを表示する

ステータスマニター上の「選択したステータスの詳細を表示」やプリンタードライバーの各シートにある「ヘルプ」をクリックすると、オンライン上に公開されているユーザズガイドを表示します。ユーザズガイドでは、表示されたメッセージの説明と対処方法を確認できます。

オフラインのパソコンを使用している場合は、以下の手順でユーザズガイドを登録してください。

☑ 重要

- インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

1 キヤノンホームページにアクセスして、本ソフトウェアのユーザズガイドをダウンロードする

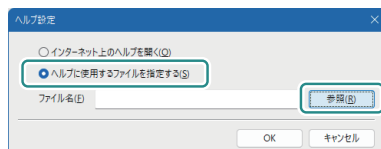
キヤノンホームページ: canon.jp/support/manual

2 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

3 「ユーティリティー」シートの「ヘルプ設定」をクリックする

4 「ヘルプに使用するファイルを指定する」を選び、「参照」をクリックする



5 登録するユーザズガイドを選び、「開く」をクリックする

6 「OK」をクリックする

用紙サイズを自由に設定する

幅や長さを自由に変えた用紙など、プリンタードライバーの「用紙サイズ」に登録がない用紙サイズは、「ユーザー用紙サイズ」または「カスタムサイズ」としてプリンタードライバーに登録します。設定の有効範囲は次のようになっています。

●ユーザー用紙サイズ

すべてのドキュメントに対して有効な設定です。

ユーザー用紙サイズとして登録すると、「用紙サイズ」の一覧から選ぶことができますようになります。用紙サイズは 50 個まで登録できます。

●カスタムサイズ

現在開いているドキュメントに対してのみ有効な設定です。

☑ 重要

- ・「カスタムサイズ」で設定した用紙サイズは、アプリケーションソフトを終了すると無効になります。
- ・アプリケーションソフトからプリンタードライバーの設定画面を表示した場合は、ユーザー用紙サイズの登録や削除ができません。ユーザー用紙サイズの登録や削除を行う場合は、Windows の設定からプリンタードライバーの設定画面を表示してください。（→ P.90）

1 プリンタードライバーの設定画面を表示する

ユーザー用紙サイズを設定するとき：

Windows の設定からプリンタードライバーの設定画面を表示します。（→ P.90）

カスタムサイズを設定するとき：

アプリケーションソフトからプリンタードライバーの設定画面を表示します。（→ P.90）

2 用紙を登録する画面を表示する

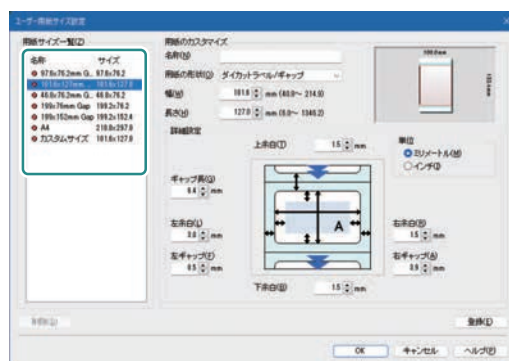
ユーザー用紙サイズを設定するとき：

「ページ設定」シートの「ユーザー用紙サイズ設定」をクリックします。

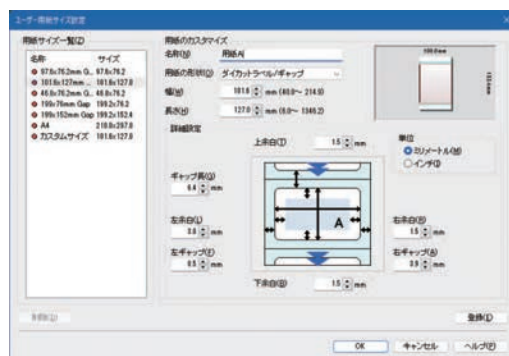
カスタムサイズを設定するとき：

「ページ設定」シートの「用紙サイズ」から「カスタムサイズ」を選択したあと、「ユーザー用紙サイズ設定」をクリックします。手順 4 に進みます。

3 「用紙サイズ一覧」から基本となる用紙サイズを選ぶ



4 新しい用紙の情報を入力する



〔名称〕

新しい用紙の名称を入力します。

名称は半角、全角ともに 15 文字まで入力できます。ただし、スペースやタブは使用できません。

〔単位〕

〔ミリ〕または〔インチ〕を選びます。

〔用紙の形状〕

用紙の形状を選びます。

〔幅〕、〔長さ〕、〔上余白〕、〔下余白〕、〔右余白〕、〔左余白〕、〔ギャップ長〕、〔右ギャップ〕、〔左ギャップ〕

用紙のサイズを入力します。

用紙の形状によって、入力が必要な項目は異なります。

設定可能な範囲については、「[ユーザー定義用紙の設定可能範囲 \(P. 73\)](#)」を参照してください。

5 〔登録〕をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

6 〔はい〕をクリックする

7 〔ユーザー用紙サイズ設定〕ダイアログボックスの〔OK〕をクリックする

8 〔印刷設定〕ダイアログボックスの〔OK〕をクリックする

設定を完了します。



- ・プリンタードライバーで設定した用紙設定と、プリンター本体で登録する用紙情報が異なる場合、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示される場合があります。印刷を実行することはできますが、正しい印刷結果を得られない可能性があります。

複数のページを1ページにまとめて印刷する

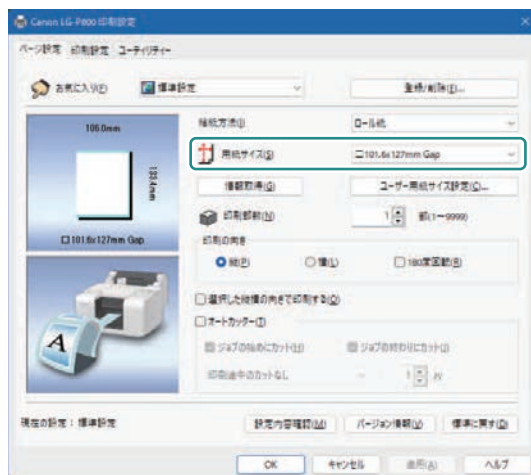
1枚の用紙に複数ページの原稿を並べて印刷します。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➔ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 印刷する用紙サイズを選ぶ

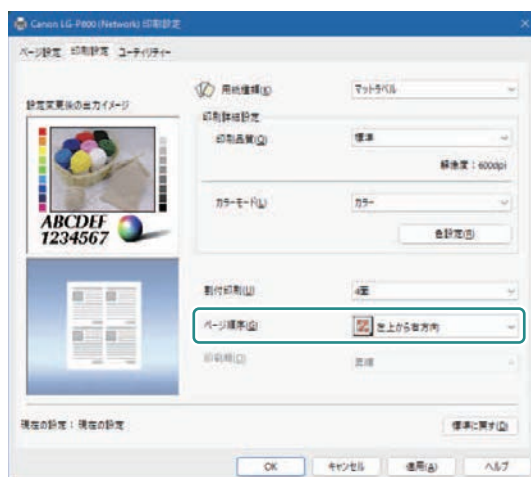
「ページ設定」シートの「用紙サイズ」で実際にプリンターにセットしている用紙サイズを選びます。



3 まとめて印刷するページ数を設定する

「ページ設定」シートの「割付印刷」のプルダウンメニューから、「[しない]」、「[2面]」、「[4面]」、「[6面]」、「[9面]」、「[16面]」のいずれかを選びます。

設定の状態は、左側の設定ビューに表示されます。



4 「印刷設定」ダイアログボックスの「OK」をクリックする

設定を完了します。

よく使う印刷設定を登録する

よく使う印刷設定を、[お気に入り] に登録して使用することができます。不要になった印刷設定は削除することも可能です。

お気に入りの追加、削除やお気に入りを使用した印刷方法を説明します。

■ 印刷設定を登録する

✓ 重要

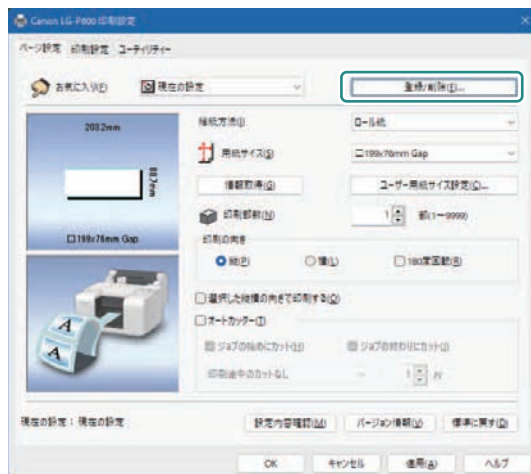
- ・ [お気に入り] には、10 個までの印刷設定を登録できます。
- ・ アプリケーションソフトからプリンタードライバーの設定画面を表示した場合は、[お気に入り] の登録や削除ができません。[お気に入り] の登録や削除を行う場合は、Windows の設定からプリンタードライバーの設定画面を表示してください。(→ P.90)

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 [ページ設定] シートおよび [印刷設定] シートで登録する内容を設定する

3 [登録 / 削除] をクリックする



[設定の登録と削除] ダイアログボックスが表示されます。

4 「設定名称」に設定したい任意の名称を入力し、「登録」をクリックする



確認のメッセージが表示されます。



- 名前の入力省略できません。
- 名前は半角、全角ともに 16 文字まで入力できます。ただし、スペースやタブは使用できません。

5 「はい」をクリックする

登録した設定が「設定登録リスト」に追加されます。

6 「OK」をクリックする

7 「印刷設定」ダイアログボックスの「OK」をクリックする

設定を完了します。



• お気に入りの名前を変更する

登録したお気に入りの名前を変更する場合は、「設定登録リスト」で名前を変更したい設定を選び、「名前変更」をクリックします。名前を変更したら、「登録」をクリックします。

• お気に入り削除する

登録したお気に入りを削除する場合は、「設定登録リスト」で削除したい設定を選び、「削除」をクリックします。

• 設定内容を確認する

「ページ設定」シートの「設定内容確認」をクリックすると、「お気に入り」で選ばれている印刷設定の設定内容を確認できます。

ダイアログボックス上の「コピー」をクリックすると、設定内容を OS のクリップボードにコピーします。クリップボードにコピーした内容は、メモ帳などに貼り付けて設定内容を確認できます。

■ お気に入りの設定で印刷する

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 お気に入りの設定を適用する

[ページ設定] シートの [お気に入り] から、使用したいお気に入りの設定を選びます。

3 [印刷設定] ダイアログボックスの [OK] をクリックする

設定を完了します。

用紙のカット間隔を設定する

用紙をカットするタイミングや間隔について設定する手順を説明します。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 [ページ設定] シートの [給紙方法] で [ロール紙] を選ぶ



3 [ページ設定] シートの [オートカッター] にチェックマークを付ける

4 印刷の始めと終わりのカットを設定する

印刷の始めをカットするときは、[ジョブの始めにカットする] にチェックマークを付けます。

印刷の終わりをカットするときは、[ジョブの終わりにカットする] にチェックマークを付けます。

5 印刷の途中でカットするときは、カットするタイミングや間隔を設定する

[印刷の途中でカットなし]

印刷ジョブの途中でカットをしません。

[指定した枚数でカット]

指定した枚数ごとにカットします。1 ～ 9999 まで設定できます。

[ページの切り替わりでカット]

ページごとにカットします。



- 指定した枚数ごとにカットする場合、最小カット長未満にならないようにカット間隔が調整されます。最小カット長は以下になります。
 - ダイカットラベル / ギャップ、ダイカットラベル / ブラックマーク：38.1mm (1.50 インチ)
 - 全面ラベル / ブラックマーク：38.1mm (1.50 インチ)
 - タグ紙 / ブラックマーク：38.1mm (1.50 インチ)
 - 全面ラベル / 区切りなし：15mm (0.59 インチ)
 - タグ紙 / 区切りなし：15mm (0.59 インチ)

カラーバランスを調整する

印刷時にプリントの色合いを調整することができます。

各色のインク量のバランスを変更してカラーバランスの調整を行うため、原稿全体の色相が変化します。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。下のサンプルでは、全体の色が均一に変化するようにシアンを強くし、イエローを弱くして印刷した場合を表示しています。



補正なし



カラーバランスを調整

カラーバランスを調整する手順を説明します。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

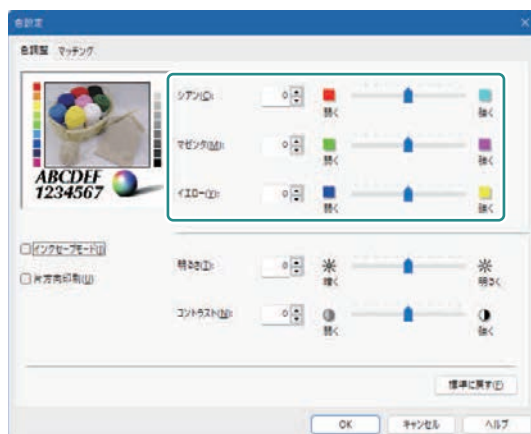
➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 [印刷設定] シートの [カラーモード] で [カラー] を選び、[色設定] をクリックする



[色設定] ダイアログボックスが表示されます。

3 カラーバランスを調整する



〔色調整〕シートに、〔シアン〕、〔マゼンタ〕、〔イエロー〕の色別のスライダーがあり、それぞれの色は右に動かすほど強く、左に動かすほど弱くなります。例えば、シアンを弱くすると補色であるレッドが強くなります。

スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は -50 ～ 50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

各色の調整が終わったら、〔OK〕をクリックします。

メモ

- 調整を行うと、各色のインク量のバランスが変わるため、原稿全体の色相が変わります。大きく色相を変えたい場合は、アプリケーションソフトで行い、プリンタードライバーでは微調整にとどめてください。
- 〔標準に戻す〕をクリックすると、〔色調整〕シートの設定を標準の設定（初期値）に戻します。
- 〔カラーモード〕で〔モノクロ〕を選んでいる場合、カラーバランス（〔シアン〕、〔マゼンタ〕、〔イエロー〕）は設定できません。
- 〔色補正〕で〔ICM〕を選んでいる場合、カラーバランス（〔シアン〕、〔マゼンタ〕、〔イエロー〕）は設定できません。

4 〔印刷設定〕ダイアログボックスの〔OK〕をクリックする

設定を完了します。

印刷品質を設定する（ユーザー設定）

印刷品質の〔ユーザー設定〕で印刷品質のレベルを細かく設定することができます。
印刷品質のレベルを設定する手順を説明します。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 〔印刷品質〕で〔ユーザー設定〕を選ぶ

〔ユーザー設定〕ダイアログボックスが表示されます。

3 印刷品質のレベルを設定する

スライダーをドラッグし、印刷品質のレベルを選び、〔OK〕をクリックします。



✓ 重要

- ・〔用紙種類〕で選んでいる用紙によっては、選べない印刷品質のレベルがあります。

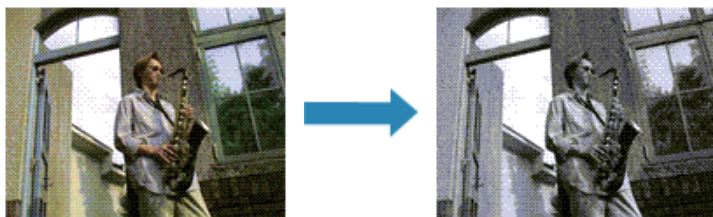
📖 メモ

- ・スライダーに連動して〔きれい〕、〔標準〕、〔速い〕の品位と数値が左に表示されます。これは、〔印刷設定〕シートの〔印刷品質〕で該当する品位を選んだ場合と同じであることを示しています。
- ・〔標準に戻す〕をクリックすると、〔ユーザー設定〕ダイアログボックスの設定を標準の設定（初期値）に戻します。

4 〔印刷設定〕ダイアログボックスの〔OK〕をクリックする

設定を完了します。

カラーの原稿をモノクロで印刷する

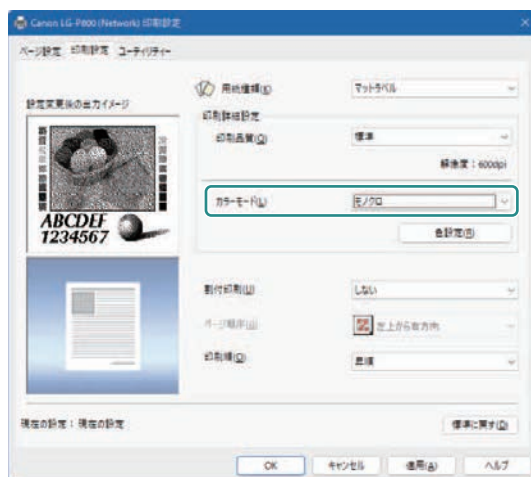


カラーで作成した原稿を、モノクロで印刷する手順を説明します。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 「印刷設定」シートの「カラーモード」で「モノクロ」を選ぶ



3 「印刷設定」ダイアログボックスの「OK」をクリックする

設定を完了します。

Ⓢ 重要

- ・「モノクロ」を選んでいるとき、プリンタードライバーは印刷データを sRGB データとして処理するため、印刷結果が画像データの色合いと異なることがあります。

色補正の方法を指定する

デジタルカメラで撮影した画像を印刷すると、撮影したイメージや、モニターに表示される色と違う色で印刷されていると感じることがあります。印刷結果を希望する色合いに近づけるには、使用するアプリケーションソフトや目的に応じて適切な印刷方法を選ぶ必要があります。

画像データの色空間と使用するアプリケーションソフトを確認し、目的に合った印刷方法を選んでください。

- プリンタードライバーで色の補正を行う

プリンタードライバーの色補正機能を指定して印刷します。

印刷イメージをモニターで確認しながら色補正した場合など、モニターの表示に近い印象で印刷したいときに選びます。

➡ **プリンタードライバーで色の補正を行う (P. 111)**

- ICC プロファイルを使用して印刷する

画像データの色空間を有効活用して印刷します。

アプリケーションソフトやプリンタードライバーで画像データの入力 ICC プロファイルに合わせたカラーマネジメントを設定することで共通の色空間で印刷できます。使用するアプリケーションソフトによって、プリンタードライバーでの設定方法が異なります。

➡ **アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定して印刷する (P. 113)**

➡ **プリンタードライバーで ICC プロファイルを指定して印刷する (P. 115)**

- Windows の ICM 機能を用いて色の補正を行う

Windows の ICM (Image Color Matching) 機能を用いて、ホストコンピュータでカラーマッチングを行います。ICM 機能対応のアプリケーションから印刷する場合に選んでください。

➡ **Windows の ICM 機能を用いて色の補正を行う (P. 117)**

メモ

- カラーマネジメントとは

デジタルカメラ、スキャナー、モニター、プリンターなど、それぞれの機器で取り扱える色が異なります。それぞれの機器ごとに持っている固有の「色」を、共通の色空間で管理するための方法がカラーマネジメント（カラーマッチング）です。カラーマネジメントシステムは、Windows では「ICM」という名称で OS に内蔵されています。

共通の色空間として多く使用されているものに sRGB があります。

それぞれの機器の持つ固有の「色」を、共通の色空間に変換するのに必要なものが、ICC プロファイルです。ICC プロファイルを利用してカラーマネジメントを行うことで、画像データが持っている色空間をプリンターで表現できる色再現領域内で引き出すことが可能になります。

- 通常、画像ファイルは JPEG 形式で保存されます。デジタルカメラによっては、RAW という形式で画像を保存することができます。RAW データとは、パソコンで現像処理を前提としたデータの保存形式で、専用のアプリケーションソフトで画像ファイルに入力 ICC プロファイルのタグをつけることができます。

■ プリンタードライバーで色の補正を行う

プリンタードライバーの色補正機能を指定して印刷します。

メモ

- ICC プロファイルを識別、指定できるアプリケーションソフトから印刷する場合は、アプリケーションソフトで印刷用の ICC プロファイルを使用してカラーマネジメントを行う設定項目を選んでください。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

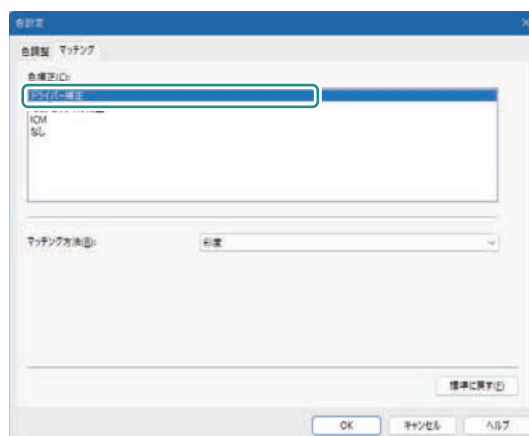
2 [印刷設定] シートの [カラーモード] で [カラー] を選び、[色設定] をクリックする



[色設定] ダイアログボックスが表示されます。

3 色補正の方法を選ぶ

[マッチング] タブをクリックし、[色補正] で [ドライバー補正] を選びます。



4 マッチング方法を選ぶ

[マッチング方法] で色の調整方法を選びます。

[知覚的]

一般的な写真を自然な色合いで再現します。滑らかな階調性が特長です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。

[彩度]

色の鮮やかさを重視して調整します。

5 そのほかの項目を設定する

必要に応じて [色調整] タブをクリックし、カラーバランス ([シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]) (→ P.106) や、[明るさ] (→ P.119)、[コントラスト] (→ P.121) を調整して、[OK] をクリックします。

6 [印刷設定] ダイアログボックスの [OK] をクリックする

設定を完了します。

■ アプリケーションソフトで ICC プロファイルを指定して印刷する

Adobe Photoshop などの、入力 ICC プロファイルと印刷用の ICC プロファイルを指定できるアプリケーションソフトから編集、レタッチした結果を、画像データが持つ入力 ICC プロファイルの色空間を有効活用して印刷することができます。

この印刷方法では、お使いのアプリケーションソフトでカラーマネジメントする設定項目を選び、画像データに入力 ICC プロファイルと印刷用の ICC プロファイルを指定しておく必要があります。

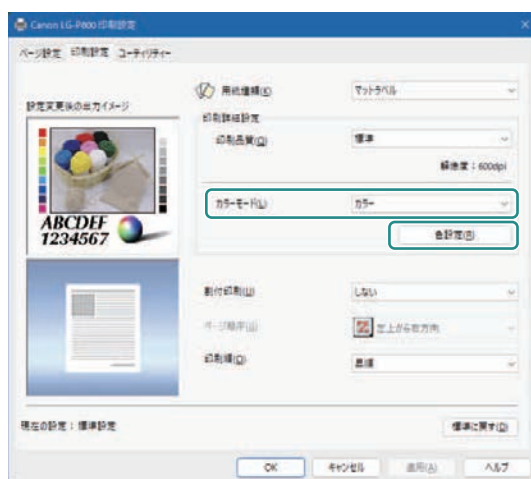
個人で作成した印刷用の ICC プロファイルを使用して印刷する場合も、アプリケーションソフトでカラーマネジメントする設定項目を選んでください。

指定する方法については、お使いのアプリケーションソフトのマニュアルを参照してください。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

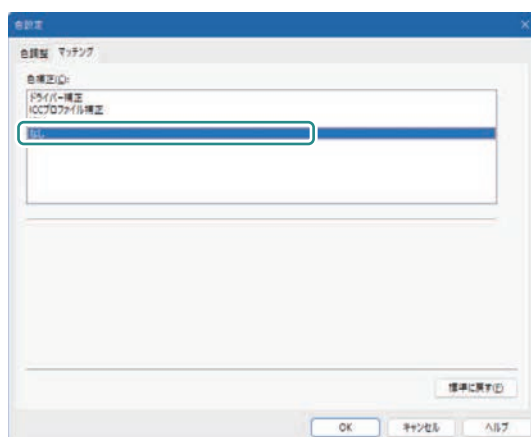
2 [印刷設定] シートの [カラーモード] で [カラー] を選び、[色設定] をクリックする



[色設定] ダイアログボックスが表示されます。

3 色補正の方法を選ぶ

[マッチング] タブをクリックし、[色補正] で [なし] を選び、[OK] をクリックします。



4 そのほかの項目を設定する

必要に応じて [色調整] タブをクリックし、カラーバランス ([シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]) (→ P.106) や、[明るさ] (→ P.119)、[コントラスト] (→ P.121) を調整して、[OK] をクリックします。

5 [印刷設定] ダイアログボックスの [OK] をクリックする

設定を完了します。

■ プリンタードライバーで ICC プロファイルを指定して印刷する

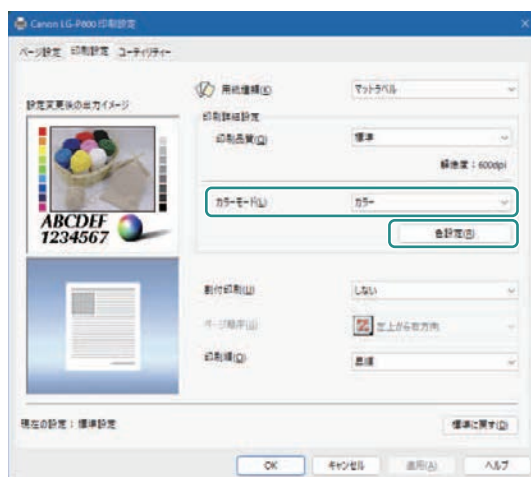
✓ 重要

- アプリケーションソフトで ICM を使用しない設定にしている場合、[色補正] の [ICC プロファイル補正]、[ICM] は機能しません。また、正常に印刷できないことがあります。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

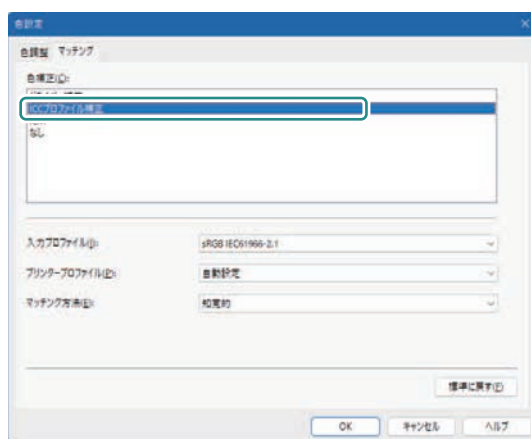
2 [印刷設定] シートの [カラーモード] で [カラー] を選び、[色設定] をクリックする



[色設定] ダイアログボックスが表示されます。

3 色補正の方法を選ぶ

[マッチング] タブをクリックし、[色補正] で [ICC プロファイル補正] を選びます。



4 入力プロファイルを選ぶ

[入力プロファイル] で使用したい入力プロファイルを選びます。

✓ 重要

- アプリケーションソフトで入力プロファイルを指定する場合は、プリンタードライバーで指定した入力プロファイルは無効となります。

5 プリンタープロファイルを選ぶ

〔プリンタープロファイル〕で以下の通りに選びます。

自動的にプリンタープロファイルを設定する場合：

〔自動設定〕を選びます。

手でプリンタープロファイルを設定する場合：

使用する用紙の種類に合わせて、プリンタープロファイルを選びます。

6 マッチング方法を選ぶ

〔マッチング方法〕で色の調整方法を選びます。

〔知覚的〕

一般的な写真を自然な色合いで再現します。滑らかな階調性が特長です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。

〔彩度〕

色の鮮やかさを重視して調整します。

〔相対的な色域を維持〕

画像データをプリンターの色空間に変換したときに、共通の色域で色再現が近似するように画像データを変換します。画像データが本来持っている色に近づけて印刷したい場合に選びます。

〔絶対的な色域を維持〕

〔相対的な色域を維持〕は白点の再現が用紙の白点（地色）になりますが、〔絶対的な色域を維持〕の場合には画像データに依存した白点を再現します。

☑ 重要

- 用紙の種類によっては、〔マッチング方法〕を変更しても同じ印刷結果になることがあります。

7 そのほかの項目を設定する

必要に応じて〔色調整〕タブをクリックし、カラーバランス（〔シアン〕、〔マゼンタ〕、〔イエロー〕）（→ P.106）や、〔明るさ〕（→ P.119）、〔コントラスト〕（→ P.121）を調整して、〔OK〕をクリックします。

8 〔印刷設定〕ダイアログボックスの〔OK〕をクリックする

設定を完了します。

■ Windows の ICM 機能を用いて色の補正を行う

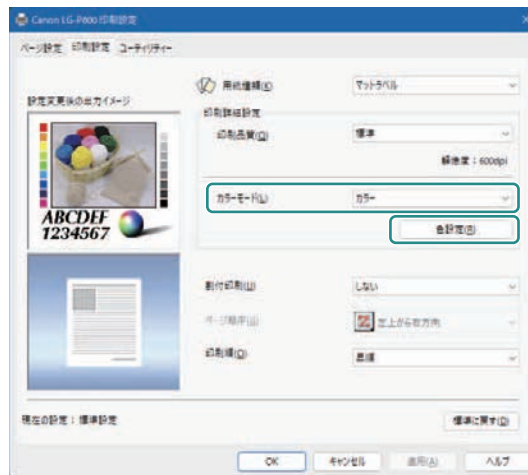
✓ 重要

- アプリケーションソフトで ICM を使用しない設定にしている場合、[色補正] の [ICC プロファイル補正]、[ICM] は機能しません。また、正常に印刷できないことがあります。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

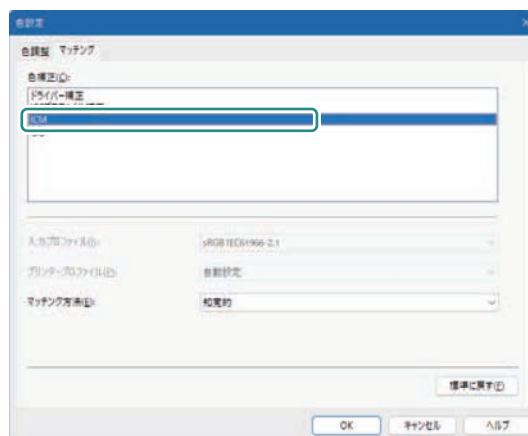
2 [印刷設定] シートの [カラーモード] で [カラー] を選び、[色設定] をクリックする



[色設定] ダイアログボックスが表示されます。

3 色補正の方法を選ぶ

[マッチング] タブをクリックし、[色補正] で [ICM] を選びます。



4 マッチング方法を選ぶ

〔マッチング方法〕で色の調整方法を選びます。

〔知覚的〕

一般的な写真を自然な色合いで再現します。滑らかな階調性が特長です。また、アプリケーションソフトを使用して色調整を行う際にも扱いやすいモードです。

〔彩度〕

色の鮮やかさを重視して調整します。

〔相対的な色域を維持〕

画像データをプリンターの色空間に変換したときに、共通の色域で色再現が近似するように画像データを変換します。画像データが本来持っている色に近づけて印刷したい場合に選びます。

〔絶対的な色域を維持〕

〔相対的な色域を維持〕は白点の再現が用紙の白点（地色）になりますが、〔絶対的な色域を維持〕の場合には画像データに依存した白点を再現します。

☑ 重要

- 用紙の種類によっては、〔マッチング方法〕を変更しても同じ印刷結果になることがあります。

5 そのほかの項目を設定する

必要に応じて〔色調整〕タブをクリックし、カラーバランス（〔シアン〕、〔マゼンタ〕、〔イエロー〕）（→ P.106）や、〔明るさ〕（→ P.119）、〔コントラスト〕（→ P.121）を調整して、〔OK〕をクリックします。

6 〔印刷設定〕ダイアログボックスの〔OK〕をクリックする

設定を完了します。

明るさを調整する

印刷時に画像データ全体の色を明るくまたは暗くすることができます。
下のサンプルでは、明るさを暗く調整して印刷した場合を表示しています。



補正なし

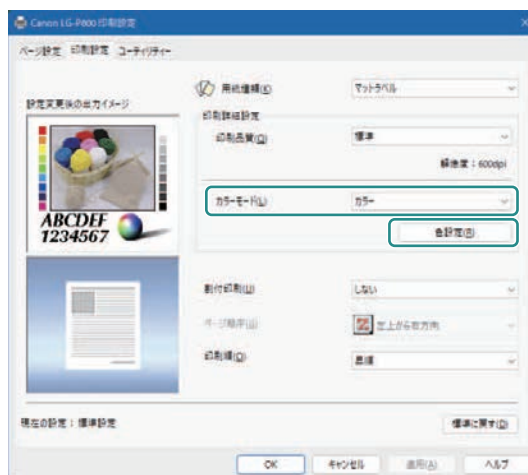


明るさを暗く調整

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

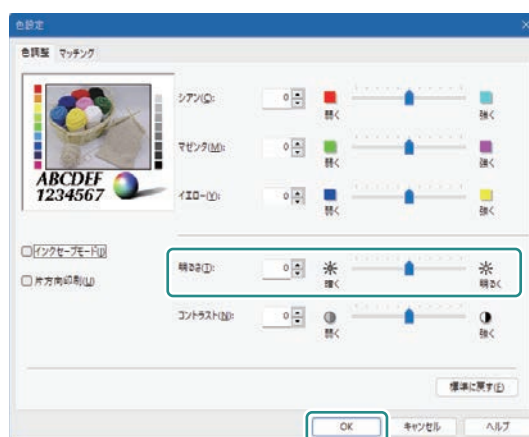
➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 「印刷設定」シートの「カラーモード」で「カラー」または「モノクロ」を選び、「色設定」をクリックする



「色設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 明るさを調整する



〔色調整〕シートの、〔明るさ〕のスライダーを右に動かすほど明るく（薄く）、左に動かすほど暗く（濃く）なります。

スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は -50 ～ 50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

調整が終わったら、〔OK〕をクリックします。

📖 メモ

- ・〔標準に戻す〕をクリックすると、〔色調整〕シートの設定を標準の設定（初期値）に戻します。
- ・〔色補正〕で〔ICM〕を選んでいる場合、〔明るさ〕は設定できません。

4 〔印刷設定〕ダイアログボックスの〔OK〕をクリックする

設定を完了します。

コントラストを調整する

印刷時に画像のコントラストを調整することができます。

画像の明るい部分と暗い部分の差を大きく、はっきりさせたい場合はコントラストを強くします。反対に、明るい部分と暗い部分の差を縮めて、ぼんやりさせたい場合はコントラストを弱くします。



補正なし

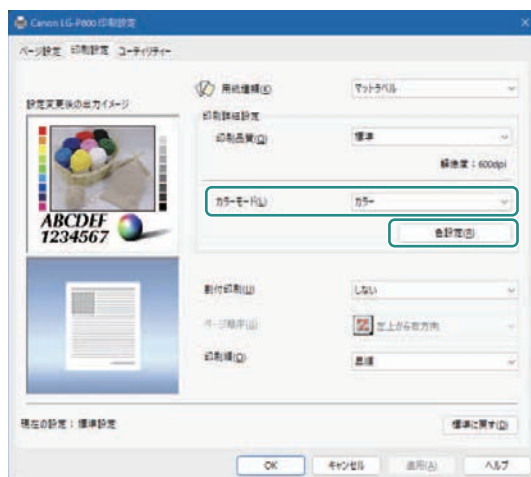


コントラストを調整

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 「印刷設定」シートの「カラーモード」で「カラー」または「モノクロ」を選び、「色設定」をクリックする



「色設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 コントラストを調整する



〔色調整〕シートの、〔コントラスト〕のスライダーを右に動かすほどコントラストが強くなり、左に動かすほど弱くなります。

スライダーに連動した数値を直接入力することもできます。入力する数値は -50 ～ 50 の範囲で設定してください。設定の状態は左側のプレビュー画像に表示されます。

調整が終わったら、〔OK〕をクリックします。

メモ

- ・〔標準に戻す〕をクリックすると、〔色調整〕シートの設定を標準の設定（初期値）に戻します。
- ・〔色補正〕で〔ICM〕を選んでいる場合、〔コントラスト〕は設定できません。

4 〔印刷設定〕ダイアログボックスの〔OK〕をクリックする

設定を完了します。

インクの使用量を抑えて印刷する

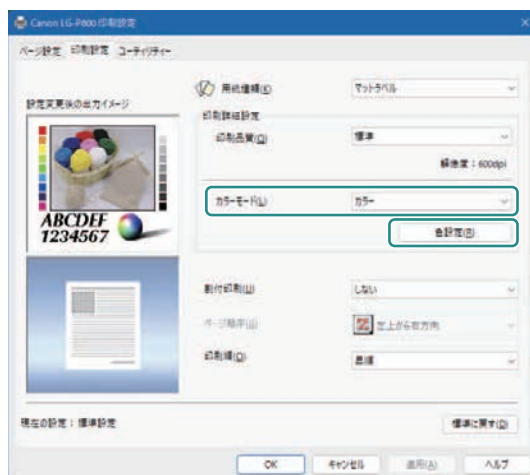
通常の印刷に比べてインクの使用量を抑えて印刷を行います。印刷コストを抑えたい場合や、ブラックではなくカラーでバーコードを印刷する場合、または印刷のにじみが気になる場合にご利用ください。

なお、インクセーブモードで印刷した場合、通常の印刷と比べて発色が異なることがあります。印刷品質を優先される場合は、通常の印刷モードのご使用をおすすめします。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

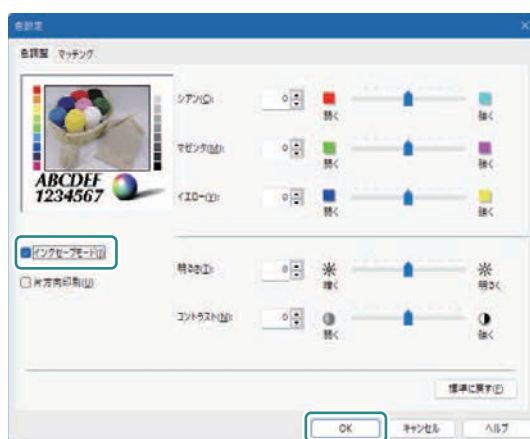
➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 「印刷設定」シートの「カラーモード」で「カラー」または「モノクロ」を選び、「色設定」をクリックする



「色設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 「インクセーブモード」にチェックマークを付けて、「OK」をクリックする



4 「印刷設定」ダイアログボックスの「OK」をクリックする

設定を完了します。

片方向印刷に設定する

本プリンターは、双方向印刷（往復両方で印刷）と片方向印刷（一方向からの印刷）を切り替えながら印刷します。色のムラが出るときや、罫線がずれるときは、片方向印刷を設定して印刷してください。

1 プリンタードライバーの設定画面を開く

➡ プリンタードライバーの設定画面の開きかた (P. 90)

2 「印刷設定」シートの「カラーモード」で「カラー」または「モノクロ」を選び、「色設定」をクリックする



「色設定」ダイアログボックスが表示されます。

3 「片方向印刷」にチェックマークを付けて、「OK」をクリックする



4 「印刷設定」ダイアログボックスの「OK」をクリックする

設定を完了します。

ステータスマニターの使いかた

ステータスマニターでは、現在の印刷状況を確認できるほか、プリンターの状態やインクの消費状態、メンテナンスカートリッジのインク回収量などを確認できます。

ステータスマニターを起動する

ステータスマニターを起動します。

1 プリンタードライバーの設定画面を表示します。

➡ [プリンタードライバーの設定画面の開きかた \(P. 90\)](#)

2 [ユーティリティ] タブをクリックし、[ステータスマニター起動] をクリックします。

ステータスマニターが起動します。

メモ

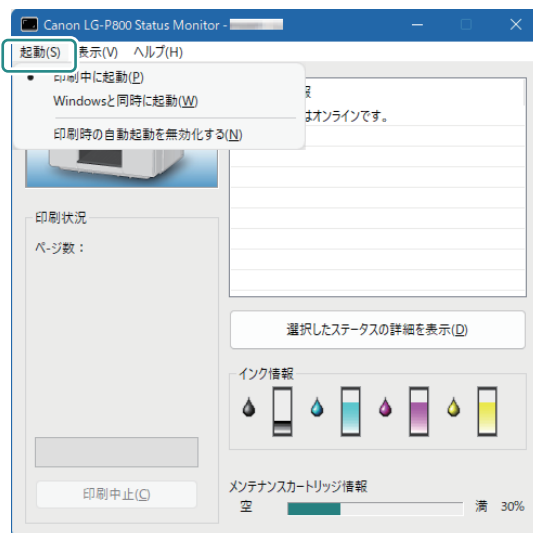
- ステータスマニターは、印刷が開始されたときに自動的に起動し、表示される設定になっています。

ステータスマニターの起動と表示方法

ステータスマニターの起動と表示方法を説明します。

1 [起動]メニューから起動のしかたを選ぶ

設定された項目の先頭に「●」が付きます。



[印刷中に起動]

印刷を開始したときに、ステータスマニターが自動的に起動して表示されます。ステータスマニターは、印刷が終わると自動的に閉じます。(初期状態の設定)

[Windows と同時に起動]

Windows を起動したときに、ステータスマニターが自動的に起動します。



• 印刷時の自動起動を無効化する

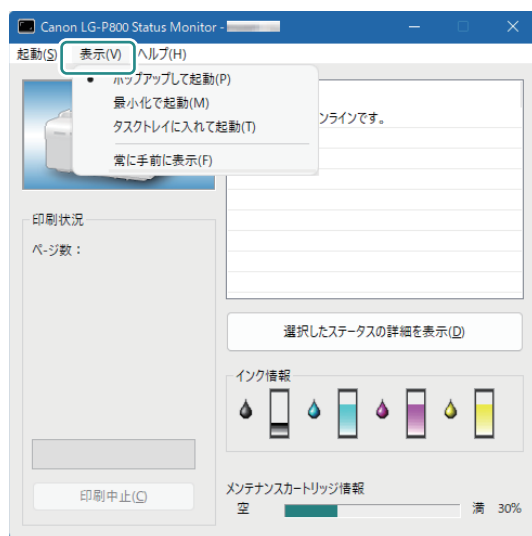
印刷を開始したときに、ステータスマニターが自動的に起動しないように設定したいときは、[起動]メニューの[印刷時の自動起動を無効化する]にチェックマークを付けます。

- [印刷中に起動]と[印刷時の自動起動を無効化する]の両方が選ばれている場合、[印刷時の自動起動を無効化する]が優先されます。
- 本プリンターの管理者(本プリンターのドライバーをインストールしたユーザー)権限を持たないユーザーは[印刷時の自動起動を無効化する]の設定を変更できません。
- ステータスマニターを表示したいときは、プリンタードライバーのユーティリティーシートから[ステータスマニター起動]を実行してください。

➡ ステータスマニターを起動する (P.125)

2 「表示」メニューから表示のしかたを選ぶ

設定された項目の先頭に「●」が付きます。



〔ポップアップして起動〕（初期設定）

起動したステータスモニターのウィンドウを表示します。

〔最小化で起動〕

起動したステータスモニターのウィンドウを、最小化してタスクバーに収納します。

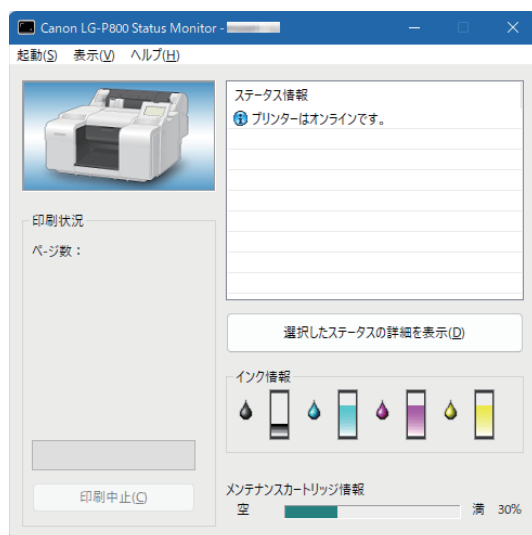
〔タスクトレイに入れて起動〕

起動したステータスモニターのウィンドウを、タスクトレイの中にアイコン化された状態で表示します。

メモ

- ・〔常に手前に表示〕にチェックマークを付けると、ステータスモニターのウィンドウは半透明に表示され、起動したステータスモニターの画面を常に手前に表示することができます。
- ・〔最小化で起動〕または〔タスクトレイに入れて起動〕に設定しても、プリンターにエラーが発生すると、ステータスモニターは自動的にポップアップし、メッセージを表示します。ポップアップされたウィンドウの最小化ボタンをクリックすると、再びタスクバーに収納できます。

ステータスマニターの画面説明



〔プリンター状態のイメージ〕

現在のプリンターの状態をプレビュー表示します。



(背景はブルー)

オンラインの状態であることを示します。
印刷を行うことができます。



(背景はイエロー)

警告が発生していることを示します。
〔ステータス情報〕に警告メッセージが表示されますが、印刷を続けることができます。必要に応じて対処を行ってください。



(背景はレッド)

エラーが発生していることを示します。
〔ステータス情報〕にエラーメッセージが表示され、印刷を行うことができません。必要な対処を行ってください。



(背景はグレー)

オフライン状態であることを示します。

〔印刷状況〕

〔ページ数〕には、印刷中のページ数 / 総ページ数を表示します。

例えば、10 ページの印刷データで、現在 3 ページ目を印刷している場合、「0003/0010」と表示されます。プログレスバーは、総ページ数に対する現在の処理状況を表しています。

〔印刷中止〕

印刷を中止します。

〔ステータス情報〕

現在のプリンターの状態をアイコンとメッセージで表示します。



プリンターに関する情報が表示されます。メッセージ内容を確認してください。



警告が発生しています。警告の内容をメッセージで確認してください。この場合、印刷を行うことはできません。



お客様の操作が必要なエラーが発生しています。
エラー内容をメッセージで確認し、必要な対処を行ってください。



修理が必要なエラーが発生しています。
電源を入れなおしてもエラーが発生する場合は、エラー番号を控えてご購入の販売店やサービス店、お客様相談センターにご連絡ください。

複数のエラーが同時に発生した場合は、重要度の高いエラーから順に〔ステータス情報〕に表示されます。

〔詳細なステータス表示〕

プリンターの状態を詳しく説明する別ウィンドウを開きます。

〔インク情報〕

インクタンクの消費状況を表示します。

〔メンテナンスカートリッジ情報〕

メンテナンスカートリッジ内のインク回収量を表示します。

パソコンから印刷するための準備

プリンタードライバーをインストールする

プリンタードライバーのインストール手順は、「プリンタードライバーインストールガイド」を参照してください。

プリンタードライバーを更新する

現在使用しているプリンタードライバーから、最新のプリンタードライバーにバージョンアップすると、今まで起こっていたトラブルが解消されることがあります。

インストールされているドライバーを、新しいバージョンに更新する手順を説明します。

プリンタードライバーのバージョンは、[ページ設定] シートの [バージョン情報] から確認できます。

📌 重要

- ・ 管理者権限のユーザーでサインインしてください。
印刷中のドキュメントがありましたら、印刷を終了させるか、終了するのをお待ちください。
- ・ プリンタードライバーのすべてのダイアログボックスを閉じてください。

1 キヤノンホームページにアクセスして、本プリンターのプリンタードライバーをダウンロードする

キヤノンホームページ: canon.jp/download

📌 重要

- ・ インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

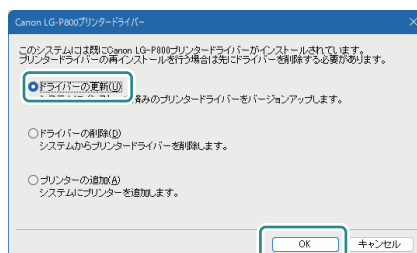
2 インストーラーを起動する

入手したファイルのアイコンをダブルクリックすると、インストールプログラムが起動します。

📖 メモ

- ・ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは、[はい] をクリックします。

3 [ドライバーの更新] を選び、[OK] をクリックする



4 画面の案内に従って、インストールする

5 パソコンの再起動を促すメッセージが表示されたら、[はい]をクリックする

パソコンの再起動が自動的に開始されます。

メモ

- ・ [いいえ] を選んだ場合は、プリンターを使用する前に必ずパソコンを再起動してください。

プリンタードライバーを削除する

使わなくなったプリンタードライバーは削除することができます。

プリンタードライバーを削除するときは、使用中のアプリケーションソフトをすべて終了させてください。

不要になったプリンタードライバーを削除する手順を説明します。

1 インターフェイスクーブルをすべて取り外す

印刷が行われていないことを確認したあと、プリンターの電源を切ってからインターフェイスクーブルを取り外します。

2 [スタート] → [すべてのアプリ] → [Canon LG-P800] → [Canon LG-P800 ドライバーのアンインストール] を選ぶ

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 をお使いの場合：

[スタート] → [Canon LG-P800] → [Canon LG-P800 ドライバーのアンインストール] を選ぶ

3 [開始] をクリックする



- ・ [ユーザーアカウント制御] 画面が表示されたときは、[はい] をクリックします。

4 [完了] をクリックする

5 パソコンの再起動を促すメッセージが表示されたら、[はい] をクリックする

パソコンの再起動が自動的に開始されます。



- ・ [いいえ] を選んだ場合は、再度プリンタードライバーのインストールを行う前に、必ずパソコンを再起動してください。

プリンタードライバーの設定情報を移行する

設定移行ユーティリティを使うと、プリンタードライバーに登録した設定情報（お気に入り、ユーザー用紙サイズ）を移行することができます。

たとえば、プリンターを増設したときやプリンタードライバーのバージョンアップを行ったときに、同じ設定情報を再登録する必要がなく、登録済みの設定を使って印刷できます。

■ 設定移行ユーティリティを準備する

設定移行ユーティリティは、キャノンホームページにアクセスして入手してください。

キャノンホームページ: canon.jp/download



重要

- ・ インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- ・ 対応プリンターは、LG-P800 のみ となっています。その他のプリンターの設定情報は移行できません。

■ 設定情報をエクスポートする

プリンタードライバーの設定情報をファイルに保存します。

プリンタードライバーの設定情報のエクスポートには、以下の 2 つの方法があります。

● 設定情報を一括でエクスポートする（→ P.133）

プリンタードライバーに登録されている設定情報（お気に入り、ユーザー用紙サイズ）を、まとめて一括で保存します。

● 設定情報を選んでエクスポートする（→ P.135）

設定情報の一覧から、必要な項目だけを選択して保存します。また、既存のエクスポートファイルを読み込んで、設定を追加登録することも可能です。



メモ

- ・ インポート/エクスポートできる設定情報は次のとおりです。
 - [ページ設定] シートの [お気に入り] に登録されている印刷設定
 - [ページ設定] シートの [用紙サイズ] に登録されているユーザー用紙サイズ
- ・ 設定情報は、ファイルに保存せずに、プリンタードライバーから直接読み込むことも可能です。
➡ [プリンタードライバーから直接インポートする \(P. 141\)](#)

● 設定情報を一括でエクスポートする

1 設定移行ユーティリティを起動する

EXE ファイルをダブルクリックすると、設定移行ユーティリティ が起動します。



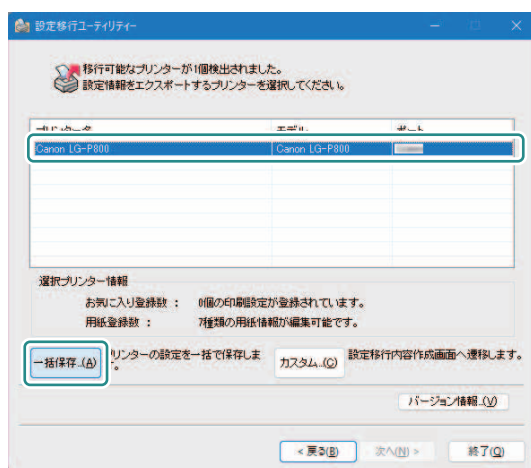
メモ

- ・ 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい] をクリックしてください。

2 「設定情報ファイルのエクスポート」を選び、「次へ」をクリックする



3 エクスポートするプリンター（ドライバー）を一覧から選び、「一括保存」をクリックする



「設定移行データ確認」ダイアログボックスが表示されます。

4 「OK」をクリックする

エクスポートファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

5 ファイルの保存場所を選び、ファイル名（*.tdd）を入力する

6 「保存」をクリックする

エクスポートファイルが保存されます。

7 「OK」をクリックする

8 設定移行ユーティリティを終了する

「終了」をクリックします。

● 設定情報を選んでエクスポートする

1 設定移行ユーティリティを起動する

EXE ファイルをダブルクリックすると、設定移行ユーティリティが起動します。

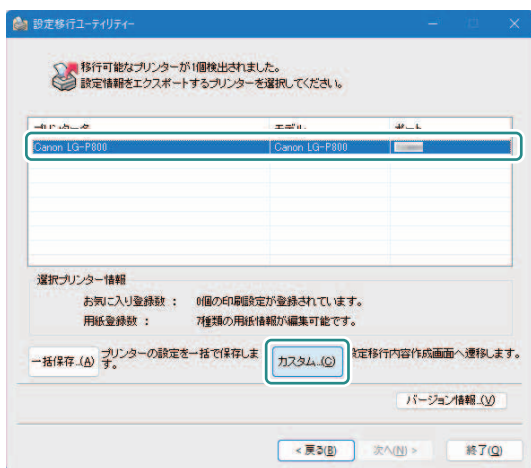


- ・「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

2 「設定情報ファイルのエクスポート」を選び、「次へ」をクリックする



3 エクスポートするプリンター（ドライバー）を一覧から選び、「カスタム」をクリックする



「移行データ作成」ダイアログボックスが表示されます。

4 プリンタードライバーに登録されている設定情報の中から、エクスポートファイルに保存する情報を選ぶ

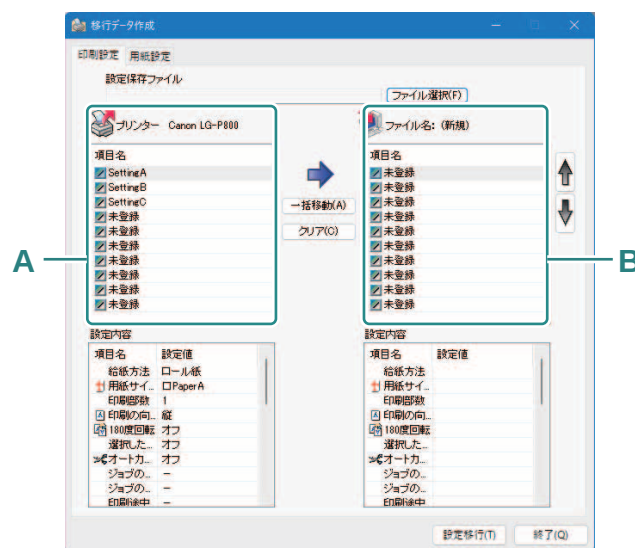
エクスポート対象の設定情報は、以下の2つのシートに分類されています。各シートから、必要な設定を選んで保存してください。

〔印刷設定〕シート：

〔ページ設定〕シートの〔お気に入り〕に登録されている印刷設定の中から、エクスポートファイルに保存する設定を選択します。

〔用紙設定〕シート：

〔ページ設定〕シートの〔用紙サイズ〕に登録されているユーザー用紙サイズの中から、エクスポートファイルに保存する設定を選択します。



A（プリンタードライバーに登録されている設定）から B（エクスポートファイルに保存する設定）へ、設定をドラッグアンドドロップで登録できます。

「未登録」の位置にドロップした場合：

設定はリストの末尾に追加されます。

すでに登録されている項目名（用紙名）の上にドロップした場合：

その項目名（用紙名）の設定が上書きされます。

すべての設定を一括で登録する場合：

〔一括移動〕をクリックしてください。一括移動すると、既存の設定情報をすべて上書きします。



メモ

- ・印刷設定は最大 10 個、用紙設定は最大 50 種類まで登録できます。
- ・エクスポートファイルに保存する設定の順序を入れ替えたいときは、設定項目の横にある上下ボタンを使用してください。
- ・すべての設定を元の状態に戻したい場合は、〔クリア〕ボタンをクリックしてください。
- ・既存のエクスポートファイルに設定を追加して保存したい場合は、〔ファイル選択〕をクリックし、対象のファイルを指定してください。

5 〔設定移行〕をクリックする

「設定移行データ確認」ダイアログボックスが表示されます。

6 [OK] をクリックする

エクスポートファイルの保存先を指定する画面が表示されます。

7 ファイルの保存場所を選び、ファイル名 (*.tdd) を入力する

8 [保存] をクリックする

エクスポートファイルが保存されます。

9 [OK] をクリックする

10 設定移行ユーティリティを終了する

[終了] をクリックします。

■ 設定情報をインポートする

プリンタードライバーの設定情報のインポートは、次のいずれかの方法で行うことができます。

- エクスポートファイルをインポートする (→ P.138)

あらかじめ、プリンタードライバーの設定情報を保存したファイル (エクスポートファイル) を作成しておき、ファイルから設定情報を読み込みます。

- プリンタードライバーから直接インポートする (→ P.141)

他の LG-P800 プリンタードライバーから、設定情報を直接読み込みます。

📖 メモ

- ・ インポート / エクスポートできる設定情報は次のとおりです。
 - [ページ設定] シートの [お気に入り] に登録されている印刷設定
 - [ページ設定] シートの [用紙サイズ] に登録されているユーザー用紙サイズ
- ・ インポートできる設定情報は、LG-P800 プリンタードライバーの設定情報のみです。他機種のラベルプリンターの設定情報は読み込みません。

● エクスポートファイルをインポートする

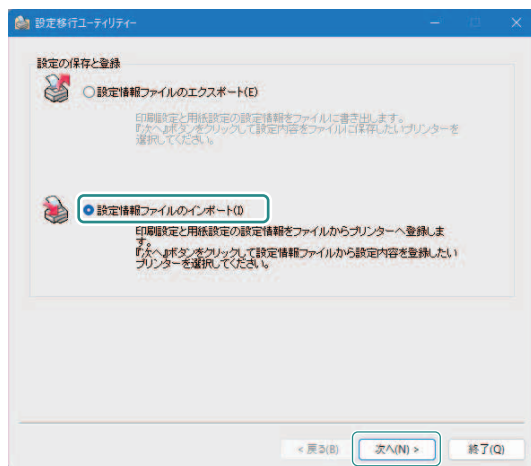
1 設定移行ユーティリティを起動する

EXE ファイルをダブルクリックすると、設定移行ユーティリティが起動します。

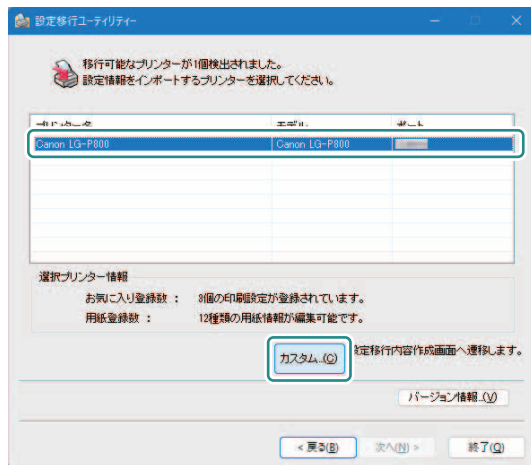


- ・「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

2 「設定情報ファイルのインポート」を選び、「次へ」をクリックする



3 インポートするプリンター（ドライバー）を一覧から選び、「カスタム」をクリックする



「移行データ作成」ダイアログボックスが表示されます。

4 「ファイル選択」をクリックする

5 エクスポートファイル（*.tdd）を選び、「開く」をクリックする

6 エクスポートファイルに保存されている設定情報の中から、プリンタードライバーに読み込む設定情報を選ぶ

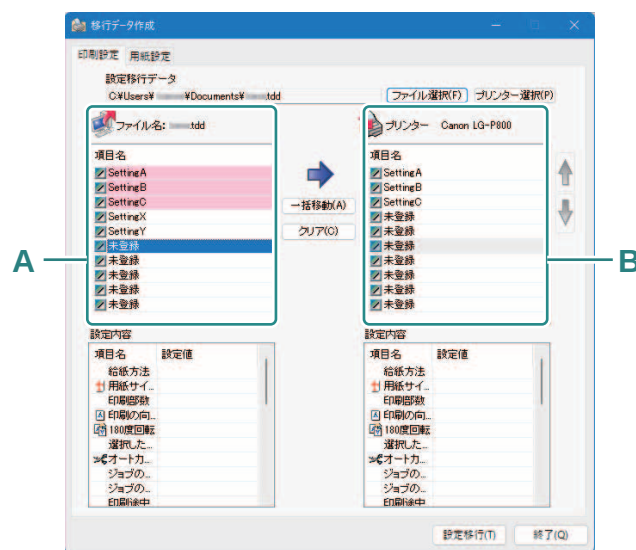
読み込み対象の設定情報は、以下の 2 つのシートに分類されています。各シートから、必要な設定を選んで読み込んでください。

〔印刷設定〕シート：

エクスポートファイルに保存されている印刷設定の中から、プリンタードライバーの〔ページ設定〕シートの〔お気に入り〕に登録する設定を選択します。

〔用紙設定〕シート：

エクスポートファイルに保存されているユーザー用紙サイズの中から、〔ページ設定〕シートの〔用紙サイズ〕に登録する設定を選択します。



A(エクスポートファイルに保存されている設定)から B(プリンタードライバーに登録されている設定)へ、設定をドラッグアンドドロップで登録できます。

「未登録」の位置にドロップした場合：

設定はリストの末尾に追加されます。

すでに登録されている項目名（用紙名）の上にドロップした場合：

その項目名（用紙名）の設定が上書きされます。

すべての設定を一括で登録する場合：

〔一括移動〕をクリックしてください。一括移動すると、既存の設定情報をすべて上書きします。

📖 メモ

- ・印刷設定は最大 10 個、用紙設定は最大 50 種類まで登録できます。
- ・プリンタードライバーに保存する設定の順序を入れ替えたいときは、設定項目の横にある上下ボタンを使用してください。
- ・すべての設定を元の状態に戻したい場合は、〔クリア〕ボタンをクリックしてください。
- ・A と B に同じ項目名（用紙名）が存在する場合、A 側の項目名（用紙名）は赤くマーキングされます。赤くマーキングされた項目名（用紙名）は、B に登録することができません。別の印刷設定（用紙設定）として登録したい場合は、A 側の項目名（用紙名）を変更してから再度操作を行ってください。

7 「設定移行」をクリックする

「設定移行データ確認」ダイアログボックスが表示されます。

8 「OK」をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

9 「OK」をクリックする

インポートが完了します。

10 「OK」をクリックする

11 設定移行ユーティリティを終了する

「終了」をクリックします。

● プリンタードライバーから直接インポートする

1 設定移行ユーティリティを起動する

EXE ファイルをダブルクリックすると、設定移行ユーティリティが起動します。

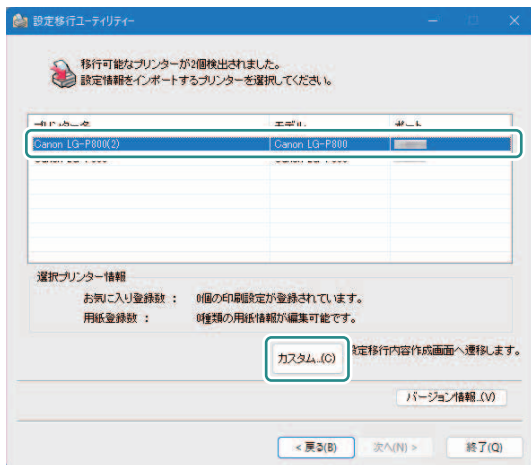


- ・「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「はい」をクリックしてください。

2 「設定情報ファイルのインポート」を選び、「次へ」をクリックする



3 インポートするプリンター（ドライバー）を一覧から選び、「カスタム」をクリックする



「移行データ作成」ダイアログボックスが表示されます。

4 「プリンター選択」をクリックする

5 移行元となるプリンターを選び、「OK」をクリックする

6 移行元のプリンターに保存されている設定情報の中から、プリンタードライバーに読み込む設定情報を選ぶ

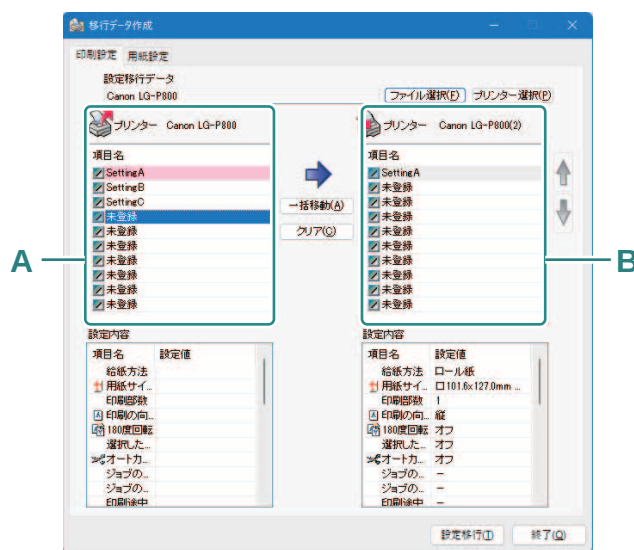
読み込み対象の設定情報は、以下の 2 つのシートに分類されています。各シートから、必要な設定を選んで読み込んでください。

〔印刷設定〕シート：

移行元のプリンターに保存されている印刷設定の中から、プリンタードライバーの〔ページ設定〕シートの〔お気に入り〕に登録する設定を選択します。

〔用紙設定〕シート：

移行元のプリンターに保存されているユーザー用紙サイズの中から、〔ページ設定〕シートの〔用紙サイズ〕に登録する設定を選択します。



A（移行元のプリンターに保存されている設定）から B（プリンタードライバーに登録されている設定）へ、設定をドラッグアンドドロップで登録できます。

「未登録」の位置にドロップした場合：

設定はリストの末尾に追加されます。

すでに登録されている項目名（用紙名）の上にドロップした場合：

その項目名（用紙名）の設定が上書きされます。

すべての設定を一括で登録する場合：

〔一括移動〕をクリックしてください。一括移動すると、既存の設定情報をすべて上書きします。

📖 メモ

- 印刷設定は最大 10 個、用紙設定は最大 50 種類まで登録できます。
- プリンタードライバーに保存する設定の順序を入れ替えたいときは、設定項目の横にある上下ボタンを使用してください。
- すべての設定を元の状態に戻したい場合は、〔クリア〕ボタンをクリックしてください。
- A と B に同じ項目名（用紙名）が存在する場合、A 側の項目名（用紙名）は赤くマーキングされます。赤くマーキングされた項目名（用紙名）は、B に登録することができません。別の印刷設定（用紙設定）として登録したい場合は、A 側の項目名（用紙名）を変更してから再度操作を行ってください。

7 「設定移行」をクリックする

「設定移行データ確認」ダイアログボックスが表示されます。

8 「OK」をクリックする

確認のメッセージが表示されます。

9 「OK」をクリックする

インポートが完了します。

10 「OK」をクリックする

11 設定移行ユーティリティを終了する

「終了」をクリックします。

プリンターの設定

操作パネルから設定を変更する.....	145	プリンターの状態をメールで受信する	193
ホーム画面の構成	145	プリンターの設定を移行する.....	194
用紙メニュー	149	プリンターの設定を初期化する.....	196
セットアップメニュー	150		
LAN 設定メニュー	162		
プリンター情報メニュー	165		
ジョブ管理メニュー	166		
管理者パスワードを設定する	167		
プリンターの情報を印刷する	169		
ウェブブラウザから設定を変更する（リ モート UI）.....	171		
リモート UI を使用するための準備.....	171		
リモート UI を起動する	172		
リモート UI で設定できる項目.....	174		
リモート UI でパスワードを設定する.....	180		
SSL 通信のためにプリンターのルート証明 書をウェブブラウザに登録する	182		
SSL 通信のためにプリンターのルート証明 書をローカルコンピューターに登録する	187		
サーバー証明書を生成する	189		
メールサーバーを設定する	191		

操作パネルから設定を変更する

ホーム画面の構成

プリンターが起動すると、タッチスクリーンにはホーム画面が表示されます。

ホーム画面から、用紙の操作や設定、プリンターの状態の確認、メンテナンスや各種設定などのメニューを選ぶことができます。

➡ **タッチスクリーンの基本操作 (P. 147)**



A：プリンター情報表示部 (→ P.148)

プリンターの状態やメッセージなどが表示されます。メッセージが表示されているときにこの部分を選べると、一覧画面でメッセージを確認することや、詳細情報、操作などの画面に進むことができます。

B：ストップボタン (→ P.32)

処理中のジョブを中止します。

C：用紙設定表示部 (→ P.149)

セットされている用紙の種類や残量が表示されます。この部分を選べると、用紙メニューが表示され、用紙の設定などを行うことができます。

D：インク表示部 (→ P.268)

現在の推定インク残量が表示されます。この部分を選べると、インクタンクの交換などを行うことができます。

E：基本メニュー

用紙に関するメニューの中でよく使用する「用紙交換」や「用紙送り」、「用紙カット」などが表示されており、ここから直接選ぶことができます。

F: ネットワーク (→ P.162)

ご利用のネットワークが表示されます。また、ネットワークの基本情報の表示や、ネットワークの設定を行うときに選びます。

ご利用のネットワークや状況によって、表示されるアイコンが異なります。



Wi-Fi が有効になっていて、Wi-Fi ルーターと接続できています。
電波の状態によって、表示されるアイコンは変化します。

	(電波強度: 81% 以上): 通常に使用できます。
	(電波強度: 51% 以上): ネットワーク状況によっては印刷できないなど、不具合が発生する可能性があります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけることをおすすめします。
	(電波強度: 50% 以下): 印刷できないなど、不具合が発生する可能性があります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけて、ご使用ください。



Wi-Fi は有効になっていますが、Wi-Fi ルーターと接続できていません。



有線 LAN が有効になっています。



無線ダイレクトが有効になっています。



Wi-Fi も有線 LAN も無効になっています。

G: セットアップ (→ P.150)

プリンターの設定の変更、お手入れ、プリンター情報の確認を行うときに選びます。

H: プリンター情報 (→ P.165)

プリンターの各種情報を表示します。

I: ジョブ管理 (→ P.166)

印刷ジョブの管理に関する設定を行うときに選びます。

メモ

- メニューで設定した値は、すべての印刷ジョブに適用されます。ただし、プリンタードライバーに同じ設定項目がある場合は、プリンタードライバーの設定値が優先されます。
- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定項目によっては設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。管理者パスワードが必要な設定項目については、「**管理者パスワードを設定する (P.167)**」を参照してください。

■ タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンに指先で軽く触れたり、触れた指を動かしたりすることで、いろいろな機能や設定などを選ぶことができます。

✓ 重要

- ・ タッチスクリーンを操作するときには、以下のことに注意してください。タッチスクリーンが誤動作したり、破損したりすることがあります。
 - タッチスクリーンを指で強く押さない
 - タッチスクリーンを指以外のもの（特にボールペンや鉛筆、爪など先の鋭いもの）で押さない
 - タッチスクリーンに濡れた手や、汚れた手で触れない
 - タッチスクリーン上には何も物を乗せない
- ・ タッチスクリーンに保護フィルムを貼らないでください。はがす際にタッチスクリーンを傷付けるおそれがあります。



タップ

指先で軽く触れ、すぐに離します。画面の項目を選ぶときなどに使います。本ガイドでは、タップ操作のことを「押す」または「選ぶ」と表記しています。



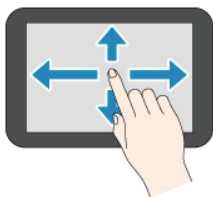
タッチ

指先で軽く触れます。
メニューやリストなどを連続で進める（戻す）ときは、その方向のマークをタッチしたままにします。



フリック

画面に触れた指を上下左右にはらいます。
メニューやリストをすばやく進める（戻す）ときに使います。



ドラッグ

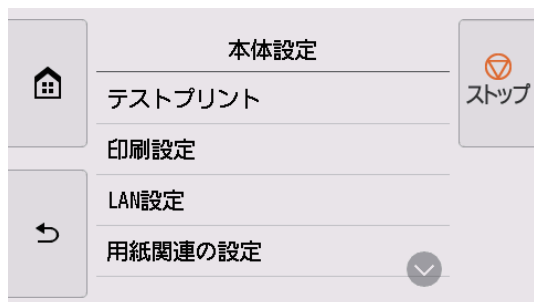
指先で軽く触れたまま、上下左右に動かします。
メニューやリストを見ながら移動するときに使います。

■ お知らせメッセージの表示

インクが少なくなるなど、お知らせしたいメッセージがある場合、プリンター情報表示部に「お知らせがあります」と表示されます。選択すると、「お知らせ一覧」画面が表示され、メッセージを確認できます。メッセージを選ぶと、メッセージの詳細画面が表示され、内容の確認や対処などを行うことができます。

■ タッチスクリーンに表示されるアイコン

タッチスクリーンの両端には、使用できる機能のアイコンが表示されます。



（ホーム）ホーム画面が表示されます。



（戻る） 現在表示している画面の1つ前の画面が表示されます。

用紙メニュー

[ホーム画面] → [用紙設定表示部]

■ 用紙メニューの階層

設定できる項目は以下のとおりです。各項目の初期値は用紙種類ごとに異なります。

設定項目	初期値
用紙交換	
紙送り / 用紙カット	
用紙の取外し	
用紙設定	
サイズ名 ^{*1} (用紙サイズ ^{*2}) (→ P.57)	
用紙種類	
詳細設定	
紙の厚さ (ヘッドの高さ) (→ P.306)	(用紙種類により異なる)
ヘッド高さ調整	(用紙種類により異なる)
用紙こすれ軽減モード	(用紙種類により異なる)
斜行検知精度	(用紙種類により異なる)
カットモード (→ P.63)	(用紙種類により異なる)
カットスピード	(用紙種類により異なる)
先端プレカット (→ P.66)	(用紙種類により異なる)
カット屑軽減 (→ P.69)	(用紙種類により異なる)
搬送部の吸着力 (→ P.308)	(用紙種類により異なる)
ロール紙テンション (印刷)	(用紙種類により異なる)
ロール紙テンション (給紙)	(用紙種類により異なる)
ページ間で休止する (→ P.70)	(用紙種類により異なる)
ロール紙先端余白 (→ P.68)	(用紙種類により異なる)
カット紙先端余白 (→ P.68)	(用紙種類により異なる)
外部給紙先端余白 (→ P.68)	(用紙種類により異なる)
用紙の幅を検知する	(用紙種類により異なる)
紙管外径サイズ	(用紙種類により異なる)
紙の厚さ	(用紙種類により異なる)
用紙選択の推定データをリセット	-
用紙ごとの設定情報をリセット	-

^{*1} 給紙方法がロール紙、外部給紙の場合

^{*2} 給紙方法がカット紙の場合

セットアップメニュー

[ホーム画面] →  (セットアップ)

■ セットアップメニューの階層

設定できる項目と初期値は以下のとおりです。

設定項目	初期値
本体設定	
テストプリント (→ P.153)	
ノズルチェックパターン印刷	-
ステータスプリント	-
LAN 設定情報印刷	-
印刷設定プリント	-
用紙の詳細設定を印刷	-
ジョブ履歴の印刷	-
メニューマップ印刷	-
印刷設定 (→ P.154)	
プリントヘッドの可動幅設定	データの幅
用紙の外形サイズ優先	無効
左余白補正サイズ (セパレータ幅)	101.6mm 幅未満のサイズ
印刷後待機位置設定	印刷開始位置
USB メモリー印刷設定 (→ P.85)	
画質設定	
カラーモード	カラー (彩度)
印刷品質	3
インクセーブ	自動
用紙設定	
給紙位置	自動
余白	1.5mm
回転	0 度
自動回転	しない
拡大 / 縮小	用紙フィット
中央に印刷	する
カットモード	カットする
印刷設定の既定値	
画質設定	
カラーモード	カラー (彩度)
印刷品質	3
インクセーブ	自動
印刷設定プリント	-
LAN 設定 (→ P.162)	有線 LAN
用紙関連の設定 (→ P.155)	
用紙種類の選択方法	推定結果から手動設定
ロール紙残量管理	有効
用紙の設定不一致を検知	警告表示する
用紙の詳細設定 (→ P.149)	

設定項目		初期値
	起動時の自動給紙	有効
	先頭部ラベルの使用	する
	ラベルの長さ 297mm 以下	する
	ラベルの長さ 297mm 超	
	ダイカットラベル / ギャップ	しない
	ブラックマーク基準ラベル	しない
	用紙の詳細設定を印刷	-
	用紙選択の全推定データをリセット	-
	すべての用紙情報をリセット	-
	自動メンテナンス設定 (→ P.157)	
	自動ノズルチェック	有効
	ノズルチェックのエラー表示	無効
	システムクリーニングの間隔	標準
	ヘッド交換後の調整用パターン印刷	する
	ハードディスク設定 (→ P.158)	
	出力方法	印刷
	保存完了後に印刷	しない
	共通ボックス設定	印刷
	ファイル消去設定	高速
	データ消去設定	-
	その他の本体設定 (→ P.159)	
	省電力設定	
	自動電源オフ	12 時間
	スリープタイマー	5 分
	USB 接続の使用	使用する
	日付 / 時刻設定	-
	日付表示形式	年 / 月 / 日
	タイムゾーン (GMT)	+9 (東京 / ソウル)
	音の調整	
	キータッチ音設定	鳴らさない
	アラーム音設定	鳴らす
	長さの単位設定	メートル
	EOP タイマー設定	10 分
	ジョブ履歴の送信設定	送信しない
	本体メニューの行間隔	広い
	言語選択 (→ P.160)	日本語
	セキュリティ設定 (→ P.160)	
	管理者パスワードの設定	-
	動作制限	
	ジョブ履歴	制限しない
	リモート UI	制限しない
	USB メモリー印刷	制限しない
	IEEE802.1X/EAP 設定	
	IEEE802.1X/EAP 有効無効	無効
	直前の認証結果	-
	認証方式	TLS
	詳細設定	

設定項目					初期値	
				ログイン名	-	
				ユーザー名	-	
				パスワード	-	
				認証サーバー名	-	
				認証サーバー名を検証する	有効	
				認証サーバー証明書を検証する	有効	
				設定のインポート / エクスポート (→ P.194)		-
				本体設定の初期化 (→ P.196)		-
メンテナンス (→ P.161)						
ノズルチェックパターン印刷 (→ P.293)				-		
ヘッドクリーニング (→ P.294)				-		
ヘッド位置調整 (→ P.299)				-		
プリントヘッドの傾き調整 (→ P.296)				-		
紙送り調整 (→ P.303)				-		
ラベル位置調整 (→ P.304)						
			印刷位置調整	0		
			カット位置調整	0		
カラーキャリブレーション (→ P.311)						
			自動調整	-		
			調整値の有効 / 無効	有効		
			調整情報	-		
			調整値のリセット	-		
メンテナンスカートリッジ情報 (→ P.278)				-		
ヘッド交換 (→ P.269)				-		
カッターブレード交換 (→ P.279)				-		
プラテンクリーニング (→ P.283)				-		
輸送の準備 (→ P.286)				-		
印刷の総面積 (→ P.165)					-	

■ 本体設定（テストプリント）

[ホーム画面] →  (セットアップ) → [本体設定] → [テストプリント]

[ノズルチェックパターン印刷] (→ P.293)

ノズルチェックパターンを印刷します。

[ステータスプリント] (→ P.169)

プリンターの状態や設定値の情報を印刷します。



- ・ 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、他に、[ステータスプリント (管理者)] が表示されます。
- ・ テストプリントには、以下の用紙を使用してください。
A4 サイズのカット紙 (普通紙) 4 枚 (ソフトウェアの更新によって、必要枚数が変更されることがあります。)

[LAN 設定情報印刷] (→ P.231)

プリンターのネットワーク設定情報を印刷します。



- ・ テストプリントには、以下の用紙を使用してください。
A4 サイズのカット紙 (普通紙) 11 枚 (ソフトウェアの更新によって、必要枚数が変更されることがあります。)

[印刷設定プリント]

印刷設定の一覧を印刷します。



- ・ テストプリントには、以下の用紙を使用してください。
A4 サイズのカット紙 (普通紙) 1 枚 (ソフトウェアの更新によって、必要枚数が変更されることがあります。)

[用紙の詳細設定を印刷]

[用紙の詳細設定] で設定されている用紙の設定値を印刷します。



- ・ テストプリントには、以下の用紙を使用してください。
A4 サイズのカット紙 (普通紙) 3 枚以上 (ソフトウェアの更新や設定情報によって、必要枚数が変更されることがあります。)

[ジョブ履歴の印刷]

印刷ジョブの用紙の種類、サイズなどの情報を印刷します。



重要

- ・ 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、履歴を表示するときに管理者パスワードが必要です。
➡ **管理者パスワードを設定する (P. 167)**
- ・ テストプリントには、以下の用紙を使用してください。
A4 サイズのカット紙 (普通紙) 1 枚以上 (ソフトウェアの更新やジョブ履歴によって、必要枚数が変更されることがあります。)

[メニューマップ印刷]

メニューの一覧を印刷します。



- ・ テストプリントには、以下の用紙を使用してください。
A4 サイズのカット紙 (普通紙) 15 枚 (ソフトウェアの更新によって、必要枚数が変更されることがあります。)

■ 本体設定（印刷設定）

〔ホーム画面〕→ （セットアップ）→〔本体設定〕→〔印刷設定〕

メモ

- ・各設定項目の初期値は、「[セットアップメニューの階層 \(P. 150\)](#)」を参照してください。

〔プリントヘッドの可動幅設定〕

プリントヘッドの可動幅を設定します。

〔用紙の外形サイズ優先〕

ロール紙（タグ紙 / 区切りなし）の場合の設定項目です。

〔有効〕を選ぶと、用紙のサイズが優先されます。余白をはみ出た分の文字や画像は切れてしまいます。

〔無効〕を選ぶと、文字や画像の印刷が優先されます。

文字や画像が欠けることを防ぐため、出力される用紙の長さは用紙のサイズよりも長くなります。

〔左余白補正サイズ（セパレータ幅）〕（→ [P.309](#)）

印刷位置を補正する動作の条件（用紙サイズ）を設定します。補正を行うと画質は安定しますが、補正時間が増えるため生産性が低下します。

〔印刷後待機位置設定〕

印刷後に用紙の先端が停止する位置を設定します。

〔USB メモリー印刷設定〕（→ [P.85](#)）

USB メモリーに保存されているデータを印刷するときの各種設定を行います。

〔印刷設定の既定値〕

印刷設定の既定値を設定します。

〔印刷設定プリント〕（→ [P.153](#)）

■ 本体設定（用紙関連の設定）

[ホーム画面] →  (セットアップ) → [本体設定] → [用紙関連の設定]

メモ

- ・各設定項目の初期値は、「[セットアップメニューの階層 \(P.150\)](#)」を参照してください。

[用紙種類の選択方法]

用紙をセットしたときに、用紙の種類を選択する方法を設定します。

- ・ [手動選択]
登録されている用紙種類から手動で選択します。
- ・ [推定結果から手動選択]
プリンターのセンサーによって推定した用紙種類から、可能性が高いものを上位にリスト表示します。リスト表示された用紙種類から手動で選択します。
- ・ [固定]
同じ種類の用紙を使い続ける場合に選びます。

メモ

- ・あらかじめ登録されている用紙種類以外の用紙を使用するときは、「Media Configuration Tool for Label」で [カスタム用紙の作成] を行ってください。
- ・推定結果には誤差が発生する場合があります。

[ロール紙残量管理]

ロール紙の残量を管理する方法と残量警告の表示のしかたを設定します。

- ・ [有効]
ロール紙の残量を推定して管理します。推定した残量は、ホーム画面に表示されます。残量の推定には、[紙の厚さ] と [紙管外径サイズ] が正しく設定されている必要があります。あらかじめ登録されている用紙種類以外の用紙を使用するときは、[用紙の詳細設定] (→ [P.149](#)) または「Media Configuration Tool for Label」で紙の厚さと紙管外径サイズを設定してください。紙の厚さと紙管外径サイズについては、用紙メーカーにお問い合わせください。

重要

- ・用紙の種類を正しく選んでいない場合は、残量が正しく推定できないことがあります。
- ・推定された残量には誤差があり、印刷中に用紙切れになる場合もあります。
- ・ [無効]
ロール紙の残量管理をしないときに選びます。

[用紙の設定不一致を検知]

登録した用紙のサイズ、種類と印刷設定が一致しない状態で印刷を開始した場合の動作を選びます。

- ・ [一時停止する]
プリンターは一時停止して、印刷設定の確認画面を表示します。
- ・ [警告表示する]
警告メッセージを表示した状態で印刷を実行します。印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
- ・ [検知しない]
警告メッセージを表示せずに印刷を実行します。印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
- ・ [保留する]
印刷ジョブは保留ジョブ（状態が保留中のジョブキュー）となります。このときプリンターは一時停止せずに、次の順番のジョブキューを処理します。(→ [P.243](#))

〔用紙の詳細設定〕（→ P.149）

用紙の種類ごとに用紙の詳細設定を変更します。

〔起動時の自動給紙〕

〔有効〕を選ぶと、プリンターの起動時に用紙交換の有無を判定し、用紙が交換されていた場合には、給紙動作を行います。用紙交換の判定には、時間がかかることがあります。

〔無効〕を選ぶと、プリンターの起動時に用紙交換の有無を判定せず、現在の給紙設定のままで待機します。

〔先頭部ラベルの使用〕（→ P.61）

〔しない〕を選ぶと、用紙をプリンターにセットした直後の印刷では、印刷開始位置を正確に合わせるために1枚目のラベルは白紙となり、2枚目のラベルから印刷が開始されます。

〔用紙の詳細設定を印刷〕（→ P.153）

〔用紙選択の全推定データをリセット〕

〔用紙種類の選択方法〕で〔推定結果から手動選択〕を選んでいた場合に、学習したすべての用紙の推定データをリセットします。

〔すべての用紙情報をリセット〕

〔用紙の詳細設定〕および〔ラベル位置調整〕で設定した各設定をご購入時の設定に戻します。管理者パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。

☑ 重要

- ・ 用紙情報を工場出荷時の設定値に戻した場合、「Media Configuration Tool for Label」により追加または更新した用紙の情報も消去されます。

■ 本体設定（自動メンテナンス設定）

[ホーム画面] →  (セットアップ) → [本体設定] → [自動メンテナンス設定]

📌 重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

➡ [管理者パスワードを設定する \(P.167 \)](#)

📖 メモ

- 各設定項目の初期値は、[「セットアップメニューの階層 \(P.150\)」](#)を参照してください。

[自動ノズルチェック]

自動ノズルチェックの有効 / 無効を設定します。

[ノズルチェックのエラー表示]

ノズルチェックのエラー表示の有効 / 無効を設定します。

[システムクリーニングの間隔]

自動でシステムクリーニングを行う頻度を設定します。

📖 メモ

- 印刷品質を保持するために、プリンターを高地でご使用の場合は [短い] を選ぶことをおすすめします。

[ヘッド交換後の調整用パターン印刷]

プリントヘッドを交換したあとに、プリントヘッド調整用パターンを印刷する / しないを設定します。

■ 本体設定（ハードディスク設定）

[ホーム画面] →  (セットアップ) → [本体設定] → [ハードディスク設定]

📌 重要

- ・ 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

➡ [管理者パスワードを設定する \(P.167 \)](#)

📖 メモ

- ・ 各設定項目の初期値は、[「セットアップメニューの階層 \(P.150\)」](#)を参照してください。

[出力方法]

印刷ジョブの出力方法を選びます。

- ・ [印刷]
通常の印刷を行います。
- ・ [印刷 (自動消去)]
印刷後にハードディスクのデータを削除します。
- ・ [ボックス保存]
データを個人ボックスへ保存し、印刷は行いません。

[保存完了後に印刷]

[する] を選ぶと保存が完了してから印刷を行います。

[共通ボックス設定]

[印刷 (自動消去)] を選ぶと、共通ボックスに保存せずに印刷します。

[ファイル消去設定]

印刷ジョブまたは保存ジョブを削除する場合や、[出力方法] または [共通ボックス設定] で [印刷 (自動消去)] を選んだ場合の、データの消去方法を選びます。

- ・ [高速]
ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報を消去します。短時間で消去する場合に選択してください。ファイル管理情報を消去するだけです。データ自体は消去されません。
- ・ [セキュア高速]
ハードディスクに設定されたデータ暗号化キーを消去します。暗号化キーを再設定することで、安全かつ高速に以前の保存データの読み出しと利用ができなくなります。機密性の高いデータを短時間で、安全に消去したい場合に選びます。
- ・ [セキュア]
ハードディスクに設定されたデータ暗号化キーを消去したうえで、ハードディスク全体に 00/FF/ ランダムデータを各 1 回ずつ上書きします。データが正しく書き込めたかどうかのベリファイチェックを行います。特に機密性の高いデータを消去する場合に選択してください。上書きされたデータの復元はほぼ不可能です。米国防総省基準 (DoD5220.22-M) に準拠。
- ・ [セキュア (VSITR)]
ハードディスクに設定されたデータ暗号化キーを消去したうえで、ハードディスク全体に 00 を 1 回書き込んだあと、FF を書き込みます。この作業を 3 回繰り返してから、ハードディスク全体に AA を書き込みます。上書きされたデータの復元はほぼ不可能です。ドイツ連邦政府機関ガイドライン (VS-ITR) 準拠。

[データ消去] (→ P.260)

ハードディスク内に記録されたデータの消去方法を選びます。

■ 本体設定（その他の本体設定）

[ホーム画面] →  (セットアップ) → [本体設定] → [その他の本体設定]

👍 重要

- ・ 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

➡ [管理者パスワードを設定する \(P.167 \)](#)

📖 メモ

- ・ 各設定項目の初期値は、[「セットアップメニューの階層 \(P.150\)」](#)を参照してください。

[省電力設定]

節電のために、プリンターを指定の時間操作しないときに電源を自動的にオフにしたり、スリープモードにしたり設定できます。

- ・ [自動電源オフ]

プリンターが自動的にオフするまでの時間を設定します。スリープモードに移行してから、設定した時間までプリンターを操作しない状態が続くと、プリンターの電源は自動的にオフになります。

- ・ [スリープタイマー]

プリンターを指定の時間操作しないときに、プリンターを自動的にスリープモードにするまでの時間を設定します。

📖 メモ

- ・ 印刷ジョブに保留ジョブがある場合、スリープモードには移行しません。

[USB 接続の使用]

USB 接続を有効にする / しないを選びます。

[日付 / 時刻設定]

現在の日付 / 時刻を設定します。

[日付表示形式]

タッチスクリーンに表示または写真に印刷される日付の表示形式を選びます。

[タイムゾーン (GMT)]

お住まいの国や地域に合わせて、タイムゾーンを設定します。

タイムゾーンをプリンターに設定すると、プリンターから送信されるメールの正しい送信時刻をご使用のメールソフトに表示させることができます。

ご使用の国、地域に合ったグリニッジ世界標準時 (GMT) に対する時差を選んでください。

[音の調整]

キーアタッチ音とアラーム音の、鳴らす / 鳴らさないを選びます。

[長さの単位設定]

長さの表示単位 (メートルまたはフィート / インチ) を選びます。

[EOP タイマー設定]

印刷ジョブを受信できないときの、印刷ジョブをキャンセルする時間を設定します。

[ジョブ履歴の送信設定]

[送信する] を選ぶと、プリンター管理やジョブ管理のシステムに情報を送信します。

[本体メニューの行間隔]

タッチスクリーンに表示する一部の設定項目の行間を調整します。

■ 本体設定（言語選択）

[ホーム画面] →  (セットアップ) → [本体設定] → [言語選択]

タッチスクリーンに表示する言語を変更します。

✓ 重要

- ・ 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

➡ [管理者パスワードを設定する \(P.167 \)](#)

📖 メモ

- ・ 各設定項目の初期値は、[「セットアップメニューの階層 \(P.150\)」](#)を参照してください。

■ 本体設定（セキュリティ設定）

[ホーム画面] →  (セットアップ) → [本体設定] → [セキュリティ設定]

✓ 重要

- ・ 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

➡ [管理者パスワードを設定する \(P.167 \)](#)

📖 メモ

- ・ 各設定項目の初期値は、[「セットアップメニューの階層 \(P.150\)」](#)を参照してください。

[管理者パスワードの設定]

管理者パスワードを設定、変更または解除することができます。管理者パスワードを設定する場合は、どちらかを選んだあと、管理者パスワードを登録します。

- ・ [リモート UI/ ツール]

リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

- ・ [操作パネル/ リモート UI/ ツール]

プリンターの操作パネル、リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。(➡ P.167)

[動作制限]

以下の機能の使用を制限します。

- ・ [ジョブ履歴]

印刷ジョブ履歴の表示 / 印刷を制限します。

- ・ [リモート UI]

リモート UI の使用を制限します。

- ・ [USB メモリー印刷]

USB メモリーからのデータの印刷を制限します。

[IEEE802.1X/EAP 設定]

IEEE802.1X/EAP の各種設定を行います。

■ メンテナンス

[ホーム画面] →  (セットアップ) → [メンテナンス]

メモ

- ・各設定項目の初期値は、「[セットアップメニューの階層 \(P. 150\)](#)」を参照してください。

[ノズルチェックパターン印刷] (→ [P.293](#))

ノズルチェックパターンを印刷します。

[ヘッドクリーニング] (→ [P.294](#))

プリントヘッドをクリーニングするときに選びます。

[ヘッド位置調整] (→ [P.299](#))

プリントヘッドの位置を調整します。

[プリントヘッドの傾き調整] (→ [P.296](#))

プリントヘッドの傾きを調整します。

[紙送り調整] (→ [P.303](#))

用紙の送り量を設定します。

[ラベル位置調整] (→ [P.304](#))

画像の位置やカット位置が期待通りの結果にならない場合は、印刷位置とカット位置を調整することができます。

[カラーキャリブレーション] (→ [P.311](#))

プリンターの個体差や経時変化による色味のばらつきを補正できます。

- ・ [自動調整]

カラーキャリブレーションを実行します。

- ・ [調整値の有効 / 無効]

印刷時にキャリブレーション調整値を適用するかどうかを選択できます。

- ・ [調整情報]

現在適用されているキャリブレーションの調整日時と実行した用紙の種類を確認できます。

- ・ [調整値のリセット]

カラーキャリブレーションの調整値と調整情報がクリアされます。

[メンテナンスカートリッジ情報] (→ [P.278](#))

メンテナンスカートリッジの推定使用量を表示します。[交換する] を選ぶと、メンテナンスカートリッジを交換できます。

[ヘッド交換] (→ [P.269](#))

プリントヘッドを交換するときに選びます。

[カッターブレード交換] (→ [P.279](#))

カッターブレードを交換するときに選びます。

[プラテンクリーニング] (→ [P.283](#))

トップカバー内部を清掃するときに選びます。

[輸送の準備] (→ [P.286](#))

プリンターの輸送の準備をするときに選びます。

LAN 設定メニュー

[ホーム画面] →  (ネットワーク)

■ LAN 設定メニューの階層

設定できる項目と初期値は以下のとおりです。

設定項目		初期値
LAN 設定		
LAN 設定	Wi-Fi (→ P.199)	
	Wi-Fi 設定表示	
	設定	
	Wi-Fi の有効 / 無効	無効
	Wi-Fi セットアップ	
	詳細設定 (→ P.163)	
	無線ダイレクト (→ P.210)	
	無線ダイレクトの設定表示	
	設定	
	無線ダイレクトの有効 / 無効	無効
LAN 設定	ネットワーク名 (SSID) の変更	
	パスワードの変更	
	接続要求の確認設定	しない
	詳細設定 (→ P.163)	
	有線 LAN (→ P.217)	
	有線 LAN 設定表示	
	設定	
	有線 LAN の有効 / 無効	無効
	詳細設定 (→ P.163)	
	詳細情報印刷 (→ P.231)	

● ネットワーク詳細設定メニューの階層

設定項目		初期値
プリンター名設定		
TCP/IP 設定		
IPv4 (→ P.222)	IP アドレス	自動設定
	DNS サーバー	
	DNS サーバー設定	自動設定
	動的更新設定	無効
	ホスト名	-
	ドメイン名	-
	プロキシサーバー	使用しない
	DHCP オプション設定	
	ホスト名の取得	無効
	DNS の動的更新	無効
	ドメイン名の取得	無効
	IPv6 (→ P.223)	
	IPv6 の有効 / 無効	有効
	IPsec 設定	無効
	DHCPv6 の使用	使用する
	手動アドレス	使用しない
	DNS サーバー	
	DNS サーバー設定	自動設定
	動的更新設定	
IPv6DNS 動的更新手動アドレス	IPv6DNS 動的更新手動アドレス	無効
	IPv6DNS 動的更新ステートレスアドレス	無効
	IPv6DNS 動的更新ステートフルアドレス	無効
	IPv6IPv4 ホスト名 / ドメイン名を使用	無効
	IPv6DNS ホスト名	-
	IPv6DNS ドメイン名	-
	DHCP オプション設定	
	DNS の動的更新	無効
	ドメイン名の取得	無効
WSD 設定		
	WSD の有効 / 無効	無効
	WSD 受信の最適化	有効
	タイムアウト設定	15 分
Bonjour 設定		
	Bonjour の有効 / 無効	有効
	サービス名	-
SNTP 設定		
	クライアントの作動状況	無効
	NTP サーバーのアドレス	-
	ポーリング間隔	24
スパニングツリー設定		無効
LPD 設定		有効
RAW 設定		有効
LLMNR 設定		有効

設定項目	初期値
Gbit イーサネット設定	オートネゴシエーション
専用ポート設定	する
Wi-Fi 間欠受信設定	有効
有線 LAN 間欠受信設定	有効
SSL 証明書のリセット	-
LAN 設定リセット	-

目次

本製品について

用紙の取り扱い

印刷

プリンターの設定

パソコンとの接続

印刷ジョブの管理

メンテナンス調整

困ったときは

仕様

プリンター情報メニュー

[ホーム画面] →  (プリンター情報)

📌 重要

- ・ 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

➡ [管理者パスワードを設定する \(P.167 \)](#)

[システム情報]

プリンターのシステム情報を表示します。

[ハードディスク情報]

プリンターのハードディスクの総容量、空き容量を表示します。

[エラー履歴]

エラー履歴の一覧を表示します。

- ・ [ハードウェアエラー]

本体に関するエラーのエラーコードを、最大 5 件表示します。

- ・ [リカバブルエラー]

リカバブルエラー（例：用紙やインクなどに関するエラー）のエラーコードを、最大 5 件表示します。

- ・ [用紙の給紙 / 搬送エラー]

用紙の給紙 / 搬送時に起こったエラーのエラーコードを、最大 5 件表示します。エラーコードを選択すると、エラーの詳細が表示されます。

[使用実績]

- ・ [印刷の総面積]

印刷の総面積および 199mm x 76 mm（8 インチ x 3 インチ）サイズの換算値（枚）を表示します。

[ヘッドの情報]

プリントヘッドのシリアル番号、装着日、ドットカウントを表示します。

[ヘッド位置調整の実施履歴]

プリントヘッドの位置調整を行った履歴（最大 5 件）を表示します。

[自動設定時の実行値]

紙の厚さ（ヘッドの高さ）と搬送部の吸着力を表示します。

ジョブ管理メニュー

[ホーム画面] →  (ジョブ管理)

[印刷ジョブ]

印刷ジョブの一覧を表示します。一覧から印刷ジョブを選ぶと、詳細が表示されます。ジョブの削除や、選んだジョブを優先して印刷することもできます。

[保存ジョブ]

保存されている印刷ジョブの一覧を表示します。保存ジョブの印刷 / 削除や、保存ボックスごとのジョブ一覧の印刷ができます。



- ・ リモート UI で個人ボックスにパスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

[USB メモリー印刷] (→ P.85)

USB メモリーに保存されているデータの一覧を表示します。印刷設定をして、データを印刷することができます。

[ジョブ履歴]

- ・ [ジョブ履歴の表示]
印刷ジョブの履歴を表示します。一覧から印刷ジョブを選ぶと、詳細が表示されます。
- ・ [ジョブ履歴の印刷] (→ P.153)

[印刷の一時停止]

印刷中に [有効] を押すと、選んだ時点での印刷ジョブが終了後、印刷を停止します。初期値は [無効] です。

[印刷ジョブをすべて削除]

ジョブキューにあるすべての印刷ジョブを削除します。

管理者パスワードを設定する

管理者パスワードを設定、変更または解除することができます。

管理者パスワードを設定すると、以下のメニューの利用や設定の変更をする際に、管理者パスワードの入力が必要になります。

- LAN 設定
- 自動メンテナンス設定
- ハードディスク設定
- その他の本体設定
- 言語選択
- ファームウェアのアップデート
- セキュリティ設定
- 設定のインポート / エクスポート
- 本体設定の初期化
- ステータスプリント (管理者)

以下の手順で、管理者パスワードを設定 / 変更します。

📌 重要

- プリンターはご購入時から管理者パスワードが設定されています。管理者パスワードはプリンターのシリアルナンバーに設定されています。プリンターのシリアルナンバーは 9 文字で、本体のシールに記載されています。

📖 メモ

- リモート UI でパスワードを設定する手順は、「[リモート UI でパスワードを設定する \(P. 180\)](#)」を参照してください。

1 ホーム画面で、 (セッティング) を押す

2 [本体設定] → [セキュリティ設定] → [管理者パスワードの設定] を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

3 [管理者パスワードの変更] を押す

4 管理者パスワードの有効範囲を選ぶ

〔リモート UI/ ツール〕

リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

〔操作パネル/ リモート UI/ ツール〕

本製品の操作パネル、リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

5 新しい管理者パスワードを入力する

☑ 重要

- ・ パスワードを変更する場合は、以下の文字制限があります。
 - 4 ～ 32 文字で設定してください。
 - 使用可能な文字は半角英数字、スペースと以下の記号です。
- ! @ # \$ % ^ & _ ; : , . / ` = + ' " () { } [] < > |
 - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせで 8 文字以上にすることをおすすめします。

6 〔確定〕を押す

7 設定した管理者パスワードを再入力する

8 〔確定〕を押す

管理者パスワードが有効になります。

■ 管理者パスワードを解除したいときは

ホーム画面で  (セットアップ) を選んだあと、〔本体設定〕→〔管理者パスワードの設定〕→〔管理者パスワードの解除〕を選びます。表示される案内に従って操作してください。

プリンターの情報を印刷する

プリンターの状態を示す「ステータスプリント」を印刷できます。

「ステータスプリント」にはファームウェアバージョンやプリンターの各種設定値、消耗品の使用状況などプリンターの情報が印刷されます。

用意するもの：

A4 サイズのカット紙（普通紙）5 枚

メモ

- ・ソフトウェアの更新によって、印刷に必要な枚数は変更されることがあります。

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 [本体設定] → [テストプリント] → [ステータスプリント] を押す

メモ

- ・管理者パスワードを設定している場合は、[ステータスプリント (管理者)] を選んでください。

3 [はい] を押す

4 タッチスクリーンに表示される指示に従い、用紙を 1 枚プリンターにセットする

用紙種類は [普通紙] → [普通紙 (カット紙)] を選んでください。

重要

- ・本プリンターにセットできるカット紙は 1 枚です。2 枚以上セットすると紙づまりの原因になります。

5 タッチスクリーンに表示される指示に従って、印刷を完了する

印刷が 1 枚ずつ行われるため、各印刷の前に用紙を 1 枚ずつセットしてください。

印刷が完了するたびに、タッチスクリーンに次の指示が表示されますので、それに従ってください。

重要

- ・リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。操作を誤った場合は、エラーメッセージが表示されてプリンターの再起動が必要になります。

ステータスプリントには、以下の情報が出力されます。

お使いの機種またはファームウェアのバージョンによっては、表示される項目や設定値が異なる場合があります。

Canon xxxxxxxx STATUS PRINT	機種名
S/N	シリアルナンバー
Firm	ファームウェアバージョン
Boot	ブートロムバージョン
Date	ステータスプリントを印刷した日時
Paper Info	
Roll Media	ロール紙の [用紙種類]
Manual Sheet	カット紙または外部給紙の [用紙種類]
Job Menu	
Job History	
Log	最大 5 件のジョブの詳細 (ジョブ名は " " で印刷されます)

[ステータスプリント (管理者)] を選んだ場合のみ印刷されます。ウェブブラウザから設定を変更する

Settings	
Printer settings	
Print settings	[プリントヘッドの可動幅設定]、[用紙の外形サイズ優先]、[左余白補正サイズ (セパレータ幅)]、[印刷後待機位置設定] の設定値
Paper-related settings	[用紙関連の設定] の設定値
Device settings	
Auto maintenance settings	[自動メンテナンス設定] の設定値
Hard disk settings	[ハードディスク設定] の設定値
Device user settings	[その他の本体設定] の設定値
Language selection	[言語選択] の設定値
Maintenance	
Color calibration	[カラーキャリブレーション] の設定値
Usage Condition	
Hard disk information	[ハードディスクの総容量] と [ボックスの空き容量] の情報
Hardware error	[ハードウェアエラー] の履歴情報
Error	[リカバブルエラー] の履歴情報
Warning	警告の履歴情報
Jam	[用紙の給紙 / 搬送エラー] の履歴情報
Maintenance cartridge usage / Remaining ink level	[インクの使用量] の情報
Duty counter	[Duty カウンター] の情報
PARTS STATUS	
COUNTER	パーツの状態
Head information	
HEAD LOT NUMBER/ DATE OF INSTALLATION	[ヘッドの情報] の情報
Head alignment performance log	[ヘッド位置調整の実施履歴] の履歴情報
COUNTER	
MEDIA	メディアごとの使用状況
THE NUMBER OF CUTS	カットした総枚数
AFTER INSTALLATION	使用期間 (日数表記)

ウェブブラウザから設定を変更する (リモート UI)

リモート UI とは、ウェブブラウザを使ってご使用のパソコンなどからネットワークを経由してプリンターにアクセスし、プリンターの状態の確認や各種設定など、プリンターの操作パネルと同等の操作を行うためのソフトウェアです。パソコンなどを使用し、ウェブブラウザでプリンターの情報の確認やプリンターの設定の変更を行うことができます。

メモ

- ・ リモート UI を使用するときは、プリンターを LAN 接続してください。
- ・ ウェブブラウザの設定で、JavaScript と cookie を有効にしてください。
- ・ リモート UI は、以下の OS とウェブブラウザで利用できます。
 - iOS 機器標準搭載のブラウザ（ Mobile Safari ）
 - iPadOS 機器標準搭載のブラウザ（ Mobile Safari ）
 - Android 機器標準搭載のブラウザ（ Chrome ）
 - macOS 機器標準搭載のブラウザ（ Safari ）
 - Windows OS 機器標準搭載のブラウザ（ Microsoft Edge ）

リモート UI を使用するための準備

リモート UI を使用するためには、あらかじめ以下の設定が必要です。

● 管理者パスワードを設定する (P.167)

プリンターにはご購入時から管理者パスワードが設定されています。初期パスワードから変更していない場合は、操作パネルから管理者パスワードを変更してください。

● SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をウェブブラウザに登録する (P.182)

ルート証明書をダウンロードして、ウェブブラウザに登録してください。ルート証明書を登録していないときは、安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示される場合があります。

リモート UI を起動する

1 プリンターの IP アドレスを確認する

1. ホーム画面で、（ネットワーク）を押す
2. 有効になっている LAN を選ぶ
無効になっている LAN のアイコンには、斜線が表示されています。
3. [IPv4 アドレス] を確認する

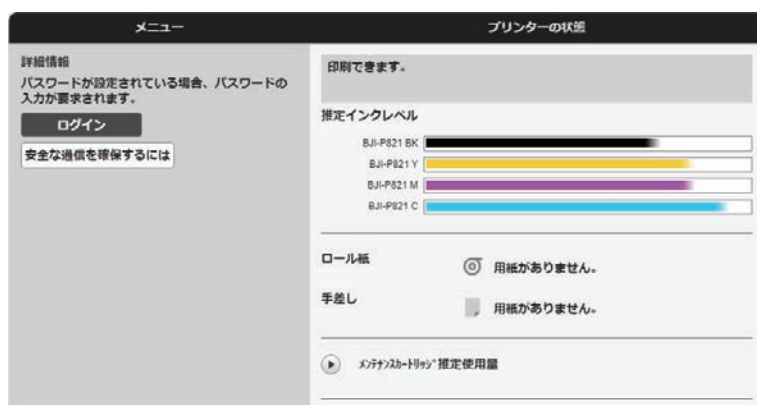
2 ウェブブラウザを開き、プリンターの IP アドレスにアクセスする

ウェブブラウザの URL 欄で、下記のように入力します。

http://XXX.XX.X.XXX

「XXX.XX.X.XXX」には、プリンターの IP アドレスを入力してください。

アクセスできると、ウェブブラウザに「リモート UI」が表示されます。



☑ 重要

- ご使用のパソコンなどで初めてリモート UI を表示した場合は、ルート証明書をダウンロードして、ウェブブラウザに登録してください。ルート証明書を登録していないときは、安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示される場合があります。
- ➡ **SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をウェブブラウザに登録する (P. 182)**

📖 メモ

- DNS でホスト名を設定している場合は、ホスト名を入力してアクセスすることもできます。

3 [ログイン] を押す

パスワード認証画面が表示されます。

📖 メモ

- 一般ユーザーモードを有効にしている場合は、管理者モードまたは一般ユーザーモードのどちらでログインするかを選んでください。モードを選んでから [ログイン] を押すと、それぞれのモードのパスワード認証画面が表示されます。
- ➡ **一般ユーザーパスワードを設定する (P. 181)**
- 「セキュアなページへのリダイレクト」画面が表示されたら [OK] を押してください。

4 パスワードを入力する

パスワードの認証が完了すると、利用できるメニューが表示されます。

④ 重要

- ・プリンターにはご購入時から管理者パスワードが設定されています。初期パスワードから変更していない場合は、操作パネルから管理者パスワードを変更してください。

➡ [管理者パスワードを設定する \(P. 167\)](#)

5 リモート UI のメイン画面が表示されることを確認する

設定できる項目については、「[リモート UI で設定できる項目 \(P. 174\)](#)」を参照してください。

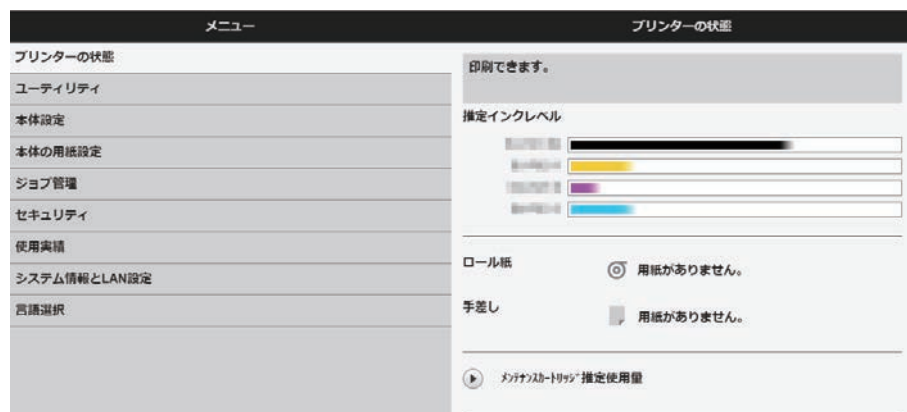
情報の確認や設定変更が終了したら、[ログアウト] を選んでください。

リモート UI で設定できる項目

設定できる項目は以下のとおりです。管理者モードと一般ユーザーモードでは、利用できる項目が異なります。

■ プリンターの状態

プリンターのインク残量、ステータス、エラーの詳細情報などを表示します。



■ ユーティリティ

設定項目	
ユーティリティ	
	ノズルチェックパターン印刷 (→ P.293)
	クリーニング (→ P.294)
	強力クリーニング (→ P.294)
	システムクリーニング (→ P.294)
	ヘッド位置調整・自動 (→ P.299)

■ 本体設定



- 一部のメニューは、管理者モードでログインしている時のみ利用できます。

設定項目	
本体設定	
	省電力設定 (→ P.159)
	自動電源オフ
	スリープタイマー
	印刷設定 (→ P.154)
	印刷設定の印刷
	プリントヘッドの可動幅設定
	用紙の外形サイズ優先
	左余白補正サイズ (セパレータ幅)
	印刷後待機位置設定
	USB メモリー印刷設定

設定項目			
		画質設定	
			カラーモード
			印刷品質
			インクセーブ
		用紙設定	
			給紙位置
			余白
			回転
			自動回転
			拡大 / 縮小
			中央に印刷
			カットモード
		印刷設定の既定値	
		画質設定	
			カラーモード
			印刷品質
			インクセーブ
	特殊設定		
	用紙の設定不一致を検知 (→ P.155)		
	EOP タイマー設定 (→ P.159)		
	自動ノズルチェック (→ P.157)		
	共通ボックス設定 (→ P.158)		
	操作パネルのアクセスロック		
	管理者情報		
	設置情報		
プリンター情報 (→ P.169)			
ステータス表示			
ステータス印刷			
用紙関連の設定 (→ P.155)			
用紙種類の選択方法			
ロール紙残量管理			
用紙の設定不一致を検知			
用紙の詳細設定			
先頭部ラベルの使用			
用紙の詳細設定を印刷			
用紙選択の全推定データをリセット			
すべての用紙情報をリセット			
用紙の詳細設定を印刷 (→ P.153)			
メニューマップ印刷 (→ P.153)			
メールサーバー設定 (→ P.191)			
ステータスの通知メール設定 (→ P.193)			
通知設定			
再送設定			
ハードディスク設定 (→ P.158)			
出力方法			
保存完了後に印刷			
共通ボックス設定			

設定項目	
	ファイル消去設定
	その他の本体設定 (→ P.159)
	長さの単位設定
	ジョブ履歴の送信設定
	本体メニューの行間隔
	プリントヘッド情報 (→ P.165)
	ヘッド位置調整の実施履歴 (→ P.165)
	自動設定時の実行値 (→ P.165)
	紙の厚さ (ヘッドの高さ)
	搬送部の吸着力
	設定のインポート / エクスポート (→ P.194)
	本体設定の初期化 (→ P.196)

■ 本体の用紙設定

設定項目	
本体の用紙設定	
	ロール紙
	ラベルサイズ名
	用紙種類
	詳細設定 (→ P.149)
	カット紙
	用紙種類
	詳細設定 (→ P.149)
	外部給紙
	ラベルサイズ名
	用紙種類
	詳細設定 (→ P.149)

■ ジョブ管理



- 管理者モードでログインすると、一般ユーザーモードでの動作制限をかけることができます。

設定項目	
ジョブ管理	
	印刷ジョブ (→ P.166)
	保存ジョブ (→ P.166)
	ジョブ履歴 (→ P.166)
	ハードディスク情報 (→ P.165)

■ セキュリティ

メモ

- セキュリティ設定は、管理者モードでログインしている時のみ利用できます。

設定項目	
セキュリティ	
管理者パスワードの設定 (→ P.180)	
管理者パスワードの変更	
管理者パスワードの解除	
一般ユーザーモード設定 (→ P.181)	
動作制限 (→ P.160)	
TLS サーバー設定	
鍵と証明書の生成 (→ P.189)	
鍵と証明書のアップロード	
鍵と証明書の削除 (→ P.189)	
鍵と証明書の確認 (→ P.190)	
TLS の詳細設定	
IEEE802.1X/EAP 設定	
認証方式	
鍵と証明書の設定	
CA 証明書	
IEEE802.1X/EAP の有効 / 無効	

メモ

- 〔TLS の詳細設定〕では、使用する TLS バージョンの範囲や使用するアルゴリズムなどを設定できます。初期値は、「上位 :TLS1.3/ 下位 :TLS1.2」が設定されています。
- 〔CA 証明書〕では、サーバー証明書を検証するための CA 証明書に関する設定を行います。IEEE802.1X/EAP 認証を使う場合は、〔セキュリティ〕→〔IEEE802.1X/EAP 設定〕→〔CA 証明書〕から、CA 証明書を登録してください。
- 〔鍵と証明書の設定〕では、鍵とクライアント証明書に関する設定を行います。
- IEEE802.1X/EAP 認証の対応している認証方式は以下です。
 - EAP-TLS (Extensible Authentication Protocol-Transport Level Security)
 - EAP-TTLS (EAP-Tunneled TLS)
 - PEAP (Protected EAP)

■ 使用実績

設定項目	
使用実績 (→ P.165)	
印刷の総面積	

■ システム情報と LAN 設定

設定項目	
システム情報と LAN 設定	
システム情報の確認	
LAN 設定（管理者向け項目）	
Wi-Fi	
無線ダイレクト	
有線 LAN	
LAN 設定情報の確認（→ P.226）	
LAN 設定情報の表示	
LAN 設定情報の印刷	
詳細設定（→ P.224）	
プリンター名設定	
TCP/IP 設定	
WSD 設定	
Bonjour 設定	
LPD 設定	
RAW 設定	
LLMNR 設定	
SNMP 設定	
SNTP 設定	
CHMP 設定	
ネットワークインターフェース設定	
スパニングツリー設定	
間欠受信設定	
IP フィルタリング	
IPv4 アドレス制限	
IPv6 アドレス制限	
MAC アドレスフィルタリング設定	
LAN 設定リセット	
エラー履歴（→ P.165）	
ハードウェアエラー	
リカバブルエラー	
用紙の給紙 / 搬送エラー	

✓ 重要

- ・ [IP フィルタリング] では、特定の IP アドレスの接続を、許可または拒否できます。[MAC アドレスフィルタリング 設定] では、特定の MAC アドレスの接続を、許可または拒否できます。

誤って管理者の機器のアドレスを拒否設定した場合は、操作パネルのホーム画面で （ネットワーク）を選んだあと、[Wi-Fi] / [無線ダイレクト] / [有線 LAN] → [設定] → [詳細設定] → [LAN 設定リセット] を選び、プリンターのネットワーク設定情報を初期化してください。リセットしたあとは、必要に応じてセットアップをやりなおしてください。

📖 メモ

- ・ [システム情報の確認] では、以下が確認できます。
 - ファームウェアのバージョン
 - プリンター名

- シリアル番号
 - MAC アドレス (Wi-Fi)
 - MAC アドレス (有線 LAN)
- CHMP について
 - [CHMP 設定] ではプリンタードライバーやアプリケーションソフトが、ステータス情報、用紙情報、ジョブログ情報をプリンター本体から取得する際の、通信に関する設定を行います。[HTTPS へ自動でリダイレクトする]にチェックすると、CHMP を使用した通信が暗号化通信にリダイレクトされます。
 - CHMP はキヤノン独自のプロトコルです。CHMP を使用して暗号化通信を行うには、お使いのパソコンなどにプリンターのルート証明書を登録しておく必要があります。
 - ➡ [SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をローカルコンピューターに登録する \(P.187\)](#)

■ 言語選択

表示言語を変更できます。

メモ

- 言語選択設定は、管理者モードでログインしている時のみ利用できます。

リモート UI でパスワードを設定する

パスワードには管理者向けと一般ユーザー向けがあります。

管理者パスワードでログインすると、プリンターに関するすべての設定を変更することができます。

一般ユーザーパスワードでログインすると、一部の設定のみ変更できます。

➡ **管理者パスワードを設定する (P. 180)**

➡ **一般ユーザーパスワードを設定する (P. 181)**

メモ

- パスワードは、管理者モードでログインしている時のみ設定できます。一般ユーザーパスワードは初期設定では無効になっています。

■ 管理者パスワードを設定する

以下の手順で、管理者パスワードを変更します。

✔ 重要

- プリンターにはご購入時から管理者パスワードが設定されています。初期パスワードから変更していない場合は、操作パネルから管理者パスワードを変更してください。

➡ **管理者パスワードを設定する (P. 167)**

初期パスワードはプリンターのシリアルナンバーです。プリンターのシリアルナンバーは 9 文字で、本体のシールに記載されています。

1 リモート UI を起動する

➡ **リモート UI を起動する (P. 172)**

2 [セキュリティ] を押す

3 [管理者パスワードの設定] を押す

4 [管理者パスワードの変更] を押す

管理者パスワードが設定されていないときは、確認メッセージが表示されます。メッセージの内容を確認し、[はい]を選んでください。再度メッセージが表示されますので、内容を確認し、[OK]を選んでください。

5 管理者パスワードの有効範囲を選び、[OK] を押す

[リモート UI/ ツール]

リモート UI や一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

[操作パネル/ リモート UI/ ツール]

プリンターの操作パネルやリモート UI、一部のソフトウェアを使用して設定を変更するときに、管理者パスワードの入力が必要になります。

6 画面のメッセージに従ってパスワードを入力し、[OK] を押す

✓ 重要

- パスワードには、以下の文字制限があります。
 - 4 ～ 32 文字で設定してください。
 - 使用可能な文字は半角英数字、スペースと以下の記号です。
- ! @ # \$ % ^ & _ ; , . / ` = + ' " () { } [] < > |
 - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせる8文字以上にすることをおすすめします。

7 完了メッセージが表示されたら、[OK] を押す

■ 一般ユーザーパスワードを設定する

一般ユーザー向けに機能を制限するには、以下の手順で一般ユーザーモード設定を有効にして、一般ユーザーパスワードを設定します。

1 リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する (P. 172)

2 [セキュリティ] を押す

3 [一般ユーザーモード設定] を押す

4 メッセージの内容を確認し、[はい] を押す

5 画面のメッセージに従ってパスワードを入力し、[OK] を押す

✓ 重要

- パスワードには、以下の文字制限があります。
 - 4 ～ 32 文字で設定してください。
 - 使用可能な文字は半角英数字、スペースと以下の記号です。
- ! @ # \$ % ^ & _ ; , . / ` = + ' " () { } [] < > |
 - セキュリティの観点から、パスワードは半角英数字を組み合わせる8文字以上にすることをおすすめします。

6 完了メッセージが表示されたら、[OK] を押す

SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をウェブブラウザに登録する

ウェブブラウザにルート証明書を登録していない場合は、安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示される場合があります。

ご使用のパソコンなどで初めてリモート UI を表示した場合は、ルート証明書をダウンロードして、ウェブブラウザに登録してください。安全な通信ができることが確認され、警告が表示されないようになります。ただし、一部のブラウザでは、ルート証明書を登録した後も警告が表示される場合があります。

重要

- ・ ルート証明書を登録するときは、ウェブブラウザの URL 欄を確認し、プリンターの IP アドレスに正しくアクセスしているか確認してください。
- ・ プリンターを IPv6 で接続している場合は、リモート UI を使用してサーバー証明書を生成する必要があります。詳細は「[サーバー証明書を生成する \(P. 189\)](#)」を参照してください。

メモ

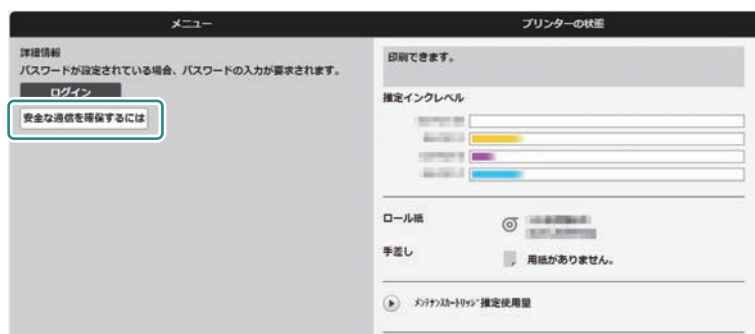
- ・ ウェブブラウザによって、ルート証明書の登録方法が異なります。
- ・ ウェブブラウザのバージョンによっては、操作方法が異なる場合があります。また、他のウェブブラウザでの登録方法については、それぞれのヘルプを参照してください。

■ Microsoft Edge の場合

1 リモート UI を起動する

➡ [リモート UI を起動する \(P. 172\)](#)

2 リモート UI で「安全な通信を確保するには」を押す



3 「ダウンロード」を押す

ルート証明書のダウンロードが始まります。

4 「ファイルを開く」を押す

5 「開く」を押す

6 「証明書のインストール」を押す

「証明書のインポート ウィザード」画面が表示されます。

7 「現在のユーザー」を選んで「次へ」を押す

8 「証明書をすべて次のストアに配置する」を押す

9 「参照」を押す

「証明書ストアの選択」画面が表示されます。

10 「信頼されたルート証明機関」を選び、「OK」を押す

11 「証明書のインポート ウィザード」画面で「次へ」を押す

12 「証明書のインポート ウィザードの完了」が表示されたら、「完了」を押す

「セキュリティ警告」画面が表示されます。

13 「OK」を押す

14 「セキュリティ警告」画面の拇印欄と、プリンターのルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致しているか確認する

プリンターのルート証明書の拇印は、操作パネルのホーム画面で （プリンター情報）→[システム情報]を押すと、「ルート証明書の拇印 (SHA-1)」または「ルート証明書の拇印 (SHA-256)」に表示されます。

15 拇印欄と、プリンターのルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致している場合は、「セキュリティ警告」画面の「はい」を押す

16 「OK」を押す

17 「証明書のインポート ウィザード」画面で「OK」を押す

ルート証明書の登録が完了します。

18 Microsoft Edge を再起動する

■ Safari の場合

1 リモート UI で [安全な通信を確保するには] を押す

2 [ダウンロード] を押す

ルート証明書のダウンロードが始まります。

3 ダウンロードしたファイルを開く

キーチェーンアクセスが起動し、[証明書の追加] 画面が表示されます。

4 [追加] を押す

証明書の情報が表示されます。



- ・ [証明書を表示] を選んで、追加される証明書の名前を確認し、キーチェーンアクセスで同じ名前の証明書を選んで証明書を追加することができます。

5 証明書の詳細情報の指紋欄と、プリンターのルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致しているか確認する

プリンターのルート証明書の拇印は、操作パネルのホーム画面で （プリンター情報）→ [システム情報] を押すと、[ルート証明書の拇印 (SHA-1)] または [ルート証明書の拇印 (SHA-256)] に表示されます。

6 指紋欄と、プリンターのルート証明書の拇印（フィンガープリント）が一致している場合は、メニューまたはダブルクリックで該当の証明書の情報を表示し、[信頼] で [常に信頼] を押す

ルート証明書の登録が完了します。



- ・ ご使用の機器にパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められる場合があります。

■ Android の Chrome の場合

1 リモート UI で [安全な通信を確保するには] を押す

2 [ダウンロード] を押す

ルート証明書のダウンロードが始まります。

3 登録するルート証明書の名前を求められるので、任意の証明書名を入力し、[OK]を押す

ルート証明書の登録が完了します。



- ご使用の機器でセキュリティの種類を PIN またはパスワードに設定していない場合は、注意画面が表示される場合があります。[OK] を選び、セキュリティの種類を PIN またはパスワードに設定してください。

● ルート証明書を登録したあとで

登録したルート証明書が正しいものか確認することをおすすめします。

登録したルート証明書が正しいものであることは、登録したルート証明書の拇印（フィンガープリント）と、プリンターの拇印（フィンガープリント）が一致していることによって確認します。以下の手順で確認します。



- Android 機器によっては、登録したルート証明書の拇印を確認できない場合があります。

1 ご使用の機器の [設定] メニュー → [セキュリティ]（または「セキュリティとプライバシー」）→ 「暗号化と認証情報」（または「その他のセキュリティ設定」）→ [信頼できる認証情報] → [ユーザー] を押す

ダウンロードした証明書の一覧が表示されます。

2 ダウンロードした証明書を選ぶ

証明書の詳細情報画面が表示されます。

3 証明書の詳細情報の拇印欄と、プリンターのルート証明書の拇印が一致しているか確認する

プリンターのルート証明書の拇印は、操作パネルのホーム画面で （プリンター情報）→ [システム情報] を押すと、[ルート証明書の拇印 (SHA-1)] または [ルート証明書の拇印 (SHA-256)] に表示されます。

4 拇印欄と、プリンターのルート証明書の拇印が一致している場合は、[OK] を押す

ルート証明書の登録が完了します。

ルート証明書の登録後リモート UI の [ログイン] を選んだときに安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示された場合は、ウェブブラウザを再起動してください。安全な通信ができないことをお知らせする警告が表示されないようになります。



- Android 機器によっては、正しいルート証明書を登録した後でも、セキュリティ警告が表示される場合があります。

1 リモート UI で [安全な通信を確保するには] を押す

2 [ダウンロード] を押す

[プロファイルをインストール] 画面が表示されます。

3 [インストール] を押す

[警告] 画面が表示されます。



- ご使用の機器にパスワードを設定している場合は、パスワードの入力が求められることがあります。

4 [インストール] を押す

5 表示されたダイアログで [インストール] を押す

ルート証明書の登録が完了します。

SSL 通信のためにプリンターのルート証明書をローカルコンピューターに登録する

SSL 暗号化通信でプリンターに接続した環境で、ステータスマニターや「Media Configuration Tool for Label」などを使用するには、お使いのパソコンにプリンターのルート証明書を登録（インポート）しておく必要があります。

🟢 重要

- プリンターを IPv6 で接続している場合は、リモート UI を使用してサーバー証明書を生成する必要があります。詳細は「[サーバー証明書を生成する \(P. 189\)](#)」を参照してください。

📖 メモ

- OS のバージョンによっては、操作方法が異なる場合があります。

1 リモート UI を起動する

➡ [リモート UI を起動する \(P. 172\)](#)

2 「安全な通信を確保するには」を押す

3 「ダウンロード」をクリックする

ルート証明書のダウンロードが始まります。

4 ダウンロードの確認画面が表示されたら、「開く」を押す

「証明書」画面が表示されます。

5 「証明書のインストール」を押す

「証明書のインポートウィザード」画面が表示されます。

6 「ローカルコンピューター」を選んで「次へ」を押す

ユーザーアカウント制御画面が表示されます。

7 「はい」を押す

「証明書ストア」画面が表示されます。

8 「証明書をすべて次のストアに配置する」を選ぶ

9 「参照」を押す

「証明書ストアの選択」画面が表示されます。

10 「信頼されたルート証明機関」を選び、「OK」を押す

11 「証明書のインポートウィザード」画面で「次へ」を押す

12 「証明書のインポートウィザードの完了」画面が表示されたら、「完了」を押す

13 「OK」を押す

サーバー証明書を生成する

IPv6 ネットワークで SSL 接続を使用する場合、プリンターで IPv6 用のサーバー証明書を生成する必要があります。サーバー証明書はリモート UI を使用して生成します。

以下の手順で操作してください。

1. プリンターの IP アドレスを確認する (→ P.189)
2. リモート UI でサーバー証明書を生成する (→ P.189)
3. リモート UI で生成したサーバー証明書を確認する (→ P.190)

✓ 重要

- IPv6 でサーバー証明書を生成した場合、リモート UI ご使用時に警告が表示される場合があります。IPv6 で生成したサーバー証明書をリセットするには、リモート UI で [セキュリティ] → [TLS サーバー設定] → [鍵と証明書の削除] を順に選び、表示された画面で [OK] を選んでください。

■ プリンターの IP アドレスを確認する

- 1 ホーム画面で、 (ネットワーク) を押す
- 2 有効になっている LAN を選ぶ
無効になっている LAN のアイコンには、斜線が表示されています。
- 3 [IPv6 リンクローカルアドレス] を確認する
サーバー証明書を生成するときに使用するので、メモしておきます。

■ リモート UI でサーバー証明書を生成する

- 1 リモート UI を起動する
→ リモート UI を起動する (P. 172)
- 2 [セキュリティ] を押す
- 3 [TLS サーバー設定] を押す
- 4 [鍵と証明書の生成] を押す
- 5 [自己署名証明書の生成] を押す

6 必要事項を設定する

〔鍵のアルゴリズム〕

署名アルゴリズムおよび鍵情報を指定します。

有効期限を設定

〔有効期間の開始〕には、サーバー証明書を作成する日を入力します。

〔有効期間の終了〕には、サーバー証明書の使用を終了する日を入力します。

共通名を入力

〔共通名〕には、プリンターで確認し、メモした〔IPv6 リンクローカルアドレス〕を入力します。



- ・ 共通名はプリンターの IPv6 アドレスの省略形を、「[]」、「[]」で囲んで入力してください。
- ・ 共通名には、日本語やカンマ、空白は使用しないでください。

7 〔次へ〕を押す

〔国〕、〔都道府県〕、〔市区町村〕、〔組織〕、〔組織単位〕は、必要に応じて入力してください。

〔サブジェクトの別名〕には、〔共通名〕と同じ内容を入力してください。

8 〔生成〕を押す

サーバー証明書の生成を開始します。

生成が終了すると〔自己署名証明書を生成しました。〕と表示されます。

9 〔LAN の再起動〕を押す

LAN を再起動します。再起動が完了すると、リモート UI の〔プリンターの状態〕が表示されます。



- ・ LAN を再起動した後にリモート UI に接続できない場合は、ウェブブラウザでページを再読み込みしてください。

■ リモート UI で生成したサーバー証明書を確認する

1 〔セキュリティ〕を押す

2 〔TLS サーバー設定〕を押す

3 〔鍵と証明書の確認〕を押す

〔発行者〕はルート証明書の発行者、〔発行先〕は〔共通名〕に入力した値になっていることを確認します。

メールサーバーを設定する

メール機能を利用する場合は、初めにメールサーバーの設定を行います。

メモ

- ・お住まいの地域によっては、この機能を使用できません。
- ・プリンターの操作パネルでタイムゾーンの設定をしていない場合、送信メールに正しい時刻が表示されないことをお知らせするメッセージが表示されます。送信メールに正しい時刻が表示されるようにプリンターの操作パネルからタイムゾーンの設定をすることをおすすめします。(→ P.159)
- ・管理者モードでログインしている時のみ設定できます。

1 リモート UI を起動する

→ リモート UI を起動する (P. 172)

2 [本体設定] を押す

3 [メールサーバー設定] を押す

4 メールサーバーの設定を指定する

以下の項目を設定します。

[送信元アドレス]

送信元 (プリンター) のメールアドレスを入力します。

[送信メールサーバー (SMTP)]

ご使用の送信メールサーバー (SMTP サーバー) のアドレスを入力します。

[ポート番号 (SMTP)]

ご使用の送信メールサーバー (SMTP サーバー) のポート番号を入力します。

[セキュア接続 (SSL) を使う]

セキュア接続 (SSL) を使用する場合に選びます。

[証明書を検証しない]

証明書検証を行わない場合に選びます。

[認証方式]

認証方式を選びます。

・ [SMTP 認証]

SMTP 認証を使用してメールを送信する場合の設定に選びます。

[OK] を押して、続けて、以下の設定を行います。

[送信用アカウント]

認証を行うために送信用のアカウントを指定します。

[送信用パスワード]

認証を行うために送信用のパスワードを設定 / 変更する場合は、[パスワードを設定 / 変更する] にチェックを付けたあと、パスワードを入力します。

- ・ [POP before SMTP]

POP before SMTP 認証を使用してメールを送信する場合に選びます。

[OK] を押して、続けて、以下の設定を行います。

[受信メールサーバー (POP3)]

ご使用の受信メールサーバー (POP3 サーバー) のアドレスを入力します。

[ポート番号 (POP3)]

ご使用の受信メールサーバー (POP3 サーバー) のポート番号を入力します。

[受信用アカウント]

認証を行うために受信用のアカウントを指定します。

[受信用パスワード]

認証を行うために受信用のパスワードを設定 / 変更する場合は、[パスワードを設定 / 変更する] にチェックを付けたあと、パスワードを入力します。

[APOP 認証を使う]

パスワード送信する際に、暗号化して送信する場合に選びます。

[メールボックスをクリアにする]

受信メールサーバー (POP3 サーバー) に残っているメールを削除する場合に選びます。

👍 重要

- ・ この設定を有効にすると、サーバー上の受信トレイにあるメールが全て削除されてしまいます。普段ご使用のメールアドレスを指定したときは、未読メールが削除されないように必ずこの設定を無効にしてください。未読メールを誤って削除しないようにするために、プリンター専用の E メールアカウントをご用意されることをおすすめします。

- ・ [認証なし]

認証の必要がない場合に選びます。

5 [OK] を押す

設定が完了します。

プリンターの状態をメールで受信する

インク残量警告やエラーなど、プリンターの状態をメールでお知らせすることができます。

メモ

- ・ お住まいの地域によっては、この機能を使用できません。
- ・ あらかじめメールサーバーの設定を行ってください。(→ P.191)
- ・ プリンターの操作パネルで日付 / 時刻の設定をしていない場合、送信メールに日付や時刻が表示されない場合があります。送信メールに正しく日付や時刻が表示されるようにプリンターの操作パネルから日付 / 時刻の設定をすることをおすすめします。日付 / 時刻の設定については、「**本体設定 (その他の本体設定)** (P. 159)」を参照してください。
- ・ 管理者モードでログインしている時のみ設定できます。

1 リモート UI を起動する

→ **リモート UI を起動する (P. 172)**

2 [本体設定] を押す

3 [ステータスの通知メール設定] を押す

4 [通知先設定] を押す

5 通知設定を行う

通知先は最大 2 件まで登録できます。以下の手順で、メール送信に失敗したときに何回再送するかを設定します。

1. [通知先 1] または [通知先 2] を選ぶ
2. メールアドレスを入力して、どの状態で通知するかを選ぶ
3. [OK] を選ぶ

6 [本体設定] を押す

7 [ステータスの通知メール設定] を押す

8 [再送設定] を押す

9 再送設定を行う

以下の手順で、メール送信に失敗したときに何回再送するかを設定します。

1. 再送する回数を選ぶ
2. 再送する間隔を指定する
3. [OK] を選ぶ

プリンターの設定を移行する

本体設定を、同一機種のほかのプリンターに移行できます。

リモート UI から操作する方法と、USB メモリーを使用して操作パネルから行う方法があります。

➡ リモート UI の場合 (P.194)

➡ USB メモリーを使用する場合 (P.195)

メモ

- 同じファームウェアのバージョン間のみ対応します。移行対象データは固定です。

重要

- 管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

➡ 管理者パスワードを設定する (P.167)

● リモート UI の場合

1 設定をエクスポートする

1. リモート UI を起動する (➡ P.172)
2. [本体設定] を押す
3. [本体設定のインポート / エクスポート] を押す
4. [本体設定のエクスポート] を押す
5. 画面のメッセージに従ってパスワードを入力し、[OK] を押す

2 設定をインポートする

1. リモート UI を起動する (➡ P.172)
2. [本体設定] を押す
3. [本体設定のインポート / エクスポート] を押す
4. [本体設定のインポート] を押す
5. インポートするファイルを選ぶ
6. 画面のメッセージに従ってパスワードを入力し、[OK] を押す

1 設定をエクスポートする

1. USB メモリーを USB メモリー接続部にセットする
2. ホーム画面で、（セットアップ）を押す
3. [本体設定] を押す
4. [設定のインポート / エクスポート] を押す
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
5. [エクスポート] を押す
6. 画面のメッセージに従ってパスワードを入力し、[OK] を押す（4 ～ 32 文字）
7. パスワードを再入力する

2 設定をインポートする

1. USB メモリーを USB メモリー接続部にセットする
2. ホーム画面で、（セットアップ）を押す
3. [本体設定] を押す
4. [設定のインポート / エクスポート] を押す
管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
5. [インポート] を押す
6. 画面のメッセージに従ってパスワードを入力し、[OK] を押す

プリンターの設定を初期化する

以下の設定を初期化します。

- ・ 用紙の設定情報
- ・ 用紙の推定データ
- ・ SSL 証明書
- ・ LAN 設定
- ・ ラベル位置調整
- ・ メールサーバー設定
- ・ 管理者パスワード
- ・ ハードディスクのデータ
- ・ ジョブ履歴
- ・ 操作パネルのアクセスロック設定
- ・ 印刷の一時停止

操作パネルまたはリモート UI から行う方法があります。

✓ 重要

- ・ 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

➡ [管理者パスワードを設定する \(P. 167\)](#)

● 操作パネルの場合

1 ホーム画面で、 (セッティング) を押す

2 [本体設定] を押す

3 [本体設定の初期化] を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

4 メッセージの内容を確認し、[はい] を押す

● リモート UI の場合

1 リモート UI を起動する

➡ [リモート UI を起動する \(P. 172\)](#)

2 [本体設定] を押す

3 [本体設定の初期化] を押す

4 メッセージの内容を確認し、[はい] を押す

リモート UI は切断されます。

パソコンとの接続

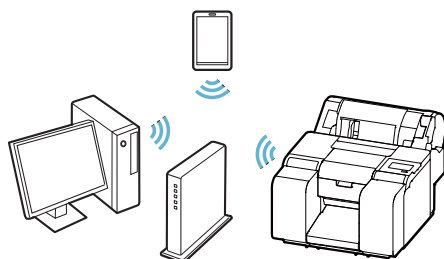
接続方法を選ぶ	198
Wi-Fi 接続	199
無線ダイレクト接続	210
有線 LAN 接続	217
USB 接続	221
ネットワーク設定を変更する	222
IP アドレスを設定する	222
使用するネットワーク環境に合わせる	224
ネットワーク設定情報を確認する	226
不正アクセス防止対策について	232
ネットワークの状態と対処方法	234
ネットワーク環境でプリンターを共有する	236
プリントサーバー機での設定	236
クライアント機での設定	237

接続方法を選ぶ

本製品では、4種類の接続方法をご利用いただけます。

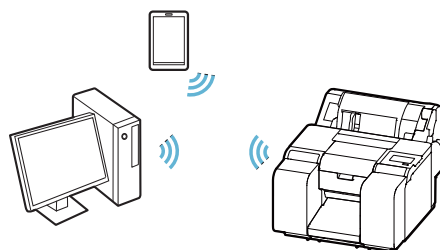
- Wi-Fi 接続 (→ P.199)

Wi-Fi ルーターを介して、プリンターと各種機器を接続します。



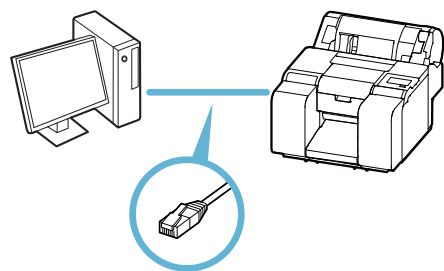
- 無線ダイレクト接続 (→ P.210)

プリンターと Wi-FiDirect 対応の各種機器を無線で直接接続します。



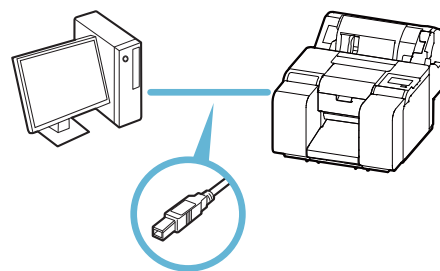
- 有線 LAN 接続 (→ P.217)

LAN ケーブルを使用してプリンターとパソコンを接続します。



- USB 接続 (→ P.221)

USB ケーブルを使用してプリンターとパソコンを接続します。



✓ 重要

- ・有線 LAN 接続は、Wi-Fi 接続または無線ダイレクト接続と同時に使用することはできません。USB 接続は同時に使用できます。
- ・有線 LAN 接続と Wi-Fi 接続、または有線 LAN 接続と無線ダイレクト接続を同時に使用すると、使用していたパソコンなどの機器の接続が切断されます。
- ・Wi-Fi ルーター経由でインターネットに接続している各種機器を、無線ダイレクトのプリンターに接続すると、各種機器と Wi-Fi ルーターの接続は切断されます。このとき、お使いの各種機器によっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続する際の通信料は、お客様のご負担となりますので、ご注意ください。
- ・無線ダイレクト接続時は、リモート UI 機能のみご利用いただけます。印刷データの送信には対応していません。

Wi-Fi 接続

重要

- Wi-Fi 接続は、有線 LAN 接続と同時に使用することはできません。USB 接続は同時に使用できます。
- パソコンなどの機器と Wi-Fi ルーターが接続されていることを確認してください。設定を確認する方法については、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
すでに Wi-Fi ルーターを使用しないでプリンターと接続している機器は、Wi-Fi ルーター経由で接続しなおしてください。
- Wi-Fi ルーターの構成やルーター機能の有無、設定方法、セキュリティの設定はご使用の環境によって異なります。詳細については、ご使用の機器のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- ご使用の機器が「IEEE802.11n only」モードに設定されている場合、セキュリティ方式に TKIP を使用できません。ご使用の機器のセキュリティ方式を TKIP 以外に変更するか、設定を「IEEE802.11n only」以外に変更してください。
- オフィスでご使用の場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。十分、ご注意ください。

- 画面の左側に （ホーム）が表示されている場合は、（ホーム）を押す
ホーム画面が表示されます。



重要

- クリーニングやプリントヘッド位置調整など、プリンターが動作中の場合は、動作が終了してから、操作を開始してください。

メモ

- エラー画面が表示されている場合は、[OK]を押してから、（ホーム）を押してください。

2 ネットワークアイコンを選ぶ



重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。(→ P.167)

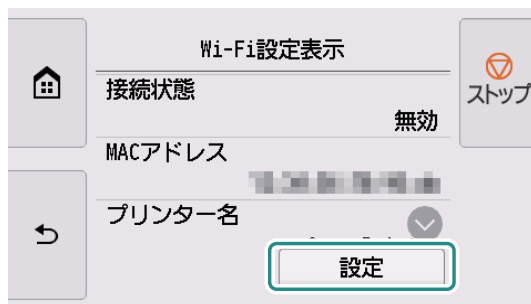
メモ

- 現在の LAN の状態によって、ボタン上に表示されるアイコンが異なります。(→ P.146)
- ホーム画面で  (セットアップ) から [本体設定] → [LAN 設定] を選んでも設定できます。

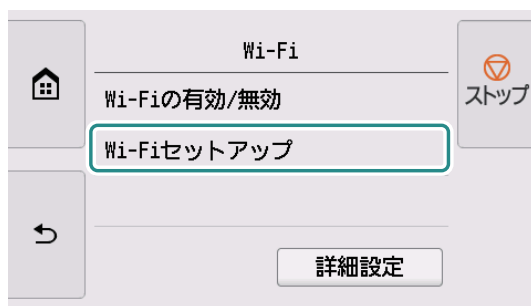
3 [Wi-Fi] を選ぶ



4 [設定] を選ぶ



5 [Wi-Fi セットアップ] を選ぶ



6 Wi-Fi の設定方法を選ぶ

[Wi-Fi ルーター選択] (→ P.202)

Wi-Fi 接続の設定を手動で行うときに選びます。

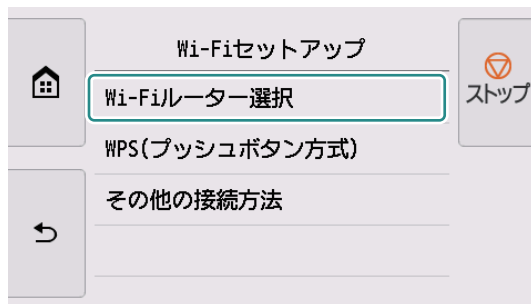
[WPS (プッシュボタン方式)] (→ P.206)

Wi-Fi Protected Setup (WPS) プッシュボタン方式に対応している Wi-Fi ルーターを使用して Wi-Fi 接続の設定をするときに選びます。

[その他の接続方法] → [WPS (PIN コード方式)] (→ P.208)

Wi-Fi Protected Setup (WPS) PIN コード方式に対応している Wi-Fi ルーターを使用して Wi-Fi 接続の設定をするときに選びます。

1 [Wi-Fi ルーター選択] を選ぶ

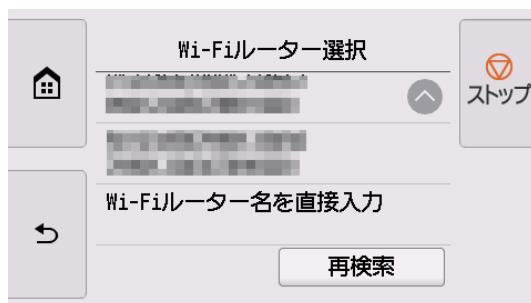


2 ご使用の Wi-Fi ルーターを選ぶ

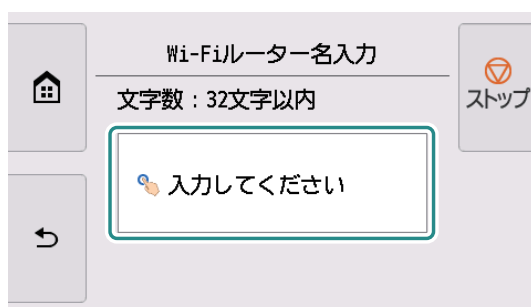
Wi-Fi ルーター名を選んだ場合は、手順 8 へ進みます。

[Wi-Fi ルーター名を直接入力] を選んだ場合は、手順 3 へ進みます。

[Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました] と表示された場合には、「**「Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました」と表示された (P. 354)**」を参照してください。



3 入力エリアを選ぶ



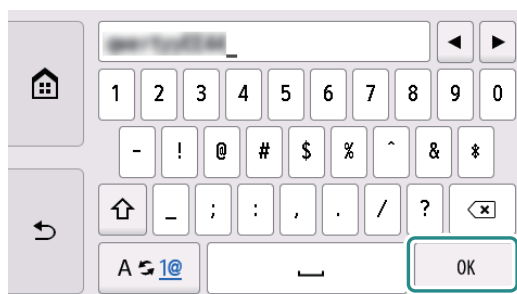
4 Wi-Fi ルーター名（SSID）を大文字 / 小文字の違いに注意して正しく入力する



メモ

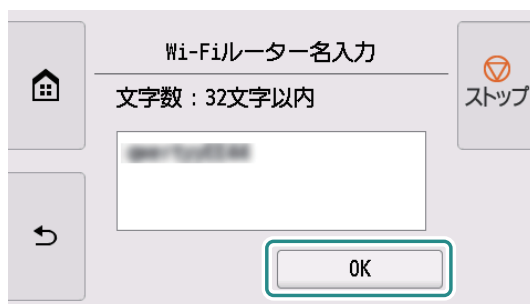
- ご使用の Wi-Fi ルーター名がわからない場合は、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

5 入力後、[OK] を押す



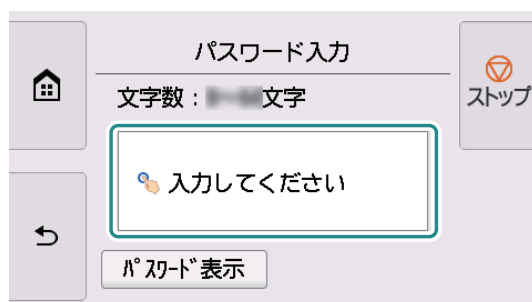
6 Wi-Fi ルーター名（SSID）が正しいことを確認する

7 [OK] を押す



8 入力エリアを選ぶ

「[Wi-Fi ルーターとの接続が完了しました]」と表示された場合、パスワードの入力は不要です。手順 12 へ進みます。



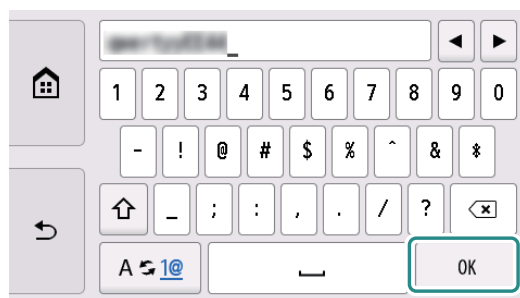
9 パスワードを大文字 / 小文字の違いに注意して正しく入力する



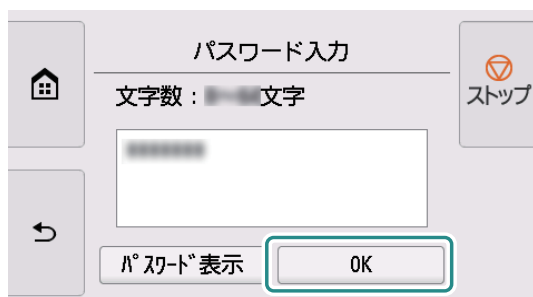
メモ

- ご使用の Wi-Fi ルーター名がわからない場合は、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

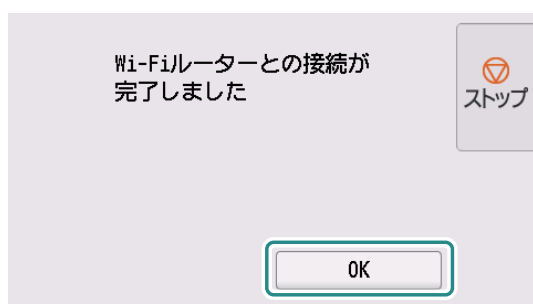
10 入力後、[OK] を押す



11 [OK] を押す



12 下の画面が表示されたら、[OK] を押す



13 家 (ホーム) を押す

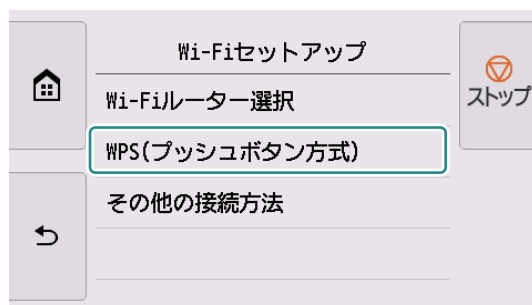


これでネットワークへの接続設定が終了しました。

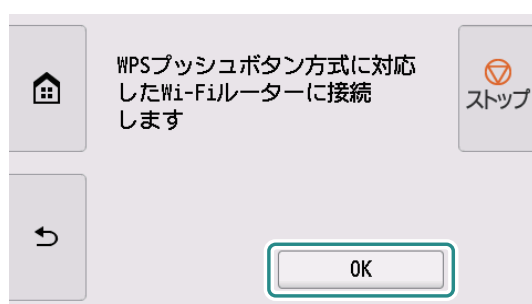
接続が完了すると、画面に  が表示されます。

■ WPS ボタンで接続

1 [WPS(プッシュボタン方式)]を選ぶ



2 [OK] を押す

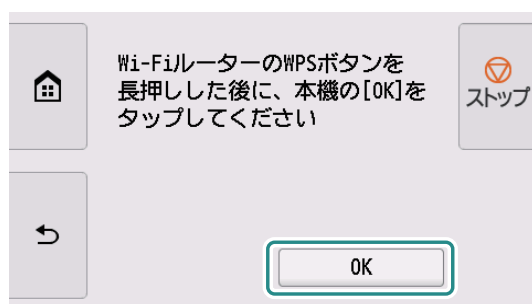


3 Wi-Fi ルーターの WPS ボタンを長押しする

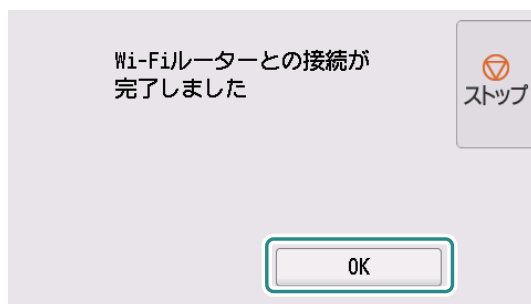


- WPS ボタンの押しかたについては、ご使用の Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照してください。

4 2 分以内にプリンターの [OK] を押す



5 下の画面が表示されたら、[OK]を押す



6 （ホーム）を押す

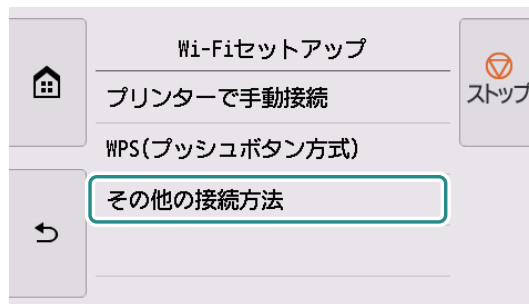


これでネットワークへの接続設定が終了しました。

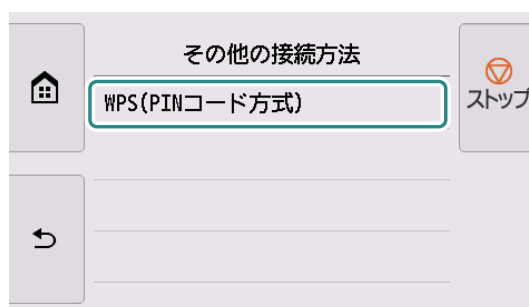
接続が完了すると、画面に  が表示されます。

■ WPS (PIN コード) で接続

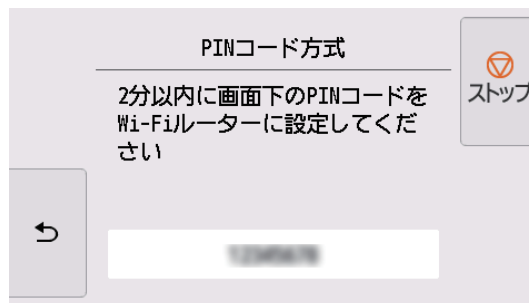
1 [その他の接続方法] を選ぶ



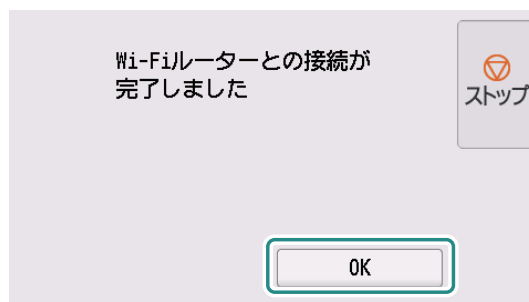
2 [WPS (PIN コード方式)] を選ぶ



3 パソコンなどの機器の画面の指示に従って、PIN コードを Wi-Fi ルーターに設定する



4 下の画面が表示されたら、[OK] を押す



5 (ホーム) を押す



これでネットワークへの接続設定が終了しました。

接続が完了すると、画面に  が表示されます。

無線ダイレクト接続

重要

- Wi-Fi ルーター経由でインターネットに接続しているパソコンなどの機器を、無線ダイレクトのプリンターに接続すると、Wi-Fi ルーターとの接続は切断されます。このとき、お使いの機器によっては、モバイルデータ通信回線に自動的に切り替わることがあります。モバイルデータ通信でインターネットに接続すると、ご契約内容によっては課金が発生することがありますのでご注意ください。
 - パソコンなどの機器とプリンターを無線ダイレクトで接続すると、Wi-Fi 設定に接続情報が保存されます。接続を切断したり、別の Wi-Fi ルーターに接続したりしても、自動でプリンターに接続される場合があります。
 - 無線ダイレクトのプリンターに自動で接続しないようにするには、プリンターを使用したあとに接続モードを変更するか、パソコンなどの機器の Wi-Fi 設定で自動的に接続しないように設定してください。設定を変更する方法については、パソコンなどの機器に付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- 無線ダイレクト接続は、有線 LAN 接続と同時に使用することはできません。
- 無線ダイレクトでパソコンなどの機器とプリンターを接続する場合、ご使用の環境によってはインターネットに接続できなくなる可能性があります。
- 無線ダイレクトは、複数の機器を同時に 5 台まで接続することができます。すでに 5 台接続された状態で、6 台目を接続しようとする、エラーが表示されます。エラーが表示された場合は、プリンターを使用しない機器の接続を解除して、再度設定してください。
- すでにプリンターと各種機器を無線で直接接続していて、機器を追加したい場合は、同じ方法（無線ダイレクト）で接続してください。
- 無線ダイレクトでプリンターに接続しているパソコンなどの機器同士での通信はできません。
- 無線ダイレクト使用中は、プリンターのファームウェアアップデートができません。
- Wi-Fi ルーターを使用しないでプリンターと接続したパソコンなどの機器を、再度セットアップする場合は、接続状態を一度解除してください。Wi-Fi 設定画面でパソコンなどの機器とプリンターの接続を切断しておいてください。
- 無線ダイレクト接続時は、リモート UI 機能のみご利用いただけます。印刷データの送信には対応していません。

■ 無線ダイレクトを有効にする

- 1 画面の左側に （ホーム）が表示されている場合は、（ホーム）を押す
ホーム画面が表示されます。



✓ 重要

- クリーニングやプリントヘッド位置調整など、プリンターが動作中の場合は、動作が終了してから、操作を開始してください。

📖 メモ

- エラー画面が表示されている場合は、[OK] を押してから、（ホーム）を押してください。

2 ホーム画面で、ネットワークアイコンを選ぶ



✓ 重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。（→ P.167）

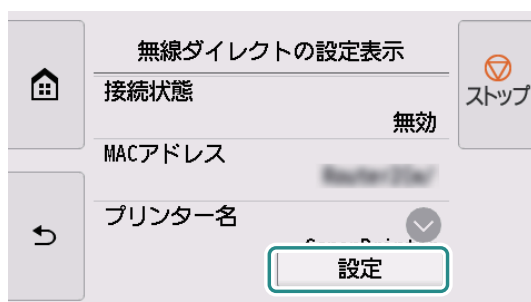
📖 メモ

- 現在の LAN の状態によって、ボタン上に表示されるアイコンが異なります。（→ P.146）
- ホーム画面で （セットアップ）から [本体設定] → [LAN 設定] を選んでも設定できます。

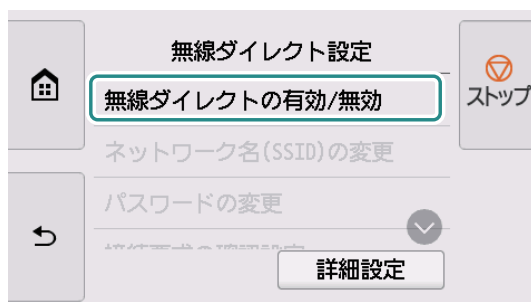
3 「無線ダイレクト」を選ぶ



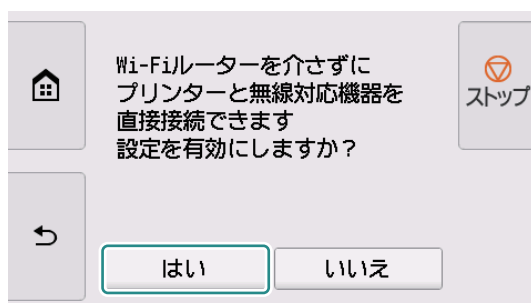
4 「設定」を選ぶ



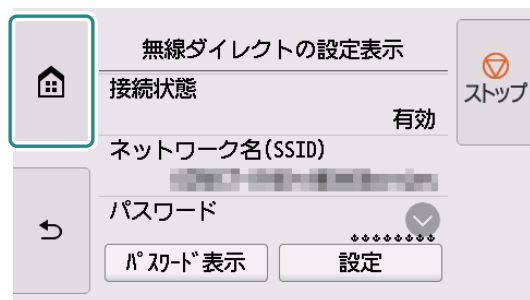
5 「無線ダイレクトの有効 / 無効」を選ぶ



6 「はい」を選ぶ



7 (ホーム) を押す



これで接続設定が終了しました。

接続が完了すると、画面に  が表示されます。

メモ

- 識別名 (SSID) とパスワードは自動的に設定されます。
- プリンターに設定されているパスワードは、以下の方法で確認できます。
 - ホーム画面で、 (ネットワーク) を選ぶ
 - 「無線ダイレクト」を選ぶ
 - 「パスワード表示」を選ぶ
- 識別名 (SSID)、パスワードを更新する場合や、Wi-FiDirect 対応の各種機器に表示されるプリンターの名称を変更する場合の手順は、「無線ダイレクト接続の設定を変更する (P. 215)」を参照してください。

■ スマートフォンやタブレットをプリンターに接続する

1 各種機器の Wi-Fi 機能を有効にする

2 各種機器の画面で、「DIRECT-XXXX-XXXXXX」（X は英数字）を選ぶ

メモ

- 「DIRECT-XXXX-XXXXXX」が表示されない場合は、プリンターが無線ダイレクト接続に設定されていない可能性があります。「[無線ダイレクトを有効にする \(P. 211\)](#)」を参照して設定してください。
- Wi-FiDirect 対応の各種機器に表示されるプリンターの名称は変更できます。必要に応じて、「[無線ダイレクト接続の設定を変更する \(P. 215\)](#)」を参照して、変更してください。

3 各種機器で、パスワードを入力する

各種機器とプリンターが接続されます。

メモ

- プリンターに設定されているパスワードは、以下の方法で確認できます。
 1. プリンターのホーム画面で、（ネットワーク）を選ぶ
 2. [無線ダイレクト] を選ぶ
 3. [パスワード表示] を選ぶ
- ご使用の各種機器が Wi-FiDirect 対応の機器で、Wi-FiDirect での使用が優先されている場合、プリンターのタッチスクリーンに Wi-FiDirect 対応機器の接続を許可するかどうかの確認画面が表示されます。表示されている機器名を確認して [はい] を選ぶと、接続されます。

■ 無線ダイレクト接続の設定を変更する



- ・プリンターの無線ダイレクトの設定を変更した場合は、各種機器でも接続先の設定を変更してください。

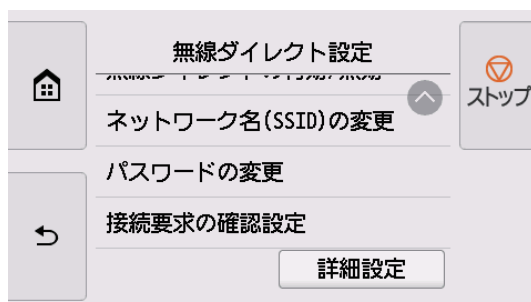
1 ホーム画面で、ネットワークアイコンを選ぶ



2 [無線ダイレクト] を選ぶ

3 [設定] を選ぶ

4 必要に応じて設定を変更する



- Wi-FiDirect 対応の各種機器に表示されるプリンターの名称を変更する場合
[ネットワーク名 (SSID) の変更] を選ぶと、Wi-FiDirect 対応の各種機器に表示されるプリンターの名称（初期値は「DIRECT-XXXX-XX-XXXX」）が表示されます。
名称を変更する場合は、以下の手順で操作します。
 1. デバイス名の入力欄を選びます。
 2. デバイス名を入力します。
 3. [OK] を選び、入力したデバイス名を確認します。
 4. [OK] を選びます。
- プリンターを無線ダイレクトで使用する際のパスワードを更新する場合
[パスワードの変更] を選ぶと確認画面が表示されます。
[手動で変更] → [パスワード表示] を選ぶと、更新されたパスワードを確認できます。

- Wi-FiDirect 対応の各種機器がプリンターに接続しようとしたときの、確認画面の表示 / 非表示を変更する場合

[接続要求の確認設定] を選ぶと確認画面が表示されます。

Wi-FiDirect 対応の各種機器がプリンターに接続しようとしたときに確認画面を表示させたい場合は、[する] を選びます。

👍 重要

- ・ 不正なアクセスを防ぐために、確認画面を表示させる設定のままにしておくことをおすすめします。

設定が終了すると、「無線ダイレクト設定」画面に戻ります。

📖 メモ

- ・ プリンターの無線ダイレクトの設定を変更した場合は、各種機器でも接続先の設定を変更してください。

有線 LAN 接続

重要

- 有線 LAN 接続は、Wi-Fi 接続または無線ダイレクト接続と同時に使用することはできません。USB 接続は同時に使用できます。
- パソコンなどの機器とルーターが接続されていることを確認してください。設定を確認する方法については、ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- ルーターをご使用の場合は、プリンターとパソコンなどの機器を LAN 側（同一セグメント内）に接続してください。
- ネットワーク機器の構成やルーター機能の有無、設定方法、セキュリティの設定はご使用の環境によって異なります。詳細については、ご使用の機器のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- オフィスでご使用の場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- セキュリティで保護されていないネットワーク環境に接続する場合は、お客様の個人情報などのデータが第三者に漏洩する危険性があります。十分、ご注意ください。

- 画面の左側に （ホーム）が表示されている場合は、（ホーム）を押す
ホーム画面が表示されます。



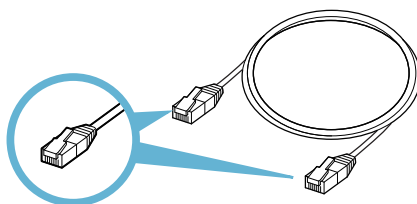
重要

- クリーニングやプリントヘッド位置調整など、プリンターが動作中の場合は、動作が終了してから、操作を開始してください。

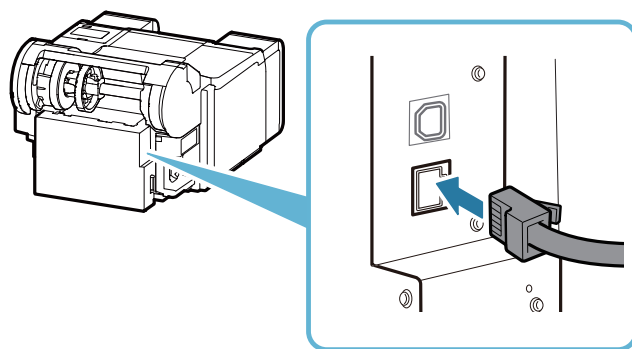
メモ

- エラー画面が表示されている場合は、[OK] を押してから、（ホーム）を押してください。

- 市販の LAN ケーブルを準備します。



3 LAN ケーブルで、プリンターとルーターなどのネットワーク機器を接続します。ほかのポートに接続しないようにしてください。



4 ネットワークアイコンを選ぶ



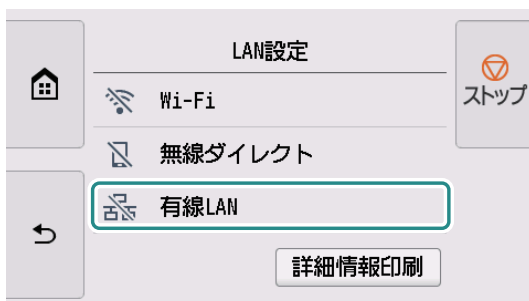
✓ 重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。(→ P.167)

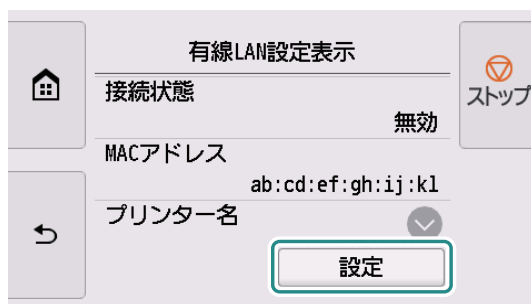
📖 メモ

- 現在の LAN の状態によって、ボタン上に表示されるアイコンが異なります。(→ P.146)
- ホーム画面で  (セットアップ) から [本体設定] → [LAN 設定] を選んでも設定できます。

5 [有線 LAN] を選ぶ



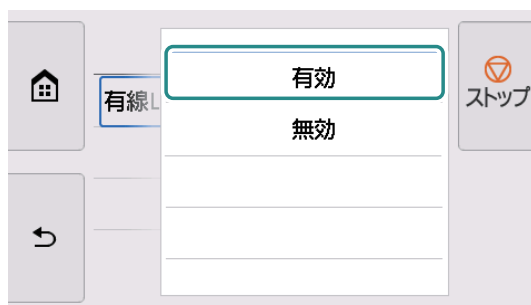
6 「設定」を選ぶ



7 「有線 LAN の有効 / 無効」を選ぶ



8 「有効」を選ぶ



9 (ホーム) を押す

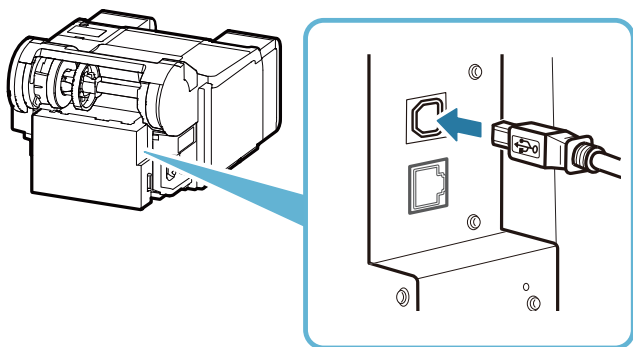


これでネットワークへの接続設定が終了しました。

接続が完了すると、画面に  が表示されます。

USB 接続

プリンターとパソコンを USB ケーブルで接続します。

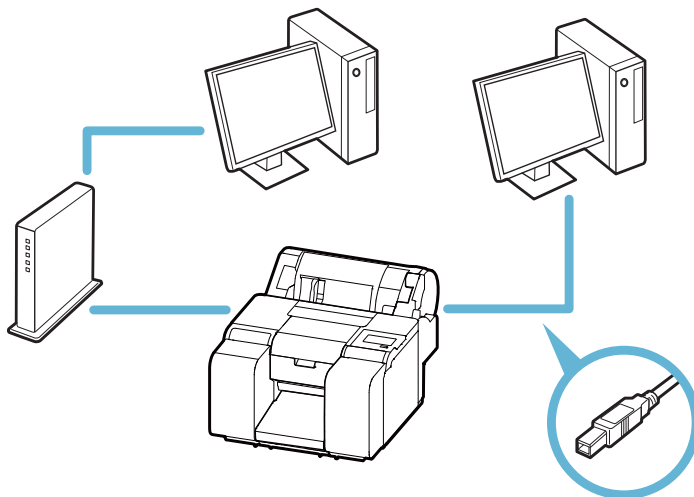


USB 接続では、プリンターとパソコンが 1 対 1 で接続されます。

パソコンが LAN と接続されている場合、パソコン側でプリンターを共有設定することにより、他の機器からプリンターを使うことができます。

メモ

- ・ ルーターと有線 LAN で接続している場合でも、他のパソコンと USB で接続することができます。



ネットワーク設定を変更する

ネットワークの設定を変更する場合は、あらかじめネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な設定を行ってください。

IP アドレスを設定する

■ IPv4 アドレスを設定する

1 ホーム画面で、ネットワークアイコンを選ぶ



メモ

- 現在の LAN の状態によって、ボタン上に表示されるアイコンが異なります。(→ P.146)
- ホーム画面で  (セットアップ) から [本体設定] → [LAN 設定] を選んでも設定できます。

2 ネットワークの接続方法を選ぶ

3 [設定] → [詳細設定] → [TCP/IP 設定] → [IPv4] を選ぶ

4 メッセージの内容を確認し、[はい] を選ぶ

5 [IP アドレス] を選ぶ

6 IP アドレスを設定する

IP アドレスを手動で設定する場合：

- [手動設定] を選ぶ
- IP アドレスを入力し、[OK] を押す
- サブネットマスクを入力し、[OK] を押す
- デフォルトゲートウェイを入力し、[OK] を押す

IP アドレスを自動的に割り当てる場合：

- [自動設定] を選ぶ

メモ

- 自動設定の場合は、DHCP サーバーから IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを自動的に取得します。DHCP サーバーとの通信に失敗した場合は、AutoIP 機能が有効となります。

■ IPv6 アドレスを設定する

1 ホーム画面で、ネットワークアイコンを選ぶ



メモ

- 現在の LAN の状態によって、ボタン上に表示されるアイコンが異なります。(→ P.146)
- ホーム画面で  (セットアップ) から [本体設定] → [LAN 設定] を選んでも設定できます。

2 ネットワークの接続方法を選ぶ

3 [設定] → [詳細設定] → [TCP/IP 設定] → [IPv6] を選ぶ

4 メッセージの内容を確認し、[はい] を選ぶ

5 [IPv6 の有効 / 無効] を選ぶ

6 [有効] を選ぶ

7 必要に応じて、以下を設定する

IP アドレスを手動で設定する場合：

1. [手動アドレス] を選ぶ
2. [使用する] を選ぶ
3. IP アドレスを入力し、[OK] を押す
4. プレフィックス長を入力し、[OK] を押す

DHCPv6 を使って DHCP サーバーから取得する場合：

1. [DHCPv6 の使用] を選ぶ
2. [使用する] を選ぶ

✓ 重要

- プリンターを IPv6 で接続している場合は、リモート UI を使用してサーバー証明書を作成する必要があります。詳細は「サーバー証明書を生成する (P. 189)」を参照してください。

使用するネットワーク環境に合わせる

重要

- LAN が無効になっていると、詳細設定はできません。

1 ホーム画面で、ネットワークアイコンを選ぶ



メモ

- 現在の LAN の状態によって、ボタン上に表示されるアイコンが異なります。(→ P.146)
- ホーム画面で  (セットアップ) から [本体設定] → [LAN 設定] を選んでも設定できます。

2 ネットワークの接続方法を選ぶ

3 [設定] を選ぶ

4 [詳細設定] を選ぶ

ネットワーク設定の項目が表示されます。表示に従って設定してください。

[プリンター名設定]

プリンター名を設定します。最大 15 文字まで入力できます。

メモ

- すでに LAN 接続されている機器と同じプリンター名は使用できません。
- プリンター名の最初と最後の文字に、- (ハイフン) は使用できません。

[TCP/IP 設定]

IPv4 または IPv6 の設定を行います。

➡ [IP アドレスを設定する \(P. 222\)](#)

[WSD 設定]

WSD (Windows がサポートするネットワークプロトコルの一つ) を利用するときの設定項目です。

- [WSD の有効 / 無効]
- WSD の有効 / 無効を選びます。

メモ

- 本設定を有効にした場合、Windows のネットワークエクスプローラーにプリンターアイコンが表示されます。

- ・ [WSD 受信の最適化]
[有効] に設定すると、WSD 印刷のデータ受信を高速で行います。
- ・ [タイムアウト設定]
タイムアウトの時間を設定します。

[Bonjour 設定]

Bonjour を使用してネットワークの設定を行うときの設定項目です。

- ・ [Bonjour の有効 / 無効]
[有効] に設定すると、Bonjour を使用してネットワークの設定ができるようになります。
- ・ [サービス名]
Bonjour のサービス名を設定します。最大 48 文字まで入力できます。
工場出荷時は「Canon XX-NNNN」に設定されています。XX-NNNN はお使いの機種名です。



- ・ すでに LAN 接続されている機器と同じサービス名は使用できません。

[SNTP 設定]

SNTP (Simple Network Time Protocol) の各種設定を行います。

[スパニングツリー設定]

スパニングツリーの有効 / 無効を切り替えます。スパニングツリーに対応したハブに接続するときは [有効] を選んでください。[有効] を選ぶことで、データがネットワーク内で循環することを防ぎます。

[LPD 設定]

LPD の設定 (有効 / 無効) を切り替えます。

[RAW 設定]

RAW 印刷をする / しないを切り替えます。

[LLMNR 設定]

LLMNR (Link-Local Multicast Name Resolution) をする / しないを指定します。[する] を選ぶと、DNS サーバーがない環境でも、プリンター名からプリンターの IP アドレスを割り出すことができます。

[Gbit イーサネット設定]

ギガビット・イーサネットを使用するときの通信速度と通信方式を設定します。

[専用ポート設定]

キヤノン製アプリケーションからプリンターにコマンドを送信するときに、専用のポートを使用する / しないを選びます。[する] を選ぶと、専用のポートを使用します。

[Wi-Fi 間欠受信設定]

[有効] に設定すると、Wi-Fi 使用時にデータ受信を断続的に行います (間欠受信) 。

[有線 LAN 間欠受信設定]

[有効] に設定すると、有線 LAN に対応している機器に接続しているときに、データ受信を断続的に行います (間欠受信) 。

[SSL 証明書のリセット]

SSL 証明書の情報を初期化します。

[LAN 設定リセット]

プリンターのネットワーク設定情報を初期化します。リセットしたあとは、必要に応じてセットアップをやりなおしてください。

ネットワーク設定情報を確認する

■ タッチスクリーン上で確認する

1 ホーム画面で、ネットワークアイコンを選ぶ



- 現在の LAN の状態によって、ボタン上に表示されるアイコンが異なります。(→ P.146)

2 ネットワークを選ぶ

ネットワーク設定情報が表示されます。

- ➡ Wi-Fi のとき (P. 226)
- ➡ 無線ダイレクトのとき (P. 228)
- ➡ 有線 LAN のとき (P. 229)

● Wi-Fi のとき

無線 LAN 接続 (Wi-Fi) に関する以下のような設定情報が表示されます。(プリンターの設定によっては表示されない項目もあります。)

表示される項目名	設定内容 (XX は半角英数字を示す)
接続状態	有効 (接続中) / 有効 (切断中) / 無効
ネットワーク名 (SSID)	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXX
周波数帯	2.4 GHz
Wi-Fi セキュリティ	無効 / WPA-PSK(TKIP) / WPA-PSK(AES) / WPA2-PSK(TKIP) / WPA2-PSK(AES) / WPA3-SAE(AES) / WPA-EAP(AES)* / WPA2-EAP(AES)* / WPA3-EAP(AES)* * IEEE802.1X (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP) 対応
電波強度 [%]	XXX
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 DNS 動的設定	有効 / 無効

表示される項目名	設定内容（XX は半角英数字を示す）
IPv4 DNS ホスト名	XXXXXXXXXXXXXX
IPv4 DNS ドメイン名	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 手動アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 手動プレフィックス長	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 1	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 2	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 3	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 4	XXX
DHC Pv6	有効 / 無効
DHC Pv6 ステートフルアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
DHC Pv6 ステートフルアドレスプレフィックス長	XXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 プライマリ DNS サーバーアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6 セカンダリ DNS サーバーアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6 DNS 動的更新 手動アドレス	有効 / 無効
IPv6 DNS 動的更新 ステートレスアドレス	有効 / 無効
IPv6 DNS 動的更新 ステートフルアドレス	有効 / 無効
IPv6 IPv4 ホスト名 / ドメイン名を使用	有効 / 無効

表示される項目名	設定内容（XX は半角英数字を示す）
IPv6 DNS ホスト名	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6 DNS ドメイン名	XXXXXXXXXXXXXX
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX

● 無線ダイレクトのとき

無線ダイレクトに関する以下のような設定情報が表示されます。（プリンターの設定によっては表示されない項目もあります。）

表示される項目名	設定内容（XX は半角英数字を示す）
接続状態	有効 / 無効
ネットワーク名 (SSID)	DIRECT-XXXX-NNNN ^{*1} ^{*1} “NNNN” はお使いの機種名
周波数帯	2.4 GHz
Wi-Fi セキュリティ	WPA2-PSK(AES)
現在の接続台数	XX/XX
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX

● 有線 LAN のとき

有線 LAN に関する以下のような設定情報が表示されます。（プリンターの設定によっては表示されない項目もあります。）

表示される項目名	設定内容（XX は半角英数字を示す）
接続状態	有効（接続中）/ 有効（切断中）/ 無効
IPv4 アドレス	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 サブネットマスク	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 デフォルトゲートウェイ	XXX. XXX. XXX. XXX
IPv4 DNS 動的設定	有効 / 無効
IPv4 DNS ホスト名	XXXXXXXXXXXXXX
IPv4 DNS ドメイン名	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6 リンクローカルアドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 手動アドレス	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 手動プレフィックス長	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 1	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 2	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 3	XXX
IPv6 ステートレスアドレス 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 ステートレスプレフィックス 4	XXX
DHCPv6	有効 / 無効
DHCPv6 ステートフルアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
DHCPv6 ステートフルアドレスプレフィックス長	XXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 1	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 2	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 デフォルトゲートウェイ 3	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX

表示される項目名	設定内容（XX は半角英数字を示す）
IPv6 デフォルトゲートウェイ 4	XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX: XXXX
IPv6 プライマリ DNS サーバーアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6 セカンダリ DNS サーバーアドレス	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6 DNS 動的更新 手動アドレス	有効 / 無効
IPv6 DNS 動的更新 ステートレスアドレス	有効 / 無効
IPv6 DNS 動的更新 ステートフルアドレス	有効 / 無効
IPv6 IPv4 ホスト名 / ドメイン名を使用	有効 / 無効
IPv6 DNS ホスト名	XXXXXXXXXXXXXX
IPv6 DNS ドメイン名	XXXXXXXXXXXXXX
MAC アドレス	XX:XX:XX:XX:XX:XX
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
Bonjour サービス名	XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXX

■ 印刷して確認する

✓ 重要

- ・ ネットワーク設定情報を印刷した用紙には、お使いのネットワークに関する重要な情報が記載されております。お取り扱いには、十分ご注意ください。
- ・ ネットワークの状態は、「[ネットワークの状態と対処方法 \(P. 234\)](#)」を参照して確認してください。

用意するもの：

A4 サイズのカット紙（普通紙）8 枚

📖 メモ

- ・ ソフトウェアの更新によって、印刷に必要な枚数は変更されることがあります。

- 1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す
- 2 [本体設定] → [LAN 設定] → [詳細情報印刷] を押す
- 3 メッセージの内容を確認し、[はい] を選ぶ
- 4 メッセージの内容を確認し、[はい] または [いいえ] を選ぶ
- 5 タッチスクリーンに表示される指示に従い、用紙を 1 枚プリンターにセットする
用紙種類は [普通紙] → [普通紙（カット紙）] を選んでください。

✓ 重要

 - ・ 本プリンターにセットできるカット紙は 1 枚です。2 枚以上セットすると紙づまりの原因になります。
- 6 タッチスクリーンに表示される指示に従って、印刷を完了する
印刷が 1 枚ずつ行われるため、各印刷の前に用紙を 1 枚ずつセットしてください。
印刷が完了するたびに、タッチスクリーンに次の指示が表示されますので、それに従ってください。

✓ 重要

 - ・ リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。操作を誤った場合は、エラーメッセージが表示されてプリンターの再起動が必要になります。

不正アクセス防止対策について

プリンターにおける、外部からの不正アクセス防止対策について説明します。プリンターをネットワーク環境でお使いの方、管理者の方は、ご利用の前にご確認ください。

外部からの不正アクセス防止対策のポイントは次の4点です。

- ➡ プライベート IP アドレスで運用する (P. 232)
- ➡ ファイアウォール、Wi-Fi ルーター等で通信を制限する (P. 233)
- ➡ プリンターをパスワードで管理する (P. 233)
- ➡ 無線 LAN 接続 (Wi-Fi) を利用する場合は、セキュリティレベルの高い方式を利用する (P. 233)

■ プライベート IP アドレスで運用する

IP アドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号のことで、インターネット接続に使われる IP アドレスを「グローバル IP アドレス」、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使われる IP アドレスを「プライベート IP アドレス」といいます。

プリンターにグローバル IP アドレスが設定されている場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏洩などのリスクも高まります。

一方、プライベート IP アドレスが設定されている場合は、社内 LAN などのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。したがって、プリンターの IP アドレスにはプライベート IP アドレスを設定して運用してください。

プライベート IP アドレスには、次のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。本プリンターに設定されている IP アドレスがプライベート IP アドレスかどうかをご確認ください。

プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

IP アドレスの確認のしかた

- プリンターの [セットアップ] → [本体設定] → [LAN 設定] からお使いのネットワーク方式を選び、IP アドレスを確認します。(→ P.226)

メモ

- プリンターにグローバル IP アドレスが設定されていても、ファイアウォール等で外部からのアクセスを防御する環境を設定すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。

■ ファイアウォール、Wi-Fi ルーター等で通信を制限する

ファイアウォールとは、外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、組織内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステムです。

危険と思われる特定の外部 IP アドレスからの通信を制限することで、お使いのネットワークへの不正アクセスを防止できます。

ご家庭でお使いの Wi-Fi ルーターにも、同様な機能が備わっています。設定を変更する場合には、十分注意して行ってください。

■ プリンターをパスワードで管理する

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けた場合にも、プリンターが持つさまざまな情報をパスワードで保護することで、情報漏洩によるリスクを大幅に軽減できます。パスワードを管理することがセキュリティ対策において重要です。次のポイントを参考に、パスワードを管理してください。

- ・ ご購入時のパスワードから必ず変更する
- ・ 定期的にパスワードを変更する
- ・ 第三者が推測しやすいパスワードを設定しない
- ・ 不用意に第三者に教えない

● リモート UI（User Interface）でのパスワード管理について

リモート UI とは、ウェブブラウザを使ってパソコンからネットワークを経由してプリンターにアクセスし、プリンターの状態の確認や各種設定など、プリンターの操作パネルと同等の操作を行うためのソフトウェアです。ウェブブラウザで本体の IP アドレス、またはホスト名を指定すると、リモート UI のポータルページが表示されます。

✓ 重要

- ・ ウェブブラウザでプリンターのリモート UI を開いているときには、他のウェブサイトにはアクセスしないようにしてください。
- ・ リモート UI で設定を変更しているパソコンから離席する場合や設定変更が終了した場合は、ウェブブラウザを必ず終了してください。

■ 無線 LAN 接続（Wi-Fi）を利用する場合は、セキュリティレベルの高い方式を利用する

無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターを使用する場合は、セキュリティレベルの観点から、WPA/WPA2/WPA3 のご使用をおすすめします。（→ P.226）

ネットワークの状態と対処方法

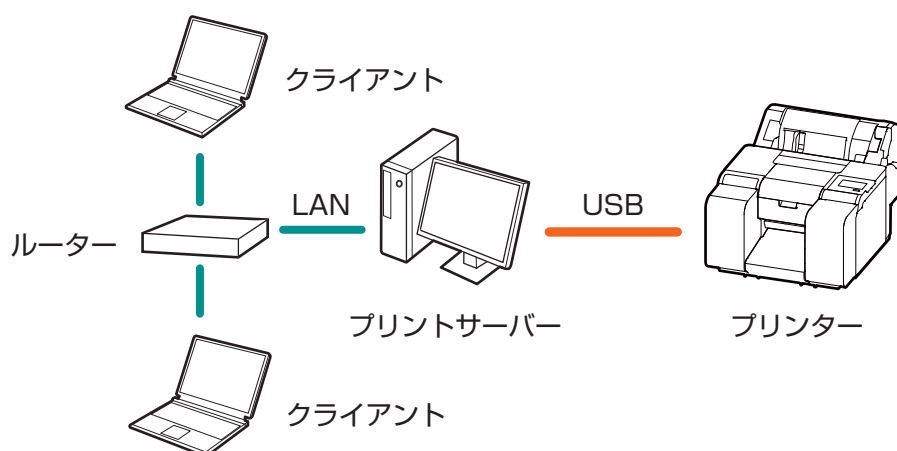
ネットワーク設定情報を印刷して、ネットワークの状態を確認してください。(→ P.231)

ネットワークの状態	対処方法
正常に接続されています。 それでも印刷ができない場合は、対処方法を参照してください。	印刷ができない場合は、以下を確認してください。 ・ パソコンが無線 LAN (Wi-Fi) に接続されているか。 ・ パソコンのファイアウォール関連のセキュリティソフトが動作していないか。 ・ Wi-Fi ルーターのプライバシーセパレーター、SSID セパレーター、ネットワーク分離機能が有効になっていないか。 有効になっている場合は、セットアップを行う前にこれらの機能を無効にしてください。 ・ プリンターのネットワーク名 (SSID) と通信を行うルーターのネットワーク名 (SSID) 設定が一致しているか。 有線 LAN/ 無線 LAN (Wi-Fi) を切り替えたい場合は、プリンターのネットワーク設定の画面で行ってください。
プリンターの LAN の設定が無効になっています。	「 接続方法を選ぶ (P. 198) 」を参照して設定を行ってください。
有線 LAN 接続 (LAN ケーブル) が無効になっています。	プリンターとルーターが LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。LAN ケーブルが抜けかかっている場合は、正しく接続してください。 LAN ケーブルがルーターの WAN 側に接続されている場合は、ルーターの LAN 側に接続してください。 ハブやルーターなどの、ネットワーク機器の電源が入っているか確認してください。
IP アドレスが割り当てられていません。	プリンターの IP アドレスを自動で設定している場合は、ルーターの DHCP を有効にしてください。 プリンターの IP アドレスを手動で設定した場合は、設定した IP アドレスが有効範囲外 (0.0.0.0 など) のため、無効になっています。 有効な IP アドレスを設定してください。
デフォルトゲートウェイが設定されていません。	クラウド系のアプリなどルーターを超えて通信したい場合は以下を確認してください。 ・ デフォルトゲートウェイに指定した機器の電源が入っているか確認してください。 ・ デフォルトゲートウェイのアドレスを正しく設定してください。

ネットワークの状態	対処方法
指定のネットワークに接続できません。	プリンターとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）、各種機器の状態を確認してください。 - 電源が入っていない場合は、電源を入れてください。 - 電波の状態が悪い可能性があります。 無線 LAN（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください。 - Wi-Fi ルーターに設定されているセキュリティキーと、入力したセキュリティキーが一致していない可能性があります。 セキュリティキーは大文字・小文字も区別されます。 セキュリティキーを正しく入力してください。
電波の状態が悪い可能性があります。	プリンターと Wi-Fi ルーターとの距離が離れすぎていないか確認してください。
	無線 LAN 接続（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください。
接続しているクライアント数が最大です。	無線ダイレクトで同時接続できる各種機器は 5 台までです。各種機器を追加で接続する場合は、使用していない機器の接続を解除してから追加してください。
信号雑音比（S/N 比）が低くなっています。	他の各種機器の影響で雑音が多くなっています。 プリンターを他の各種機器から離してください。
リンクローカルアドレスが割り当てられています。	プリンターのセットアップを再度行ってください。
	Wi-Fi ルーターに設定されているセキュリティキーと、入力したセキュリティキーが一致していない可能性があります。 セキュリティキーは大文字・小文字も区別されます。セキュリティキーを正しく入力してください。
ネットワーク名（SSID）が初期値のままです。	ネットワーク名（SSID）が設定されていません。 接続先のネットワーク名（SSID）を入力してください。

ネットワーク環境でプリンターを共有する

パソコンをネットワーク環境で使用しているときは、1 台のプリンターを共有して複数のパソコンから印刷することができます。



プリントサーバー機での設定

プリントサーバー機でプリンタードライバーの共有を設定します。その後、クライアント機からプリントサーバー機への接続を設定します。

メモ

- ・ ネットワークに接続する各パソコンの Windows のバージョンが同じである必要はありません。

1 プリントサーバー機にプリンタードライバーをインストールする

2 [スタート] → [設定] → [Bluetooth とデバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 をお使いの場合：

[スタート] → [設定] → [デバイス] → [プリンターとスキャナー] を選ぶ

3 本プリンターをクリックし、[プリンターのプロパティ] を選ぶ

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 をお使いの場合：

本プリンターをクリックし、[管理] → [プリンターのプロパティ] を選ぶ

重要

- ・ ソフトウェアを起動したり、インストールやアンインストールを行ったりする場合、確認や警告のダイアログボックスが表示されることがあります。このダイアログボックスは、ユーザーの管理者権限を確認する画面です。管理者の権限を持つユーザーでサインインした場合は、[はい] をクリックして、操作を続けてください。
- ソフトウェアによっては、管理者の権限を持つユーザー以外は操作が実行できない場合があります。この場合は、管理者の権限を持つユーザーに切り替え、操作をやりなおしてください。

4 [共有]シートの[このプリンターを共有する]にチェックマークを付け、必要に応じて共有名を設定して、[OK]をクリックする

以上でプリントサーバー機での設定は完了です。次に、クライアント機での設定を行ってください。

クライアント機での設定

プリントサーバー機での設定が終わったら、クライアント機での設定を行います。

1 クライアント機でエクスプローラーを開き、共有したいプリンターのアイコンをダブルクリックする

2 画面の指示に従いプリンタードライバーのインストールを行う

以上で、クライアント機での設定は完了です。

ほかのクライアント機で設定する場合も、同様に手順 1 ～手順 2 を行ってください。

印刷ジョブの管理

印刷ジョブを操作する	239
印刷ジョブを削除する	239
優先印刷する	241
保留ジョブを印刷する	243
ハードディスクを活用して印刷ジョブを操作する	245
ハードディスクの使い方	245
プリンターのハードディスク関連の機能一覧	246
印刷ジョブを個人ボックスに保存する	247
保存したジョブを印刷する	249
保存したジョブを削除する	251
保存したジョブを移動する	253
印刷ジョブを共通ボックスに保存しない	254
個人ボックスにパスワードを設定する	255
個人ボックスに名前を付ける	256
保存したジョブの一覧を印刷する	257
保存したジョブの名前を変更する	258
ハードディスクの空き容量を確認する	259
ハードディスク内のデータを消去する	260

印刷ジョブを操作する

印刷ジョブを削除する

印刷ジョブを、個別に選んで削除できます。
この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

● 操作パネルの場合

1 ホーム画面で、（ジョブ管理）を押す

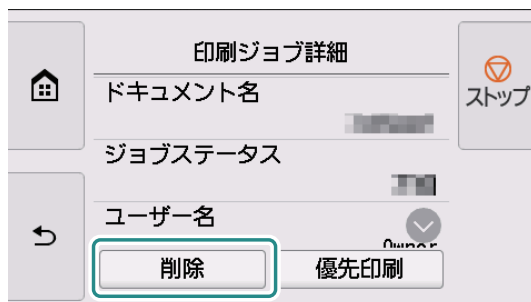
2 「印刷ジョブ」を押す

3 一覧で、目的のジョブを選ぶ



- ・「選択削除」を選ぶと、複数のジョブをまとめて削除できます。

4 「削除」を押す



5 メッセージの内容を確認し、「はい」を押す



- ・「ジョブ管理」から「印刷ジョブをすべて削除」を選ぶと、ジョブキューの印刷ジョブをすべて削除できます。
(→ P.166)

● リモート UI の場合

- 1 リモート UI を起動する
➡ リモート UI を起動する (P. 172)
- 2 [ジョブ管理] を押す
- 3 [印刷ジョブ] を押す
- 4 一覧で、目的のジョブを選ぶ
- 5 [削除] を押す
- 6 メッセージの内容を確認し、[はい] を押す

優先印刷する

受信中の印刷ジョブを指定して、印刷順の入れ替え（優先印刷）を行うことができます。
この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

メモ

- ・  アイコンが表示されているジョブ（保留ジョブ）の操作については、「[保留ジョブを印刷する \(P. 243\)](#)」を参照してください。

● 操作パネルの場合

1 ホーム画面で、（ジョブ管理）を押す

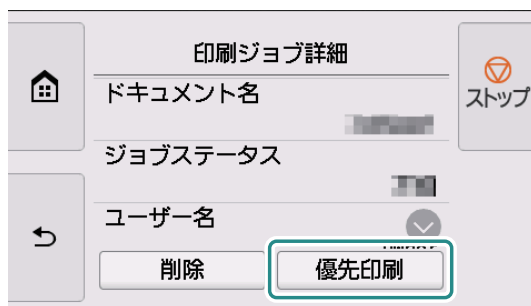
2 「印刷ジョブ」を押す

3 一覧で、目的のジョブを選ぶ

メモ

- ・ 「選択削除」を選ぶと、複数のジョブをまとめて削除できます。

4 「優先印刷」を押す



5 メッセージの内容を確認し、「はい」を押す

● リモート UI の場合

- 1 リモート UI を起動する
➡ リモート UI を起動する (P. 172)
- 2 [ジョブ管理] を押す
- 3 [印刷ジョブ] を押す
- 4 一覧で、目的のジョブを選ぶ
- 5 [優先印刷] を押す

保留ジョブを印刷する

タッチスクリーンのメニューで、[用紙の設定不一致を検知]が[保留する]に設定されている場合に、セットした用紙の種類やサイズと設定が異なるジョブを受信すると、印刷ジョブは保留ジョブ（状態が保留中のジョブキュー）となります。

保留ジョブ印刷する場合は、プリンターの用紙を、印刷ジョブで指定した用紙に交換しておいてください。

- ➡ **ロール紙をプリンターにセットする（P.35）**
- ➡ **カット紙をプリンターにセットする（P.47）**
- ➡ **プリンター外部から用紙をセットする（P.50）**

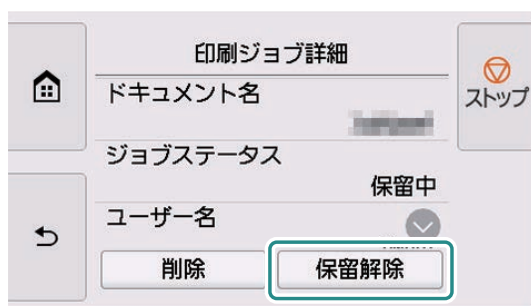
この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

メモ

- 保留ジョブは操作パネルから操作しない限り、ジョブキューとして保存されたままの状態となります。このときプリンターは一時停止せずに、次の順番のジョブキューを処理します。

● 操作パネルの場合

- 1 ホーム画面で、（ジョブ管理）を押す
- 2 [印刷ジョブ]を押す
- 3 一覧で、左側にアイコンが表示されているジョブを押す
- 4 [保留解除]を押す



- 5 メッセージの内容を確認し、[はい]を押す

● リモート UI の場合

1 リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する (P. 172)

2 [ジョブ管理] を押す

3 [印刷ジョブ] を押す

4 一覧で、左側に アイコンが表示されているジョブを押す

5 [保留解除] を押す

ハードディスクを活用して印刷ジョブを操作する

ハードディスクの使い方

印刷ジョブをプリンターのハードディスクに保存できます。

印刷ジョブを保存すると、以下のようなことができます。

- ・ パソコンの作業負荷を軽減
印刷終了後に印刷ジョブをプリンターに保存したり、印刷しないで印刷ジョブをプリンターに保存することができます。印刷ジョブを保存しておけば、パソコンを使用せずに、必要なときに必要な部数を印刷することができます。
- ・ エラー発生後の再印刷が簡単
印刷中に用紙切れなどのエラーがプリンターで発生した場合、パソコンから印刷ジョブを再送しなくても、エラー解消後に印刷を続行することができます。
- ・ 印刷の作業効率を向上
パソコンを使用せずに、印刷ジョブを選択して印刷したり、部数を指定して印刷することができます。また、複数の印刷ジョブをまとめて印刷することができます。夜間の無人運転も可能です。

■ 保存場所

プリンターのハードディスクの保存領域は、一時保存領域と恒久保存領域に分かれており、一時保存領域にはジョブキューのデータと共通ボックスのデータが保存されます。恒久保存領域には個人ボックスのデータが保存されます。

- ジョブキュー（一時保存領域）
プリンターで処理実行中（保存中、受信中、処理準備中、処理中、印刷中、中断中、削除中および保留中）の印刷ジョブをジョブキューと呼び、一時保存領域に最大 100 個まで保存されます。ただし、保留ジョブとして使用可能なジョブ数は 64 個までとなります。
ジョブキューが最大数保存されているときに、パソコンから送信された印刷ジョブは、処理待ちの状態になります。
ただし、保存されているジョブキューの状態がすべて保留中の場合は、保存日時の 1 番古いジョブキューが削除され、パソコンから送信された印刷ジョブが処理されます。
- 共通ボックス（一時保存領域）
印刷ジョブは共通ボックスに保存され、保存ジョブとなります。
共通ボックスは 1 個で、ボックス番号は「00」です。パスワードは設定できません。
最大 100 個の印刷ジョブを保存できますが、以下の場合は、最終印刷日時の古い順に消去されます。
 - ・ 共通ボックスに保存されている保存ジョブの数が 101 個以上の場合
 - ・ 印刷ジョブを受信中に、一時保存領域の空き容量がなくなった場合
- 個人ボックス（恒久保存領域）
共通ボックスの保存ジョブを、個人ボックスに移動することができます。
個人ボックスは 29 個で、ボックス番号は「01」～「29」です。個人ボックスごとに、名前とパスワードを設定できます。すべての個人ボックスで、合わせて最大 100 個の印刷ジョブを保存することができます。

プリンターのハードディスク関連の機能一覧

プリンターのハードディスク関連の機能の一覧を、以下に示します。

機能		リモート UI	操作パネル
印刷ジョブの保存	印刷ジョブを個人ボックスに保存する (→ P.247)	×	○
	印刷ジョブを共通ボックスに保存しない (→ P.254)	×	○
保存したジョブの操作	保存したジョブの印刷 (→ P.249)	○	○
	保存したジョブの削除 (→ P.251)	○	○
ジョブキューの管理	ジョブキューの表示	○	○
	ジョブの削除 (→ P.239)	○	○
	優先印刷 (→ P.241)	○	○
	保留ジョブの操作 (→ P.243)	○	○
ボックスの管理	保存したジョブの移動 (→ P.253)	○	×
	保存したジョブの設定変更 (→ P.258)	○	×
	ボックスのパスワード設定 (→ P.255)	○	×
	ボックス名の変更 (→ P.256)	○	×
	保存したジョブの一覧印刷 (→ P.257)	×	○
	保存したジョブの一覧表示	○	○
その他の操作	ハードディスク空き容量の表示 (→ P.259)	○	○
	ハードディスクの初期化 (→ P.260)	×	○
	印刷時間の表示	○	○
エラーメッセージの表示		○	○

印刷ジョブを個人ボックスに保存する

印刷ジョブをプリンターの個人ボックスに保存する方法を設定します。

✓ 重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

■ 出力方法を設定する

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 [本体設定] を押す

3 [ハードディスク設定] を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

4 [出力方法] を押す

5 [ボックス保存] を押す

6 一覧で、目的のボックスを選ぶ

メモ

- ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。
- 印刷ジョブをハードディスクに保存したあと、印刷を開始したい場合は [保存完了後に印刷] を [する] に設定してください。
➡ データを保存完了後に印刷する（P.248）

■ データを保存完了後に印刷する

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 [本体設定] を押す

3 [ハードディスク設定] を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

4 [保存完了後に印刷] を押す

5 [する] を押す

保存したジョブを印刷する

プリンターのハードディスクに保存されているジョブ（保存ジョブ）を印刷できます。

● 操作パネルの場合

1 ホーム画面で、（ジョブ管理）を押す

2 「保存ジョブ」を押す

3 一覧で、目的のボックスを選ぶ



- ・ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

4 「ジョブ一覧」を押す

5 一覧で、目的のジョブを選ぶ

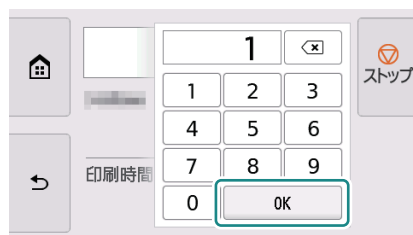
6 「印刷設定」を押す

7 部数を指定する

1. 部数を変更する場合は、A を選びます。



2. 部数を指定し、[OK] を選びます。



8 「スタート」を押す

● リモート UI の場合

1 リモート UI を起動する

➔ リモート UI を起動する (P. 172)

2 [ジョブ管理] を押す

3 [保存ジョブ] を押す

4 一覧で、目的のボックスを選ぶ



- ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

5 一覧で、目的のジョブを選ぶ

6 [印刷] を押す

7 表示される画面で、部数を入力する

8 [はい] を押す

保存したジョブを削除する

プリンターのハードディスクに保存されているジョブ（保存ジョブ）は、削除できます。

● 操作パネルの場合

- 1 ホーム画面で、（ジョブ管理）を押す
- 2 「保存ジョブ」を押す
- 3 一覧で、目的のボックスを選ぶ
 **メモ**
 - ・ ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。
- 4 「ジョブ一覧」を押す
- 5 一覧で、目的のジョブを選ぶ
- 6 「削除」を押す
- 7 メッセージの内容を確認し、「はい」を押す

● リモート UI の場合

1 リモート UI を起動する

➔ リモート UI を起動する (P. 172)

2 [ジョブ管理] を押す

3 [保存ジョブ] を押す

4 一覧で、目的のボックスを選ぶ



- ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

5 一覧で、目的のジョブを選ぶ

6 [編集] を押す

7 [削除] を押す

8 [はい] を押す

保存したジョブを移動する

プリンターのハードディスクに保存されているジョブ（保存ジョブ）を、現在保存されているボックスから、異なるボックスに移動できます。

ただし、個人ボックスの保存ジョブを共通ボックスへ移動することはできません。

⑤ 重要

- ・ 共通ボックスの保存ジョブは、自動的に削除される場合がありますので、削除したくない保存ジョブが共通ボックスに保存されている場合は、個人ボックスに移動してください。

→ [ハードディスクの使い方（P.245）](#)

1 リモート UI を起動する

→ [リモート UI を起動する（P.172）](#)

2 [ジョブ管理] を押す

3 [保存ジョブ] を押す

4 一覧で、目的のボックスを選ぶ



- ・ ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

5 一覧で、目的のジョブを選ぶ

6 [編集] を押す

7 [移動] を押す

8 [移動先のボックス] を押す

9 一覧で、移動先の個人ボックスを選び、[OK] を押す



- ・ 移動先のボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

印刷ジョブを共通ボックスに保存しない

パソコンから送信した印刷ジョブは、共通ボックスに保存されます。

➡ ハードディスクの使い方 (P. 245)

タッチスクリーンのメニューで「共通ボックス設定」が「印刷 (自動消去)」に設定されていると、パソコンからの印刷ジョブは、印刷後に共通ボックスから削除されます。

機密性の高い印刷データを印刷する場合などに、この機能を使用します。

📌 重要

- 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。

1 ホーム画面で、 (セットアップ) を押す

2 「本体設定」を押す

3 「ハードディスク設定」を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

4 「共通ボックス設定」を押す

5 「印刷 (自動消去)」を押す

個人ボックスにパスワードを設定する

個人ボックスには、セキュリティのために、パスワードを設定できます。パスワードを設定すると、以下の操作を行う際に、パスワードの入力が必要になります。

- ・ 個人ボックスの設定変更
- ・ 個人ボックスに保存されているジョブリストの表示、印刷、保存されているジョブの印刷、削除、移動、ジョブ名変更

メモ

- ・ 工場出荷時には、個人ボックスにパスワードは設定されていません。
- ・ 共通ボックスには、パスワードを設定できません。
- ・ パスワードは、0000001 から 9999999 までの 7 桁の数字を入力してください。
- ・ パスワードを設定している場合でも、リモート UI の管理者モードでログインするときは、パスワードを入力する必要はありません。

1 リモート UI を起動する

➡ リモート UI を起動する (P. 172)

2 [ジョブ管理] を押す

3 [保存ジョブ] を押す

4 一覧で、目的のボックスを選ぶ

5 [編集] を押す

6 [パスワードを設定 / 変更する] にチェックマークを付け、パスワードを入力する (7 桁固定、0000001 ~ 9999999)

7 [OK] を押す

個人ボックスに名前を付ける

識別しやすくするために、個人ボックスに名前を付けることができます。

1 リモート UI を起動する

➡ [リモート UI を起動する \(P. 172\)](#)

2 [ジョブ管理] を押す

3 [保存ジョブ] を押す

4 一覧で、目的のボックスを選ぶ



- ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

5 [編集] を押す

6 ボックス名を入力し、[OK] を押す

保存したジョブの一覧を印刷する

プリンターのハードディスクに保存されているジョブ（保存ジョブ）の一覧を、ボックスごとに印刷できます。

1 ホーム画面で、（ジョブ管理）を押す

2 「保存ジョブ」を押す

3 一覧で、目的のボックスを選ぶ



- ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。

4 「ジョブ一覧印刷」を押す

保存したジョブの名前を変更する

プリンターのハードディスクに保存されているジョブ（保存ジョブ）の名前を変更できます。

- 1 リモート UI を起動する
➡ リモート UI を起動する (P. 172)
- 2 [ジョブ管理] を押す
- 3 [保存ジョブ] を押す
- 4 一覧で、目的のボックスを選ぶ
 メモ
・ ボックスにパスワードが設定されている場合は、パスワードを入力してください。
- 5 一覧で、目的のジョブを選ぶ
- 6 [編集] を押す
- 7 [変更] を押す
- 8 ドキュメント名を入力し、[OK] を押す

ハードディスクの空き容量を確認する

プリンターのハードディスクの空き容量を確認できます。
この操作は、操作パネルまたはリモート UI から行います。

● 操作パネルの場合

1 ホーム画面で、（プリンター情報）を押す

2 [ハードディスク情報] を押す

ハードディスクの空き容量（ボックスの空き容量）が表示されます。

● リモート UI の場合

1 リモート UI を起動する

➡ [リモート UI を起動する \(P. 172\)](#)

2 [ジョブ管理] を押す

3 [ハードディスク情報] を押す

ハードディスクの空き容量（ボックスの空き容量）が表示されます。

ハードディスク内のデータを消去する

✓ 重要

- ・ 操作パネルでの設定変更に管理者パスワードを使用する設定にしている場合は、設定を変更するときに管理者パスワードが必要です。
- ・ より確実にデータの復元を防止するためには、ハードディスクを物理的または磁氣的に破壊することを推奨します。その場合、ハードディスクの再利用はできません。
- ・ データを消去している間は、印刷ジョブを処理できません。

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 [本体設定]を押す

3 [ハードディスク設定]を押す

管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

4 [データ消去]を押す

5 消去方法を選ぶ

[高速]

ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報を消去します。短時間で消去する場合に選択してください。ファイル管理情報を消去するだけです。データ自体は消去されません。

[セキュア高速]

ハードディスクに設定されたデータ暗号化キーを消去します。暗号化キーを再設定することで、安全かつ高速に以前の保存データの読み出しと利用ができなくなります。機密性の高いデータを短時間で、安全に消去したい場合を選びます。

[セキュア]

ハードディスクに設定されたデータ暗号化キーを消去したうえで、ハードディスク全体に 00/FF/ ランダムデータを各 1 回ずつ上書きします。データが正しく書き込めたかどうかのベリファイチェックを行います。特に機密性の高いデータを消去する場合に選択してください。上書きされたデータの復元はほぼ不可能です。米国防総省基準（DoD5220.22-M）に準拠。

[セキュア (VSITR)]

ハードディスクに設定されたデータ暗号化キーを消去したうえで、ハードディスク全体に 00 を 1 回書き込んだあと、FF を書き込みます。この作業を 3 回繰り返してから、ハードディスク全体に AA を書き込みます。上書きされたデータの復元はほぼ不可能です。ドイツ連邦政府機関ガイドライン（VS-ITR）準拠。

6 メッセージの内容を確認し、[はい]を押す

ハードディスク内のデータが消去されます。

Chapter 7

メンテナンス / 調整

消耗品の交換.....	262	画質調整と改善.....	293
インクタンクを交換する	262	ノズルのつまりを確認する	293
インク残量を確認する	268	プリントヘッドをクリーニングする	294
プリントヘッドを交換する	269	罫線のずれを調整する	296
メンテナンスカートリッジを交換する	275	縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する	299
メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する	278	縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する	301
カッターブレードを交換する	279	用紙の送り量を調整する	303
プリンターの清掃.....	282	ラベル位置を調整する	304
プリンターの外装を清掃する	282	用紙のこすれや画像のぼやけを改善する	306
トップカバー内部を清掃する	283	斜行補正を行う	309
プリンターの移動 / 輸送.....	286	カラーキャリブレーションを行う	311
ファームウェアをアップデートする.....	289		
ファームウェアアップデートツールをインストールする	289		
ファームウェアを更新する	290		

消耗品の交換

インクタンクを交換する

■ インクタンクの取り扱い上の注意

インクタンクを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

⚠ 注意

- 安全のため、インクタンクはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

✓ 重要

- 取り外したインクタンクのインク供給部には、インクが付着している場合があります。インクタンクの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- 本製品で一度使用したインクタンクを、ほかのプリンターに使用しないでください。インクの残量が正しく検知されず、プリンターに損傷・異常が発生することがあります。
- インクタンクは、開封後、半年以内に使い切ることをおすすめします。時間の経過したインクタンクを使用すると、印刷品質が低下する場合があります。
- プリンターは、長期間（1か月以上）、インクタンクを取り外した状態にしないでください。プリンターに残ったインクがつまり、印刷不良の原因になります。
- 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンターとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンターに損傷を与える場合があります。

📖 メモ

- キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みのインクタンクの回収を推進しています。回収窓口につきましては、キヤノンのウェブサイトで確認いただけます。事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みのインクタンクをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。
- キヤノンでは、使用済みのインクタンク回収を通じてベルマーク運動に参加しています。ベルマーク参加校単位で使用済みのインクタンクを回収していただき、その回収数量に応じた点数をキヤノンより提供するシステムです。この活動を通じ、環境保全と資源の有効活用、さらに教育支援を行うものです。詳細につきましては、キヤノンのウェブサイトでご案内しています。

■ インクタンクの交換手順

インクタンクの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容を確認し、手順 3 に進んでください。

✓ 重要

- 電源を入れた直後のプリンターの初期化中、ヘッドクリーニング中は、インクタンクを取り外さないでください。インクが漏れる可能性があります。

📖 メモ

- インクタンクは、印刷中、印刷ジョブのキャンセル中、用紙の給紙中でも交換できます。

1 ホーム画面のインク表示部を押す

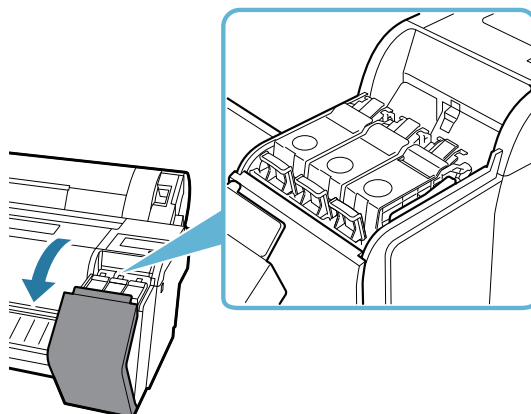


2 「交換する」を押す



タッチスクリーンにインクタンクの交換手順（ガイダンス）が表示されます。

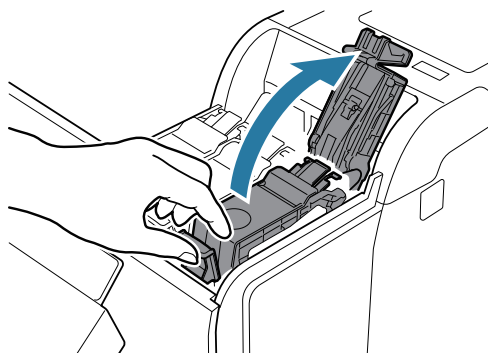
3 インクタンクカバーを開く



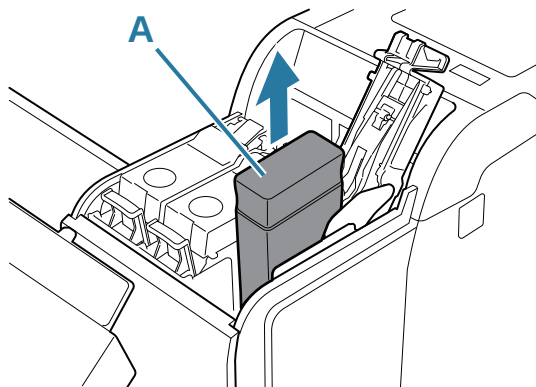
✓ 重要

- プリンターに大きな振動を与えないように、インクタンクは静かに交換してください。印刷中にプリンターに振動が加わると、印刷品質が低下する場合があります。

4 交換する色のインクタンク固定レバーの先端を水平に押しながら、インクタンク固定レバーを上を開く

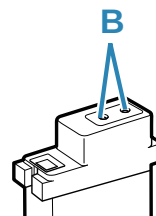


5 インクタンクの上部（A）を持って、インクタンクを取り出す



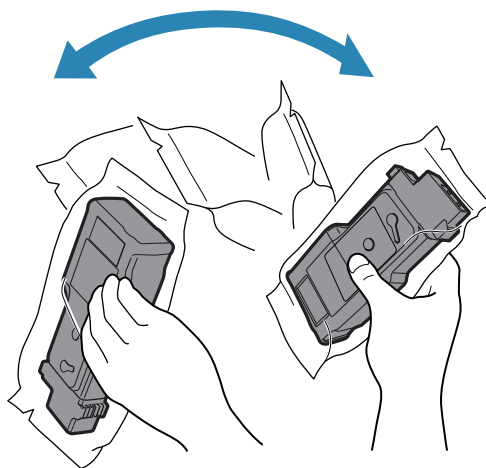
✓ 重要

- 輸送のときを除いて、インクタンクを取り出した状態のままプリンターの電源を切らないでください。インクタンクカバー内部が汚れる場合があります。
- 取り出したインクタンクにインクが残っているときは、インク供給部（B）を上にして保管してください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。取り出したインクタンクは、ビニール袋に入れて口を閉じてください。



6 タッチスクリーンで [OK] を押す

7 袋を開封する前に、新しいインクタンクをゆっくりと1～2回左右に傾けながら振る インクタンクの上下が逆さまになるように、ゆっくり回転させながらインクタンクを振ります。



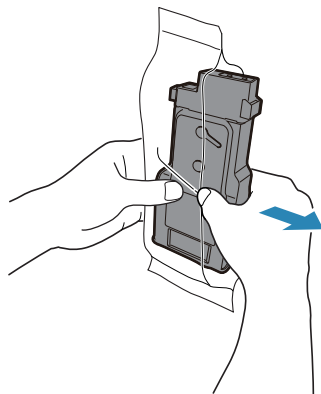
✓ 重要

- 一度プリンターに取り付けたインクタンクは、取り外して振らないでください。インクが飛び散る場合があります。
- インクタンクを振らないと、インクの成分が沈殿し、印刷品質が低下する場合があります。

📖 メモ

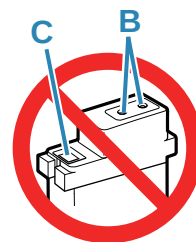
- インクタンクが低温の場合は、室温になじませてからプリンターに取り付けてください。

8 袋を開封し、インクタンクを取り出す

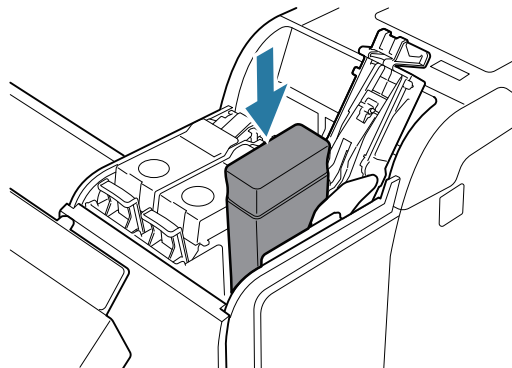


✓ 重要

- インク供給部 (B) や端子部 (C) には、絶対に触れないでください。周辺の汚損、インクタンクの破損、または印刷不良の原因になります。



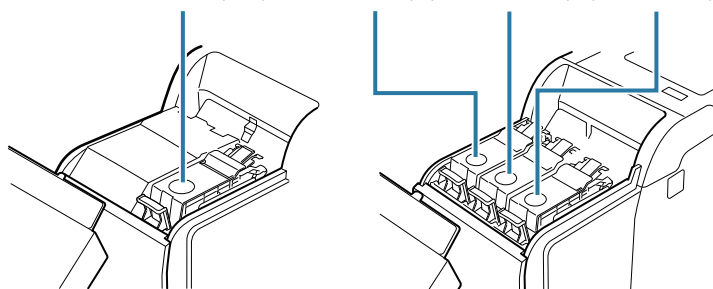
9 [OK] を選び、インク供給部を下側、端子部を手前側にしてインクタンクをホルダーに取り付ける



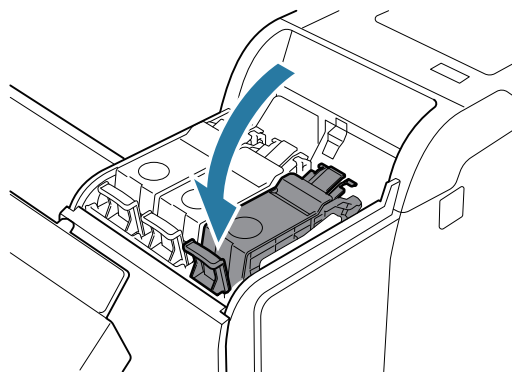
✓ 重要

- 取り付ける色と向きが違くと、インクタンクはホルダーに取り付けられません。インクタンクをホルダーに取り付けられない場合は、無理に入れずに、ラベルの色表示とインクタンクの色、インクタンクの向きを確認して取り付けなおしてください。
- インクの取り付け位置は次のとおりです。

ブラック (BK) イエロー (Y) マゼンタ (M) シアン (C)



10 インクタンク固定レバーを、カチッと音がするまで閉じる



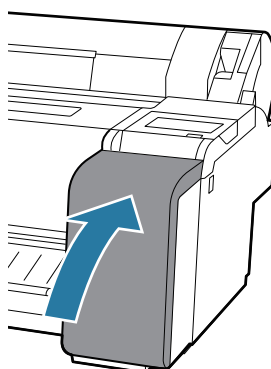
重要

- インクタンクは手で押し込まないでください。無理にインクタンクをホルダーに入れると、プリンターの故障の原因になります。



- インクタンクを逆向きに取り付けた場合、インクタンク固定レバーの回転部分が外れることがあります。この場合は、インクタンク固定レバーを開くと元に戻ります。

11 インクタンクカバーを閉じる



インク残量を確認する

インクタンクのインクの残量は、タッチスクリーンで確認できます。

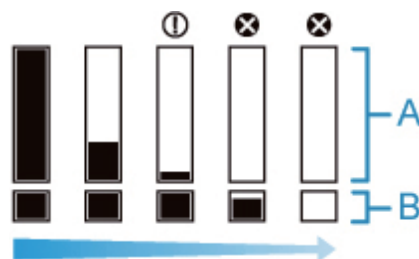
1 ホーム画面のインク表示部を押す



インクの残量が表示されます。



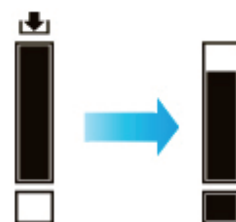
本製品には、インクタンク（A）とサブインクタンク（B）があり、インクタンクのインクがなくなっても、サブインクタンクのインクで印刷を続けることができます。インクの残量が少なくなるとインクの残量の上に注意アイコンが、インクがなくなるとインクなしアイコンが表示されます。



タッチスクリーンにインクタンクの交換を指示するメッセージが表示されたら、インクタンクを交換してください。また、インクの残量確認を指示するメッセージが表示された場合や、インクを大量に消費する長尺印刷、ヘッドクリーニングなどの場合は、残量を確認し、必要に応じてインクタンクを交換してください。（→ P.262）

メモ

- ・ インクタンクを交換すると、サブインクタンクへのインクの充填が行われます。
- ・ この間、インク残量の上に充填中  が表示されます。



プリントヘッドを交換する

タッチスクリーンにプリントヘッドの交換を指示するエラーメッセージが表示された場合や、キヤノンお客様相談センターから指示された場合は、プリントヘッドを交換してください。

■ プリントヘッドの交換手順

⚠ 注意

- 安全のため、プリントヘッドはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。
- 印刷直後にプリントヘッドを交換する場合は、数分間待ってから作業してください。印刷直後は、プリントヘッドの金属部分が熱くなっているので、触れるとやけどする場合があります。

✔ 重要

- 取り外したプリントヘッドのノズルには、インクが付着している場合があります。プリントヘッドの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- プリントヘッドの袋は、プリンターに取り付ける直前まで開封しないでください。また、袋から取り出したプリントヘッドは、すぐにプリンターに取り付けてください。開封したまま放置すると、プリントヘッドのノズルが乾いて、印刷品質が低下する場合があります。
- プリントヘッドの交換では、手が汚れる場合があります。交換時は、プリントヘッドに同梱されている手袋を着用してください。

📖 メモ

- インクの残量が少ない場合は、新しいインクタンクを準備してください。
- メンテナンスカートリッジの残り容量が少ない場合は、新しいメンテナンスカートリッジを準備してください。
- 使用済みプリントヘッドの処理方法
企業でお使いの場合：
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従って適切に処理してください。
一般家庭でお使いの場合：
お住まいの地域の条例や自治体の指示に従って、適切に廃棄してください。

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 [メンテナンス]を押す

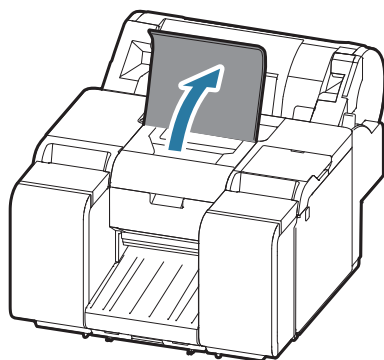
3 [ヘッド交換]を押す

4 [ヘッド交換を開始する]を押す

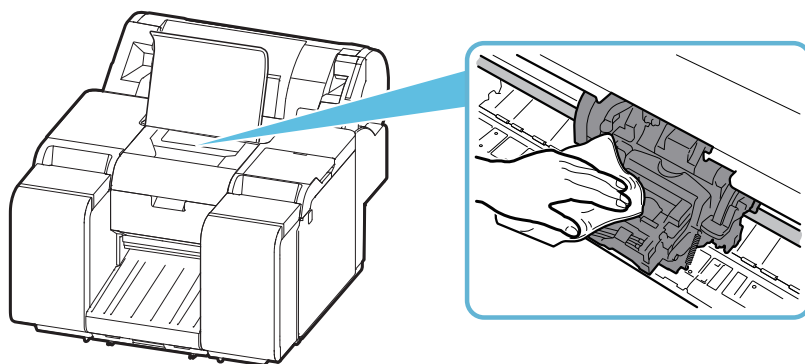
インクの吸引が開始され、吸引が終了すると、タッチスクリーンにプリントヘッド交換の手順（ガイダンス）が表示されます。

プリントヘッド内のインクを抜くためのインクの吸引には約1～2分かかります。

5 トップカバーを開く

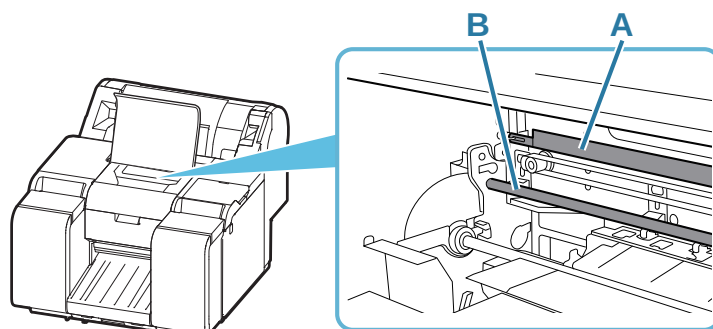


6 プリントヘッド固定カバーやプリントヘッド固定レバーが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取る



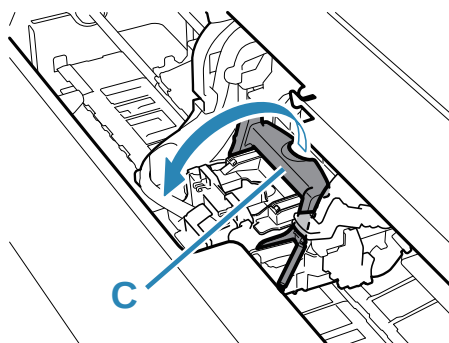
✓ 重要

- ・ リニアスケール (A)、キャリッジシャフト (B) には触れないでください。触れると故障の原因になります。

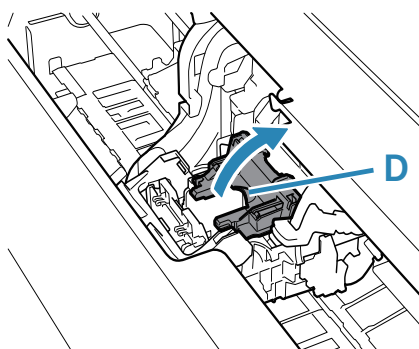


- ・ 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。

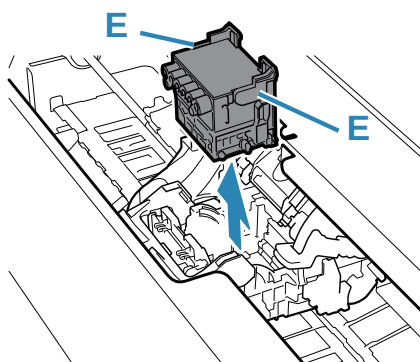
7 プリントヘッド固定レバーの中央部分（C）に指をかけて手前に倒す



8 プリントヘッド固定カバーの中央部分（D）を持って開く



9 プリントヘッド上部の両側（E）を持ってプリントヘッドを取り外す



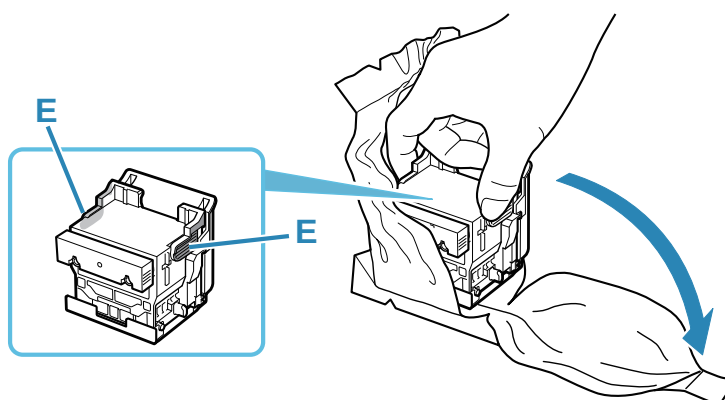
⓪ 重要

- キャリッジの電極部には、絶対に触れないでください。また、キャリッジの電極部にごみを付着させないでください。プリンターの故障の原因になります。

10 タッチスクリーンで [OK] を押す

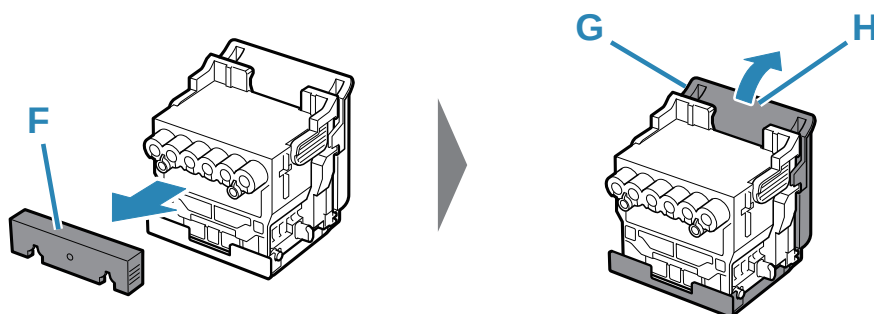
11 新しいプリントヘッドを袋から取り出す

プリントヘッドは、必ず上部の両側（E）を持ってください。



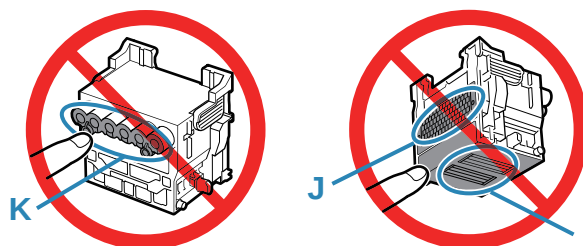
12 オレンジ色の保護キャップ（F、G）を取り外す

保護キャップ（G）は、つまみ部（H）を持って取り外してください。



☑ 重要

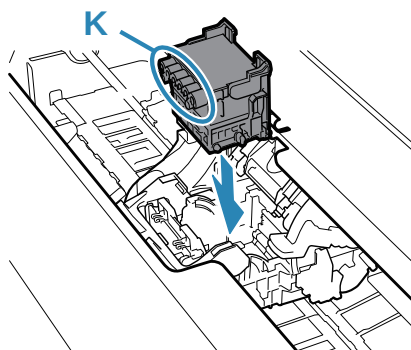
- プリントヘッドは、必ず上部の両側（E）を持って取り扱ってください。ノズル（I）や電極部（J）には、絶対に触れないでください。プリントヘッドの破損や印刷不良の原因になります。
- インク供給部（K）には、絶対に触れないでください。印刷不良の原因になります。



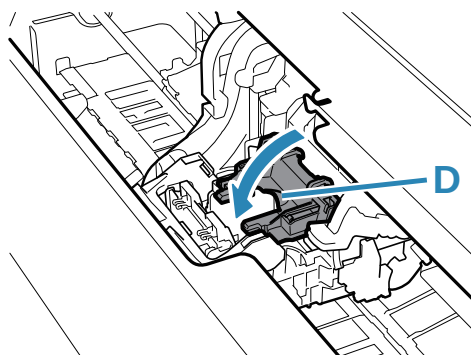
- 保護キャップの内側には、ノズルを保護するためのインクが塗られています。取り外す際は触れないように注意してください。
- プリントヘッドには、ノズルを保護するためのインクが入っています。保護キャップを取り外す際は、こぼして衣服や周囲を汚さないようにプリントヘッドが入っていた袋の上などで行うことをおすすめします。こぼれてしまった場合は、乾いた布などでインクをふき取ってください。
- プリントヘッドを一時的に置く場合は、ノズルや電極部を下向きに置かないでください。ノズルや電極部が損傷し、印刷品質が低下する場合があります。
- 取り外した保護部品は、再装着しないでください。これらのものは、地域の条例に従って処理してください。

13 インク供給部（K）を手前に向けて、プリントヘッドをキャリッジに差し込む

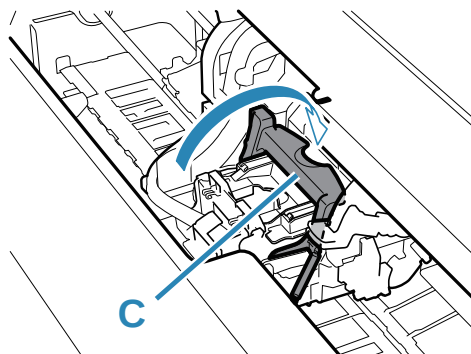
保護キャップで保護されていた部分がキャリッジに当たらないように注意しながら、奥までしっかりと押し込みます。



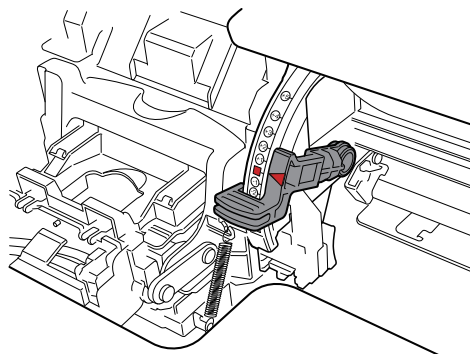
14 プリントヘッド固定カバーの中央部分（D）を持って前に倒し、プリントヘッドをロックする



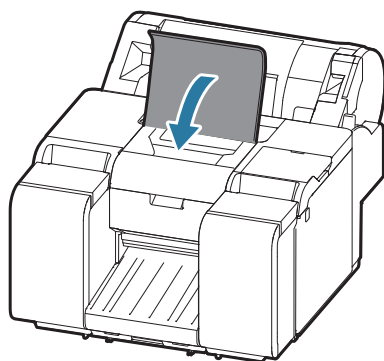
15 プリントヘッド固定レバーの中央部分（C）を持って奥側に倒す



16 スラント調整レバーを赤い四角の位置に合わせる



17 トップカバーを閉じる



プリントヘッド内にインクが充填されます。所要時間は約 10 分です。

④ 重要

- ・インクの充填中は、絶対にインクタンクおよびメンテナンスカートリッジを取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。

📖 メモ

- ・プリントヘッドを交換したときは、[ヘッド位置調整]の実行をおすすめします。
[ヘッド交換後の調整用パターン印刷]が[する]に設定されている場合は、[ヘッド位置調整]が実行されます。タッチスクリーンの指示に従って、用紙をセットしてください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する (P. 299)

メンテナンスカートリッジを交換する

■ メンテナンスカートリッジの取り扱い上の注意

メンテナンスカートリッジを取り扱うときは、以下の点に注意してください。

⚠ 注意

- 安全のため、メンテナンスカートリッジはお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 誤ってインクをなめたり飲んだりした場合は、すぐに医師にご相談ください。

✔ 重要

- メンテナンスカートリッジは、交換するとき以外は取り出さないでください。インクが漏れる可能性があります。
- 一度使用したメンテナンスカートリッジの上面には、インクが付着しています。メンテナンスカートリッジの取り扱いには十分ご注意ください。インクが衣服などに付くと落ちない場合があります。
- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、落としたり傾けたまま放置しないでください。インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

📖 メモ

- 使用済みメンテナンスカートリッジの処理方法
企業でお使いの場合：
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従って適切に処理してください。
一般家庭でお使いの場合：
お住まいの地域の条例や自治体の指示に従って、適切に廃棄してください。

■ メンテナンスカートリッジの交換手順

メンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容を確認し、手順4に進んでください。

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 [メンテナンス]を押す

3 [メンテナンスカートリッジ情報]を押す

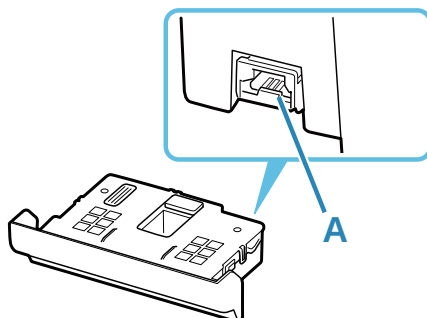
4 [交換する]を押す

タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジ交換の手順（ガイダンス）が表示されます。

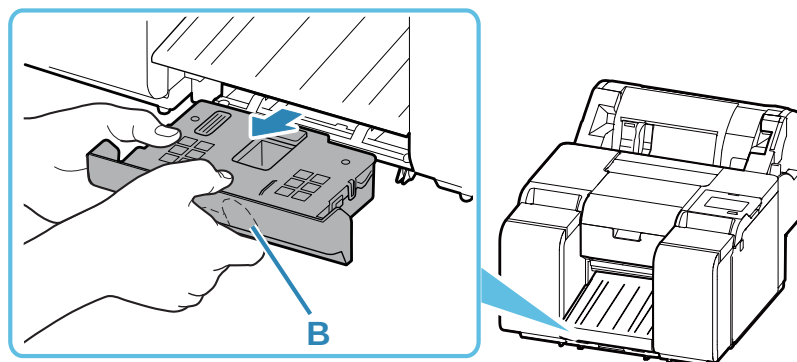
5 梱包箱を開いて、ビニール袋とメンテナンスカートリッジを取り出す

✓ 重要

- 端子部（A）には、絶対に触れないでください。メンテナンスカートリッジの故障の原因になります。



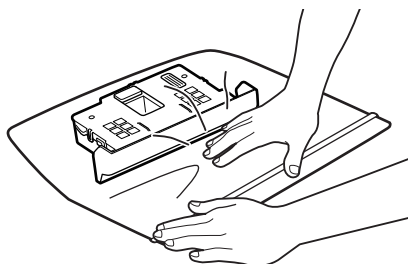
6 使用済みのメンテナンスカートリッジの取っ手（B）を片手で持って引き出し、もう一方の手でメンテナンスカートリッジの底面をしっかりと持って水平に取り出す



✓ 重要

- 使用済みのメンテナンスカートリッジは重くなっています。必ず、しっかりと持って水平に保ちながら取り出してください。インクを含んだメンテナンスカートリッジを落としたり傾けたまま放置すると、インクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

7 使用済みのメンテナンスカートリッジを水平に保ったまま、付属のビニール袋に入れる 空気を抜きながら、ジッパーをしっかりと閉じてください。

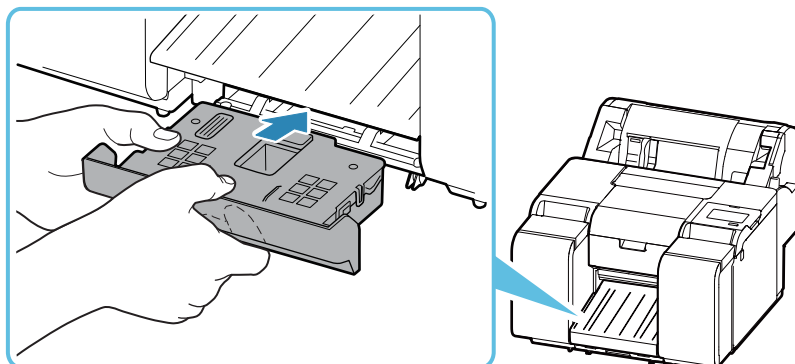


✓ 重要

- インクを含んだメンテナンスカートリッジは、水平を保った状態で、保管および廃棄を行ってください。

8 新しいメンテナンスカートリッジを水平に持ち、奥まで押し込む

メンテナンスカートリッジが初期化されます。



☑ 重要

- メンテナンスカートリッジ交換直後の初期化中は、メンテナンスカートリッジを取り出さないでください。メンテナンスカートリッジが故障する可能性があります。

メンテナンスカートリッジの残り容量を確認する

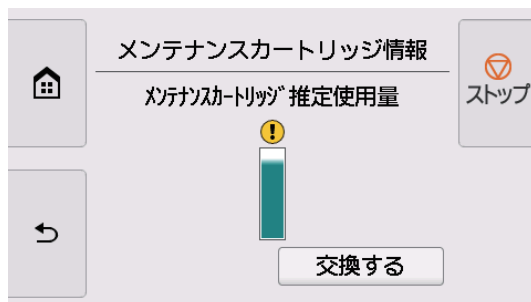
メンテナンスカートリッジは、ヘッドクリーニングなどで使用するインクを吸収するためのカートリッジです。メンテナンスカートリッジがあとどれくらいのインクを吸収できるかは、タッチスクリーンで確認できます。

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 [メンテナンス]を押す

3 [メンテナンスカートリッジ情報]を押す

メンテナンスカートリッジの残り容量が表示されます。



タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されたら、メンテナンスカートリッジを交換してください。（→ P.275）

また、メンテナンスカートリッジの残り容量の確認を指示するメッセージが表示された場合や、ヘッドクリーニングの実行やプリンターの輸送によってメンテナンスカートリッジの残り容量が大幅に減る場合は、残り容量を確認し、必要に応じてメンテナンスカートリッジを用意してください。

カッターブレードを交換する

■ カッターブレードの交換手順

📌 重要

- ・ カッターの移動範囲に用紙があるとカッターブレードが交換できません。用紙を取り除いてください。

📖 メモ

- ・ 使用済みカッターブレードの処理方法
企業でお使いの場合：
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃棄物処理法）」に従って適切に処理してください。
一般家庭でお使いの場合：
お住まいの地域の条例や自治体の指示に従って、適切に廃棄してください。

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 「メンテナンス」を押す

3 「カッターブレード交換」を押す

確認画面が表示されます。

4 「はい」を押す

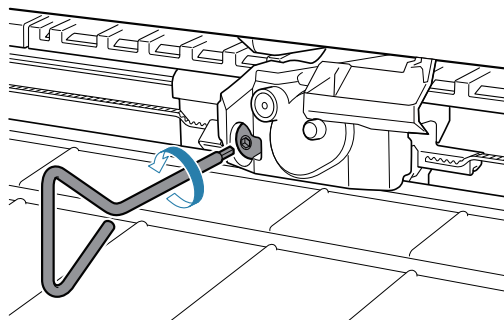
キャリッジが移動し、移動が終了すると、タッチスクリーンにカッターブレード交換の手順（ガイダンス）が表示されます。

5 カッターブレードが汚れている場合は、水を含ませて固く絞った布で汚れをふき取る

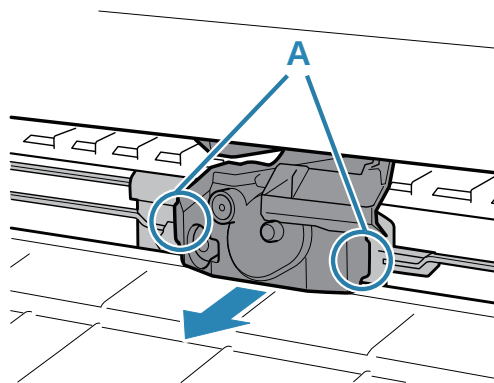
📌 重要

- ・ 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。

6 付属の六角レンチで六角ビスを緩みきるまで回す



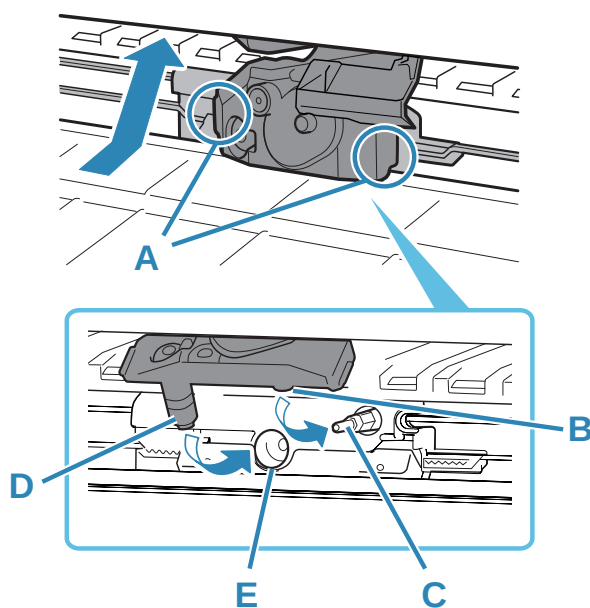
7 図の A の部分を持ちながら、カッターブレードを取り外す



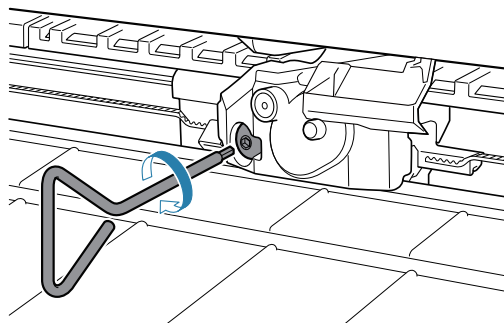
⚠ 注意

- A の部分以外には、絶対に触れないでください。手が汚れたり、けがの原因になります。また、プリンターの故障の原因になります。
- カッターブレードは、分解しないでください。刃の部分に触れると、けがの原因になります。

8 図の A の部分を持ち、B と C、D と E を合わせながら、新しいカッターブレードを取り付ける



9 六角ビスをしっかりと固定されるまで回す



☑ 重要

- ・ カッターブレードを固定したあと、カッターブレードが外れないことを確認してください。カッターブレードが外れると、プリンターの故障の原因になります。

10 [交換完了]を押す

11 [はい]を押す

プリンターの清掃

プリンターの外装を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、プリンターは定期的に清掃してください。
快適にご使用いただくために、月に1回程度、プリンターの外装を清掃してください。

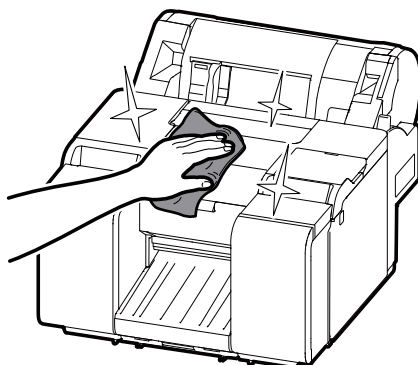
1 プリンターの電源を切る（→ P.30）

2 コンセントから電源コードを、アース端子からアース線を取り外す

⚠ 注意

- 必ず、プリンターの電源を切って、電源コードをコンセントから抜いてください。誤って電源が入ると、作動した内部の部品に触れて、けがをする場合があります。

3 水または水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたく絞り、汚れをふき取る プリンターの外装、電源コードのプラグ部などを清掃します。



⚠ 警告

- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤は使用しないでください。プリンター内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

✓ 重要

- 排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをおすすめします。（→ P.283）
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。
- 中性洗剤を使用したときは、必ずあとから水を含ませた柔らかい布で洗剤をふき取ってください。

4 汚れが落ちたら、乾いた柔らかい布で水分をふき取る

5 アース端子にアース線を、コンセントに電源コードを接続する

トップカバー内部を清掃する

印刷品質の保持やトラブル防止のために、月に1回程度、トップカバー内部を清掃してください。
また、快適にご使用いただくために、以下の場合にトップカバー内部を清掃してください。

- ・印刷面や用紙の裏面が汚れる場合
- ・ロール紙1本を使い切った場合
- ・小さい用紙に印刷した場合
- ・カット屑が多く出る用紙に印刷した場合
- ・ロール紙を交換した場合
- ・紙粉が多く出る用紙に印刷した場合

✓ 重要

- ・トップカバー内部のプラテンが汚れていると、用紙の裏面が汚れる場合があります。小さい用紙に印刷した後は、プラテンを清掃することをおすすめします。
- ・排紙ガイドが汚れていると、カット時に用紙の端が汚れる場合があります。見た目に汚れていなくても、紙粉が付いている場合があるため、排紙ガイドを清掃することをおすすめします。
- ・清掃部分に用紙があると清掃できない場合があります。用紙を取り除いてください。

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 [メンテナンス]を押す

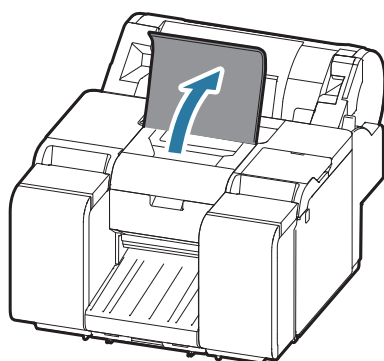
3 [プラテンクリーニング]を押す

確認画面が表示されます。

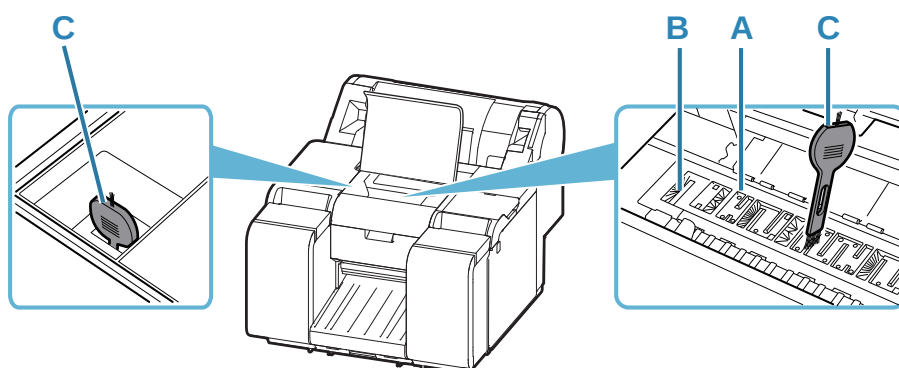
4 メッセージの内容を確認し、[はい]を押す

キャリッジが移動し、移動が終了すると、タッチスクリーンに手順（ガイダンス）が表示されます。

5 トップカバーを開く

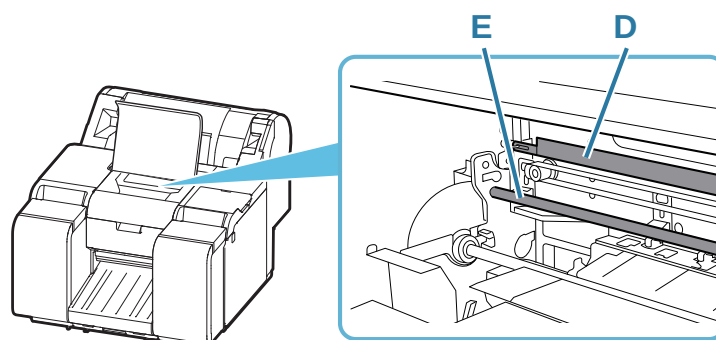


6 プラテン上の吸引口（A）、インク受け溝（B）に紙粉がたまっている場合は、プリンターに同梱されているクリーナーブラシ（C）で掃き取る



✓ 重要

- ・ リニアスケール（D）、キャリッジシャフト（E）には触れないでください。触れると故障の原因になります。

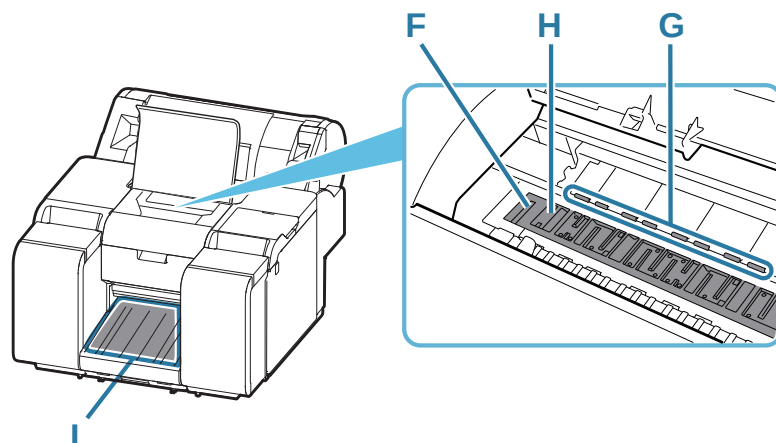


📖 メモ

- ・ クリーナーブラシが汚れた場合は、水洗いしてください。

7 水を含ませて固く絞った布で、トップカバー内部の汚れをふき取る

プラテン全域 (F)、用紙押さえ (G)、インク受け溝 (H)、排紙ガイド (I) などのインクの汚れや紙粉 (カット屑など) をふき取ります。



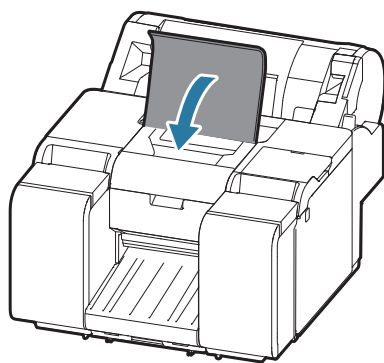
⚠ 警告

- シンナーやベンジン、アルコールなどの引火性溶剤を使用しないでください。プリンター内部の電気部品に接触すると、火災や感電の原因になります。

✓ 重要

- トップカバー内部の汚れをふき取るときは、乾ぶきしないでください。静電気を帯びて汚れやすくなり、印刷品質が低下する場合があります。
- 清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオル、きめの粗い布などは表面に傷がつくため使用しないでください。

8 トップカバーを閉じる



プリンターの移動 / 輸送

プリンターを移動または輸送する際は、内部機構を保護するために、事前に以下の手順を実施してください。

⚠ 注意

- 移動または輸送する前に、必ずお買い上げの販売店に相談の上、[輸送の準備] を実行してください。誤った方法で行うと、インクが漏れたりけがの原因になることがあります。

✓ 重要

- プリンターを移動または輸送するときは、本体を傾けないでください。内部のインクが漏れて周辺が汚れる場合があります。

📖 メモ

- [輸送の準備] を実行するときにメンテナンスカートリッジの交換が必要になることがあります。以下を参照して新しいメンテナンスカートリッジを事前に準備してください。必要なメンテナンスカートリッジの個数は、使用中のメンテナンスカートリッジの残量により異なります。
- キャスターなどを使用して、水平な状態を保ったまま移動できる場合は、[輸送の準備] の実行は不要です。
- 輸送のレベルによって、次のような制限があります。

[フロア内での移動]

使用例：持ち運びによる屋内移動

- 低温環境下での輸送と保管：不可
- 必要なメンテナンスカートリッジの個数：1

[屋外への輸送]

使用例：乗り物による輸送

- 低温環境下での輸送と保管：可
- 必要なメンテナンスカートリッジの個数：1

1 用紙を取り外す

- ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44)
- ➡ カット紙をプリンターから取り外す (P. 49)
- ➡ プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55)

2 タッチスクリーンにメンテナンスカートリッジの交換を指示するメッセージが表示されている場合は、メンテナンスカートリッジを交換する (→ P.275)

3 ホーム画面で、 (セットアップ) を押す

4 [メンテナンス] → [輸送の準備] を押す

5 [フロア内での移動] または [屋外への輸送] を押す

6 メッセージの内容を確認し、[はい]を押す

本体輸送の準備が開始されます。

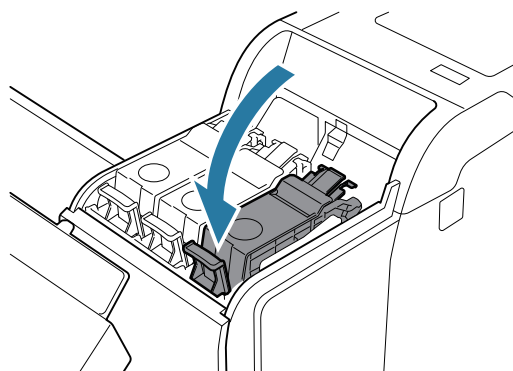
準備が完了すると、タッチスクリーンにインクタンクカバーを開けるメッセージが表示されます。

📌 重要

- ・ 消耗部品の交換が必要な場合は、タッチスクリーンにメッセージが表示され、準備ができません。メッセージが表示された場合は、[OK]を選んで、お買い上げの販売店にご連絡ください。

7 インクタンクカバーを開き、すべてのインクタンクを取り外す (→ P.263)

8 すべてのインクタンク固定レバーをカチッと音がするまで閉じる



9 インクタンクカバーを閉じる

インクがメンテナンスカートリッジに吸引されます。処理が終わると、完了のメッセージが表示されます。

📌 重要

- ・ メンテナンスカートリッジは、交換のメッセージが表示されたとき以外は取り外さないでください。インクの吸引中にメンテナンスカートリッジを取り外すと、インクが漏れる可能性があります。

📖 メモ

- ・ 処理が完了するまでにかかる時間の目安は以下の通りです。
 - フロア内での移動の場合：約 4 分
 - 屋外への輸送の場合：約 8 分

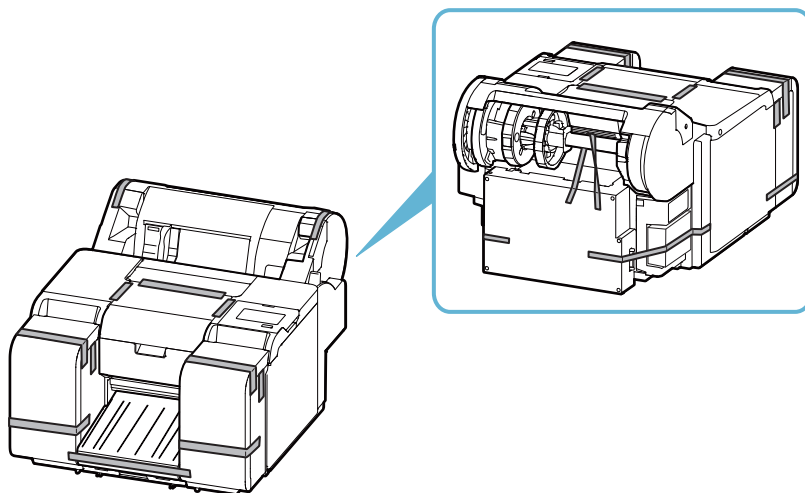
10 プリンターの電源を切る (→ P.30)

11 電源コード、アース線、インターフェースケーブルを取り外す

📌 重要

- ・ 電源を切ってから電源コードを抜いてください。電源を切る前に抜いてしまった場合は、そのまま輸送するとプリンターの故障の原因になります。電源コードとインクタンクを取り付けた後、最初からやりなおしてください。

12 開梱時と逆の手順でプリンターの各カバーをテープで固定する



13 ロールホルダー、ホルダーストッパー、プリンターなどに梱包材を取り付け、梱包箱に収納する

✓ 重要

- 再設置時には、インクタンクおよびメンテナンスカートリッジの交換が必要になる場合があります。事前に新品をご用意ください。

ファームウェアをアップデートする

ファームウェアの更新には、ファームウェアアップデートツール「Firmware Update Tool for Label」とファームウェアファイル（*.fdl）が必要です。

更新手順は、初めて更新を行う場合と2回目以降で異なります。

- 初めて更新を行う場合

「Firmware Update Tool for Label」をキヤノンホームページからダウンロードしてインストールしてください。インストール時に最新のファームウェアファイルが自動的にパソコンに保存されるため、別途ファイルをダウンロードする必要はありません。

➡ **ファームウェアアップデートツールをインストールする（P. 289）**

➡ **ファームウェアを更新する（P. 290）**

- 2回目以降の更新の場合

「Firmware Update Tool for Label」の再インストールは不要です。キヤノンホームページから最新のファームウェアファイル（*.fdl）のみをダウンロードし、すでにパソコンにインストールされている「Firmware Update Tool for Label」を使用して更新してください。

➡ **ファームウェアを更新する（P. 290）**

ファームウェアアップデートツールをインストールする

1 キヤノンホームページにアクセスして、本プリンターのファームウェアアップデートツールをダウンロードする

キヤノンホームページ: canon.jp/download



重要

- ・ インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

2 インストーラーを起動する

入手したファイルのアイコンをダブルクリックすると、インストールプログラムが起動します。



メモ

- ・ [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[はい] をクリックします。

3 画面の案内に従って、インストールする



重要

- ・ 「Firmware Update Tool for Label」をインストールすると、インストール時点での最新のファームウェアファイルが自動的にパソコン内に保存されます。ファームウェアのバージョンは、「Firmware Update Tool for Label」の[ヘルプ]メニュー内の[バージョン情報]から確認できます。

ファームウェアを更新する

✓ 重要

- 一度に更新できるプリンターは1台のみです。複数台のプリンターを更新する場合は、1台ずつ更新してください。
- 他の起動中のアプリケーションソフトは、すべて終了してください。
- ファームウェアのアップデート中は、以下のことを行わないでください。
 - 電源を切る
 - プリンターの各部を操作する
 - アプリケーションやプリンタードライバーからプリンターにデータを送信する
- 最新のファームウェアはキヤノンホームページからダウンロードできます。（インターネットへの接続料金はお客様のご負担となります。）
ダウンロードサイト canon.jp/download

1 プリンターの電源を入れる（→ P.30）

2 プリンターとパソコンが接続されていることを確認する

3 [スタート] → [すべてのアプリ] → [Canon Finetech Nisca Utilities] → [Firmware Update Tool for Label] を選ぶ

Windows Server 2022、Windows Server 2019、Windows Server 2016 をお使いの場合：
[スタート] → [Canon Finetech Nisca Utilities] → [Firmware Update Tool for Label] を選ぶ



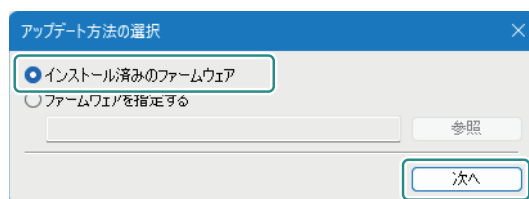
- ・ [ユーザーアカウント制御] ダイアログボックスが表示されたときは、[はい] をクリックします。

4 [OK] をクリックする

5 ファームウェアを更新する

初めて更新を行う場合（「Firmware Update Tool for Label」のインストール時に自動保存されたファームウェアファイルを使用）：

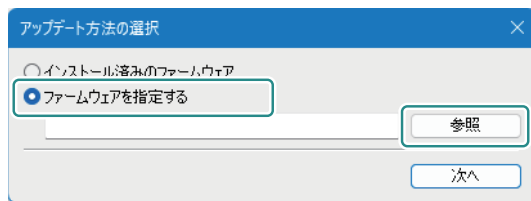
1. 「インストール済みのファームウェア」を選び、[次へ] をクリックする



プリンターの検索が始まり、その後、プリンターの一覧が表示されます。

2 回目以降の更新の場合（ダウンロードしたファームウェアファイルを使用）:

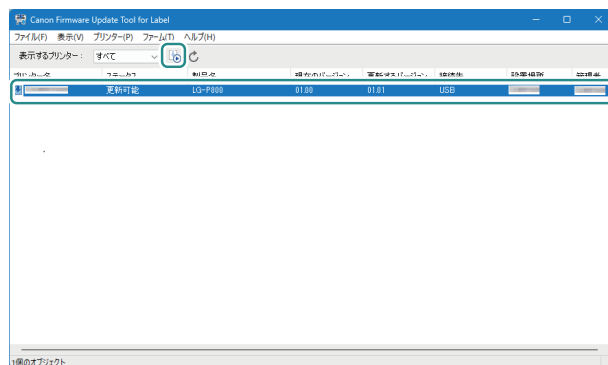
1. 「ファームウェアを指定する」を選び、[参照] をクリックする



2. ダウンロードしたファームウェア（*.fdl）を選び、[開く] をクリックする
3. [次へ] をクリックする
プリンターの検索が始まり、その後、プリンターの一覧が表示されます。

6 ファームウェアを更新したいプリンターを一覧から選び、（アップデート開始）をクリックする

一度に選択できるプリンターは 1 台のみです。



ファームウェアの転送が完了すると、「Firmware Update Tool for Label」のステータス欄に「転送完了」と表示され、プリンターのタッチスクリーンに確認のメッセージが表示されます。

メモ

- 更新対象のプリンターが一覧に表示されない場合は、検索方法を変更することで検出できる可能性があります。検索方法は、[プリンター] メニュー内の [検索設定] から変更できます。

7 プリンターのタッチスクリーンで [はい] を押す

ファームウェアの更新が開始されます。更新が完了すると、プリンターは自動的に再起動します。

重要

- 管理者パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。
➡ **管理者パスワードを設定する（P. 167）**

8 ファームウェアが正しく更新されたことを確認する

ファームウェアの更新後、以下のいずれかの方法で、更新が正常に完了したことを確認できます。

プリンター本体で確認する：

1. プリンターが再起動した際に表示されるバージョン情報画面で、ファームウェアのバージョンが更新されていることを確認する

「Firmware Update Tool for Label」で確認する：

1. プリンターが再起動したら、「Firmware Update Tool for Label」で  (最新の情報に更新) をクリックする
2. 表示される「現在のバージョン」と「更新するバージョン」が一致していることを確認する

9 (閉じる) をクリックして「Firmware Update Tool for Label」を終了する

画質調整と改善

ノズルのつまりを確認する

印刷がかすれたり、色味の違うスジが入る場合は、ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの各ノズルがつまっていないかを確認します。

メモ

- 工場出荷時の状態では、ノズルのつまりが一定の間隔でチェックされるよう設定されています。(→ P.157)

用意するもの：A4 サイズのカット紙（普通紙）1 枚

1 用紙をセットする

→ カット紙をプリンターにセットする (P. 47)

2 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

3 [メンテナンス] → [ノズルチェックパターン印刷] を押す

確認画面が表示されます。

4 [はい] を押す

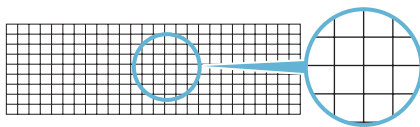
ノズルチェックパターンが印刷されます。

重要

- リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。操作を誤った場合は、エラーメッセージが表示されてプリンターの再起動が必要になります。

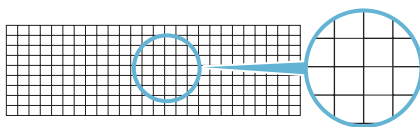
5 印刷結果を確認する

横線がかすれていない、横線が抜けていない場合は、ノズルは正常です。



横線がかすれていたり抜けている場合は、その色のノズルがつまっています。

横線がかすれていたり抜けている場合は、プリントヘッドのクリーニングを実行してください。(→ P.294)



プリントヘッドをクリーニングする

印刷がかすれる場合は、プリントヘッドをクリーニングすると改善される場合があります。

プリントヘッドをクリーニングする方法には、[クリーニング]、[強力クリーニング]、[システムクリーニング]の3つがありますので、症状によりいずれかを実行してください。

[クリーニング]

印刷がかすれた場合や、印刷物にごみが付いた場合などに実行します。インクの消費が少ないクリーニング方法です。所要時間は約2～3分です。

[強力クリーニング]

インクがまったく出ない場合や、[クリーニング]を実行しても改善されない場合に実行します。所要時間は約3分です。

[システムクリーニング]

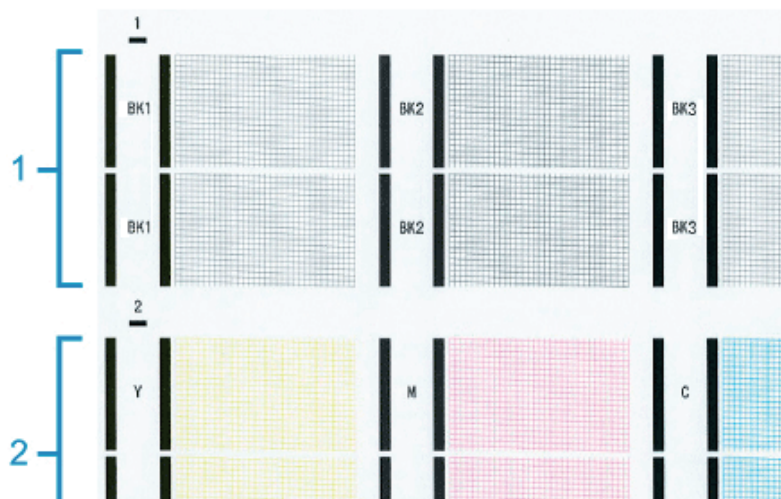
[強力クリーニング]を行っても効果がない場合に実行します。[システムクリーニング]は、非常に多くのインクを消耗します。頻繁に行うと、インクが早く消費されます。必要な場合のみ行ってください。所要時間は約4分です。

重要

- ・ [クリーニング]、[強力クリーニング]、および [システムクリーニング] の実行中は次のことをお守りください。インクが漏れたり、エラーが発生する可能性があります。
 - 電源を切らない
 - メンテナンスカートリッジやインクタンクを取り出さない
 - リリースレバーに手を触れない
 - 各カバーを開けない
 - タッチスクリーンに表示された指示以外の操作は行わない
 - [システムクリーニング] を実行しても改善されない場合は、プリントヘッドの寿命の可能性がありますので、お買い上げの販売店にご連絡ください。

メモ

- ・ ノズルチェックパターンを確認し、必要に応じてインクグループを選んでクリーニングを行います。すべてのプリントヘッドをクリーニングするほか、ノズルのつまったプリントヘッドを以下から選んでクリーニングできます。



- ・ 工場出荷時の状態では、ノズルのつまりが一定の間隔でチェックされるよう設定されています。(→ P157)

- 1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す
- 2 [メンテナンス] → [ヘッドクリーニング] を押す
- 3 [クリーニング]、[強力クリーニング]、または[システムクリーニング]を押す
- 4 クリーニングを行うインクグループを選ぶ
 - ・ [全色]
 - ・ [パターン1] : BK
 - ・ [パターン2] : Y/M/C確認画面が表示されます。
- 5 [はい] を押す
ヘッドクリーニングが実行されます。
- 6 ノズルチェックパターンを印刷して、ノズルのつまりが改善されているかどうかを確認する（→ P.293）

罫線のずれを調整する

印刷物の罫線がずれる場合は、[プリントヘッドの傾き調整] を実行し、プリントヘッドの傾きを調整します。[プリントヘッドの傾き調整] を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果を見てスラント調整レバーで傾きを調整してください。

通常はプリントヘッドを交換したときに行います。

用意するもの：A4 サイズのカット紙（普通紙）1 枚

1 用紙をセットする

➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47)

2 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

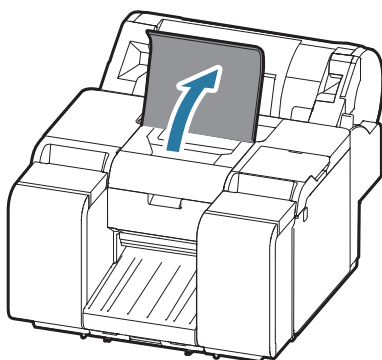
3 [メンテナンス] → [プリントヘッドの傾き調整] を押す

確認画面が表示されます。

4 [はい] を押す

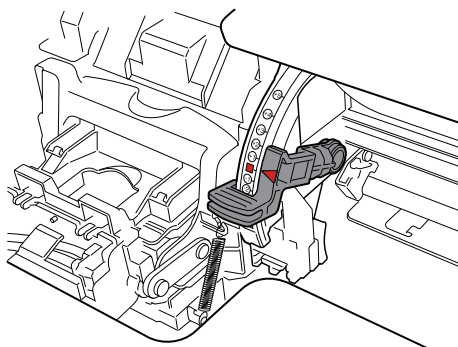
キャリッジが移動し、タッチスクリーンにプリントヘッドの傾き調整の手順（ガイダンス）が表示されます。

5 トップカバーを開く



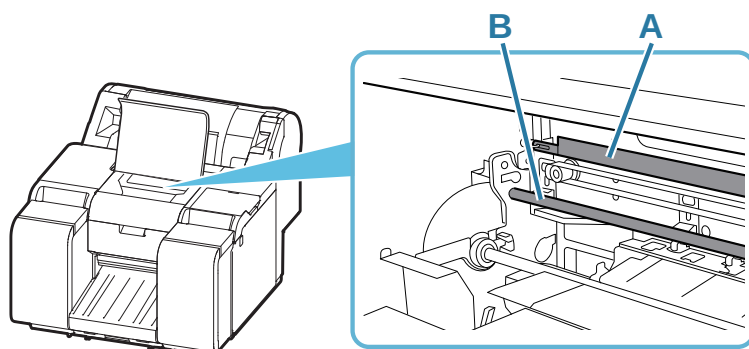
6 スラント調整レバーを赤い四角の位置に合わせ、トップカバーを閉じる

調整用パターンが印刷されます。



重要

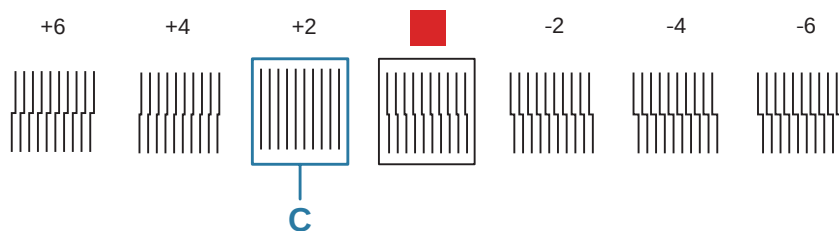
- リニアスケール (A)、キャリッジシャフト (B) には触れないでください。触れると故障の原因になります。



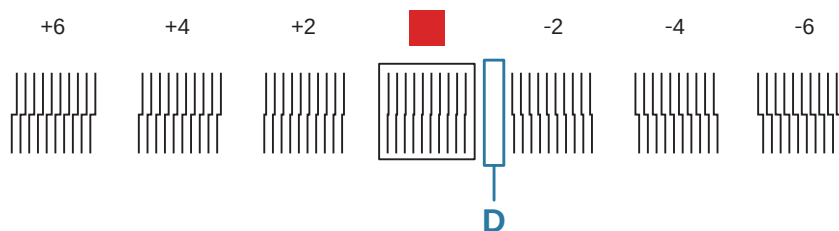
- リリースレバーは用紙を取り外す手順 (ガイダンス) が表示されるまで操作しないでください。操作を誤った場合は、エラーメッセージが表示されてプリンターの再起動が必要になります。

7 印刷された調整パターンを見て、線がまっすぐのチャートを確認する

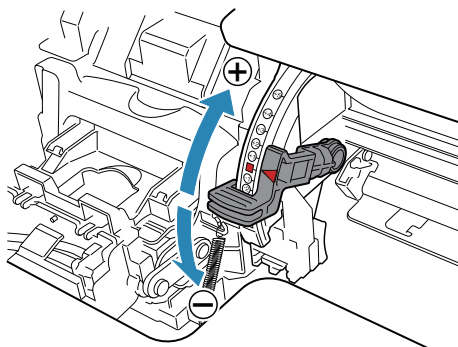
例 1 : 「+2」のパターン (C) を選びます。



例 2 : 線のズレが最も少ない2つのチャートの数字、または四角の中間 (D) にスラント調整レバーを合わせます。この場合、-1 を選びます。

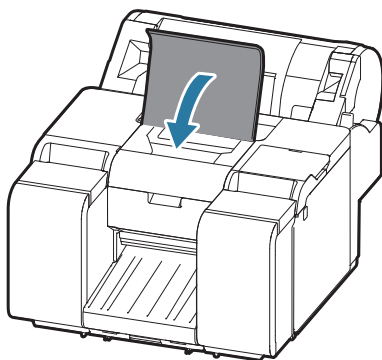


8 トップカバーを開き、線がまっすぐのチャートの数字（または四角）にスラント調整レバーを合わせる



9 トップカバーを閉じる

プリントヘッドの傾きが調整され、調整が終了します。



メモ

- 調整を実行しても、罫線のずれや色ムラなどが改善されない場合には、再度「プリントヘッドの傾き調整」を実行し、前回合わせた位置の前後にスラント調整レバーを合わせてください。終了したら、「ヘッド位置調整」を再度実行してください。

縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する

印刷物の縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、[ヘッド位置調整]を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。

プリントヘッドの位置を自動で調整する方法には、[自動(標準)]と[自動(詳細)]があります。

微小なゆがみや色ずれなど、ほとんどの場合は[自動(標準)]を実行すると改善されますが、改善されない場合は[自動(詳細)]または[手動]を行ってください。(→ P.301)

[自動(標準)]または[自動(詳細)]を実行すると、調整用パターンが印刷され、印刷結果からプリントヘッドの位置が自動的に調整されます。



重要

- 罫線がずれるなど、症状が著しい場合や[ヘッド位置調整]を実行しても色ムラなどが改善されない場合には、[プリントヘッドの傾き調整]を実行してから[ヘッド位置調整]を再度実行してください。(→ P.296)
- 透過性の高い用紙は使用できません。

メモ

- プリントヘッドを交換したときは、[ヘッド位置調整]の実行をおすすめします。[ヘッド交換後の調整用パターン印刷]が[する]に設定されている場合は、プリントヘッドの交換時に自動的にヘッド位置調整が実行されます。
- 用紙を他の種類に変更したときや各色の境界をよりきれいにしたい場合は、[自動(標準)]を行ってください。
- 画質を鮮明にしたい場合やプリントヘッドを交換したときは、ノズル間や色間の位置を詳細に調整する[自動(詳細)]を行ってください。高画質で印刷するために、[自動(詳細)]を実行することをおすすめします。
- 特殊な用紙で思ったように調整できない場合は、他の用紙で調整するか、[手動]を実行してください。(→ P.301)

用意するもの：

〔自動（標準）〕の場合：A4 サイズのカット紙（普通紙）3 枚

〔自動（詳細）〕の場合：A4 サイズのカット紙（普通紙）5 枚

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 〔メンテナンス〕→〔ヘッド位置調整〕を押す

3 〔自動（標準）〕または〔自動（詳細）〕を押す

確認画面が表示されます。

4 〔はい〕を押す

給紙方法を選ぶ画面が表示されます。

5 〔カット紙〕を選ぶ

6 タッチスクリーンに表示される指示に従い、用紙を 1 枚プリンターにセットする

用紙種類は〔普通紙〕→〔普通紙（カット紙）〕を選んでください。



重要

- ・本プリンターにセットできるカット紙は 1 枚です。2 枚以上セットすると紙づまりの原因になります。

7 タッチスクリーンに表示される指示に従って、印刷を完了する

印刷が 1 枚ずつ行われるため、各印刷の前に用紙を 1 枚ずつセットしてください。

印刷が完了するたびに、タッチスクリーンに次の指示が表示されますので、それに従ってください。



重要

- ・リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。操作を誤った場合は、エラーメッセージが表示されてプリンターの再起動が必要になります。

縦線のゆがみや色ずれを手動で調整する

印刷した縦線がゆがむ場合や、色ずれが起きた場合は、[ヘッド位置調整]を実行し、プリントヘッドの位置を調整します。

通常は、[自動(標準)]を実行してください。(→ P.299)

ただし、特殊な用紙に印刷する場合や、[自動(詳細)]を実行しても印刷結果が改善されない場合は、[手動]を実行してください。

[手動]を実行すると、調整用パターンが印刷されますので、印刷結果を見て設定値を入力してください。



● 調整用パターンを印刷する

用意するもの：A4 サイズのカット紙（普通紙）4 枚

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 [メンテナンス] → [ヘッド位置調整] → [手動]を押す

確認画面が表示されます。



- ・ [自動(詳細)]を実行していない場合、[自動(詳細)]実行の確認メッセージが表示されます。この場合は、[はい]を選んで、一度[自動(詳細)]を実行してください。

3 [はい]を押す

給紙方法を選ぶ画面が表示されます。

4 [カット紙]を選ぶ

5 タッチスクリーンに表示される指示に従い、用紙を 1 枚プリンターにセットする

用紙種類は [普通紙] → [普通紙 (カット紙)] を選んでください。



- ・ 本プリンターにセットできるカット紙は 1 枚です。2 枚以上セットすると紙づまりの原因になります。

6 タッチスクリーンに表示される指示に従って、印刷を完了する

印刷が1枚ずつ行われるため、各印刷の前に用紙を1枚ずつセットしてください。

印刷が完了するたびに、タッチスクリーンに次の指示が表示されますので、それに従ってください。

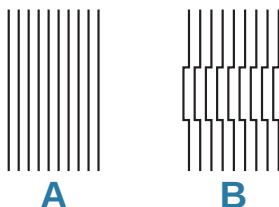
📌 重要

- リリースレバーは用紙を取り外す手順（ガイダンス）が表示されるまで操作しないでください。操作を誤った場合は、エラーメッセージが表示されてプリンターの再起動が必要になります。

● 調整値を入力する

1 [D-1] を押す

2 調整用パターンの D-1 を見て、線がまっすぐの番号を選ぶ



A：線がまっすぐな例

B：線がずれている例

📖 メモ

- 並んだ2つのパターンを見て、どちらを選ぶか迷った場合は、中間の値を選んでください。例えば、番号が10と12のパターンで迷った場合は、11を選びます。

3 手順1～2を繰り返し、[D-2]以降を設定する

タッチスクリーンに表示されるすべての項目を設定してください。

4 [OK] を押す

調整値が登録され、調整が終了します。

用紙の送り量を調整する

印刷物に 30mm 程度の周期的な濃淡差が発生した場合、または色味の違う横スジが入る場合は、用紙の送り量を調整します。

メモ

- ・ 用紙種類または用紙サイズを変更した場合は、[紙送り調整] を行うことをおすすめします。

以下の手順で調整します。

1 ホーム画面で、 (セッティング) を押す

2 [メンテナンス] → [紙送り調整] を押す

3 設定値を選ぶ

このとき、色味の濃い横スジが入る場合は、1 ～ 5 の範囲で設定値を選び、色味の薄い横スジが入る場合は、-1 ～ -5 の範囲で設定値を選んでください。

4 印刷して調整結果を確認する

さらに調整が必要な場合は、上記の手順を繰り返します。

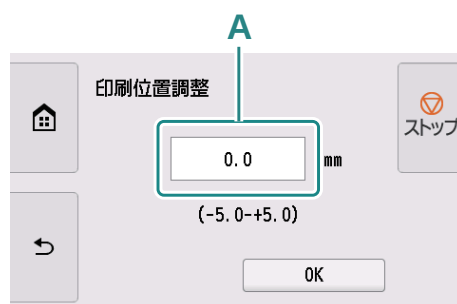
ラベル位置を調整する

画像の位置やカット位置が期待通りの結果にならない場合は、印刷位置とカット位置を調整することができます。

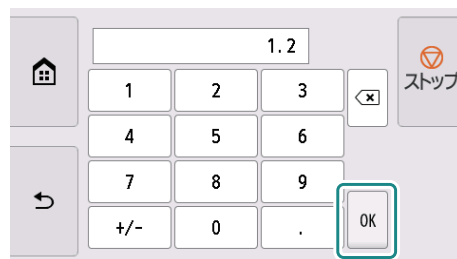
■ 印刷位置を調整する

- 1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す
- 2 [メンテナンス] → [ラベル位置調整] → [印刷位置調整] を押す
- 3 調整値を入力する

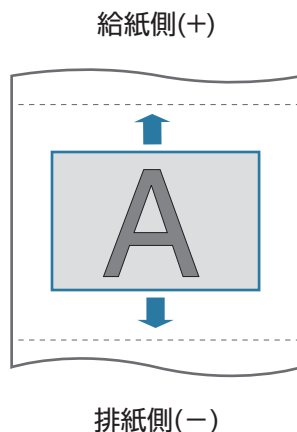
1. A を選ぶ



2. 調整値を入力し、[OK] を選ぶ



画像の印刷位置は、－（マイナス）に設定すると排紙方向に移動し、＋（プラス）に設定すると給紙方向に移動します。

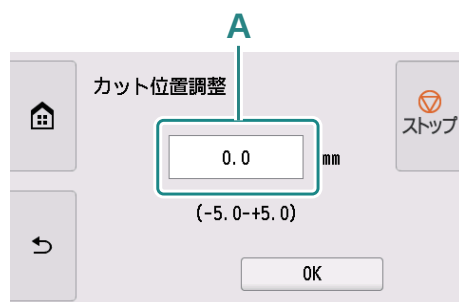


- 4 [OK] を押す

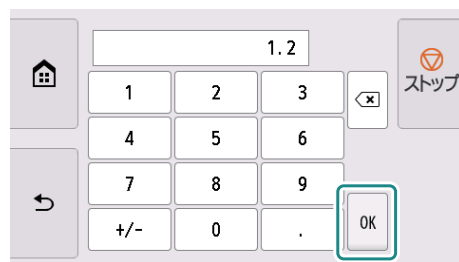
■ カット位置を調整する

- 1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す
- 2 [メンテナンス] → [ラベル位置調整] → [カット位置調整] を押す
- 3 調整値を入力する

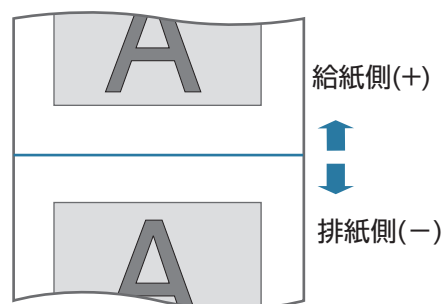
1. A を選ぶ



2. 調整値を入力し、[OK] を選ぶ



カット位置は、－（マイナス）に設定すると排紙方向に移動し、＋（プラス）に設定すると給紙方向に移動します。



- 4 [OK] を押す

用紙のこすれや画像のぼやけを改善する

■ プリントヘッドの高さを変更する

● 用紙こすれ軽減モードを設定する



- ・ ミシン目がある用紙は、用紙こすれ軽減モードを「有効」に設定して印刷することをおすすめします。

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 [用紙設定] → [詳細設定] → [紙の厚さ(ヘッドの高さ)] → [用紙こすれ軽減モード]を押す

3 [有効]を押す

● プリントヘッドの高さを手動で設定する

✓ 重要

- ・プリントヘッドの高さを変更する場合は、「+3（高い）」から設定値を下げながら調整してください。用紙がプリントヘッドにこすれたりひっかかったりすると、印刷物を汚したり、用紙のつまりが発生する原因となることがあります。

📖 メモ

- ・プリントヘッドの高さの設定は、印刷品質に影響します。プリントヘッドの高さを低めに設定すると、ぼやけが改善され、印刷品質が向上しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることがあります。また、プリントヘッドの高さを高めに設定すると、印刷品質が低下しますが、用紙がプリントヘッドにこすれることを防止します。
- ・用紙こすれ軽減モードが「有効」の場合、プリントヘッドの高さは調整できません。

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 [用紙設定] → [詳細設定] → [紙の厚さ(ヘッドの高さ)] → [ヘッド高さ調整] を押す

3 スライダーをドラッグして紙の厚さを設定し、[OK] を押す

📖 メモ

- ・[自動] をオンに設定した場合、印刷時のプリントヘッドの高さは、使用環境の温度や湿度に応じて最適な高さに自動的に調整されます。前回印刷時の設定値は、[自動設定時の実行値] で確認できます。
➡ **プリンター情報メニュー (P.165)**
- ・[自動] をオフに設定した場合は、ここで選んだ設定値で印刷されます。
- ・用紙の種類によっては、選ぶことのできない設定値があります。

■ 用紙の吸着力を変更する

プリントヘッドが用紙にこすれる場合は、プラテン上での用紙の吸着力を変更すると、改善されることがあります。

① 重要

- 用紙がプリントヘッドにこすれたりひっかかったりすると、印刷物を汚したり、用紙のつまりが発生する原因となることがありますので注意してください。
- 用紙の吸着力を強くしすぎると、用紙端部の画像品位が低下する場合があります。

1 ホーム画面で用紙設定表示部を押す



2 [用紙設定] → [詳細設定] → [搬送部の吸着力] を押す

3 吸着力の強さを選ぶ

斜行補正を行う

用紙に対して文字や画像が斜めに印刷される場合は、印刷位置を補正する動作の条件をプリンターにセットしている用紙に合わせて変更します。

重要

- 左余白補正を行うと安定した状態で印刷が行えますが、補正時間が増えるため生産性が低下します。

1 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

2 [本体設定] → [印刷設定] → [左余白補正サイズ（セパレータ幅）] を押す

3 補正を行う用紙サイズを選ぶ

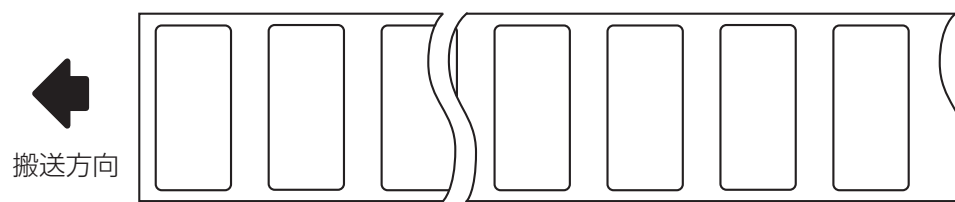
印刷位置は次のような条件で補正されます。

設定値	用紙の幅	補正の条件 / イメージ
補正しない	全て	(A)
76.2mm 幅未満のサイズ (初期値)	76.2mm 未満	(B)
	76.2mm 以上	(D)
101.6mm 幅未満のサイズ	101.6mm 未満	(B)
	101.6mm 以上	(D)
127mm 幅未満のサイズ	101.6mm 未満	(B)
	127mm 幅未満	(C)
	127mm 幅以上	(D)
152.4mm 幅未満のサイズ	101.6mm 未満	(B)
	152.4mm 未満	(C)
	152.4mm 以上	(D)
177.8mm 幅未満のサイズ	101.6mm 未満	(B)
	177.8mm 未満	(C)
	177.8mm 以上	(D)
203.2mm 幅未満のサイズ	101.6mm 未満	(B)
	203.2mm 未満	(C)
	203.2mm 以上	(D)
全サイズ	全て	(B)

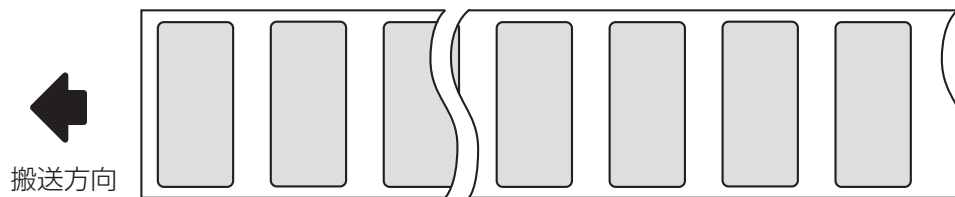
補正の条件 / イメージは以下を参照してください。

【補正の条件 / イメージ】

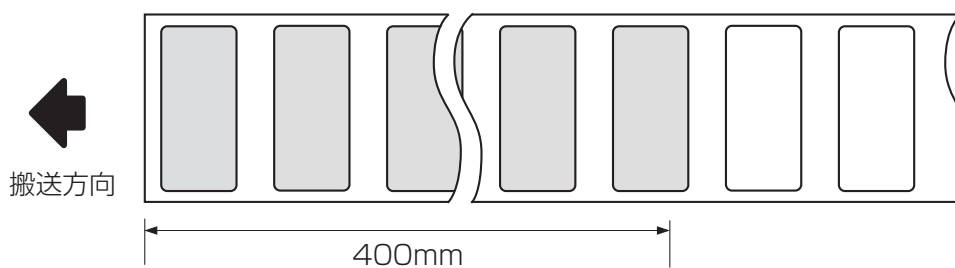
(A) 補正しない



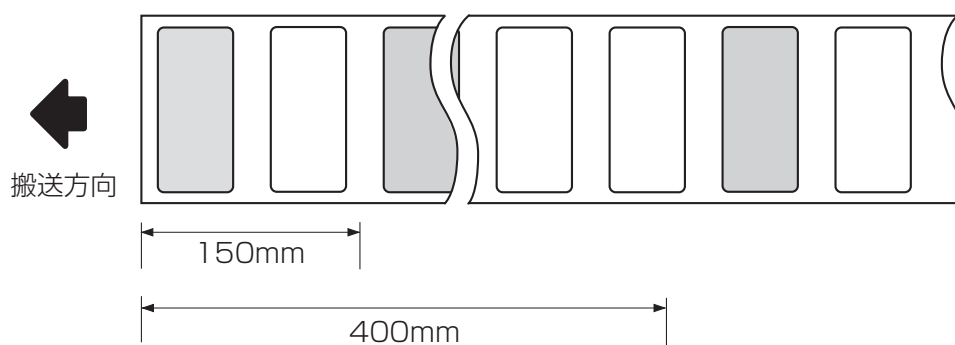
(B) 補正あり



(C) 印刷開始から400mmは補正あり



(D) 1ページは補正あり
印刷開始から150mmおよび400mmを超えた最初の1ページのみ補正あり



カラーキャリブレーションを行う

カラーキャリブレーションは、印刷時に、プリンターの個体差や経時変化による色味のばらつきを補正する機能です。カラーキャリブレーションを実行すると、プリンターに内蔵されている調整用パターンが印刷され、プリンターにより調整用パターンが自動的に読み取られます。この動作により、調整用パターンの印刷結果を反映したキャリブレーション調整値が設定されます。

以下の場合に、カラーキャリブレーションの実行をおすすめします。

- ・ プリントヘッドを交換したとき
- ・ 以前と比べて色味の変化を感じたとき（ただし、環境や印刷の条件は、同一に揃えてください）
- ・ 複数のプリンターから色味を揃えて印刷したいとき

✓ 重要

- ・ カラーキャリブレーションを実行するときは、色安定精度をより高めるために、温度を 15℃～30℃の範囲内、湿度を 40%～60%の範囲内とし、温湿度環境を毎回一定に揃えてください。異なる温湿度環境でカラーキャリブレーションを実行すると、正しく調整されないことがあります。
- ・ カラーキャリブレーションを実行するときは、プリンターに直射日光などの強い光が当たらないようにしてください。プリンターに強い光が当たると、正しく調整されないことがあります。

用意するもの：キヤノン 写真用紙・光沢 スタンダード A4（カット紙）1 枚

1 用紙をセットする

➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47)

2 ホーム画面で、（セットアップ）を押す

3 [メンテナンス] → [カラーキャリブレーション] → [自動調整] を押す

確認画面が表示されます。

4 [はい] を選ぶ

5 [カット紙] を選ぶ

6 [光沢紙] → [光沢 スタンダード A4] を選ぶ

用紙の確認が行われた後、カラーキャリブレーションが実行され、キャリブレーション調整値が自動的に設定されます。

📖 メモ

- ・ 現在適用されているキャリブレーションの調整日時と実行した用紙の種類は、タッチスクリーンのメニューの [カラーキャリブレーション] の [調整情報] で確認できます。

Chapter 8

困ったときは

用紙がつまった	313
用紙のつまりを取り除く	313
給紙口内部に残った用紙を取り除く	317
よくあるご質問	320
印刷品質のトラブル	320
印刷に関するトラブル	342
ネットワークに関するトラブル	353
本体 / インクに関するトラブル	370
ステータスマニターにメッセージが表示された	377

用紙がつまった

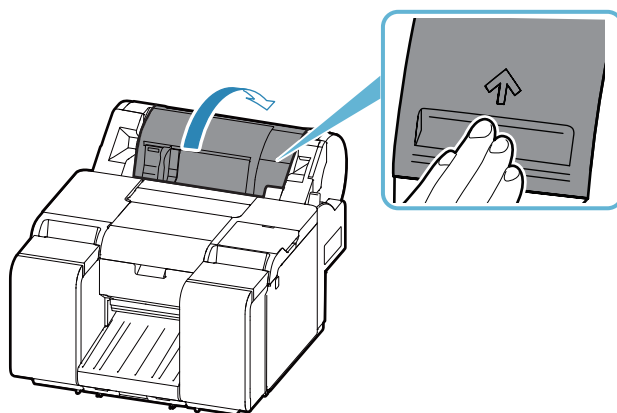
用紙のつまりを取り除く

1 プリンターの電源を切る (→ P.30)

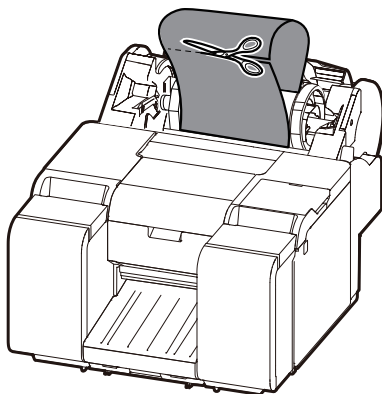
2 ロール紙またはファンフォールド紙の場合は、セットされている用紙をカットする

ロール紙の場合:

1. 図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開きます。



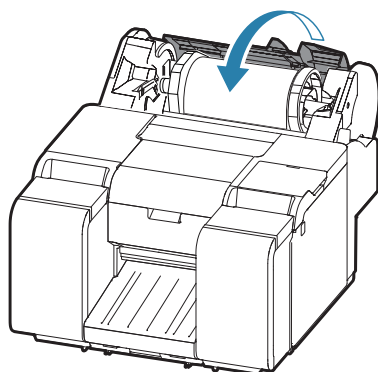
2. セットされているロール紙を市販のはさみなどでカットします。
カットするときは紙をゆるませて、紙を持ち上げながらカットしてください。



⚠ 注意

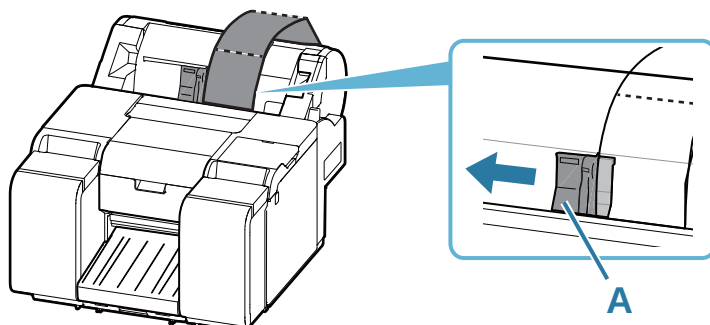
- ・ カットするときに、ケガをしたり、プリンターに傷を付けたりしないように注意してください。

3. ロール紙カバーを閉じます。



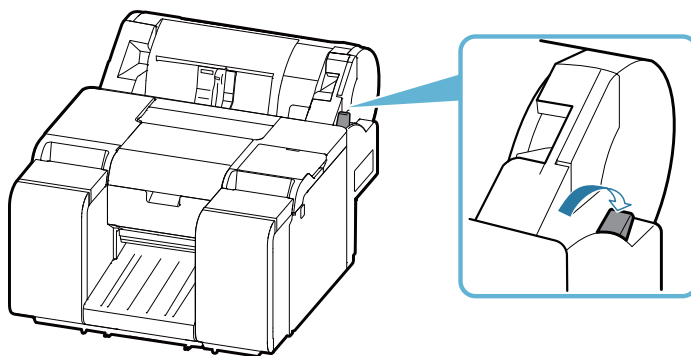
ファンフォールド紙の場合：

1. 幅ガイド (A) を、左側に移動する

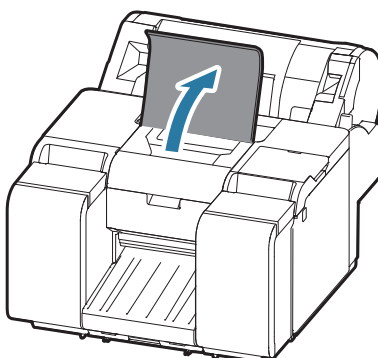


2. セットされている用紙のミシン目を手で切り離します。

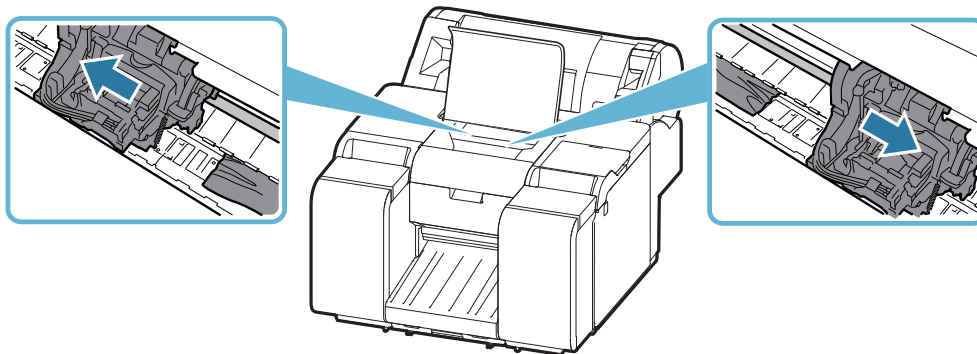
3 リリースレバーを後ろ側に押す



4 トップカバーを開く

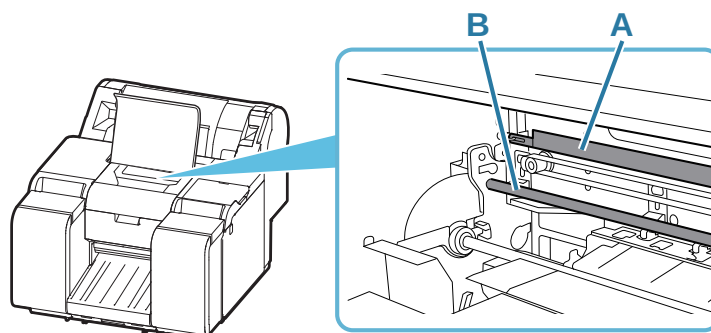


5 つまった用紙から離すようにキャリッジを左右いずれかの端に移動します。

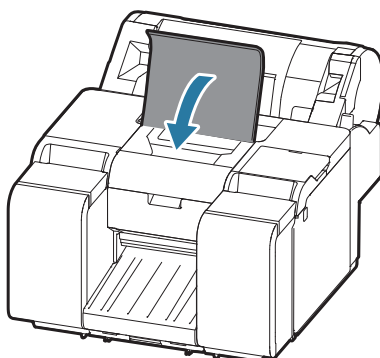


④ 重要

- つまった用紙の上を通して、キャリッジを移動させないでください。プリントヘッドが壊れる可能性があります。
- リニアスケール (A)、キャリッジシャフト (B) には触れないでください。触れると故障の原因になります。



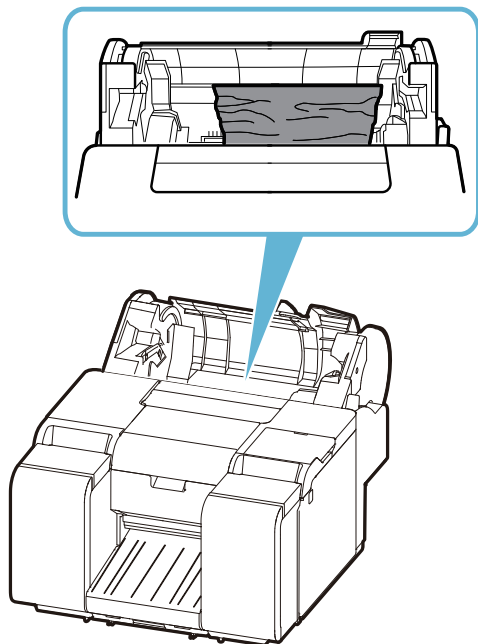
6 トップカバーを閉じる



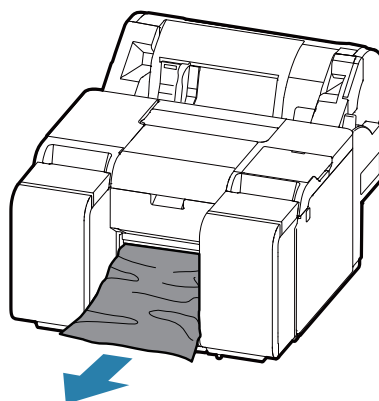
7 つまった用紙を取り除く

給紙口または排紙口からつまった用紙を取り除きます。

- 給紙口から取り出す場合



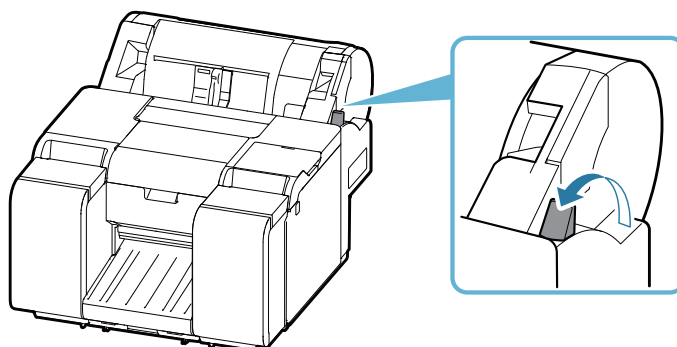
- 排紙口から取り出す場合



8 取り除いた後、給紙口、排紙口およびプリンター内部に紙片などが残っていないか点検する

用紙のつまりを取り除いているときに、紙片などが給紙口の内部に残ってしまった場合は、「**給紙口内部に残った用紙を取り除く (P.317)**」を参照してください。

9 リリースレバーを手前側に引く



10 用紙を再度セットする

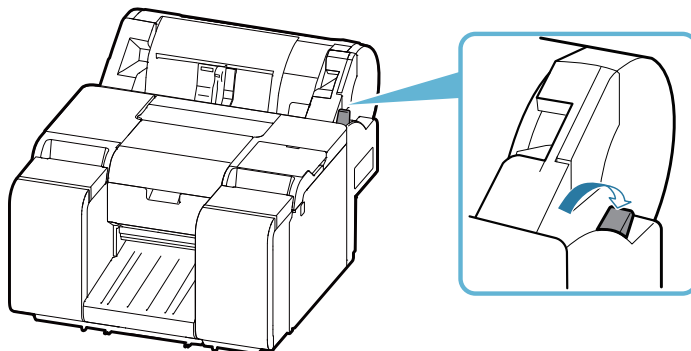
- ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P.35)
- ➡ カット紙をプリンターにセットする (P.47)
- ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P.50)

給紙口内部に残った用紙を取り除く

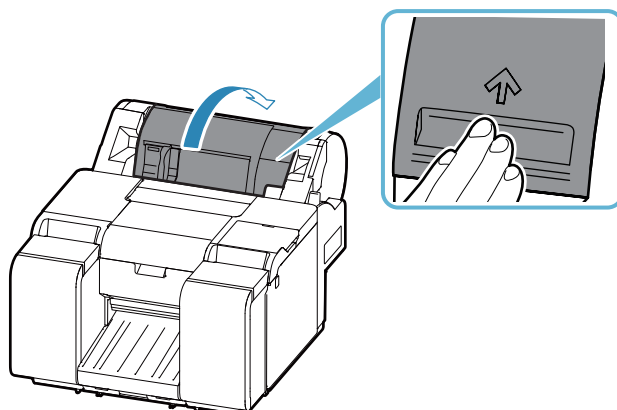
つまった用紙が破れて給紙口から取り除けないときは、以下の手順でつまった用紙を取り除きます。

1 プリンターの電源を切る (→ P.30)

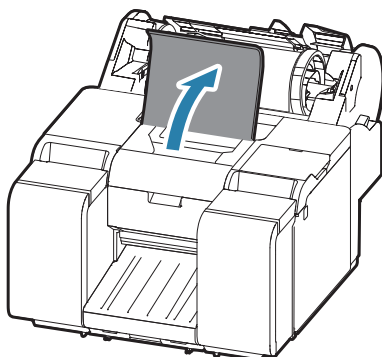
2 リリースレバーを後ろ側に押す



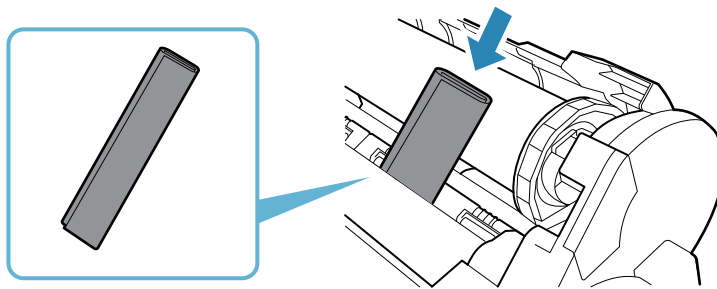
3 図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開く



4 トップカバーを開く



- 5** A4 サイズの用紙を縦に四つ折りにして給紙口のすきまに差し込み、つまった用紙をプラテン側に押し出す



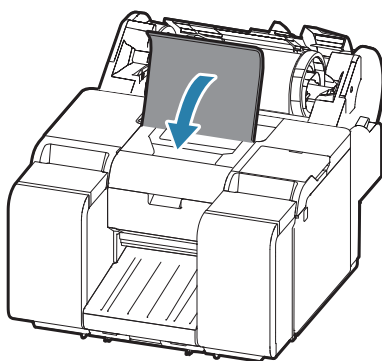
- 6** プラテン上に紙片が出てきたら、紙片を取り除く

- 7** 給紙口内部に紙片が残っている場合は、手順 5 ～ 6 を繰り返す

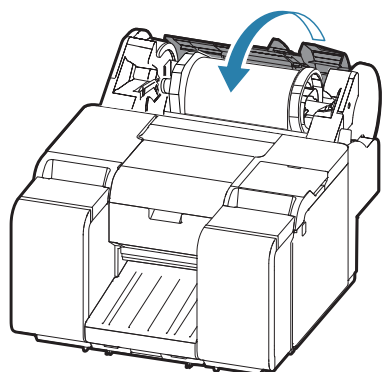
- 8** つまった用紙がすべて取り除かれたことを確認する

給紙口、排紙口およびプリンター内部に小さな紙片やはがれたラベルなどが残っていないか点検してください。

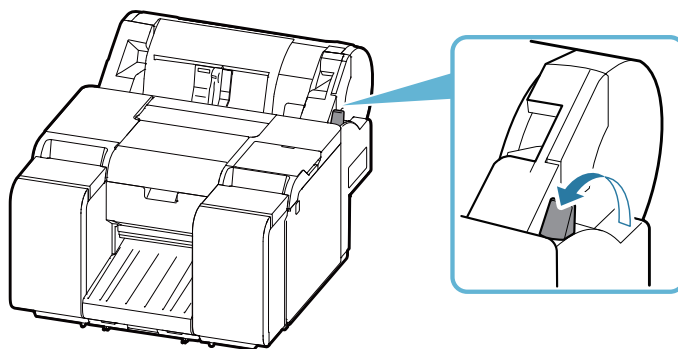
- 9** トップカバーを閉じる



- 10** ロール紙カバーを閉じる



11 リリースレバーを手前側に引く



12 用紙を再度セットする

- ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35)
- ➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47)
- ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50)

よくあるご質問

印刷品質のトラブル

- 印刷がかすれる（P.321）
- 色味の違うスジが入る（P.322）
- 色ムラが発生する（P.324）
- 画像の端部がぼやけたり、白スジが入る（P.326）
- プリントヘッドが用紙にこすれる（P.327）
- 用紙の端が汚れる（P.328）
- 用紙の表面が汚れる（P.330）
- 用紙の裏面が汚れる（P.332）
- 色味が違って印刷される（P.334）
- モノクロで印刷される（P.335）
- 線の太さが均一に印刷されない（P.336）
- 罫線のずれや色ずれが起こる（P.337）
- 印刷画像の排紙方向の長さが正確でない（P.339）
- 用紙に対して斜めに印刷される（P.340）
- ロール紙に印刷すると印刷面に傷がつく（P.340）
- 用紙先端にくぼんだような跡が付く（P.341）
- 用紙をプリンターにセットした直後の1枚目のラベルが斜めに印刷される（P.341）

目次

本製品について

用紙の取り扱い

印刷

プリンターの設定

パソコンとの接続

印刷ジョブの管理

メンテナンス調整

困ったときは

仕様

Q

印刷がかすれる

A

チェック1 プリントヘッドのノズルがつまっていますか

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ [ノズルのつまりを確認する \(P. 293\)](#)

 メモ

- ・ノズルのつまりを印刷後に自動でチェックさせる場合は、タッチスクリーンのメニューで「自動ノズルチェック」を「無効」に設定します。

また、ノズルチェックの結果により警告を表示させる場合は、タッチスクリーンのメニューで「ノズルチェックのエラー表示」を「有効」に設定します。ただし、「有効」に設定すると、警告の内容により印刷が停止することがあります。

➡ [本体設定 \(自動メンテナンス設定\) \(P. 157\)](#)

チェック2 インクタンクを取り外したままプリンターを放置していませんか

インクタンクを取り外したまま放置すると、インク供給部にインクがつまってしまうことがあります。

この場合は、インクタンクを取り付けた状態で 24 時間以上経過してから、「ヘッドクリーニング」を実行してください。

➡ [プリントヘッドをクリーニングする \(P. 294\)](#)

チェック3 プリンター内部に、つまった用紙の紙片が残っていませんか

プリンター内部に残っている紙片を取り除いてください。

➡ [用紙がつまった \(P. 313\)](#)

チェック4 インクが乾燥する前に、用紙をカットしていませんか

タッチスクリーンのメニューで、「ページ間で休止する」の設定時間を長くします。

➡ [インク乾燥時間を設定する \(P. 70\)](#)

チェック5 プリンタードライバーの「印刷品質」が低い品質の設定になっていませんか

プリンタードライバーの「印刷設定」シートを開き、より高品質の設定にして印刷してください。

➡ [「印刷設定」シート \(P. 93\)](#)

チェック6 カット屑が出やすい用紙に印刷していませんか

タッチスクリーンのメニューで、「カット屑軽減」を「する」に設定します。

➡ [用紙のカット屑を軽減する \(P. 69\)](#)

Q

色味の違うスジが入る

A

チェック1 プリントヘッドのノズルがつまっていないか確認してください

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ [ノズルのつまりを確認する \(P. 293\)](#)

 メモ

- ・ノズルのつまりを印刷後に自動でチェックさせる場合は、タッチスクリーンのメニューで[自動ノズルチェック]を[無効]に設定します。

また、ノズルチェックの結果により警告を表示させる場合は、タッチスクリーンのメニューで[ノズルチェックのエラー表示]を[有効]に設定します。ただし、[有効]に設定すると、警告の内容により印刷が停止することがあります。

➡ [本体設定 \(自動メンテナンス設定\) \(P. 157\)](#)

チェック2 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

➡ [ロール紙をプリンターにセットする \(P. 35\)](#)

➡ [カット紙をプリンターにセットする \(P. 47\)](#)

➡ [プリンター外部から用紙をセットする \(P. 50\)](#)

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

➡ [\[印刷設定\] シート \(P. 93\)](#)

 メモ

- ・[情報の取得]をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

➡ [\[ページ設定\] シート \(P. 91\)](#)

チェック3 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選んだ用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ [用紙の種類を変更する \(P. 56\)](#)

チェック4 用紙の送り量を正しく調整していますか

用紙の送り量を調整します。

➡ [用紙の送り量を調整する \(P. 303\)](#)

チェック5 「印刷品質」の設定が低い場合、印刷にスジが入ることがあります

プリンタードライバーの「印刷設定」シートを開き、最も高い品質に設定して印刷してください。

➡ [「印刷設定」シート \(P.93\)](#)

チェック6 プリントヘッドの位置がずれていないか確認してください

プリントヘッドの位置を調整します。

➡ [縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する \(P.299\)](#)

チェック7 印刷ジョブの受信が途切れて、スムーズに印刷されていない可能性があります

他のアプリケーションや他の印刷ジョブを終了します。

Q

色ムラが発生する

A

チェック 1 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ➡ [ロール紙をプリンターにセットする \(P.35\)](#)
- ➡ [カット紙をプリンターにセットする \(P.47\)](#)
- ➡ [プリンター外部から用紙をセットする \(P.50\)](#)

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

- ➡ [\[印刷設定\] シート \(P.93\)](#)

 メモ

- ・ [情報の取得] をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。
 - ➡ [\[ページ設定\] シート \(P.91\)](#)

チェック 2 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選んだ用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

- ➡ [用紙の種類を変更する \(P.56\)](#)

チェック 3 プリントヘッドの位置が正しく調整されていますか

プリントヘッドの位置を調整します。

- ➡ [縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する \(P.299\)](#)

チェック 4 用紙の送り量を正しく調整していますか

用紙の送り量を調整します。

- ➡ [用紙の送り量を調整する \(P.303\)](#)

チェック 5 [印刷品質] の設定が低い場合、色ムラが発生することがあります

プリンタードライバーの [印刷設定] シートを開き、[印刷品質] をより高品質の設定にして印刷してください。

- ➡ [\[印刷設定\] シート \(P.93\)](#)

チェック6 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルのつまりをチェックしてください。

➡ [ノズルのつまりを確認する \(P. 293\)](#)

チェック7 画像に濃い部分と薄い部分がある場合、濃淡の境目に色ムラが発生することがあります

画像に濃い部分と薄い部分がある場合、同一ページ内で、双方向印刷と片方向印刷を切り替えながら印刷します。そのため、切り替え時に色ムラが発生することがあります。この場合、片方向印刷機能を使用することで色ムラを軽減できる可能性があります。

プリンタードライバーを開き、[片方向印刷]のチェックボックスにチェックマークを付けます。

➡ [\[印刷設定\]シート \(P. 93\)](#)

チェック8 カールしやすい用紙に印刷していませんか

カールしやすい用紙の場合、用紙先端で色ムラが発生することがあります。タッチスクリーンのメニューで用紙の吸着力が強くなるよう[搬送部の吸着力]の設定値を変更するか、用紙の先端に 20 mm 以上の余白を設定します。

➡ [用紙の吸着力を変更する \(P. 308\)](#)

チェック9 印刷物を重ねて乾燥させると、色ムラの原因となることがあります

色ムラが出ないように、1 枚ごとに乾燥させることをおすすめします。

Q

画像の端部がぼやけたり、白スジが入る

A

チェック1 プラテン上での用紙の吸着力が強すぎる可能性があります

タッチスクリーンのメニューで「搬送部の吸着力」を現在の設定値より弱く設定してみてください。

➡ 用紙の吸着力を変更する (P. 308)

チェック2 プリントヘッドの位置が正しく設定されているか確認してください

プリントヘッドの位置を調整してください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する (P. 299)

タッチスクリーンのメニューで「用紙こすれ軽減モード」を「有効」に設定することで改善される場合もあります。

➡ 用紙こすれ軽減モードを設定する (P. 306)

チェック3 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35)

➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47)

➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50)

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

➡ 「印刷設定」シート (P. 93)

 メモ

- ・「情報の取得」をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

➡ 「ページ設定」シート (P. 91)

チェック4 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選んだ用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ 用紙の種類を変更する (P. 56)

チェック5 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

プリントヘッドのクリーニングを実行します。

➡ プリントヘッドをクリーニングする (P. 294)

Q

プリントヘッドが用紙にこすれる

A

チェック 1 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ➡ **ロール紙をプリンターにセットする (P.35)**
- ➡ **カット紙をプリンターにセットする (P.47)**
- ➡ **プリンター外部から用紙をセットする (P.50)**

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

- ➡ **[印刷設定] シート (P.93)**

 メモ

- ・ [情報の取得] をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。(➡ P.83)

チェック 2 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選んだ用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。➡ **用紙の種類を変更する (P.56)**

チェック 3 用紙を正しくセットしていますか

用紙が正しくセットされていないと用紙が波打ち、プリントヘッドとこすれる場合があります。用紙をセットしなおしてください。

- ➡ **ロール紙をプリンターにセットする (P.35)**
- ➡ **カット紙をプリンターにセットする (P.47)**
- ➡ **プリンター外部から用紙をセットする (P.50)**

チェック 4 ミシン目のある用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙に印刷していませんか

タッチスクリーンのメニューで [用紙こすれ軽減モード] を [有効] に設定します。

- ➡ **用紙こすれ軽減モードを設定する (P.306)**

タッチスクリーンのメニューで [搬送部の吸着力] を現在の設定値より強く設定します。

- ➡ **用紙の吸着力を変更する (P.308)**

チェック 5 用紙の使用環境や保管環境を確認してください

用紙の使用環境や保管環境によっては、カールが大きくなりプリントヘッドにこすれる場合があります。用紙の取り扱い / 保管については、「**用紙の取り扱いについての注意事項 (P.80)**」を参照してください。

Q

用紙の端が汚れる

A

チェック 1 小さなサイズの下紙を印刷していませんか

小さなサイズの用紙に印刷すると、プラテンが汚れることがあります。トップカバーを開いてプラテンを清掃します。

➡ [トップカバー内部を清掃する \(P. 283\)](#)

チェック 2 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをおすすめします。

➡ [トップカバー内部を清掃する \(P. 283\)](#)

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

➡ [ロール紙をプリンターにセットする \(P. 35\)](#)

➡ [カット紙をプリンターにセットする \(P. 47\)](#)

➡ [プリンター外部から用紙をセットする \(P. 50\)](#)

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

➡ [\[印刷設定\] シート \(P. 93\)](#)

 メモ

- ・ [情報の取得] をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

➡ [\[ページ設定\] シート \(P. 91\)](#)

チェック 3 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選んだ用紙の種類を合わせていますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをおすすめします。

➡ [トップカバー内部を清掃する \(P. 283\)](#)

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ [用紙の種類を変更する \(P. 56\)](#)

チェック4 用紙にしわやカールがありませんか

しわやカールを取ってから、用紙をセットしなおします。一度印刷した用紙は使用しないでください。

- ➡ **ロール紙をプリンターにセットする (P.35)**
- ➡ **カット紙をプリンターにセットする (P.47)**
- ➡ **プリンター外部から用紙をセットする (P.50)**

チェック5 タッチスクリーンのメニューで「カット屑軽減」を「する」に設定していませんか

「カット屑軽減」を「する」にすると、用紙のカット位置にカット屑軽減ラインが印刷されます。カット屑軽減機能が必要ない場合は、「カット屑軽減」を「しない」に設定します。

- ➡ **用紙のカット屑を軽減する (P.69)**

チェック6 ミシン目のある用紙や、インクを吸収するとカールしたり波打ちが起こりやすい用紙を使用していませんか

タッチスクリーンのメニューで「用紙こすれ軽減モード」を「有効」に設定します。

- ➡ **用紙こすれ軽減モードを設定する (P.306)**

タッチスクリーンのメニューで「搬送部の吸着力」を現在の設定値より強く設定します。

- ➡ **用紙の吸着力を変更する (P.308)**

チェック7 排紙ガイドが汚れていませんか

排紙ガイドを清掃します。

- ➡ **トップカバー内部を清掃する (P.283)**

チェック8 用紙の使用環境や保管環境を確認してください

用紙の使用環境や保管環境によっては、カールが大きくなりプリントヘッドにこすれる場合があります。用紙の取り扱い/保管については、「**用紙の取り扱いについての注意事項 (P.80)**」を参照してください。

Q

用紙の表面が汚れる

A

チェック 1 用紙押さえが汚れていませんか

用紙押さえを清掃します。

➡ [トップカバー内部を清掃する \(P. 283\)](#)

チェック 2 乾きにくい用紙を使用していませんか

タッチスクリーンのメニューで [ページ間で休止する] を現在の設定値より長い時間に設定します。

➡ [インク乾燥時間を設定する \(P. 70\)](#)

 メモ

- ・高温多湿の環境で、色の濃い部分を含む画像を印刷した用紙をすぐに巻き取ると、インクが乾ききらず、用紙が触れた部分にインクが付着し、印刷品質が低下する場合があります。このような場合は、プリンターの設置環境を変えるか、印刷した用紙をすぐに巻き取らずに、しばらく乾燥させてから巻き取るようにしてください。

チェック 3 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをおすすめします。

➡ [トップカバー内部を清掃する \(P. 283\)](#)

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ➡ [ロール紙をプリンターにセットする \(P. 35\)](#)
- ➡ [カット紙をプリンターにセットする \(P. 47\)](#)
- ➡ [プリンター外部から用紙をセットする \(P. 50\)](#)

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

➡ [\[印刷設定 \] シート \(P. 93\)](#)

 メモ

- ・ [情報の取得] をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。
- ➡ [\[ページ設定 \] シート \(P. 91\)](#)

チェック4 プリンタードライバーまたはタッチスクリーンで選んだ用紙の種類と、実際にセットした用紙の種類が一致していますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをおすすめします。

➡ [トップカバー内部を清掃する \(P. 283\)](#)

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ [用紙の種類を変更する \(P. 56\)](#)

チェック5 白紙を通紙させることで汚れが落ちる可能性があります

タッチスクリーンから、紙送りを実行してください。

➡ [用紙を手動で送る \(P. 64\)](#)

チェック6 用紙の使用環境や保管環境を確認してください

用紙の使用環境や保管環境によっては、カールが大きくなりプリントヘッドにこすれる場合があります。用紙の取り扱い / 保管については、「[用紙の取り扱いについての注意事項 \(P. 80\)](#)」を参照してください。

Q

用紙の裏面が汚れる

A

チェック 1 直前に小さなサイズの下紙を印刷していませんか

トップカバーを開いてプラテンを清掃します。

➡ [トップカバー内部を清掃する \(P. 283\)](#)

チェック 2 タッチスクリーンのメニューで「用紙の幅を検知する」が「無効」に設定されている状態で印刷していませんか

「用紙の幅を検知する」が「無効」のまま印刷すると、プラテンが汚れることがあります。

タッチスクリーンのメニューで「用紙の幅を検知する」を「有効」に設定してから、トップカバーを開いてプラテンを清掃します。

「用紙の幅を検知する」を「無効」のまま印刷する場合は、トップカバーを開いてプラテンを清掃してから、ロール紙を手動でプラテン上に送って印刷します。

➡ [用紙メニュー \(P. 149\)](#)

➡ [トップカバー内部を清掃する \(P. 283\)](#)

➡ [用紙を手動で送る \(P. 64\)](#)

チェック 3 プラテン上での用紙の吸着力が弱い可能性があります

タッチスクリーンのメニューで「搬送部の吸着力」を現在の設定値より強く設定します。

➡ [用紙の吸着力を変更する \(P. 308\)](#)

チェック 4 乾きにくい用紙を使用していませんか

タッチスクリーンのメニューで「ページ間で休止する」を現在の設定値より長い時間に設定します。

➡ [インク乾燥時間を設定する \(P. 70\)](#)

 メモ

- 高温多湿の環境で、色の濃い部分を含む画像を印刷した用紙をすぐに巻き取ると、インクが乾ききらず、用紙が触れた部分にインクが付着し、印刷品質が低下する場合があります。このような場合は、プリンターの設置環境を変えるか、印刷した用紙をすぐに巻き取らずに、しばらく乾燥させてから巻き取るようにしてください。

チェック5 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをおすすめします。

➡ [トップカバー内部を清掃する \(P. 283\)](#)

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

➡ [ロール紙をプリンターにセットする \(P. 35\)](#)

➡ [カット紙をプリンターにセットする \(P. 47\)](#)

➡ [プリンター外部から用紙をセットする \(P. 50\)](#)

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

➡ [\[印刷設定\] シート \(P. 93\)](#)

メモ

- ・ [情報の取得] をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

➡ [\[ページ設定\] シート \(P. 91\)](#)

チェック6 プリンタードライバーまたはタッチスクリーンで選んだ用紙の種類と、実際にセットした用紙の種類が一致していますか

指定した用途とは異なる用紙がセットされた場合、プラテンが汚れることがあります。再び印刷する前に、プラテンを清掃することをおすすめします。

➡ [トップカバー内部を清掃する \(P. 283\)](#)

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ [用紙の種類を変更する \(P. 56\)](#)

チェック7 白紙を通紙させることで汚れが落ちる可能性があります

タッチスクリーンから、紙送りを実行してください。

➡ [用紙を手動で送る \(P. 64\)](#)

Q

色味が違って印刷される

A

チェック1 プリントヘッドのノズルがつまっていませんか

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ [ノズルのつまりを確認する \(P.293\)](#)

チェック2 プリンタードライバーでカラー調整を行いましたか

プリンタードライバーの〔色設定〕で色を調整します。

➡ [〔印刷設定〕シート \(P.93\)](#)

チェック3 パソコンやモニターのカラー調整を行いましたか

以下の対処を試してください。

- ・ パソコンやモニターのマニュアルを参照して、パソコンやモニターのカラー調整を実行します。
- ・ カラーマネジメントソフトウェアのマニュアルを参照して、カラーマネジメントソフトウェアの設定を調整します。

チェック4 プリントヘッドを交換しましたか

プリントヘッドを交換すると、プリントヘッドの個体差により色味が変わることがあります。

カラーキャリブレーションを実行します。

➡ [カラーキャリブレーションを行う \(P.311\)](#)

チェック5 プリントヘッドの特性が変化した可能性があります

繰り返し使用するうちに、プリントヘッドの特性が変化し、色味が変わることがあります。

カラーキャリブレーションを実行します。

➡ [カラーキャリブレーションを行う \(P.311\)](#)

チェック6 同一機種のプリンターでも、ファームウェアやプリンタードライバーのバージョン、各項目の設定、使用環境が違っていると、色味が変わることがあります

以下の手順でプリンターの使用環境を揃えます。

1. ファームウェアやプリンタードライバーのバージョンを同じものに揃える
2. 各設定項目を同じ設定にする

Q

モノクロで印刷される

A

チェック1 プリンタードライバーの[カラーモード]が[モノクロ]に設定されていませんか

プリンタードライバーの[カラーモード]で[カラー]を選んで、印刷しなおします。

➡ [印刷設定] シート (P.93)

チェック2 プリントヘッドのノズルがつまっている可能性があります

ノズルチェックパターンを印刷し、ノズルのつまりを確認します。

➡ ノズルのつまりを確認する (P.293)

Q

線の太さが均一に印刷されない

A

チェック 1 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

➡ ロール紙をプリンターにセットする (P.35)

➡ カット紙をプリンターにセットする (P.47)

➡ プリンター外部から用紙をセットする (P.50)

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

➡ [印刷設定] シート (P.93)

 メモ

- ・ [情報の取得] をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

➡ [ページ設定] シート (P.91)

チェック 2 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選んだ用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ 用紙の種類を変更する (P.56)

チェック 3 プリントヘッドの位置調整を行ってください

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッドの位置を調整してください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する (P.299)

Q

罫線のずれや色ずれが起こる

A

チェック1 プリントヘッドの位置調整を行ってください

罫線がずれるなど、印刷結果に均一感が見られないときには、プリントヘッドの位置を調整してください。

➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する (P. 299)

チェック2 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35)

➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47)

➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50)

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

➡ [印刷設定] シート (P. 93)

 メモ

- ・ [情報の取得] をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。

➡ [ページ設定] シート (P. 91)

チェック3 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選んだ用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

➡ 用紙の種類を変更する (P. 56)

チェック4 プリントヘッドの傾きを調整してください

タッチスクリーンのメニューで [プリントヘッドの傾き調整] を選び、プリントヘッドの傾きを調整してください。

➡ 罫線のずれを調整する (P. 296)

チェック5 ロール紙が斜めにセットされていませんか

ロール紙とロールホルダーの間に隙間があるときは、ロール紙をロールホルダーにセットしなおします。

➡ [ロール紙をプリンターにセットする \(P.35\)](#)

チェック6 [用紙の幅を検知する]を[無効]に設定していませんか

タッチスクリーンのメニューで[用紙の幅を検知する]を[有効]に設定してから、用紙をセットしなおします。

➡ [用紙メニュー \(P.149\)](#)

チェック7 タッチスクリーンのメニューで[斜行検知精度]が[ゆるめ]または[しない]に設定されていませんか

[斜行検知精度]を[標準]に設定してから、用紙をセットしなおします。

➡ [用紙メニュー \(P.149\)](#)

チェック8 用紙の使用環境や保管環境を確認してください

用紙の使用環境や保管環境によっては、カールが大きくなりプリントヘッドにこすれる場合があります。用紙の取り扱い/保管については、「[用紙の取り扱いについての注意事項 \(P.80\)](#)」を参照してください。

チェック9 [印刷品質]の設定が低い場合、色ムラが発生することがあります

プリンタードライバーの[印刷設定]シートを開き、[印刷品質]をより高品質の設定にして印刷してください。

➡ [\[印刷設定\]シート \(P.93\)](#)

チェック10 [片方向印刷]を[無効]に設定していませんか

片方向印刷機能を使用することで罫線のずれを軽減できる可能性があります。

プリンタードライバーを開き、[片方向印刷]のチェックボックスにチェックマークを付けます。

➡ [\[印刷設定\]シート \(P.93\)](#)

Q

印刷画像の排紙方向の長さが正確でない

A

チェック 1 プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットした用紙の種類を合わせていますか

プリンタードライバーで指定した種類の用紙で印刷する場合は、指定した種類の用紙をプリンターにセットします。

- ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P.35)
- ➡ カット紙をプリンターにセットする (P.47)
- ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P.50)

プリンターにセットした用紙の種類で印刷する場合は、プリンタードライバーでその用紙の種類を設定して印刷します。

- ➡ [印刷設定] シート (P.93)

 メモ

- ・ [情報の取得] をクリックすると、プリンター本体に設定されている用紙情報をプリンタードライバーに反映させることができます。
 - ➡ [ページ設定] シート (P.91)

チェック 2 プリンターに用紙をセットするときに、実際にセットした用紙と、タッチスクリーンで選んだ用紙の種類を合わせていますか

タッチスクリーンで正しい用紙種類を設定してください。

- ➡ 用紙の種類を変更する (P.56)

チェック 3 用紙の送り量を調整してください

- ➡ 用紙の送り量を調整する (P.303)

Q

用紙に対して斜めに印刷される

A

チェック 1 ロール紙が斜めにセットされていませんか

ロール紙とロールホルダーの間に隙間があるときは、ロール紙をロールホルダーにセットしなおします。

➡ [ロール紙をプリンターにセットする \(P.35\)](#)

チェック 2 「用紙の幅を検知する」を「無効」に設定していませんか

タッチスクリーンのメニューで「用紙の幅を検知する」を「有効」に設定してから、用紙をセットしなおします。

➡ [用紙メニュー \(P.149\)](#)

チェック 3 タッチスクリーンのメニューで「斜行検知精度」が「ゆるめ」または「しない」に設定されていませんか

「斜行検知精度」を「標準」に設定してから、用紙をセットしなおします。

➡ [用紙メニュー \(P.149\)](#)

Q

ロール紙に印刷すると印刷面に傷がつく

A

印刷中にロール紙がたるんでいないか確認してください。

ロール紙がたるむと、用紙の表面に傷がついたり、用紙にしわや折れが発生することがあります。

タッチスクリーンのメニューで「ロール紙テンション(印刷)」を「強い」に設定します。

➡ [用紙メニュー \(P.149\)](#)

 メモ

- ・「ロール紙テンション(印刷)」の設定値を変えた場合は、用紙の送り量を調整してください。

➡ [用紙の送り量を調整する \(P.303\)](#)

Q

用紙先端にくぼんだような跡が付く

A

プリンターに用紙をセットしたまま印刷せずに長時間放置していると、次回印刷するときに、用紙の先端にくぼんだような跡が付く場合があります。

印刷品質を特に重視する場合は、印刷開始前に用紙の先端をカットすることをおすすめします。

➡ [用紙をカットする \(P. 65\)](#)

Q

用紙をプリンターにセットした直後の 1 枚目のラベルが斜めに印刷される

A

用紙をプリンターにセットした直後は、用紙のセット状態などの影響により、1 枚目のラベルで印刷位置がずれやすくなります。

タッチスクリーンのメニューで「先頭部ラベルの使用」を「しない」に設定すると、印刷開始位置を正確に合わせるために 1 枚目のラベルは白紙となり、2 枚目のラベルから印刷を開始します。

➡ [本体設定（用紙関連の設定） \(P. 155\)](#)

印刷に関するトラブル

- 印刷データを送信してもプリンターが動かない (P.343)
- 印刷が途中で止まり、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示される (P.344)
- ロール紙が給紙口に入らない (P.345)
- 残量管理しているのにロール紙の残量が多く余った / 不足した (P.346)
- 用紙が白紙で排紙される (P.347)
- ロール紙が排出され続ける (P.348)
- 用紙がカットされない (P.350)
- 用紙をきれいにカットできない (P.351)
- 用紙カットの途中でカッターが動かなくなった (P.352)
- インクの乾燥を待ってから、ロール紙が自動的にカットされるように設定したい (P.352)
- 印刷したい用紙の種類がタッチスクリーンに表示されない (P.352)

Q

印刷データを送信してもプリンターが動かない

A

チェック1 「印刷の一時停止」が「有効」に設定されていませんか

タッチスクリーンのメニューで「印刷の一時停止」を「無効」に設定します。

➡ [印刷を一時停止状態にする \(P. 33\)](#)

チェック2 プリンターの USB 接続またはネットワーク接続が無効になっていませんか

- USB 接続の場合：

タッチスクリーンのメニューで、「USB 接続の使用」を「使用する」に設定します。

➡ [本体設定（その他の本体設定）\(P. 159\)](#)

- ネットワーク接続（有線 LAN、Wi-Fi、無線ダイレクト）の場合：

タッチスクリーンのメニューで、「有線 LAN の有効 / 無効」、「Wi-Fi の有効 / 無効」または「無線ダイレクトの有効 / 無効」を「有効」に設定します。

➡ [LAN 設定メニュー \(P. 162\)](#)

 メモ

- 有線 LAN 接続は、Wi-Fi 接続または無線ダイレクト接続と同時に使用することはできません。

チェック3 プリンターの「出力方法」で「ボックス保存」を選んでいませんか

ハードディスクに保存したジョブを印刷します。

➡ [保存したジョブを印刷する \(P. 249\)](#)

チェック4 印刷ジョブが保留ジョブになっていませんか

保留ジョブを操作して、印刷します。

➡ [保留ジョブを印刷する \(P. 243\)](#)

Q

印刷が途中で止まり、タッチスクリーンにエラーメッセージが表示される

A

エラーメッセージに表示された対処を行っても解決できない場合は、ロール紙が搬送できずに止まっている可能性があります。

チェック 1 セットしたロール紙がプリンターの部品などに触れていませんか

ロール紙をセットしなおしてください。

➡ [ロール紙をプリンターから取り外す \(P. 44\)](#)

➡ [ロール紙をプリンターにセットする \(P. 35\)](#)

チェック 2 使用可能な用紙ですか

使用可能な用紙については、「[用紙について \(P. 72\)](#)」を参照してください。

Q

ロール紙が給紙口に入らない

A

チェック 1 ロール紙がカールしていませんか

カールをなおして、ロール紙をセットしなおします。

チェック 2 給紙口に用紙がつまっていますか

つまっている用紙を取り除きます。

➡ [用紙がつまった \(P.313\)](#)

チェック 3 正しい給紙方法を選んでいますか

〔ロール紙を交換する〕または〔ロール紙をセットする〕を選び、ロール紙をセットします。

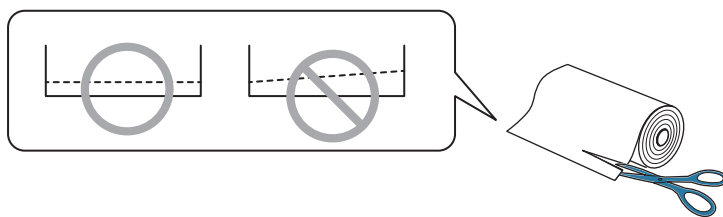
➡ [ロール紙をプリンターにセットする \(P.35\)](#)

✔ 重要

- ・ロール紙とカット紙を同時にプリンターにセットすることはできません。

チェック 4 ロール紙の先端が正しく切れていない可能性があります

ロール紙の先端が斜めになっていたり折れていたりすると、正しく給紙されない場合があります。先端部分をはさみなどでカットしてまっすぐにしてください。



Q

残量管理しているのにロール紙の残量が多く余った / 不足した

A

チェック 「ロール紙残量管理」の設定を確認してください

用紙の種類が正しく設定されていることを確認してください。

「用紙の詳細設定」で「紙管外径サイズ」と「紙の厚さ」が正しく設定されていることを確認してください。

➡ **本体設定（用紙関連の設定）（P.155）**

 メモ

- ・ 残量推定を正確に行うには、紙管外径サイズと紙厚が正しく設定されている必要があります。
- ・ 紙管外径サイズと紙厚については、用紙メーカーにお問い合わせください。
- ・ あらかじめ登録されている用紙については、紙管外径サイズと紙厚が設定されていますが、用紙メーカーの都合で変更される場合があります。
- ・ あらかじめ登録されている用紙種類以外の用紙を使用するときは、「Media Configuration Tool for Label」で紙の厚さと紙管サイズを設定してください。詳しくは、「Media Configuration Tool for Label ユーザーズガイド」を参照してください。

Q

用紙が白紙で排紙される

A

チェック 1 ロール紙の先端が切り揃えられた可能性があります

タッチスクリーンのメニューで「先端プレカット」が「オフ」または「手動」以外に設定されている場合は、ロール紙の先端が切り揃えられることがあります。

➡ [ロール紙の先端を自動でカットする \(P.66\)](#)

チェック 2 プリントヘッドのノズルがつまっていますか

ノズルチェックパターンを印刷し、プリントヘッドの状態を確認します。

➡ [ノズルのつまりを確認する \(P.293\)](#)

チェック 3 本プリンターのプリンタードライバーを選んでいますか

本プリンターのプリンタードライバーが選ばれていることを確認して、再度印刷してください。

上記のいずれにもあてはまらない場合、プリンターが故障している可能性があります。
キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

チェック 4 「先頭部ラベルの使用」の設定を確認してください

「先頭部ラベルの使用」が「しない」に設定されている場合、用紙をプリンターにセットした直後の印刷では、印刷開始位置を正確に合わせるために 1 枚目のラベルは白紙となり、2 枚目のラベルから印刷が開始されます。

初期設定では、用紙の長さが 297mm を超える場合は「しない」に設定されています。

先頭のラベルから印刷したい場合は、タッチスクリーンのメニューで「先頭部ラベルの使用」を「する」に設定してください。

➡ [先頭のラベルを印刷する \(P.61\)](#)

Q

ロール紙が排出され続ける

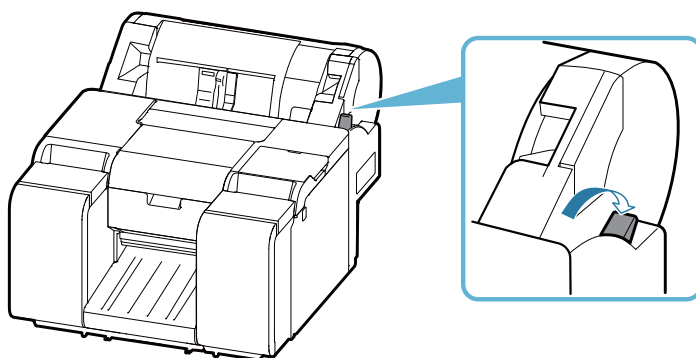
A

タッチスクリーンのホーム画面でカット紙が選択されているときに、大きくたるんだロール紙をセットすると、プリンターがロール紙をカット紙と認識する場合があります。

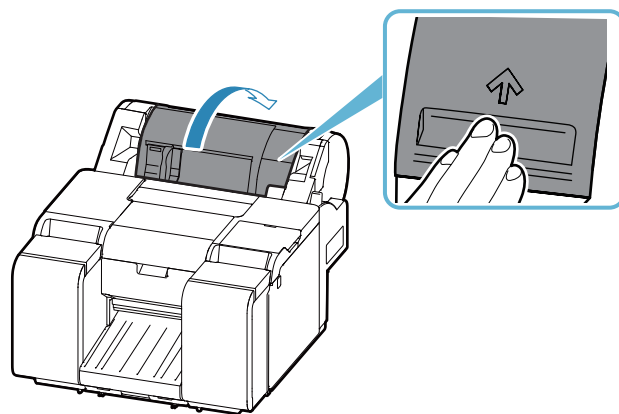
このときに「用紙メニュー」で「用紙の取り外し」を押すと、プリンターが用紙を排出し続けることがあります。プリンターの給紙設定を確認してください。

ロール紙の排出が停止したら、以下の手順でロール紙をセットしなおしてください。

1 リリースレバーを後ろ側に押す

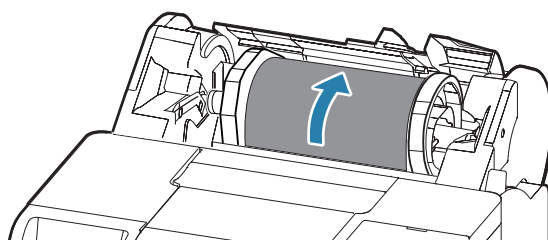


2 図の位置に手を添えて、ロール紙カバーを開く

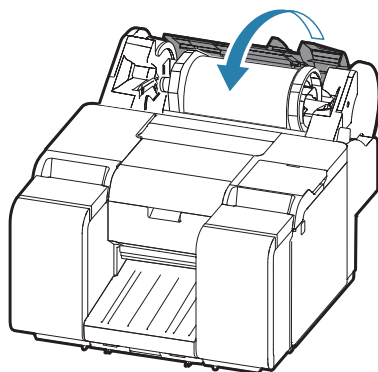


3 ロールホルダーを後方に回してロール紙を巻き取る

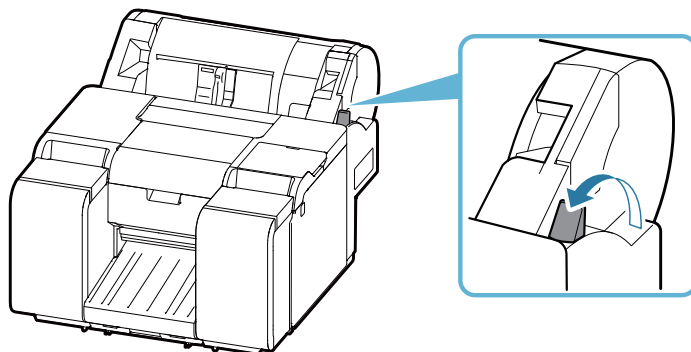
このとき、ロール紙の端部がきれいに揃うように巻き取ってください。



4 ロール紙カバーを閉じる



5 リリースレバーを手前側に引く



6 ロール紙をセットする (→ P.35)

このとき、かならずタッチスクリーンを操作してから、ロール紙をセットしてください。

Q

用紙がカットされない

A

チェック 1 プリンタードライバーの [オートカッター] のチェックボックスにチェックマークが付いていますか

プリンタードライバーを開き、[オートカッター] のチェックボックスにチェックマークを付けます。

➡ [\[ページ設定 \] シート \(P. 91 \)](#)

チェック 2 タッチスクリーンのメニューで [カットモード] が [イジェクトカット] になっていませんか

[カットモード] が [イジェクトカット] に設定されている場合は、タッチスクリーンで [用紙をカットする] を押して用紙をカットします。

➡ [用紙のカット方法を設定する \(P. 63 \)](#)

チェック 3 カッターブレードは取り付けられていますか

カッターブレードを取り付けます。

➡ [カッターブレードを交換する \(P. 279 \)](#)

Q

用紙をきれいにカットできない

A

チェック 1 用紙のカット位置の端部が折れ曲がっていませんか

用紙の端部の折れ曲がりをなおします。

チェック 2 カット時に用紙のカット位置の端部が浮き上がっていませんか

用紙を正しくセットしなおします。

チェック 3 [カットスピード] の設定値を確認してください

カット初めの用紙の端部がきれいにカットできない場合は、現在選んでいるカットスピードより遅くすることで、きれいにカットできる場合があります。

カット終わりの用紙の端部がきれいにカットできない場合は、現在選んでいるカットスピードより速くすることで、きれいにカットできる場合があります。

タッチスクリーンのメニューで [カットスピード] の設定値を変更してください。

➡ [用紙メニュー \(P. 149\)](#)

チェック 4 カット中に、印刷物が斜めに落下していませんか

タッチスクリーンのメニューで [カットモード] を [イジェクトカット] に設定し、印刷後に印刷物を持ちながらカットします。

➡ [用紙のカット方法を設定する \(P. 63\)](#)

チェック 5 カッターブレードは正しく取り付けられていますか

カッターブレードを正しく取り付けます。

➡ [カッターブレードを交換する \(P. 279\)](#)

チェック 6 カッターブレードの刃が劣化していませんか

カッターブレードを交換します。

➡ [カッターブレードを交換する \(P. 279\)](#)

Q

用紙カットの途中でカッターが動かなくなった

A

チェック1 タッチスクリーンにメッセージが表示されていませんか

用紙のカットができなかった場合はカッターが動かなくなり、タッチスクリーンにメッセージが表示されます。用紙を取り除いて、印刷しなおしてください。

➡ [用紙がつまった \(P.313\)](#)

チェック2 カットスピードの設定値を確認してください

カットスピードを遅くすることで、カットできる場合があります。タッチスクリーンのメニューで「カットスピード」の設定値を変更してください。

➡ [用紙メニュー \(P.149\)](#)

チェック3 カッターブレードの刃が劣化していませんか

カッターブレードを交換してください。

➡ [カッターブレードを交換する \(P.279\)](#)

Q

インクの乾燥を待ってから、ロール紙が自動的にカットされるように設定したい

A

インクを乾燥させるための待ち時間が設定できます。

➡ [インク乾燥時間を設定する \(P.70\)](#)

Q

印刷したい用紙の種類がタッチスクリーンに表示されない

A

プリンター本体に新しい用紙を追加したい場合は、「Media Configuration Tool for Label」を使用します。詳しくは、「Media Configuration Tool for Label ユーザーズガイド」を参照してください。

ネットワークに関するトラブル

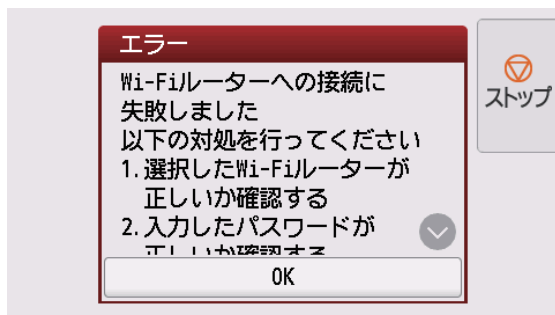
- 「Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました」と表示された (P.354)
- プリンターをネットワークに接続できない (P.356)
- プリンターが見つからない (P.357)
- 無線 LAN 接続 (Wi-Fi) で使用中にプリンターが見つからない (P.361)
- 有線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない (P.363)
- TCP/IP ネットワークで印刷できない (P.363)
- Bonjour ネットワークで印刷できない (P.364)
- ネットワーク環境設定を変更したら、プリンターと通信できなくなった (P.364)
- 無線 LAN 接続 (Wi-Fi) でプリンターと通信できない (P.365)
- 無線ダイレクト中のプリンターと通信できない (P.367)
- 有線 LAN 接続 (LAN ケーブル) でプリンターと通信できない (P.368)
- ネットワーク接続されたパソコンから、印刷ができない (P.368)
- 同じ名前のプリンターを検出した (P.369)

Q

「Wi-Fi ルーターへの接続に失敗しました」と表示された

A

各チェックを実行するたびに、エラー画面の [OK] を押してエラーを解除し、プリンターの設定を再度行ってください。



➡ セキュリティ方式が WPA/WPA2/WPA3 の場合 (P. 354)

➡ セキュリティ方式が無効の場合 (P. 355)

セキュリティ方式が WPA/WPA2/WPA3 の場合

チェック 1 入力した Wi-Fi ルーターのパスワードが正しいことを確認してください。

入力したパスワードが間違っていた場合は、正しいパスワードを入力してください。

チェック 2 Wi-Fi ルーターの設定を確認してください。

Wi-Fi ルーターの DHCP 機能が有効になっていない場合は、DHCP 機能を有効にして再度 Wi-Fi の設定を行ってください。

チェック 3 MAC アドレスフィルタリングの設定を確認してください。

Wi-Fi ルーターで、MAC アドレスフィルタリングが設定されている場合は、プリンターの MAC アドレスを許可する設定に変更してください。

プリンターの MAC アドレスは、[プリンター情報] → [システム情報] から確認できます。

➡ LAN 設定メニュー (P. 162)

チェック 4 Wi-Fi ルーターの暗号化方式の設定を確認してください。

Wi-Fi ルーターが IEEE802.11n のみで通信している状態で、暗号化方式を TKIP に設定している場合は、暗号化方式を TKIP 以外に設定、または IEEE802.11n 以外での通信もできるように設定してから、再度 Wi-Fi の設定を行ってください。

暗号化方式を TKIP に設定している場合、IEEE802.11n では通信できません。

Wi-Fi ルーターの設定を変更する方法については、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

セキュリティ方式が無効の場合

チェック Wi-Fi ルーターの電源が入っていることを確認してください。

すでに入っている場合は、Wi-Fi ルーターの電源を入れなおして、問題が解決するか確認してください。

Q

プリンターをネットワークに接続できない

A

チェック 1 プリンターの LAN ケーブル接続部と LAN ケーブルが正しく接続されていますか

正しい LAN ケーブルでプリンターがネットワークに接続されていることを確認し、プリンターの電源をオンにします。ケーブルの接続方法については、セットアップガイドを参照してください。

チェック 2 LINK ランプが点灯していることを確認してください

1000Base-T で接続している場合は左右のランプが点灯します。

100Base-TX で接続している場合は左側のランプが緑色に、10Base-T で接続している場合は右側のランプがオレンジ色に、それぞれ点灯します。

LINK ランプが点灯しない場合は、以下の点を確認してください。

- ハブの電源がオンになっていること
- LAN ケーブルのコネクタが正しく接続されていること
LAN ケーブルは、カチッとロックするまで LAN ケーブル接続部に差し込んでください。
- LAN ケーブルに問題がないこと

問題がある場合は、LAN ケーブルを交換してください。

Q

プリンターが見つからない

A

プリンターが見つからないときは、以下の項目について確認してください。

➔ 無線 LAN (Wi-Fi) の確認項目 (P. 357)

➔ 有線 LAN の確認項目 (P. 359)

● 無線 LAN (Wi-Fi) の確認項目

ステップ1 電源を確認する

プリンターとネットワーク機器（ルーターなど）の電源が入っているか確認してください。一度セットアップを中断して、ルーター（モデム）→プリンターの順番で電源を確認します。

1. ルーターなどのネットワーク機器の電源を確認する

電源が入っていない場合は、電源を入れます。すでに電源が入っている場合は、電源を入れなおしてください。ネットワーク機器は電源を入れたあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。ルーターなどのネットワーク機器が使用できる状態になったら、次へ進みます。

2. プリンターの電源を確認する

電源が入っていない場合は、電源を入れます。すでに電源が入っている場合は、電源を入れなおしてください。

ステップ2 パソコンのネットワーク接続を確認する

ご使用のパソコンで、インターネットの任意のウェブページが閲覧できるか確認します。パソコンとネットワーク機器（Wi-Fi ルーターなど）の設定が完了していれば、パソコンがネットワークに接続できる状態になっています。

パソコンから任意のウェブページが閲覧できない場合は、Wi-Fi ルーターの MAC アドレスフィルタリング、IP フィルタリングなどのセキュリティ設定や DHCP 機能など接続に関する設定を確認してください。Wi-Fi ルーターの設定方法については、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

✔ 重要

- Wi-Fi ルーターによっては、ネットワーク名（SSID）の末尾の数字や記号で周波数帯（2.4GHz または 5GHz）、用途（パソコン用またはゲーム機用）を区別している場合があります。Wi-Fi ルーターの確認がすんだら、パソコンのネットワーク設定を確認します。パソコンのネットワークに関する確認方法については、パソコンに付属のマニュアルを参照するか、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

Wi-Fi ルーターとパソコンの設定が確認できたら、Wi-Fi ルーターの情報を基にして、パソコンからインターネットの任意のウェブページが閲覧できるように設定を変更します。

ステップ3 プリンターの無線 LAN (Wi-Fi) 設定を確認する

プリンターのタッチスクリーンに  または  が表示されていることを確認してください。



別のアイコンが表示されている場合

プリンターの無線 LAN (Wi-Fi) の設定が有効になっていません。プリンターを無線 LAN (Wi-Fi) で使用する設定に変更する必要があります。

➡ [Wi-Fi 接続 \(P. 199\)](#)



が表示されている場合

Wi-Fi ルーターとプリンターが接続されていない状態を示しています。Wi-Fi ルーターとプリンターの設置場所を再検討してください。

- Wi-Fi ルーターの設置場所を確認する

Wi-Fi ルーターの設定を確認したあと、プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎているか確認してください。プリンターは Wi-Fi ルーターとの距離が 50 m (164 ft.) 以内の見通しのよい屋内で使用していただくものです。プリンターと Wi-Fi ルーターを適正な距離に近づけてください。

プリンターと Wi-Fi ルーターを、無線通信可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN (Wi-Fi) で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器 (電子レンジなど) が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

- プリンターの設置場所を確認する

プリンターが物陰に設置されていないか確認してください。壁の陰や棚の中などに設置すると、接続に失敗する場合があります。プリンターを物陰から出して設置してみてください。Wi-Fi ルーターの詳細については、Wi-Fi ルーターに付属のマニュアルを参照するか、Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

● 有線 LAN の確認項目

ステップ1 電源と LAN ケーブルを確認する

有線 LAN 接続のセットアップのときに、セットアップの画面でプリンターが見つからないときは、すべてのネットワーク機器が LAN ケーブルでルーターやハブと接続されていて、かつ、すべての機器の電源が入っていることを確認します。

LAN ケーブルが接続されていない場合

ルーターなどのネットワーク機器と、パソコンやプリンターを LAN ケーブルで接続してください。
プリンターおよびルーターなどのネットワーク機器の電源が入っていることを確認してください。

LAN ケーブルが接続されていて、電源が入っていない場合

プリンターおよびルーターなどのネットワーク機器の電源を入れてください。

LAN ケーブルが接続されていて、電源が入っている場合

すでに電源が入っている場合は、一度電源を切ってから、電源を入れなおしてください。



- 電源を入れなおしたあと、使用できる状態になるまで時間がかかる場合があります。電源を入れてしばらくしたら、次へ進みます。

ステップ2 パソコンのネットワーク接続を確認する

- ご使用のパソコンで、インターネットの任意のウェブページが閲覧できるか確認します。
パソコンとネットワーク機器（ルーターなど）の設定が完了していれば、パソコンがネットワークに接続できる状態になっています。
 - ウェブページが閲覧できない場合
ルーターの WAN 側に接続されているケーブルを抜き、直接パソコンの LAN ケーブル接続部に接続してインターネットの任意のウェブページが閲覧できるか確認します。
 - ウェブページが閲覧できた場合
ルーターの設定を確認します。ルーターの設定を確認する方法、設定方法については、ルーターに付属のマニュアルを参照するか、ルーターのメーカーにお問い合わせください。併せてプロバイダーの接続に関するマニュアルもご確認ください。
- パソコンのネットワーク設定を確認します。
パソコンのネットワークに関する確認方法については、パソコンに付属のマニュアルを参照するか、パソコンのメーカーにお問い合わせください。
- ルーターとパソコンの設定が確認できたら、ルーターの情報を基にして、パソコンからインターネットの任意のウェブページが閲覧できるように設定を変更します。
パソコンから任意のウェブページが閲覧できるようになったら、次へ進みます。

ステップ3 プリンターの有線 LAN 設定を確認する

プリンターのタッチスクリーンに  が表示されていることを確認してください。



表示されていない場合

プリンターの有線 LAN の設定が有効になっていません。プリンターを有線 LAN で使用する設定に変更する必要があります。

➡ [有線 LAN 接続 \(P. 217\)](#)

Q

無線 LAN 接続（Wi-Fi）で使用中にプリンターが見つからない

A

チェック 1 プリンターの電源が入っているか確認してください

プリンターの電源が入っていない場合は、電源プラグがしっかり差し込まれていることを確認し、電源を入れてください。

電源ランプが点滅している間は、プリンターが準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2 プリンターのタッチスクリーンでネットワークの状況を確認してください



が表示されている場合は、プリンターの無線 LAN（Wi-Fi）が無効になっています。タッチスクリーンのメニューで、[Wi-Fi の有効 / 無効] を [有効] に設定します。

➔ Wi-Fi 接続（P. 199）



が表示されている場合は、セットアップが完了しているか、または通信を行う Wi-Fi ルーターの設定が正しいかをチェック 3 以降に進んで確認してください。

チェック 3 パソコンでプリンターのドライバーインストールが完了しているか確認してください

完了していない場合は、プリンターのドライバーインストールを行ってください。

チェック 4 通信を行う Wi-Fi ルーターと設定が同一か確認してください

ネットワーク名（SSID）、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、プリンターと Wi-Fi ルーターで一致しているか確認してください。

プリンターに設定されているネットワーク名（SSID）は、タッチスクリーンに表示して確認できます。

➔ ネットワーク設定情報を確認する（P. 226）

Wi-Fi ルーターのネットワーク設定の確認方法については、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

📖 メモ

- Wi-Fi ルーターとの通信には、2.4GHz の周波数帯域を使用する必要があります。プリンターに設定されているネットワーク名（SSID）を、Wi-Fi ルーターの 2.4GHz 用のネットワーク名（SSID）に合わせてください。

チェック 5 プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎているか確認してください

プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけてみてください。

📖 メモ

- 多くの Wi-Fi ルーターにはアンテナが接続されていますが、アンテナ内蔵型で外部から見えない機種もありますのでご注意ください。

チェック6 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN（Wi-Fi）の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

プリンターと Wi-Fi ルーターは、無線通信が可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN（Wi-Fi）で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器（電子レンジなど）が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

チェック7 パソコンが正しく Wi-Fi ルーターに接続できているか確認してください

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック8 プリンタードライバーのプロパティ画面の［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］にチェックマークが付いているか確認してください

付いていない場合はチェックマークを付けて、双方向通信を行ってください。

チェック9 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアの設定を確認してください

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

上記の項目を確認しても解決しない場合は、プリンタードライバーのインストールをやりなおしてください。

Q

有線 LAN 接続で使用中にプリンターが見つからない

A

チェック 1 プリンターの電源が入っているか確認してください

プリンターの電源が入っていない場合は、電源プラグがしっかり差し込まれていることを確認し、電源を入れてください。

電源ランプが点滅している間は、プリンターが準備動作中です。点滅から点灯に変わるまでお待ちください。

チェック 2 LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください

プリンターとルーターが LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。LAN ケーブルが抜けかかっている場合は、正しく接続してください。

LAN ケーブルがルーターの WAN 側に接続されている場合は、ルーターの LAN 側に接続してください。

チェック 3 プリンターのタッチスクリーンに は表示されていますか

表示されていない場合は、プリンターの有線 LAN が無効になっています。

ホーム画面からネットワークアイコンを選んで、[有線 LAN] → [設定] → [有線 LAN の有効 / 無効] で [有効] を選んでください。

→ LAN 設定メニュー (P. 162)

Q

TCP/IP ネットワークで印刷できない

A

チェック 1 プリンターの IP アドレスが正しく設定されていますか

プリンターの IP アドレスが正しく設定されていることを確認してください。

→ ネットワーク設定情報を確認する (P. 226)

チェック 2 プリンターの TCP/IP 設定が正しく設定されていますか

プリンターの TCP/IP 設定が正しく設定されていることを確認してください。

→ ネットワーク設定情報を確認する (P. 226)

チェック 3 印刷を行うパソコンが正しく設定されていますか

パソコンの TCP/IP 設定が正しく設定されていることを確認してください。

Q

Bonjour ネットワークで印刷できない

A

チェック 1 印刷を行うパソコンが正しく設定されていますか

パソコンの設定が正しく行われていることを確認してください。

チェック 2 パソコンとプリンターが同一のネットワーク上にありますか

Bonjour 機能では、ルーターを経由した別のネットワークグループ上のプリンターで印刷できない場合があります。ご使用のネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

チェック 3 プリンターの Bonjour 機能が正しく設定されていますか

プリンターの Bonjour 機能が正しく設定されていることを確認してください。

➔ [使用するネットワーク環境に合わせる \(P. 224\)](#)

Q

ネットワーク環境設定を変更したら、プリンターと通信できなくなった

A

パソコンの IP アドレス取得に時間がかかったり、再起動が必要な場合があります。

パソコンに有効な IP アドレスが取得されていることを確認の上、再度プリンターを検索してください。

Q

無線 LAN 接続（Wi-Fi）でプリンターと通信できない

A

チェック 1 プリンターとネットワークに接続されている機器（Wi-Fi ルーターやパソコンなど）の機器の状態を確認してください

電源が入っていない場合は、電源を入れてください。すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。

Wi-Fi ルーターのトラブルシューティング（キーの更新間隔、DHCP の更新間隔のマッチの問題、省エネモードなど）や、Wi-Fi ルーターのファームウェアのアップデートなどが必要な場合があります。詳細については、Wi-Fi ルーターのメーカーにお問い合わせください。

チェック 2 パソコンでインターネットの任意のウェブページが閲覧できますか

パソコンが正しく Wi-Fi ルーターに接続できているか確認してください。

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック 3 プリンターと Wi-Fi ルーターが接続されていますか

プリンターのタッチスクリーンに表示されるアイコンで、プリンターと Wi-Fi ルーターの接続の状態を確認してください。

➡ ホーム画面の構成（P. 145）

が表示されていない場合は、プリンターの無線 LAN（Wi-Fi）の設定が有効になっていません。プリンターを無線 LAN（Wi-Fi）で使用する設定にしてください。

➡ Wi-Fi 接続（P. 199）

チェック 4 プリンターと Wi-Fi ルーターのそれぞれのネットワーク設定が一致しているか確認してください

ネットワーク名（SSID）、ネットワークキーなどのネットワーク設定が、プリンターと Wi-Fi ルーターで一致しているか確認してください。

プリンターに設定されているネットワーク名（SSID）は、タッチスクリーンに表示して確認できます。

➡ ネットワーク設定情報を確認する（P. 226）

Wi-Fi ルーターのネットワーク設定の確認方法については、Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック5 プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎているか確認してください

プリンターと Wi-Fi ルーターの距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと Wi-Fi ルーターを近づけてみてください。

メモ

- 多くの Wi-Fi ルーターにはアンテナが接続されていますが、アンテナ内蔵型で外部から見えない機種もありますのでご注意ください。

チェック6 電波の状態が悪い可能性があります。無線 LAN (Wi-Fi) の通信状況を確認しながら、設置位置を調整してください

プリンターと Wi-Fi ルーターは、無線通信が可能な見通しのよい場所に設置してください。壁越しやフロア間でも通信できますが、通信状態が悪くなる可能性があります。金属は電波を反射し、コンクリートは電波を減衰させるため、金属、コンクリート、金属性の素材が入った木材、土壁、断熱材は電波を通さないことがあります。壁の材質により通信できない場合は、壁を挟まない場所でお使いください。

また、無線 LAN (Wi-Fi) で使用している電波と同じ周波数帯の電波を発生させる機器 (電子レンジなど) が近くにあると、電波干渉を起こすことがあります。電波発生源からできるだけ離して設置してください。

チェック7 パソコンで使用している Wi-Fi の無線チャンネル番号を確認してください

パソコンと Wi-Fi ルーターで使用する無線チャンネル番号を同じにする必要があります。通常はすべての無線チャンネル番号が使用できるように設定されていますが、使用する無線チャンネル番号を制限していると、無線チャンネル番号が一致しない場合があります。

パソコンのマニュアルを参照して、パソコンが使用できる無線チャンネル番号を確認してください。

チェック8 Wi-Fi ルーターに設定されている無線チャンネル番号が、チェック7で確認した無線チャンネル番号に含まれていることを確認してください

Wi-Fi ルーターに設定されている無線チャンネル番号が含まれていない場合は、Wi-Fi ルーターの無線チャンネル番号を変更してください。

チェック9 ファイアウォール関連のセキュリティソフトウェアが動作していませんか

セキュリティソフトウェアのファイアウォール機能を使用している場合、キヤノンのソフトウェアがネットワークにアクセスしようとしていることを警告するメッセージが表示される場合があります。警告メッセージが表示されたら、アクセスを常に許可するように設定してください。

また、ネットワーク環境を切り替えるソフトウェアをお使いの場合は、その設定を確認してください。

上記の項目を確認しても解決しない場合は、プリンタードライバーのインストールをやりなおしてください。

Q

無線ダイレクト中のプリンターと通信できない

A

チェック 1 プリンターとスマートフォン/タブレットなどの機器の状態を確認してください。

電源が入っていない場合は、電源を入れてください。

すでに電源が入っている場合は、いったん電源を切ってから再度電源を入れてください。

チェック 2 プリンターのタッチスクリーン  に無線ダイレクト有効アイコンは表示されていますか

表示されていない場合は無線ダイレクトが無効になっています。無線ダイレクトを有効にしてください。

チェック 3 ご使用のスマートフォンやタブレットなどの機器の設定を確認してください

スマートフォン/タブレットなどの機器が無線 LAN 接続 (Wi-Fi) を利用できる設定になっているか確認してください。無線 LAN 接続 (Wi-Fi) の設定のしかたについては、ご使用の機器に付属のマニュアルを参照してください。

チェック 4 ご使用の各種機器 (スマートフォンやタブレットなど) で、接続先としてプリンターを選んでいますか

各種機器で、プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名 (SSID) を選んでください。

ご使用の各種機器の接続先は、ご使用の機器から確認してください。

確認方法についてはご使用の機器のマニュアルや、メーカーのホームページなどを参照してください。

プリンターに設定されている無線ダイレクト時のネットワーク名 (SSID) は、タッチスクリーンに表示して確認できます。

➡ ネットワーク設定情報を確認する (P. 226)

チェック 5 プリンターに設定されている無線ダイレクトのパスワードを正しく入力していますか

プリンターに設定されているパスワードは、タッチスクリーンに表示して確認できます。

➡ ネットワーク設定情報を確認する (P. 226)

チェック 6 プリンターと各種機器の距離が離れすぎているか確認してください

プリンターと各種機器の距離が離れすぎていると、通信状態が悪くなります。プリンターと各種機器を近づけてみてください。

チェック 7 6 台以上の各種機器をプリンターに接続しようとしていませんか

無線ダイレクト使用時に接続できる各種機器は 5 台までです。

Q

有線 LAN 接続（LAN ケーブル）でプリンターと通信できない

A

チェック 1 プリンターの電源が入っているか確認してください

チェック 2 LAN ケーブルが正しく接続されているか確認してください

プリンターとルーターが LAN ケーブルで接続されていることを確認してください。

LAN ケーブルが抜けかかっている場合は、正しく接続してください。

LAN ケーブルがルーターの WAN 側に接続されている場合は、ルーターの LAN 側に接続してください。

上記の項目を確認しても解決しない場合は、セットアップをやりなおしてください。

Q

ネットワーク接続されたパソコンから、印刷ができない

A

チェック 1 パソコンが正しく Wi-Fi ルーターに接続できているか確認してください

パソコンの設定や接続状態の確認方法については、ご使用のパソコンのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

チェック 2 プリンタードライバーをインストールしていない場合は、プリンタードライバーをインストールしてください

チェック 3 無線 LAN 接続（Wi-Fi）の場合、Wi-Fi ルーターでアクセスできるパソコンを制限していないか確認してください

Wi-Fi ルーターの接続や設定方法については、お使いの Wi-Fi ルーターのマニュアルを参照するか、メーカーにお問い合わせください。

Q

同じ名前のプリンターを検出した

A

プリンターを検出したときに、検出結果で同じ名前のプリンターが複数表示される場合があります。プリンターの設定と検出結果を照合して、使用するプリンターを選んでください。プリンターに設定されている MAC アドレスやプリンターのシリアルナンバーと、検出結果の画面に表示されている MAC アドレスやシリアルナンバーを照合して、使用するプリンターを選んでください。

 メモ

- 検出結果の画面にシリアルナンバーが表示されない場合があります。
- プリンターの MAC アドレスやシリアルナンバーは、[プリンター情報] → [システム情報] から確認できます。
➡ [プリンター情報メニュー \(P. 165 \)](#)

本体 / インクに関するトラブル

- 電源が入らない (P.371)
- メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない (P.371)
- 異常音かなと思ったときには (P.372)
- インクが異常に消費される (P.374)
- インク残量検知機能について (P.375)
- インク残量検知機能を無効にする (P.375)

目次

本製品について

用紙の取り扱い

印刷

プリンターの設定

パソコンとの接続

印刷ジョブの管理

メンテナンス調整

困ったときは

仕様

Q

電源が入らない

A

チェック 1 電源コードが抜けていませんか

コンセントに電源コードを接続してから、プリンターの電源をオンにします。

チェック 2 所定の電圧が供給されていますか

コンセントやブレーカーの電圧を確認します。プリンターの仕様に合った電源を使用してください。

➔ 仕様 (P.410)

Q

メンテナンスカートリッジの確認を指示するメッセージが消えない

A

交換した新しいメンテナンスカートリッジが認識されていません。

交換した新しいメンテナンスカートリッジを取り外し、再度しっかり差し込みなおします。

➔ メンテナンスカートリッジを交換する (P.275)

Q

操作パネルのデータ受信ランプが点灯しない

A

チェック 1 印刷時に正しいプリンターを選びましたか

印刷ダイアログボックスの [プリンターの選択] や [プリンター設定] でプリンターを選び、印刷しなおします。

チェック 2 印刷ジョブが一時停止になっていませんか

以下の手順で一時停止を解除します。

1. [デバイスとプリンター] または [プリンターとスキャナー] で、対象のプリンターを選ぶ
2. [一時停止] を選択してチェックを外すか、[再開] を選ぶ

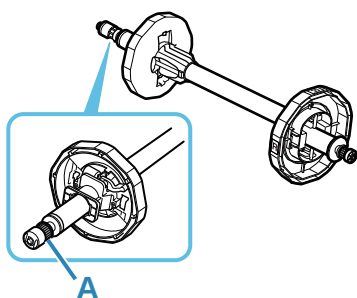
Q

異常音かなと思ったときには

A

チェック 1 ロールホルダー付近から異音が発生していますか

ロールホルダーの先端にあるギア（A）に粉がたまると、その周辺から音が発生することがあります。



快適にご使用いただくために、音が鳴り始めたら、以下の手順でギアを清掃してください。

1. ロールホルダーをプリンターから取り外す
2. 水を含ませて、かたく絞った布でギアの粉を拭き取り、乾いた布で乾拭きする
3. ロールホルダーをプリンターに取り付ける

チェック 2 プリンターは印刷時以外にも動作音がすることがあります

以下のような場合は、異常ではありません。

- ・ プラテンから吸引音がする
用紙の浮き上がりを防ぐために、プラテン表面には吸引口があり、用紙を吸引しています。
- ・ 印刷中にロール紙がはためく音がする
大きいサイズ of 用紙が送られるときに、はためく音がする場合があります。
- ・ 突然クリーニング動作の音がする
プリンターのメンテナンスのため、所定の期間が経過するとクリーニング動作が自動実行されます。
- ・ 突然インク攪拌動作の音がする
最適な印刷品位を保つため、所定の期間が経過するごとにインク攪拌動作が自動実行されます。攪拌の動作時間は約 1 分 30 秒です。
また、以下のタイミングでもインク攪拌動作が自動実行されます。
なお、タッチスクリーンに「インク攪拌（かくはん）中です」と表示されている間に他の操作はできません。
 - 電源オン後
 - データ送信後
 - インクタンク交換後

上記以外の場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

Q

カラーキャリブレーションしたら警告画面が表示される

A

再度カラーキャリブレーションの実行を行ってください。

このとき、以下のことに注意してください。

- ・ プリントヘッドのノズルにつまりがないこと
- ・ 用紙に反りや折れ曲がりがないこと
- ・ 用紙の裏表などが正しくセットされていること
- ・ 用紙設定が正しく指定されていること
- ・ キャリブレーション実行可能な用紙サイズであること

Q

インクが異常に消費される

A

チェック 1 全面カラーの多数の印刷物を印刷していませんか

写真など色を塗りつぶすような印刷物の場合、インクを多く消費します。異常ではありません。

チェック 2 「システムクリーニング」を頻繁に実行していませんか

「システムクリーニング」を実行すると、インクを多く消費します。異常ではありません。プリンターの輸送後、長期間プリンターを使用しなかった後、またはプリントヘッドのトラブル時以外は、できる限り「システムクリーニング」を実行しないことをおすすめします。

チェック 3 初期充填が行われていませんか

初めてプリンターを使用する場合やプリンターの輸送後に使い始める場合、インクタンクとプリントヘッド間でインクの初期充填が行われます。

このため、インクの残り容量の表示が少なくなる場合がありますが、異常ではありません。

チェック 4 プリントヘッドのノズルがつまっていますか

ノズルのつまりをチェックしてください。

➡ [ノズルのつまりを確認する \(P. 293\)](#)

Q

インク残量検知機能について

A

このプリンター指定のインクタンクには、印刷中のインク切れやプリンターの故障を防止するためのインク残量検知機能があります。

インクを補充したインクタンクを使用した場合、インク残量検知機能が正常に機能しなくなり、印刷が停止します。そのため、インクを補充したインクタンクを使用する場合は、インク残量検知機能を無効にする必要があります。

● 重要

- ・ ただし、インク残量検知機能を無効にして印刷した場合、プリンターに損傷、異常が発生する場合があります。インクを補充したことが原因の故障につきましては、キヤノンは責任を負いかねます。
- ・ いったんインク残量検知機能を無効にすると、そのインクタンクに対するインク残量検知機能を回復させることはできません。インク残量検知機能を回復するには、プリンター指定の新しいインクタンクに交換してください。
- ・ 同じインクタンクを何度も抜き差しすると、インクタンクとプリンターとの接合部に不具合が生じ、インクタンクからインクが漏れてプリンターに損傷を与える場合があります。

● インク残量検知機能を無効にする

一度空になったインクタンクを取り付けた場合、インク残量検知機能を無効にできます。

タッチスクリーンに、[上記のインクタンクはキヤノン純正インクが使い切られたインクタンク、または模倣品の可能性があります]と表示されている状態から、以下の手順で行います。

1. タッチスクリーンに表示されるメッセージにしたがって操作し、画面を先へ進める
2. インク残量検知機能を無効にする手順が表示されたら、プリンターの[ストップ]を5秒以上タッチしてから離す

目次

本製品について

用紙の取り扱い

印刷

プリンターの設定

パソコンとの接続

印刷ジョブの管理

メンテナンス調整

困ったときは

仕様

ステータスマニターにメッセージが表示された

エラーが発生したときに、パソコンにサポート番号が表示されます。

「サポート番号」とはエラー識別番号で、エラーメッセージと合わせて表示されます。

エラーが発生したときはサポート番号を確認し、それぞれの対処方法に従って操作してください。

● 1000 ～ 11ZZ

1005 (→ P.380)	100A (→ P.380)	1012 (→ P.380)	1024 (→ P.381)
1041 (→ P.381)	1051 (→ P.382)	1052 (→ P.382)	1054 (→ P.382)
1058 (→ P.382)	1061 (→ P.383)		

● 1200 ～ 12ZZ

1200 (→ P.383)	1201 (→ P.383)	1210 (→ P.383)	1213 (→ P.383)
1214 (→ P.384)			

● 1300 ～ 13ZZ

1300 (→ P.384)	1306 (→ P.384)	1317 (→ P.385)	1322 (→ P.386)
1323 (→ P.386)	1324 (→ P.386)	13F0 (→ P.387)	13F1 (→ P.385)

● 1400 ～ 14ZZ

1401 (→ P.387)	1403 (→ P.387)	1408 (→ P.387)	1409 (→ P.387)
140A (→ P.387)	140B (→ P.387)	140C (→ P.387)	140F (→ P.387)
1468 (→ P.387)	1477 (→ P.387)	1478 (→ P.387)	1480 (→ P.388)
1481 (→ P.388)	1485 (→ P.388)	1492 (→ P.388)	1494 (→ P.388)
1495 (→ P.388)			

● 1500 ～ 15ZZ

1500 (→ P.388)	1551 (→ P.388)	1552 (→ P.388)	1570 (→ P.389)
1571 (→ P.389)			

● 1600 ～ 17ZZ

1660 (→ P.389)	168B (→ P.389)		
1720 (→ P.389)	1721 (→ P.389)	1722 (→ P.389)	1730 (→ P.390)
1731 (→ P.390)	1752 (→ P.390)	1753 (→ P.390)	1756 (→ P.390)
1757 (→ P.391)			

● 2000 ～ 2ZZZ

2001 (→ P.391)
2132 (→ P.392)
21F0 (→ P.394)
21F4 (→ P.396)

2002 (→ P.391)
2140 (→ P.393)
21F1 (→ P.395)

2130 (→ P.392)
2141 (→ P.393)
21F2 (→ P.395)

2131 (→ P.392)
2142 (→ P.394)
21F3 (→ P.396)

● 3000 ～ 32ZZ

3000 (→ P.396)
3250 (→ P.397)

3001 (→ P.396)

3200 (→ P.396)

3201 (→ P.396)

● 3300 ～ 33ZZ

3306 (→ P.397)
3314 (→ P.397)
3331 (→ P.398)
3338 (→ P.398)
3351 (→ P.399)

3311 (→ P.397)
3315 (→ P.397)
3332 (→ P.398)
3341 (→ P.398)
3352 (→ P.399)

3312 (→ P.397)
3316 (→ P.398)
3333 (→ P.398)
3342 (→ P.398)

3313 (→ P.397)
3317 (→ P.398)
3336 (→ P.398)
3350 (→ P.398)

● 3400 ～ 34ZZ

3414 (→ P.399)
3418 (→ P.400)
3422 (→ P.401)

3415 (→ P.399)
3419 (→ P.400)
3423 (→ P.401)

3416 (→ P.399)
3420 (→ P.400)
3424 (→ P.401)

3417 (→ P.399)
3421 (→ P.400)
3448 (→ P.401)

● 4000 ～ 48ZZ

4111 (→ P.401)

4801 (→ P.401)

4803 (→ P.402)

● 4900 ～ 49ZZ

4900 (→ P.402)
4909 (→ P.402)
4924 (→ P.404)
4931 (→ P.405)
4935 (→ P.406)
4953 (→ P.406)

4901 (→ P.402)
4910 (→ P.403)
4925 (→ P.404)
4932 (→ P.405)
4937 (→ P.406)
4955 (→ P.406)

4903 (→ P.402)
4911 (→ P.403)
4926 (→ P.404)
4933 (→ P.406)
4950 (→ P.406)
4956 (→ P.407)

4905 (→ P.402)
4920 (→ P.404)
4927 (→ P.405)
4934 (→ P.406)
4952 (→ P.406)

● 5000 ～ 5ZZZ

5106 (→ P.407)
5B21 (→ P.407)

5200 (→ P.407)
5BF0 (→ P.407)

5B16 (→ P.407)
5C00 (→ P.407)

5B20 (→ P.407)

● 6000 ～ 6ZZZ

6502 (→ P.408)

6900 (→ P.408)

6920 (→ P.408)

6700 (→ P.408)

6901 (→ P.408)

6921 (→ P.408)

6702 (→ P.408)

6902 (→ P.408)

6930 (→ P.408)

6820 (→ P.408)

6910 (→ P.408)

● 7000 ～ 7ZZZ

7050 (→ P.408)

7051 (→ P.408)

7052 (→ P.408)

● 8000 ～ 8ZZZ

8200 (→ P.408)

● 9000 ～ 9ZZZ

9000 (→ P.408)

9110 (→ P.408)

● Bxxx ～ ZZZZ

B20A (→ P.408)

B510 (→ P.408)

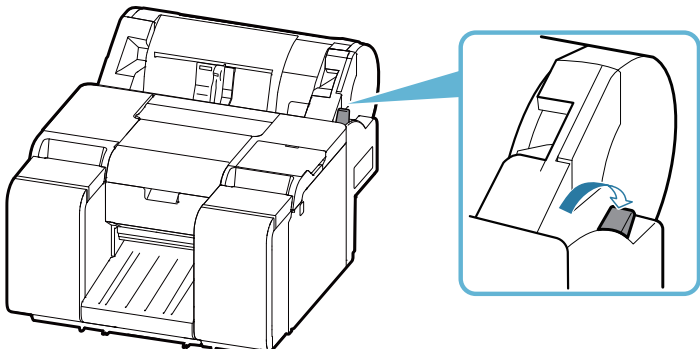
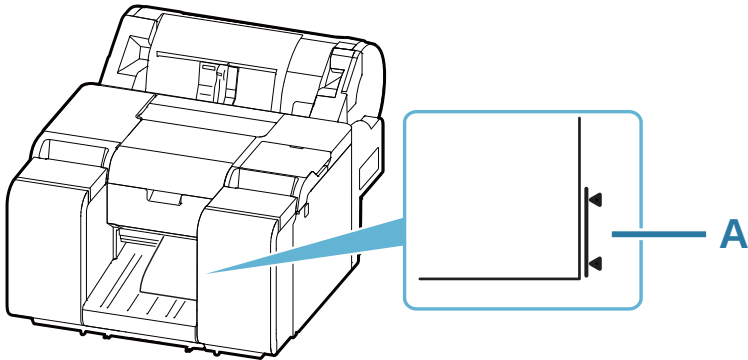
サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
1005	用紙がありません。	カット紙または外部給紙で印刷しようとしたますが、用紙がセットされていません。 タッチスクリーンで印刷ジョブの用紙サイズと種類を確認し、[OK]を押します。 ・印刷を続行する場合 [用紙をセットする]を選び、用紙をセットします。 ➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47) ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50) ・印刷を中止する場合 タッチスクリーンで[キャンセル]または[ストップ]を押して印刷を中止します。
100A	用紙がありません。	ロール紙で印刷しようとしたますが、用紙がセットされていません。 タッチスクリーンで印刷ジョブの用紙サイズと種類を確認し、[OK]を押します。 ・印刷を続行する場合 [用紙をセットする]を選び、用紙をセットします。 ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) ・印刷を中止する場合 タッチスクリーンで[キャンセル]または[ストップ]を押して印刷を中止します。
1012	用紙がありません。	カット紙で印刷しようとしたますが、用紙がセットされていません。 タッチスクリーンで[用紙をセットする]を選び、カット紙をセットして印刷します。 ➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47)  メモ ・印刷を中止する場合は、タッチスクリーンで[キャンセル]または[ストップ]を押してください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
1024	用紙がありません。	● 用紙がない場合 ・ 使用していた用紙と同じサイズ、種類の用紙に交換してください。後端とロール紙の芯がテープで止められていて、搬送が止まっていたときは、使い終わったロール紙を取り除きます。 1. リースレバーを後ろ側に押して、用紙を取り外す → ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44) → プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55) 2. 新しいロール紙をセットする → ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) → プリンター外部から用紙をセットする (P. 50) 3. タッチスクリーンに「印刷を終了していないジョブがあります このジョブを印刷しますか?」と表示された場合は、「はい」を押す エラーが発生したページから、印刷が再開されます。  メモ ・ 印刷を中止する場合は、「ストップ」を押してください。 ● 用紙がある場合 ・ ロール紙の未使用部が重いため負荷がかかり、紙送りに失敗しました。印刷品質を変更すると紙送りのタイミングが変わるため改善する可能性があります。プリンタードライバーの「印刷設定」を開き、「印刷品質」でより高品質の設定を選びます。 → 「印刷設定」シート (P. 93) ・ ロール紙がたるんでいないか確認してください。  メモ ・ 印刷を中止する場合は、「ストップ」を押してください。
1041	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリンターにセットされている用紙と、給紙方法が合っていません。用紙をセットしなおしてください。 → ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) → カット紙をプリンターにセットする (P. 47) → プリンター外部から用紙をセットする (P. 50)

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
1051	用紙の種類が違います。	プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットしてある用紙の種類が合っていません。 印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。 また、印刷した用紙をカットする前に用紙の種類を変更した場合は、タッチスクリーンで「はい」を押して印刷した用紙をカットしたあと、紙送り調整を行ってください。  メモ - 用紙をカットできない場合は、プリンターから用紙を取り外し、用紙をセットしなおしてください。 ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P.44) ➡ プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P.55) ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P.35) ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P.50)
1052	用紙の幅が違います。	プリンタードライバーで指定した用紙サイズと、プリンターにセットしてある用紙サイズが異なります。 印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
1054	用紙の幅が違います。	プリンタードライバーで設定した用紙のサイズよりも小さいサイズの用紙がプリンターにセットされています。 印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
1058	警告が発生しています。	ロール紙が残り少なくなりました。 印刷は続行されます。早めにプリンターのロール紙を印刷に十分な残量のロール紙に交換してください。 ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P.44) ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P.35)  メモ - 印刷を中止する場合は、「ストップ」を押してください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
1061	用紙の種類が違います。	印刷ジョブで指定された用紙の種類と、プリンターにセットしてある用紙の種類が合っていません。 タッチスクリーンで [OK] を押して次の画面へ進みます。表示された用紙の種類とサイズを確認して [OK] を押します。 - 印刷ジョブの用紙の種類を変更する場合 [キャンセル] を押して、印刷を中止する - 印刷ジョブの用紙の種類の設定をプリンターにセットした用紙の種類に変更し、印刷しなおす → ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) → カット紙をプリンターにセットする (P. 47) → プリンター外部から用紙をセットする (P. 50) - 用紙を交換する場合 [用紙を交換して印刷] を押す - 印刷ジョブで指定された種類の用紙をプリンターにセットし、印刷しなおす → ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) → カット紙をプリンターにセットする (P. 47) → プリンター外部から用紙をセットする (P. 50) - 現状の設定で印刷を続行する場合 [セットしている用紙で印刷] を選び、印刷を続行します。ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
1200	プリンターのカバーが開いています。	トップカバーまたはプリントヘッド固定レバーが開いています。 - トップカバーを開け、プリントヘッド固定レバーがきちんと閉じているか確認してください。 - トップカバーに異物などが挟まっていないことを確認し、トップカバーを閉めなおします。 - 再び同じエラーが発生する場合は、トップカバーを閉めてから電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れます。  メモ - プリントヘッドを取り付け中の場合は、作業が完了してからトップカバーを閉じてください。
1201 1210	インクタンクカバーが開いています。	インクタンクカバーを閉めます。
1213	警告が発生しています。	リリースレバーを手前側に引きます。 再び同じエラーが表示される場合は、電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れます。

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
1214	プリンタートラブルが発生しました。	印刷中、またはメンテナンス動作中にリリースレバーが解除されました。 電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。 再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
1300	用紙が詰まりました。	以下の手順でつまった用紙を取り除いてください。 1. つまんだ用紙を取り外す → 用紙のつまりを取り除く（P.313） 2. 用紙をセットする → ロール紙をプリンターにセットする（P.35） → カット紙をプリンターにセットする（P.47） → プリンター外部から用紙をセットする（P.50） 3. タッチスクリーンに「印刷を終了していないジョブがあります このジョブを印刷しますか？」と表示された場合は、「はい」を押す エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 再び同じエラーが発生する場合は、プリンターが故障している可能性があります。キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
1306	ロール紙または外部給紙が指定されましたが、カット紙がセットされています。	以下の手順で用紙をセットしなおしてください。 1. 「用紙を取り外す」を選び、ロール紙をプリンターから取り外す → カット紙をプリンターから取り外す（P.49） 2. タッチスクリーンで印刷ジョブの用紙サイズと種類を確認し、「OK」を押す 3. 「用紙をセットする」を選び、プリンタードライバーで指定したサイズ / 種類の用紙をセットして印刷しなおす → ロール紙をプリンターにセットする（P.35） → プリンター外部から用紙をセットする（P.50）  メモ ・ 印刷を中止する場合は、タッチスクリーンで「キャンセル」または「ストップ」を押してください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
1317	用紙が斜めにセットされています。	● ロール紙、外部給紙の場合 以下の手順で印刷しなおしてください。 1. リリースレバーを後ろ側に押す  2. 用紙の両端を手で持ち、右端を紙合わせライン（A）に合わせるようにゆっくり引き出す  3. リリースレバーを手前側に引く 4. 印刷しなおす 再び同じエラーが表示される場合は、用紙をセットしなおしてください。 ➡ ロール紙をプリンターから取り外す（P.44） ➡ プリンター外部からセットした用紙を取り外す（P.55） ● カット紙の場合 用紙をセットしなおしてください。 ➡ カット紙をプリンターにセットする（P.47） ✔ 重要 ・ ロール紙の場合は、ロール紙がロールホルダーのフランジに突き当たるまでしっかりと差し込まれていることを確認してください。 ・ 上記の手順を繰り返してもこのメッセージが表示される場合やこのメッセージを表示したくない場合は、タッチスクリーンのメニューで「斜行検知精度」で「しない」または「ゆるめ」を選びます。 ➡ 用紙メニューの階層（P.149） ただし、用紙が斜めのまま印刷されるため、紙づまりや印刷結果に不具合が発生したり、プラテンが汚れ、次に印刷するときに用紙の裏が汚れる可能性があります。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
1322	用紙サイズを検知できません。	用紙のセット位置がずれているか、カールした用紙がセットされているため、用紙サイズを検知できません。 リリースレバーを後ろ側に押して、用紙をセットしなおします。 ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) ➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47) ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50) タッチスクリーンに「印刷を終了していないジョブがあります このジョブを印刷しますか?」と表示された場合は、「はい」を選びます。 エラーが発生したページから、印刷が再開されます。  メモ ロール紙をセットしなおしても、このエラーが再び発生する場合は、ロールホルダーをプリンターから取り外し、ロール紙をロールホルダーのフランチに突き当たるまでしっかりと差し込んでから、ロールホルダーをプリンターにセットしてください。 ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35)
1323	この用紙サイズは対応していないため使用できません。	リリースレバーを後ろ側に押して用紙を取り除き、正しいサイズの用紙をセットしなおします。  メモ 調整用パターンやノズルチェックパターンを印刷する場合は、A4 サイズ以上の用紙をセットしなおします。各調整により複数の用紙が必要な場合があります。
1324	カット紙または外部給紙が指定されましたが、ロール紙がセットされています。	以下の手順で用紙をセットしなおしてください。 「用紙を取り外す」を選び、ロール紙をプリンターから取り外す ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44) - タッチスクリーンで印刷ジョブの用紙サイズと種類を確認し、「OK」を押す 「用紙をセットする」を選び、プリンタードライバーで指定したサイズ / 種類の用紙をセットして印刷しなおす ➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47) ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50)  メモ - 印刷を中止する場合は、タッチスクリーンで「キャンセル」または「ストップ」を押してください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
13F0	ロール紙またはカット紙が指定されましたが、外部給紙がセットされています。	以下の手順で用紙をセットしなおしてください。 1. [用紙を取り外す] を選び、ロール紙をプリンターから取り外す → プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55) 2. タッチスクリーンで印刷ジョブの用紙サイズと種類を確認し、[OK] を押す 3. [用紙をセットする] を選び、プリンタードライバーで指定したサイズ / 種類の用紙をセットして印刷しなおす → ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) → カット紙をプリンターにセットする (P. 47)  メモ ・ 印刷を中止する場合は、タッチスクリーンで [キャンセル] または [ストップ] を押してください。
1401	プリントヘッドを認識できません。	トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付けなおしてください。 → プリントヘッドを交換する (P. 269)
1403 1408 1409 140A	プリントヘッドにトラブルが発生しました。	タッチスクリーンで [OK] を押して、新しいプリントヘッドに交換してください。 → プリントヘッドを交換する (P. 269) 交換用のプリントヘッドがない場合は電源を切り、新しいプリントヘッドを用意してから交換してください。
140B	プリントヘッドを認識できません。	トップカバーを開け、プリントヘッドを取り付けなおしてください。 → プリントヘッドを交換する (P. 269)
140C	プリントヘッドにトラブルが発生しました	電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。
140F	プリントヘッドにトラブルが発生しました	タッチスクリーンで [OK] を押して、新しいプリントヘッドに交換してください。 → プリントヘッドを交換する (P. 269) 交換用のプリントヘッドがない場合は電源を切り、新しいプリントヘッドを用意してから交換してください。
1468	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。 再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード (ECxx-xxxx) をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
1477	プリントヘッドにトラブルが発生しました	トップカバーを開け、新しいプリントヘッドに交換してください。 → プリントヘッドを交換する (P. 269)
1478	プリントヘッドにトラブルが発生しました	タッチスクリーンで [OK] を押して、新しいプリントヘッドに交換してください。 → プリントヘッドを交換する (P. 269) 交換用のプリントヘッドがない場合は電源を切り、新しいプリントヘッドを用意してから交換してください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
1480 1481	他のプリンターに取り付けたことがあるプリントヘッドは取り付けられません。	正しいプリントヘッドを取り付けてください。 ➡ プリントヘッドを交換する (P. 269)
1485	このプリントヘッドは使用できません。	正しいプリントヘッドを取り付けてください。 ➡ プリントヘッドを交換する (P. 269)
1492	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。 再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード (ECxx-xxxx) をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
1494	プリントヘッドにトラブルが発生した可能性があります。	電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。 再度同じエラーが発生する場合は、プリントヘッドを一旦取り外し、取り付けなおしてください。 ➡ プリントヘッドを交換する (P. 269) それでもエラーが解消されない場合は、新しいプリントヘッドに交換してください。
1495	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリントヘッドのノズルがつまっています。 - 以下の手順でプリントヘッドをクリーニングしてください。 - タッチスクリーンで [キャンセル] を押して、印刷を中止する - プリントヘッドをクリーニングする ➡ プリントヘッドをクリーニングする (P. 294) - それでも印刷時にこのメッセージが表示される場合はプリントヘッドを交換してください。 ➡ プリントヘッドを交換する (P. 269) ✔ 重要 - タッチスクリーンで [印刷を続行する] を選ぶと印刷を続行できます。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。
1500	インクタンク内のインクが少なくなっています。	新しいインクタンクをご用意ください。
1551	使用履歴のあるキヤノン純正インクタンクが検出されました。	タッチスクリーンの [OK] を押すと、表示されたメッセージを解除できます。
1552	キヤノン純正インクタンクが取り付けられました。	タッチスクリーンの [OK] を押すと、表示されたメッセージを解除できます。

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
1570	インクタンク内のインクがなくなりました。	サブインクタンク内のインクが不足する前に、インクタンクカバーを開け、インクタンクを交換してください。 ➡ インクタンクを交換する (P. 262)  メモ ・ 印刷中もインクタンクを交換できます。
1571	インクタンクがセットされていません。	インクタンクを交換中の場合は、新しいインクタンクを取り付けてください。 ➡ インクタンクを交換する (P. 262)
1660	下記のインクタンクが認識できません。	インクタンクが取り付けられていません。 インクタンクを正しく取り付けてください。 ➡ インクタンクを交換する (P. 262)
168B	下記のインクタンクが認識できません。	このプリンターがサポートできないインクタンクが取り付けられているため、印刷できません。 正しいインクタンクを取り付けてください。 ➡ インクタンクを交換する (P. 262)
1720	メンテナンスカートリッジが満杯になりました。メンテナンスカートリッジを交換してください。	メンテナンスカートリッジを交換してください。 ➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 275)
1721	メンテナンスカートリッジが取り付けられていません。	メンテナンスカートリッジを取り付けてください。 ➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 275)
1722	メンテナンスカートリッジの種類が違います。	正しいメンテナンスカートリッジを取り付けてください。 ➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 275) 繰り返しこのエラーが表示される場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
1730	キヤノン純正インクが使い切られたインクタンク、または模倣品の可能性があります。	印刷を行うためには、インクタンクを交換するか、インク残量検知機能を無効にする必要があります。 ➡ インクタンクを交換する (P. 262) インク残量検知機能を無効にする場合はプリンターの「ストップ」を5秒以上タッチしてから離してください。 この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。インク切れの状態です印刷が続けたことが原因の故障、またはインクの補充が原因の故障について、キヤノンは責任を負えない場合があります。  メモ インク残量検知機能を無効にすると、タッチスクリーンのインク残量画面でインクタンクがグレー色に表示されます。
	インクタンクが模倣品の可能性があります。	
	印刷を続けるには、インクタンクを交換するか、インク残量検知機能を無効にする必要があります。	
1731	キヤノン純正でないインクタンクが検出されました。	
	インクタンクが模倣品の可能性があります。	
	印刷を続けるには、インクタンクを交換するか、インク残量検知機能を無効にする必要があります。	
1752	インクがなくなりました。	インクタンクカバーを開け、インクタンクを交換してください。 ➡ インクタンクを交換する (P. 262)
1753	インクの残量を正しく検知できません。	インクタンクを交換してください。印刷を再開します。 ➡ インクタンクを交換する (P. 262) 一度空になったインクタンクが取り付けられています。 印刷を続けるにはインク残量検知機能を無効にする必要があります。 無効にする場合は、プリンターの「ストップ」を5秒以上タッチしてから離してください。 この操作を行うと、インク残量検知機能を無効にしたことを履歴に残します。 インク切れの状態です印刷が続けたことが原因の故障、またはインクの補充が原因の故障については、キヤノンは責任を負えない場合があります。
1756	インクが不足する可能性があります。	次の処理を実行または指定した処理を続行するには、インクタンクを交換してください。 ➡ インクタンクを交換する (P. 262)

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
1757	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	サブインクタンクが充填できません。 タッチスクリーンの表示を確認し、該当する色のインクタンクを取り外して、再度取り付けてください。 空のインクタンクが取り付けられていた場合は、新しいインクタンクに交換してください。 ➡ インクタンクを交換する (P. 262)
2001	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	本製品に対応していない機器が接続されています。 USB メモリー接続部に接続している機器を確認してください。 本製品と接続して直接印刷できるのは、USB メモリーのみです。
2002	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	本製品に対応していない機器が接続されています。 USB ハブを介して本製品に USB メモリーを接続している場合は、USB ハブを本製品から取り外してください。 USB メモリーは直接本製品に接続してください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
2130	用紙の幅が違います	印刷ジョブの用紙サイズと、プリンターにセットしてある用紙サイズが異なります。
2131	用紙のサイズが違います。	タッチスクリーンで [OK] を押して次の画面へ進みます。表示された用紙の種類とサイズを確認して [OK] を押します。 ● 印刷ジョブの用紙サイズを変更する場合 1. [キャンセル] を押して、印刷を中止する 2. 印刷ジョブの用紙サイズの設定をプリンターにセットした用紙サイズに変更し、印刷しなおす ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50) ● 用紙を交換する場合 1. [用紙を交換して印刷] を選び、用紙を取り外す ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44) ➡ カット紙をプリンターから取り外す (P. 49) ➡ プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55) 2. 用紙を交換する ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) ➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47) ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50) 印刷が開始されます。 ● 現状の設定で印刷を続行する場合 [セットしている用紙で印刷] を選びます。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。  メモ ・ タッチスクリーンのメニューから [用紙の設定不一致を検知] を [検知しない] に設定することで、このメッセージが表示されないようにすることもできます。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。 ➡ 本体設定 (用紙関連の設定) (P. 155)
2132	用紙の種類またはサイズが違います	カット紙のサイズまたは種類が異なるため、テストプリントなどのプリンター内部データの印刷ができません。 リリースレバーを後ろ側に押して用紙を取り除き、1 ページ目と同じサイズ / 種類の用紙をセットしてください。 ➡ カット紙をプリンターにセットする (P. 47)  メモ ・ 印刷を中止する場合は、[キャンセル] または [ストップ] を押してください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
2140	用紙の形状が違います。	印刷ジョブで指定された用紙形状と、プリンターにセットしてある用紙形状が異なります。 タッチスクリーンで [OK] を押して次の画面へ進みます。表示された用紙形状を確認して [OK] を押します。 ● 印刷ジョブの用紙形状を変更する場合 1. [キャンセル] を押して、印刷を中止する 2. 印刷ジョブの用紙形状の設定をプリンターにセットした用紙形状に変更し、印刷しなおす ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50) ● 用紙を交換する場合 1. [用紙を交換して印刷] を選び、用紙を取り外す ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44) ➡ プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55) 2. 用紙を交換する ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50) 印刷が開始されます。 ● 現状の設定で印刷を続行する場合 [セットしている用紙で印刷] を選びます。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。  メモ ・タッチスクリーンのメニューから [用紙の設定不一致を検知] を [検知しない] に設定することで、このメッセージが表示されないようにすることもできます。ただし、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。 ➡ 本体設定 (用紙関連の設定) (P. 155)
2141	用紙の形状が違います。	プリンタードライバーで指定した用紙の形状と、プリンターにセットしてある用紙の形状が合っていません。 印刷は継続されますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
2142	用紙の形状が違います。	プリンタードライバーの用紙形状と、プリンターにセットしてある用紙形状が異なります。 タッチスクリーンで [OK] を押して次の画面へ進みます。表示された用紙の種類とサイズを確認して [OK] を押します。 ● 印刷を中止する場合 タッチスクリーンで [キャンセル] または [ストップ] を押します。 ● 用紙を交換する場合 1. [用紙を交換して印刷] を選び、用紙を取り外す → ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44) → プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55) 2. 用紙を交換する → ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) → プリンター外部から用紙をセットする (P. 50) 印刷が開始されます。 ● 現状の設定で印刷を続行する場合 [セットしている用紙で印刷] を選びます。 ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。  メモ ・印刷設定をやりなおす場合は、プリンタードライバーで用紙形状を設定します。
21F0	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリンターにセットされている用紙の幅が、操作パネルで設定した用紙サイズと異なります。 ● 操作パネルで設定した用紙サイズを変更する場合 1. リリースレバーを後ろ側に押す 2. リリースレバーを手前側に引く 3. タッチスクリーンで正しいサイズの用紙を選ぶ ● 用紙を交換する場合 1. リリースレバーを後ろ側に押す 2. 用紙を取り外す → ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44) → プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55) 3. 用紙を交換する → ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) → プリンター外部から用紙をセットする (P. 50)

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
21F1	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリンターにセットされている用紙の長さが、操作パネルで設定した用紙サイズと異なります。 ● 操作パネルで設定した用紙サイズを変更する場合 1. リリースレバーを後ろ側に押す 2. リリースレバーを手前側に引く 3. タッチスクリーンで正しいサイズの用紙を選ぶ ● 用紙を交換する場合 1. リリースレバーを後ろ側に押す 2. 用紙を取り外す → ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44) → プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55) 3. 用紙を交換する → ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) → プリンター外部から用紙をセットする (P. 50)
21F2	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリンターにセットされている用紙の上下ギャップ長が、プリンターに設定されている用紙サイズと異なります。 ● 操作パネルで設定した用紙サイズを変更する場合 1. リリースレバーを後ろ側に押す 2. リリースレバーを手前側に引く 3. タッチスクリーンで正しいサイズの用紙を選ぶ ● 用紙を交換する場合 1. リリースレバーを後ろ側に押す 2. 用紙を取り外す → ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44) → プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55) 3. 用紙を交換する → ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) → プリンター外部から用紙をセットする (P. 50)

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
21F3	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリンターにセットされている用紙のブラックマーク長が、プリンターに設定されている用紙サイズと異なります。 ● 操作パネルで設定した用紙サイズを変更する場合 1. リリースレバーを後ろ側に押す 2. リリースレバーを手前側に引く 3. タッチスクリーンで正しいサイズの用紙を選ぶ ● 用紙を交換する場合 1. リリースレバーを後ろ側に押す 2. 用紙を取り外す ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44) ➡ プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55) 3. 用紙を交換する ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50)
21F4	警告が発生しています。	印刷した用紙をカットする前にマニュアルフィードが実行され、用紙の種類が変更されました。 印刷は継続できますが、印刷結果に不具合が発生する可能性があります。プリンターから用紙を取り外し、用紙をセットしなおしてください。 ● ロール紙の場合 ➡ ロール紙をプリンターから取り外す (P. 44) ➡ ロール紙をプリンターにセットする (P. 35) ● ファンフォールド紙の場合 ➡ プリンター外部からセットした用紙を取り外す (P. 55) ➡ プリンター外部から用紙をセットする (P. 50)
3000	プリントヘッドの調整が実行されていません。	[ヘッド位置調整] の実行をおすすめします。 ➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する (P. 299)  メモ ・ このメッセージは [ヘッド位置調整] を実行するまで表示されます。
3001	プリントヘッドが不調です。	プリントヘッドのノズルがつまり始めています。 印刷された出力物を確認してください。 印刷物がかすれている場合は、プリントヘッドをクリーニングします。 ➡ プrintヘッドをクリーニングする (P. 294)
3200	消耗部品の交換時期が近づいてきました。	[部品交換が必要です] と表示されるまでは、しばらく使用することができます。 お買い上げの販売店または修理受付窓口へご連絡ください。修理受付窓口へは、キヤノンのウェブサイトのサポートページからお問い合わせください。
3201	消耗部品の交換時期の目安を過ぎています。	お買い上げの販売店へご連絡ください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
3250	メンテナンスカートリッジが満杯に近づきました。早めにメンテナンスカートリッジを交換することをおすすめします。メンテナンスカートリッジが満杯になると印刷ができなくなります。	このままプリンターを使い続けるとエラーになる可能性がありますので、新しいメンテナンスカートリッジをご用意ください。 ➡ メンテナンスカートリッジを交換する (P. 275)
3306	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリンターの用紙情報が壊れているため、用紙情報を正しく認識できません。 「Media Configuration Tool for Label」を起動して、用紙情報を復旧してください。 「Media Configuration Tool for Label」で本製品を選び [OK] をクリックすると、「Media Configuration Tool for Label」は復旧モードになります。用紙情報のバックアップファイルを指定し、読み込んでください。 用紙情報のバックアップファイルがない場合は、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
3311	警告が発生しています。	印刷データが正しくありません。パラメーターの個数が不正です。印刷データを確認してください。 RIP (ラスター・イメージ・プロセッサ) などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。
3312	警告が発生しています。	印刷データが正しくありません。省略不可の項目が省略されています。印刷データを確認してください。 RIP (ラスター・イメージ・プロセッサ) などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。
3313	警告が発生しています。	印刷データが正しくありません。データが範囲外です。 印刷データを確認してください。 RIP (ラスター・イメージ・プロセッサ) などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。
3314	警告が発生しています。	印刷データが正しくありません。解像度の値が範囲外です。 印刷データを確認してください。 RIP (ラスター・イメージ・プロセッサ) などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。
3315	警告が発生しています。	印刷データが正しくありません。圧縮方法の値が範囲外です。 印刷データを確認してください。 RIP (ラスター・イメージ・プロセッサ) などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
3316	警告が発生しています。	印刷データが正しくありません。データ形式（色順序、ビット数）のフォーマットが不正です。印刷データを確認してください。 RIP（ラスター・イメージ・プロセッサ）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。
3317	警告が発生しています。	印刷データが正しくありません。解像度とイメージデータフォーマットの組み合わせが不正です。印刷データを確認してください。 RIP（ラスター・イメージ・プロセッサ）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。
3331	警告が発生しています。	印刷データが大きすぎて、正常に印刷できない可能性があります。印刷データを確認してください。
3332 3333	警告が発生しています。	サポートしていないフォーマットの JPEG データです。 JPEG データを確認してください。 印刷可能なファイル形式は以下のとおりです。 • JFIF1.02 準拠の JPEG 処理方式：基本 DCT 方式 カラーモード：RGB/GrayScale 色数：24bit/8bit ピクセル数：縦横それぞれ 38400 ピクセル以下 * ただし、サンプリングの一部は非サポートです。
3336	警告が発生しています。	PDF ファイル内で使用されているフォントが多すぎるためメモリー不足になりました。 印刷は続行されますが、正しく印刷されない文字があります。 パソコンから印刷してください。 もしくは、PDF ファイルを JPEG に変換してから印刷してください。
3338	警告が発生しています。	JPEG データの解像度とプリンターの設定が一致しません。 印刷結果を確認してください。 印刷結果に問題がある場合は、プリンタードライバーから印刷してください。
3341	警告が発生しています。	印刷データの画像処理テーブルが不正です。 印刷ジョブの画像処理テーブルを確認してください。 RIP（ラスター・イメージ・プロセッサ）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。
3342	警告が発生しています。	解像度の設定が正しくありません。 印刷の設定を確認してください。 RIP（ラスター・イメージ・プロセッサ）などの印刷プログラムを使用している場合には、印刷プログラムの製造元にお問い合わせください。
3350	ボックスの空き容量が残りわずかです。	プリンターのハードディスクの個人ボックスの空き容量が少なくなっています。 個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除してください。 ➡ 保存したジョブを削除する（P. 251）

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
3351	ボックスの保存ジョブの数が、保存可能な最大数に達しました。	個人ボックスに 100 個の印刷ジョブが保存されています。 個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除してください。 ➡ 保存したジョブを削除する (P. 251)
3352	一時保存領域の空き容量がなくなりました。	プリンターのハードディスクの空き容量がなくなり、印刷のみ実行しています。(印刷ジョブはハードディスクに保存されません。) 印刷ジョブを保存したい場合は、個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除してください。 ➡ 保存したジョブを削除する (P. 251)
3414	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	メールサーバーとの通信に失敗しました。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 リモート UI でメールサーバー設定の送信メールサーバー (SMTP サーバー) のアドレスおよびポート番号が正しいか確認してください。 ➡ メールサーバーを設定する (P. 191) それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。 メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。
3415	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	メールサーバーとの通信に失敗しました。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 リモート UI でメールサーバー設定の送信メールサーバー (POP3 サーバー) のアドレスおよびポート番号が正しいか確認してください。 ➡ メールサーバーを設定する (P. 191) それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。 メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。
3416 3417	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	メールサーバーとの通信に失敗しました。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 ご使用のメールサーバーと本製品のセキュア接続 (SSL) の設定が一致しているか確認してください。 本製品のセキュア接続 (SSL) の設定はリモート UI で確認します。 ➡ メールサーバーを設定する (P. 191) メールサーバーのセキュア接続 (SSL) の設定については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

サポート番号	ステータスマニターメッセージ	原因 / 対処方法
3418	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	メールサーバーとの通信に失敗しました。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 リモート UI でメールサーバー設定の送信メールサーバー (SMTP サーバー) に関する項目が正しいか確認してください。 ➡ メールサーバーを設定する (P. 191) それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。 メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。
3419	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	メールサーバーとの通信に失敗しました。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 リモート UI でメールサーバー設定の送信用アカウントおよび送信用パスワードが正しいか確認してください。 ➡ メールサーバーを設定する (P. 191) それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。 メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。
3420	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	メールサーバーとの通信に失敗しました。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 リモート UI でメールサーバー設定の受信メールサーバー (POP3 サーバー) に関する項目が正しいか確認してください。 ➡ メールサーバーを設定する (P. 191) それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。 メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。
3421	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	メールサーバーとの通信に失敗しました。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 リモート UI でメールサーバー設定の受信用アカウントおよび受信用パスワードが正しいか確認してください。 ➡ メールサーバーを設定する (P. 191) それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。 メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
3422	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	メールサーバーとの通信に失敗しました。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 ご使用のメールサーバーと本製品の APOP 認証の設定が一致しているか確認してください。 本製品の APOP 認証の設定はリモート UI で確認します。 ➡ メールサーバーを設定する (P. 191) メールサーバーの APOP 認証の設定については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。
3423	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	メールサーバーとの通信に失敗しました。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 リモート UI でメールサーバー設定が正しいか確認してください。 ➡ メールサーバーを設定する (P. 191) それでもエラーが出る場合は、ご使用のメールサーバーの状態を確認してください。 メールサーバーの設定や状態については、メールサーバーの管理者にお問い合わせください。
3424	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	メール送信に失敗しました。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 送信先の正しいメールアドレスを指定して送信しなおしてください。
3448	警告が発生しています。	IP アドレスが競合しています。 タッチスクリーンで [OK] を押してエラーを解除してください。 ネットワーク設定を確認し、IP アドレスが他のネットワーク機器と重複しないように設定しなおしてください。 ネットワーク設定の変更については、お使いのネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。
4111	用紙の種類が違います。	本製品に対応していない種類の用紙が指定されています。 [ストップ] を押して印刷を中止してください。 用紙種類の設定を確認して、再度印刷を行ってください。
4801	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリンタートラブルが発生しました。 電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。 再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード (ECxx-xxxx) をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。 印刷中、またはメンテナンス動作中にメンテナンスカートリッジが取り外されました。 メンテナンスカートリッジを正しくセットした後、電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。 なお、印刷中またはメンテナンス動作中にメンテナンスカートリッジを取り外すと、インクの混色が発生する場合があります。混色が確認された場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。 ➡ プリントヘッドをクリーニングする (P. 294)

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
4803	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリンタートラブルが発生しました。 電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。 再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
4900	ボックスの空き容量がありません。	プリンターのハードディスクの空き容量がなくなりました。 〔ストップ〕を押して印刷を中止し、以下の対処を行ってください。 - ジョブキューの印刷ジョブを削除します。 → 印刷ジョブを削除する（P. 239） - 個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除します。 → 保存したジョブを印刷する（P. 249）
4901	プリンターのハードディスクにエラーが発生しました。	プリンターのハードディスクがフォーマットされていません。 タッチスクリーンの〔OK〕を押すと、ハードディスクのフォーマットを開始します。 フォーマットが完了すると、ハードディスク内のデータが消去され、プリンターは自動的に再起動します。
4903	ボックスの保存ジョブの数がすでに最大数に達しているため、これ以上は保存できません。	以下の対処を行ってください。 - ジョブキューの印刷ジョブを削除します。 → 印刷ジョブを削除する（P. 239） - 個人ボックスに保存されている不要なジョブを削除します。 → 保存したジョブを印刷する（P. 249）  メモ - 印刷を中止する場合は、〔ストップ〕を押してください。
4905 4909	プリンタートラブルが発生しました。	電源を切り、しばらくしてから再度電源を入れてください。 再びエラーが表示される場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
4910	用紙の幅が違います。	プリンタードライバーの用紙サイズと、プリンターにセットしてあるロール紙の幅が異なります。 タッチスクリーンで [OK] 押して次の画面へ進みます。表示された用紙の種類とサイズを確認して [OK] を押します。 ● 印刷を中止する場合 タッチスクリーンで [キャンセル] または [ストップ] を押します。 ● ロール紙を交換する場合 以下の手順に従って、プリンタードライバーで設定した用紙サイズのロール紙に交換します。 1. [用紙を交換して印刷] を選び、ロール紙を取り外す → ロール紙をプリンターから取り外す (P.44) 2. プリンタードライバーで設定した幅の用紙に交換する → ロール紙をプリンターにセットする (P.35) ● 現状の設定で印刷を続行する場合 [セットしている用紙で印刷] を選びます。ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。  メモ ・ 印刷設定をやりなおす場合は、プリンタードライバーで用紙サイズを設定します。
4911	用紙の種類が違います。	プリンタードライバーで指定した用紙の種類と、プリンターにセットしてある用紙の種類が合っていません。 タッチスクリーンで [OK] を押して次の画面へ進みます。表示された用紙の種類とサイズを確認して [OK] を押します。 ・ プリンタードライバーの用紙の種類を変更する場合 1. [キャンセル] を押して、印刷を中止する 2. プリンタードライバーの用紙の種類の設定を、プリンターにセットした用紙の種類に変更して印刷しなおす ・ 用紙を交換する場合 1. [用紙を交換して印刷] を押す 2. プリンタードライバーで指定した種類の用紙を、プリンターにセットして印刷しなおす → ロール紙をプリンターにセットする (P.35) → カット紙をプリンターにセットする (P.47) → プリンター外部から用紙をセットする (P.50) ・ 現状の設定で印刷を続行する場合 [セットしている用紙で印刷] を選び、印刷を続行します。ただし、紙づまりや印刷結果に不具合が発生する可能性があります。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
4920	用紙カットに失敗しました	以下のいずれかの原因により用紙をカットできません。 また、下記以外の場合はカッターブレードが故障している可能性があります。キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。 ● カットされた用紙が排紙ガイド上に残っている場合 以下の手順で印刷を再開してください。 1. リリースレバーを後ろ側に押して、用紙を取り除く 2. 用紙をセットする 3. タッチスクリーンに「印刷を終了していないジョブがあります このジョブを印刷しますか？」と表示された場合は、「はい」を押す エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 ● 排紙口付近に異物があり、カッターブレードにぶつかっている場合 以下の手順で印刷を再開してください。 1. トップカバーを開けて、異物を取り除く 2. タッチスクリーンに「印刷を終了していないジョブがあります このジョブを印刷しますか？」と表示された場合は、「はい」を押す エラーが発生したページから、印刷が再開されます。 ● 用紙の推奨使用環境で使用していない場合 用紙によっては、推奨使用環境が設定されている場合があります。詳しくは用紙に付属のマニュアルを参照してください。 また、用紙の取り扱い / 保管については、「用紙の取り扱いについての注意事項 (P. 80)」を参照してください。
4924	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	カラーキャリブレーションに対応している用紙がセットされていません。 以下の手順でカラーキャリブレーションをやりなおしてください。 1. タッチスクリーンの「OK」をタップしてエラーを解除する 2. カラーキャリブレーションに対応している用紙をセットする → カラーキャリブレーションを行う (P. 311) プリンターにセットした用紙と、プリンターの用紙種類の設定は必ず合わせてください。セットした用紙と用紙種類の設定値が違う場合は、正しく調整されません。
4925	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリンター内部のセンサーの一部の性能が低下している可能性があります。タッチスクリーンの「OK」をタップして、カラーキャリブレーションを中止します。キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
4926	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	カラーキャリブレーションに対応していないサイズ of 用紙が給紙されています。 以下の手順でカラーキャリブレーションをやりなおしてください。 1. タッチスクリーンの「OK」をタップしてエラーを解除する 2. カラーキャリブレーションに対応したサイズの用紙をセットする → カラーキャリブレーションを行う (P. 311)

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
4927	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	以下の原因によって、カラーキャリブレーションに失敗した可能性があります。 ● 調整用パターンを印刷するための用紙が汚れています。または色の付いた用紙がセットされています。 ● 直射日光など、強い光がプリンターに当たり、センサーが誤動作している可能性があります。 ● 印刷した調整用パターンがかすれています。 タッチスクリーンの [OK] をタップしてエラーを解除した後、以下の対処を行ってください。 ● カラーキャリブレーションに対応した未使用の用紙をセットします。 ● プリンターに強い光が当たらないように調整してください。 ● ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。パターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドノズルがつまっています。プリントヘッドをクリーニングしてください。 ➡ ノズルのつまりを確認する (P. 293) ➡ プリントヘッドをクリーニングする (P. 294)
4931	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	以下の原因によって、[紙送り調整] に失敗した可能性があります。 タッチスクリーンの [OK] を押してエラーを解除した後、以下の対処を行ってください。 ● 調整用パターンを印刷するための用紙が汚れています。または色の付いた用紙がセットされています。未使用の用紙をセットしてください。 ● 直射日光など、強い光がプリンターに当たり、センサーが誤動作している可能性があります。 プリンターに強い光が当たらないように調整してください。 ● 印刷した調整用パターンがかすれています。 ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認してください。パターンに欠けや白い横すじがある場合は、プリントヘッドノズルがつまっています。プリントヘッドをクリーニングしてください。 ➡ ノズルのつまりを確認する (P. 293) ➡ プリントヘッドをクリーニングする (P. 294)
4932	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	透過性の高い用紙では、プリントヘッドの調整を行うことができません。 タッチスクリーンの [OK] を押してエラーを解除します。 調整を行う際は、A4 サイズのカット紙 (普通紙) を使用してください。 ➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する (P. 299)

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
4933 4934 4935	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	プリントヘッドのノズルがつまっている可能性があります。 以下の手順で「ヘッド位置調整」をやりなおしてください。 1. タッチスクリーンの「OK」を押してエラーを解除する 2. ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べる ➡ ノズルのつまりを確認する (P. 293) 3. ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングする ➡ プリントヘッドをクリーニングする (P. 294) 4. 「ヘッド位置調整」をやりなおす ➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する (P. 299)
4937	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	プリントヘッド位置の調整に失敗しました。 以下の手順で「ヘッド位置調整」をやりなおしてください。 1. タッチスクリーンの「OK」を押してエラーを解除する 2. ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を調べる ➡ ノズルのつまりを確認する (P. 293) 3. ノズルがつまっている場合は、プリントヘッドをクリーニングする ➡ プリントヘッドをクリーニングする (P. 294) 4. 「ヘッド位置調整」をやりなおす ➡ 縦線のゆがみや色ずれを自動で調整する (P. 299) それでもノズルがつまる場合はプリントヘッドを交換してください。 ➡ プリントヘッドを交換する (P. 269) 再び同じエラーが発生する場合は、プリンターが故障している可能性があります。キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
4950	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	「WPS(プッシュボタン方式)」での接続に失敗しました。 タッチスクリーンの表示に従って、Wi-Fi ルーターとの接続をやりなおしてください。
4952	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	Wi-Fi ルーターとの接続に失敗しました。 タッチスクリーンの表示に従って、Wi-Fi ルーターとの接続をやりなおしてください。
4953	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	IP アドレスの取得に失敗しました。 タッチスクリーンに表示されている内容を確認し、接続をやりなおしてください。
4955	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	IPv4/IPv6 の設定が変更されましたが、有線 LAN および Wi-Fi が無効になっています。 タッチスクリーンの「OK」を押してエラーを解除し、有線 LAN または Wi-Fi を有効にしてください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
4956	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	LAN 設定を変更しようとしたが、以下の理由により変更できません。 ・ プリンターが動作中 ・ リモート UI からプリンターを設定中 タッチスクリーンの「OK」を押してエラーを解除し、他の処理を終了させてから設定をやりなおしてください。
5106	サービスコールエラーが発生しました。	プリンタートラブルが発生しました。 タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
5200	エラーが発生しました。プリンターの表示を確認してください。	プリンタートラブルが発生しました。 電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。 しばらくしてから、再度電源を入れてください。 それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
5B16 5B20	サービスコールエラーが発生しました。	プリンタートラブルが発生しました。 タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 お買い上げの販売店または修理受付窓口へご連絡ください。修理受付窓口へは、キヤノンのウェブサイトのサポートページからお問い合わせください。
5B21	サービスコールエラーが発生しました。	プリンタートラブルが発生しました。 タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 お買い上げの販売店へご連絡ください。
5BF0	プリンターを清掃する必要があります。	「OK」を押して、トップカバー内部のインク汚れを清掃してください。 ➡ トップカバー内部を清掃する（P. 283） 清掃後、「清掃した」を押します。
5C00	サービスコールエラーが発生しました。	プリンタートラブルが発生しました。 タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 お買い上げの販売店または修理受付窓口へご連絡ください。修理受付窓口へは、キヤノンのウェブサイトのサポートページからお問い合わせください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
6502	プリンタートラブルが発生しました。	プリンタートラブルが発生しました。 電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。 しばらくしてから、再度電源を入れてください。 それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
6700 6702 6820	サービスコールエラーが発生しました。	プリンタートラブルが発生しました。 タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
6900 6901 6902 6910 6920 6921 6930	プリンタートラブルが発生しました。	プリンタートラブルが発生しました。 電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。 しばらくしてから、再度電源を入れてください。 それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
7050 7051 7052 8200 9110 B20A	サービスコールエラーが発生しました。	プリンタートラブルが発生しました。 タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。
9000	プリンタートラブルが発生しました。	
B510	サービスコールエラーが発生しました。	タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。 お買い上げの販売店または修理受付窓口へご連絡ください。修理受付窓口へは、キヤノンのウェブサイトのサポートページからお問い合わせください。

サポート番号	ステータスマonitorメッセージ	原因 / 対処方法
XXXX	警告が発生しています。	プリンターの表示を確認してください。
	エラーが発生しました。 プリンターの表示を確認してください。	
	サービスコールエラーが発生しました。	プリンタートラブルが発生しました。 電源を切ってから、電源プラグをコンセントから抜いてください。 しばらくしてから、再度電源を入れてください。 それでも回復しない場合は、タッチスクリーンに表示されている詳細エラーコード（ECxx-xxxx）をメモに書き留めてから、キヤノンお客様相談センターへご連絡ください。

仕様

本体

電源	AC 100 ～ 240 V (50/60 Hz)
消費電力	印刷時 (USB 接続時) : 約 53 W スリープ時 (USB 接続時) : 約 1.9 W 電源 OFF 時 : 約 0.1 W
使用環境	温度 : 15 ℃ ～ 30 ℃ 湿度 : 10 % ～ 80 % (結露しないこと)
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	572 mm × 746 mm × 436mm
質量	約 36 kg (プリントヘッド、インクタンク除く)
印刷方式	インクジェット記録方式
使用インク	顔料系インク イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (Bk)
印刷解像度	1200 dpi (横) x 1200 dpi (縦) 1200 dpi (横) x 600 dpi (縦)
ノズル数	各色 : 2560 ノズル
メモリー	128 GB (物理メモリー 2 GB)
ハードディスク容量	500 GB 個人ボックス (恒久保存領域) : 180 GB
保存可能な印刷ジョブ数	共通ボックス : 最大 100 個 個人ボックス : 最大 100 個
表示可能なジョブ履歴	操作パネル : 10 個 リモート UI : 500 個
インターフェイス	USB2.0 Hi-speed USB フラッシュメモリー 有線 LAN : IEEE802.3ab (1000BASE-T) / IEEE802.3u (100BASE-TX) / IEEE802.3 (10BASE-T) Wi-Fi : IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b

- ・ USB2.0 Hi-speed でのご使用は、パソコン側が USB2.0 Hi-speed に対応している必要があります。また、USB2.0 Hi-speed インターフェイスは USB 1.1 の完全上位互換ですので、パソコン側のインターフェイスが USB 1.1 でも接続してご使用いただけます。
- ・ USB とネットワークは同時に使用することができます。
- ・ Wi-Fi と有線 LAN を同時に使用することはできません。

ネットワーク仕様

通信プロトコル	SNMP、HTTP、TCP/IP (IPv4/IPv6)
有線 LAN 部	準拠規格：IEEE802.3ab (1000BASE-T) / IEEE802.3u (100BASE-TX) / IEEE802.3 (10BASE-T) 伝送速度：10 Mbps/100 Mbps/1000 Mbps (自動切替) セキュリティ：IEEE802.1X (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP)
Wi-Fi 部	準拠規格：IEEE802.11n / IEEE802.11g / IEEE802.11b 周波数帯域：2.4 GHz 帯 チャンネル：1-13 セキュリティ：WPA-PSK (TKIP/AES) / WPA2-PSK (TKIP/AES) WPA3-SAE (AES) / WPA-EAP (AES) ^{*1} WPA2-EAP (AES) ^{*1} / WPA3-EAP (AES) ^{*1}

^{*1} IEEE802.1X (EAP-TLS/EAP-TTLS/PEAP) 対応

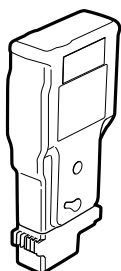
消耗品 / オプション

本製品の消耗品とオプションは以下のとおりです。

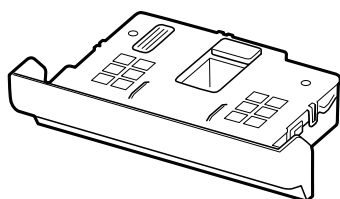
詳しくは、本製品をご購入の販売店またはお客様相談センターにお問い合わせください。

■ 消耗品

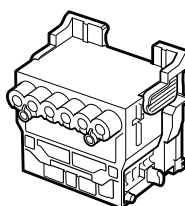
- インクタンク
(イエロー (Y)、マゼンタ (M)、シアン (C)、ブラック (Bk))



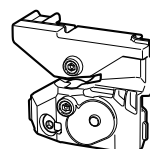
- メンテナンスカートリッジ



- プリントヘッド



- カッターブレード



■ オプション

- ロールホルダー

